

工不字晉記臨時增刊

# 土木工事寫真集



昭和五年六月  
土木學會

# 土木工事寫眞集

昭和五年六月

土木學會

## 目 次

---

表紙 復興せる東京の空中寫眞（昭和五年二月二十五日 下志津陸軍飛行學校撮影）

写眞番號

1~3.	フェノライトを用ひたる光弾性圖框構の場合	1
4~5.	同 上 一様なる剪力を與へたる場合	
6~7.	同 上 一様なる彎曲率を與へたる場合	
8.	鬼怒川支川大谷川小支稻荷川第十三號堰堤	2
9.	滋賀縣甲賀郡雲井村大字黃瀬及同村大字宮町禿瀬地	
10.	神奈川縣足柄下郡溫泉村出山堰堤	
11.	滋賀縣甲賀郡三雲村野洲川支川荒川流域砂防工事	3
12.	阿武隈川改修工事支流荒川上流堰堤	
13.	立山砂防	
14.	奈良縣北葛城郡志都美村大字今泉砂防設備地	4
15.	同 所 施行 18 年後の状況	
16.	同 所 松、山櫻成長の状況	
17.	長野縣埴科郡戸倉村地先千曲川筋護岸工事	5
18.	自然の儲放任せられたる石狩川河岸	
19.	白山砂防	
20.	北上川改修工事洗堰及閘門工事の状況	6
21.	同 上 福地水門	
22.	同 上 合戰谷新川筋古川樋門	
23.	同 上 月濱第一水門	
24.	東京府目黒川改修工事	7
25.	東京市古川改修工事竣工の状況	
26.	荒川改修工事船堀閘門	
27.	江戸川改修工事關宿閘門及水堰工事	8
28.	大阪市堂島川可動堰	
29.	埼玉縣古利根掘	
30.	埼玉縣大里郡小山川矢島堰	9
31.	埼玉縣柴山伏越	
32.	鰐石川改修附帶工事蘿井堰	
33.	信濃川大河津分水工事第二床固堰堤右岸假締切工事	10
34.	同 上 可動堰工事基礎杭打込及浚渫作業	
35.	同 上 工事期間中の出水に備ふる角落式假堰 16 連	
36.	信濃川補修可動堰工事場	
37.	長野縣西天龍耕地整理	11
38.	信濃川大河津萬代橋間河状整理工事	
39.	高知縣仁淀川尻門州の流失前	
40.	同 上 流失後	

41.	庄川水力電氣株式會社小牧發電所上流より取水口を経て堰堤工事を望む	12
42.	同 上 遠景	
43.	岡崎電燈株式會社矢作川發電所排砂地	13
44.	同 上	
45.	三河水力電氣株式會社矢作川第一發電所堰堤	
46.	同 上 建家	
47.	昭和電力株式會社庄川第二發電所堰堤底部掘鑿	14
48.	同 上 發電所	
49.	同 上 堤全景	
50.	同 上 上流より見たる堰堤	15
51.	同 上 下流より見たる堰堤	
52.	同 上 堤コンクリート保溫及其の附近	
53.	同 上 堤コンクリート保溫の景	
54.	天龍川電力株式會社發電所堰堤	16
55.	同 上 取水口	
56.	同 上 沈砂池第一制水門	
57.	同 上 魚 梯	
58.	東信電力株式會社鹿瀬發電所全景	17
59.	同 上 豊實發電所(其一) テンター・ゲート	
60.	同 上 (其二) 工事中の豊實發電所及堰堤	
61.	同 上 (其三)	
62.	中國合同電氣株式會社恩原貯水池	18
63.	同 上	
64.	同 上 ダム背面	19
65.	同 上 ダム前面	
66.	日本海電氣株式會社小口川發電所中空堰堤背面來上り	
67.	同 上 完成	
68.	大同電力株式會社木曾川大井發電所全景	20
69.	同 上 工事中の堰堤	
70.	電氣化學工業株式會社大淀川水力發電所取入口堰堤及門扉(其一)	21
71.	同 上 (其二)	
72.	富士製紙株式會社潤川第二發電所取入口自働堰堤	
73.	群馬水電株式會社松谷發電所沈砂池	22
74.	同 上 サージ・タンク	
75.	同 上 調整池堰堤	
76.	富山縣營常願寺川松木發電所沈砂池	23
77.	同 上 土砂排出狀況(其一)	
78.	同 上 (其二)	
79.	關東水力電氣株式會社利根川筋作久發電所堰堤全景	24
80.	同 上 沈砂池	
81.	同 上 ディフェレンシャル・サージ・タンク	
82.	同 上 沈砂池入口	

83.	關東水力電氣株式會社利根川筋作久發電所工事中の調整池堰堤	25	
84.	同	上 調整池水槽	
85.	同	上 鐵管とコンクリート管との接續箇所	
86.	同	上 ターピン据付中	
87.	東京市上水道村山及山口貯水池の鳥瞰	26	
88.	同	上 水源多摩川	
89.	同	上 羽村取入口	
90.	同	上 村山貯水池	
91.	同	上 山口貯水池堰堤工事	27
92.	同	上 淀橋淨水場	
93.	同	上 塚淨水場	
94.	同	上 濾過池の築造	
95.	東京府荒玉水道野方町配水塔全景	28	
96.	同	上 鐵筋組立	
97.	同	上 屋根鐵筋組立の状況	
98.	同	上 基礎工事	
99.	東京府江戸川上水道金町淨水場濾過池	29	
100.	東京府玉川水道淨水場全景		
101.	名古屋市上水道取水場	30	
102.	同	上 沈澱池	
103.	同	上 濾過池	
104.	大阪市上水道中部幹線水管橋	31	
105.	同	上 東部北部幹線送水泵	
106.	大津市上水道配水池鐵筋組立中の光景		
107.	同	上 水源池	
108.	神戸市上水道千刈水源堰堤(其一)	32	
109.	同	上 (其二)	
110.	同	上 上ヶ原淨水場の全景	
111.	同	上 急速濾過用沈澱池	
112.	岡山市上水道淨水場及ポンプ室	33	
113.	福山市上水道貯水池満水の状況		
114.	同	上 取水塔	
115.	廣島市上水道取水場	34	
116.	同	上 淨水場	
117.	下關市上水道擴張工事竣成せる日和山淨水所濾過配水池		
118.	同	上 日和山淨水所築造中の濾過配水池	
119.	新潟市上水道擴張工事水源引水塔沈下工事	35	
120.	同	上 淨水場濾過池工事	
121.	前橋市上水道淨水池全景		
122.	津市上水道貯水池	36	
123.	同	上 淨水場濾過地	
124.	富山縣高岡市上水道第一水源池源井		

125.	姫路市上水道水源池竣工直後	37
126.	尾道市上水道淨水場の全景	
127.	同 上 水源池	
128.	長野市上水道擴張工事	38
129.	秋田市上水道水源池堰堤	
130.	長岡市上水道淨水場	
131.	會津若松市上水道淨水場	
132.	徳島市上水道水源集水井	39
133.	同 上 配水池	
134.	高松市上水道水源集水渠	
135.	久留米市上水道濾過池	
136.	長崎市上水道本河内貯水池堰堤	40
137.	同 上 小ヶ倉貯水池堰堤	
138.	福岡市上水道曲渦水源堰堤正面	
139.	同 上 平尾山淨水場	
140.	大分市上水道淨水場	41
141.	別府市上水道淨水場	
142.	佐賀市上水道曝氣塔	
143.	函館市上水道貯水池	42
144.	同 上 淨水場	
145.	小樽市上水道新濾過池	
146.	釧路市上水道淨水場	
147.	東京市下水道錢瓶町ポンプ場(其一)工事中の沈砂池	43
148.	同 上 完成したる沈砂池	
149.	同 上 (其二)沈砂池スクリーン	44
150.	同 上 ポンプ室	
151.	同 上 ベンチュリー・メーター	
152.	東京市下水道芝浦ポンプ場(其一)芝浦引込幹線下水渠	45
153.	同 上 沈砂池	
154.	同 上 (其二)工事中の沈澱池	46
155.	同 上 ポンプ室基礎工事	
156.	同 上 ポンプ室	
157.	名古屋市下水道(其一)堀留處分場工事現況	47
158.	同 上 热田處分場工事現況	
159.	同 上 (其二)下水流流装置	48
160.	同 上 促進汚泥法による下水淨化試験装置	
161.	大阪市下水道市岡抽水所全景	49
162.	同 上 下水吸揚唧筒機械及配電装置	
163.	同 上 曝氣式促進汚泥法用送風機	
164.	同 上 東野田抽水所唧筒室及排出口	50
165.	同 上 配電設備	
166.	同 上 下水吸揚唧筒機械及配電盤	

167. 大阪市下水道東野田抽水所沈砂池内部	
168. 東京隅田川口改良工事防波堤築造中の状況	51
169. 同 上 繫船岸壁用混泥土潜函進水の實況	
170. 神奈川縣鎌倉七里ヶ濱海岸震災による崩壊の状況	
171. 同 上 同 所 復舊状況	
172. 横濱港大棧橋及び第一号岸壁に於ける汽船の繫留	52
173. 同 上鶴見地先の工業港	
174. 同 上内山下町造函船渠プレースド・シリンダー及フロート	53
175. 同 上プレースド・シリンダー浮揚状況	
176. 同 上竣工せる岸壁(千若町地先)	
177. 同 上工事中の高島一號棧橋(高島町地先)	
178. 同 上税關自動車型起重機	
179. 清水港竣工せる 3000噸級汽船繫船岸壁及上家	54
180. 上空より見たる築港工事中の清水港	
181. 清水港函製作場	
182. 名古屋港第六、第七號埋立地間跳上橋	55
183. 同 上 第一、第二號埋立地間跳上橋	
184. 同 上 第八號貯木場閘門	
185. 境港 5.5米岸壁 L型塊据付	56
186. 鳥取縣田後港竣工當日	
187. 静岡縣焼津海岸波除堤	
188. 静岡縣焼津波除堤に荒天の際狂亂怒濤の襲來せる實況	
189. 大阪港鳥瞰圖	57
190. 同 上第一突堤に於ける竣工したる上家の内部	
191. 同 上栈橋脚工事竣工の實況	
192. 同 上第一號繫船岸	
193. 神戸港棧橋上に於て製造中の函	58
194. 同 上函製造棧橋より函を浮船渠に移載曳出したる所	
195. 高松港棧橋	
196. 宝津港防波堤に於ける大跳波	59
197. 門司港に於ける混泥土潜函の進水	
198. 鹿児島港一丁臺揚先端より見たる工事中の北防波堤	60
199. ディッパー浚渫船	
200. 宮崎縣油津港	
201. 今治港荷揚場	
202. 飛行機上より見たる三池港全景	61
203. 佐賀縣東與賀村地先干拓工事前堤防築造中	
204. 青森第二渡船場渡船橋全景	62
205. 同 上 跨線橋鐵骨並に防舷材取付状況	
206. 小樽水陸連絡設備工事ケーソン進水状況	
207. 宝蘭港石炭船積設備	63
208. 釧路港内的一部分	

209.	稚内港船入洞		
210.	室蘭水陸連絡設備石炭船積繫船岸壁用甲型函塊製作状況		
211~225.	東京市に於ける街路幅員	64, 65, 66	
226.	大阪市都市計畫道路御堂筋線の中梅田~大江橋間大江橋北詰	(新) 67	
227.	同 上	(舊)	
228.	同 上 大川町~木町間淀屋橋南詰	(新)	
229.	同 上	(舊)	
230.	同 上 鶴橋線上本町六丁目	(新)	
231.	同 上	(舊)	
232.	阪神國道大庄村附近	68	
233.	同 上精道村蘆屋附近		
234.	同 上魚崎町附近		
235.	同 上揚所打コンクリート歩道鋪装		
236.	神明國道(其一)垂水町福田橋附近	69	
237.	同 上 垂水町西垂水附近		
238.	同 上 垂水町山田附近(新)		
239.	同 上 (舊)		
240.	神明國道(其二)舞子公園附近(舞子歩道)	70	
241.	同 上 舞子公園附近		
242.	同 上 垂水町蘆屋附近		
243.	同 上 垂水町西垂水附近(鋪装工事中)		
244.	六甲登山道路(神戸市)六甲山頂上	71	
245.	同 上 六甲山中腹		
246.	同 上		
247.	東海道の並木鈴川駅附近	72	
248.	同 上 原驛附近		
249.	静岡清水間國道日ノ出町より谷津山方面を望む		
250.	同 上 谷津山より静岡市方面を望む		
251.	静岡市の空中寫眞	73, 74	
252.	富山都市計畫区域の空中寫眞	75	
253.	名古屋都市計畫事業中川運河	76	
254.	同 上		
255.	帝都復興五大橋(其一)永代橋	77	
256.	同 上 清洲橋		
257.	同 上(其二)藏前橋	78	
258.	同 上 駒形橋		
259.	同 上 言問橋		
260.	白鬚橋(東京府南葛飾郡寺島町、東京市淺草區橋場町出會)東橋臺南沈丽型桟工事東橋脚築 島締切杭打工事	79	
261.	同 上 側面圖		
262.	同 上 在來木橋		
263.	大阪市に於ける橋梁(其一)堂島大橋	80	

264.	大阪市に於ける橋梁（其一）田蓑橋	
265.	同 上 末吉橋	
266.	同 上 四ッ橋	
267.	同 上（其二）戎橋	81
268.	同 上 高麗橋	
269.	同 上 疎屋川埋立状況	
270.	同 上 完成したる疏屋川橋	
271.	神戸市高松橋（跳上橋）全景（其一）	82
272.	同 上（其二）	
273.	同 上 動力機室	
274.	同 上 架設工事中の光景	
275.	六號國道利根川橋梁工事	83
276.	同 上 第十三號井筒コンクリート打の實況	
277.	同 上 左岸取手側より右岸我孫子側を望む	
278.	工事中の海門橋（茨城縣）左岸湊町側第一徑間拱架	84
279.	同 上 左岸湊町側第一徑間鐵筋組立及第二徑間拱架組立中	
280.	工事中の神宮橋（茨城縣）橋脚上部工事中の實況	
281.	同 上 一部竣工せる橋脚	
282.	工事中の戸田橋（東京府、埼玉縣界）（其一）現在木橋	85
283.	同 上 第十九號橋脚井筒の底沓	
284.	同 上 第十九號橋脚井筒の第三ロットのコンクリート打	
285.	同 上（其二）第十八號橋脚底沓上に第一番目の型枠を組みたる所	86
286.	同 上 鳥瞰圖	
287.	荒川橋（埼玉縣）全景	87
288.	同 上 左岸側徑間組立作業	
289.	同 上 中央徑間中央下弦材結合作業	
290.	萬代橋（新潟縣）	88
291.	同 上 拱環型枠組立	
292.	同 上 鐵筋組立中	
293~296.	御幸橋（京都府）	89
297.	武庫大橋（阪神國道）	90
298, 299.	濱名湖橋（靜岡縣）	
300.	穴吹橋（徳島縣）	91
301.	同 上	
302.	同 上	
303.	三好橋（徳島縣）	92
304.	東京附近高架橋（其一）東京驛の北方錢溝拱橋	93
305.	同 上 市街線第一小柳町橋	
306.	同 上 市街線神田川橋梁	
307.	同 上 秋葉原高架貨物驛第二秋葉町橋	
308.	同 上（其二）秋葉原高架貨物驛	94
309.	同 上 市街線第一上野町橋	

310.	東京附近高架橋（其二）市街線第二秋葉町橋	
311.	神戸附近高架橋三ノ宮附近高架橋	95
312.	同 上 兵庫駅取間四柱式高架橋	
313.	同 上 神戸三ノ宮間高架橋型枠組立	
314.	大阪臨港線岩崎運河橋梁	96
315.	同 上 天保山運河橋梁	
316.	同 上 木津川側川間スラブ橋	
317.	同 上 大阪上淀川間高架線擁壁	
318.	仙臺駅構内北目町通架道橋改築工事柱の鋼筋組立中	97
319.	同 上 拱の上部鋼筋組立中	
320.	同 上 東入口の幕板取外したる景	
321.	東北本線荒川橋梁（其一）旅客線 200 呎用第 17 號橋脚	98
322.	同 上 貨物線 200 呎用第 20 號橋脚	
323.	同 上	
324.	同 上（其二）舊橋梁 100 呎構桁撤去	99
325.	同 上 貨物線鋼筋架設	
326.	中央本線萬世橋曲線下路鋼筋桁橋	
327.	常磐線隅田川橋梁桁架換工事新橋桁侧面の景	100
328.	同 上 新橋桁移動準備完了	
329.	同 上 第二構桁上軌道敷設中	
330.	同 上 舊橋桁下に豆トロリー挿入準備中	
331.	同 上 新橋桁下に豆トロリー挿入	
332.	關西線揖斐川橋梁工事潜函作業室型枠組立	101
333.	同 上 潜函下部鋼骨及外型枠組立	
334.	同 上 潜函沈下作業中	
335.	同 上 築島島上に井筒の底沓据付	
336.	同 上 完成せる揖斐川橋梁	
337.	磐越西線當麻橋梁（其一）在來橋及新設橋臺橋脚完成の景	102
338.	同 上 全景	
339.	同 上 鹿ノ瀬寄橋臺上の鐵塔	
340.	同 上（其二）第二徑間（200呎）クロス・ビーム及ストリンガー取付	103
341.	同 上 ガアーチカル・ポスト及ダイヤゴナル・ポスト取付	
342.	同 上 アツバー・コード取付開始	
343.	同 上（其三）第二徑間（200呎）組立架設完了	104
344.	同 上 第三徑間（150呎）エンド・ポスト、エンド・クロス・ビーム及 ロウバー・コード取付	
345.	同 上 ストリンガー及クロス・ビーム取付中	
346.	同 上（其四）第三徑間（150呎）ガアーチカル・ポスト取付中	105
347.	同 上 組立架設完了せる景	
348.	同 上 最後のアツバー・コード取付前の景	
349.	西紀勢線（和歌山新宮間）有田川橋梁鋼筋桁架設	106
350.	同 上	

351.	西紀勢線(和歌山新宮間)有田川橋梁鋼鉄桁架設	
352.	高山線(岐阜高山間)飛彈川橋梁第二飛彈川橋梁	107
353.	同 上 第三飛驒川橋梁エレクション・トラス架設	
354.	同 上	
355.	同 上 經間 150 呉下路構桁組立	
356.	飛越線(富山高山間)第一神通川橋エンド・ポスト吊下	108
357.	同 上 長 53 呉ロウアー・コードに取付けて吊下げたるガード・カル・ポストを起し終りたる所	
358.	有明線(肥前山口諫早間)六角川橋梁浮舟式架設	109
359.	同 上 浮舟に乗せ七分通り前進	
360.	同 上 構桁先端所定の位置に到着	
361.	同 上 構桁先端固定の爲マイヤーにて左右に繋結す	
362.	高森線(立野高森間)第一白川橋梁(其一)立野側徑間ガード・カル建込み	110
363.	同 上 高森側中央徑間ガード・カル建込み	
364.	同 上 立野側中央徑間ガード・カル建込み	
365.	同 上 略	
366.	同 上 (其二)立野側中央徑間ガード・カル建込み	111
367.	同 上 高森側中央徑間ロウラー・コード組立	
368.	同 上 立野側中央徑間アッパー・コード組立	
369.	同 上 中央フロア・ビーム取付	
370.	同 上 (其三)トックル下方ロウラー・コードに於けるピン・コンネクション	112
371.	同 上 トックルの運轉	
372.	同 上 高森側中央徑間ガード・カル組立及橋材運搬	
373.	同 上 ロウラー・コード結合	
374.	同 上 架桁工事竣成後の全景	
375.	土讃北線(琴平豊永間)吉野川橋梁(其一)第一徑間エレクション・トラスを解體し第三徑間に架設中	113
376.	同 上 第二徑間エレクション・トラスを解體し第四徑間に架設中	
377.	同 上 徑間 200 呉構桁架設中	
378.	同 上 (其二)鋼桁二連式架設	114
379.	同 上 桁上にて 2 連の連結を終り引出に着手	
380.	同 上 將に中央橋脚に達せんとする所	
381.	同 上 後部サンドルを下げ前部サンドルを上げて桁を水平となす	
382.	八幡浜線(松山八幡浜間)石手川橋梁棟橋組立	115
383.	同 上 構桁架設用車輪試験の爲試運轉	
384.	同 上 前方車輪の側面	
385.	同 上 構桁架設	
386.	同 上	
387.	瀬川橋梁(奈良電氣鐵道株式會社)全景	116
388.	同 上 稼功近し	
389.	同 上 ゴライヤス	
390.	中央線四谷驛構内カブト隧道入口	117

391.	中央線四谷跨線道路橋根据及切取	
392.	中央線四谷驛前土留擁壁切梁埋設し状況	
393.	中央線四谷驛附近御所隧道々床コンクリート竣工状況	118
394.	同 上 コンクリート一部側面	
395.	同 上 織造に使用せるシート・バイル打込後の状況	
396.	東北本線中日越河間散火闇改修工事齊川散火闇の景	119
397.	同 上 民家の反対側	
398.	同 上 曲線部内側	
399.	中央本線小佛隧道排煙装置工事機械室前景	120
400.	同 上 風道外部	
401.	同 上 機械室内部	
402.	常磐線傾城山隧道改築工事擴築隧道支保工及掘鑿	121
403.	同 上 在來隧道取鑿中	
404.	同 上 在來隧道補強拱架支保工組立	
405.	東北本線針生隧道改築工事擴築隧道拱架組立及側壁コンクリート施工	122
406.	同 上 在來隧道補強拱架組立	
407.	熱海線丹那隧道工事(其一)熱海口導坑 9180 呎附近セメント高壓注入箇所に於ける試錐口 の湧水	123
408.	同 上 水抜坑 9213 呎附近湧水	
409.	同 上 沼津口水抜坑に於ける鐵製支保工	
410.	同 上 (其二)熱海口水抜坑に使用せらるシールド組立	124
411.	同 上 热海口水抜坑に於ける鐵製セグメント覆工	
412.	同 上 热海口型築用鐵製拱架	
413.	同 上 (其三)熱海口水抜坑に於てエアー・ロック入口より坑奥を望む	125
414.	同 上 热海口セメント高壓注入作業	
415.	同 上 热海口水抜坑に於けるシールド	
416.	同 上 (其四)沼津口導坑掘鑿中の湧水	126
417.	同 上 沼津口大正 14 年 5 月, 7080 呎 附近導坑に於て遭遇せる大湧 水の際の坑外状況	
418.	同 上 坑内状況	
419.	同 上 沼津口水抜坑に於けるエアー・ロック	
420.	同 上 (其五)沼津口水抜坑 7082 呎附近湧水	127
421.	同 上 沼津口水抜坑 7 227 呎附近湧水	
422.	同 上 沼津口注入後の薬液及セメント分布状態	
423.	同 上 (其六)沼津口水抜坑の湧水	128
424.	同 上 沼津口 4 950 呎附近導坑に於ける薬液及セメント高壓注入坑	
425.	同 上 沼津口中脊盤坑道 7 821 呎 附近大空洞	
426.	上越線清水隧道工事(其一)高崎口導坑に於てマイアース・ホエーレー研出機に依る研出	129
427.	同 上 長岡口土運車遷移機	
428.	同 上 長岡口支保工	
429.	同 上 長岡口導坑に於てインガーソル・ランド R-72 薙岩機に依る穿孔	
430.	同 上 長岡口型築用拱架	

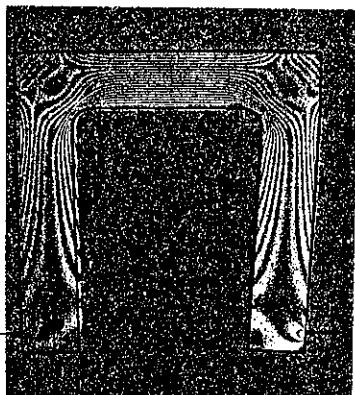
431.	同	上 (其二) 長岡口空氣壓搾機室 .....	130
432.	同	上 長岡口換氣機室	
433.	同	上 長岡口ジヤイレトリー・クラツシャー及ジョー・クラツシャー に依る砂利製作並にクローム式ロール・ミル及コニカル・ホー ル・ミルに依る砂製作場	
434.	同	上 高崎口蓄電池機關車の充電	
435.	京都電燈株式會社	叡山空中ケーブル釣瓶式運轉多線式旅客用索道 .....	131
436.	同	上	
437.	東北本線	尾久驛客車操車場 .....	132
438.	東海道本線	吹田操車場	

以

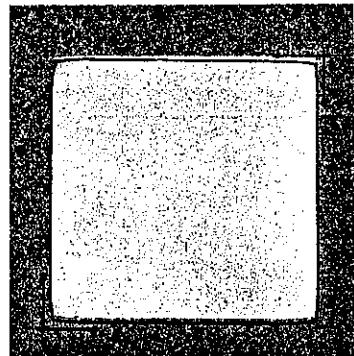
上

フェノライトを用ひたる光弾性圖

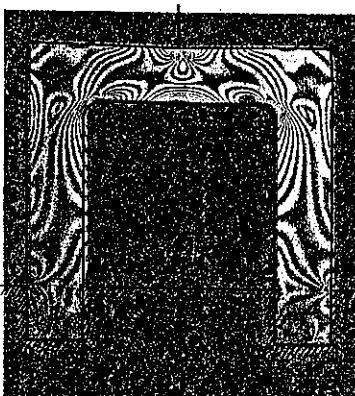
框構の場合



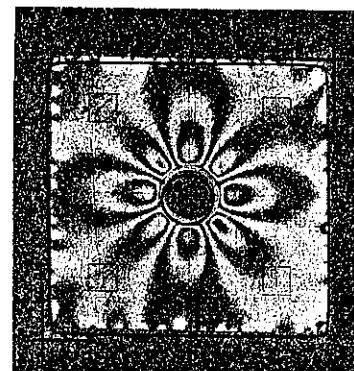
1



4

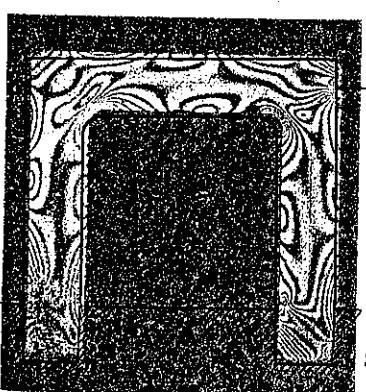


2

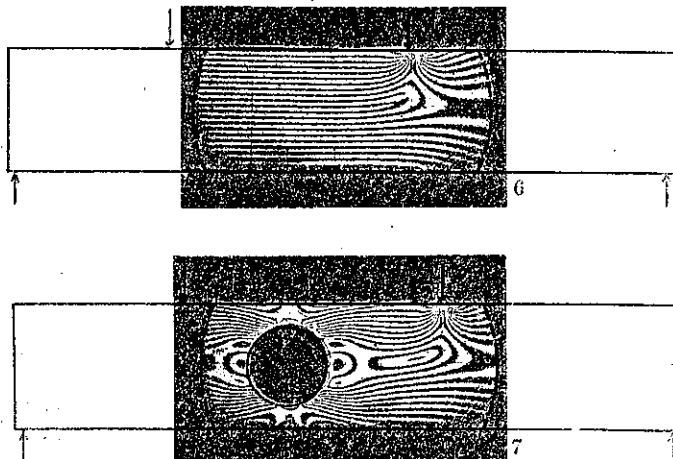


5

一様なる剪力をうへたる場合



3

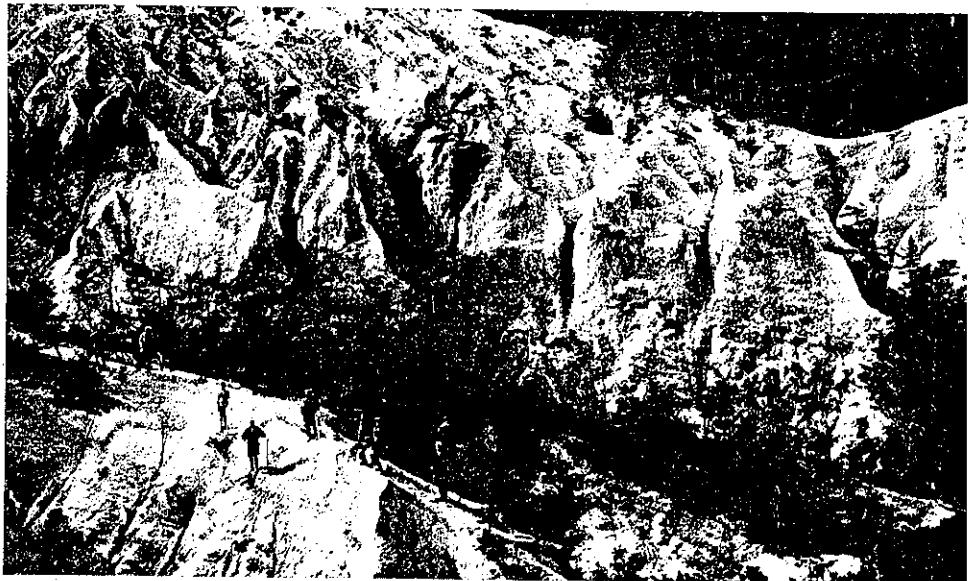


6

7

(理研 辻)

奈良縣北葛城郡志都美村大字今泉砂防設備地



14

同上施行 18 年後の状況

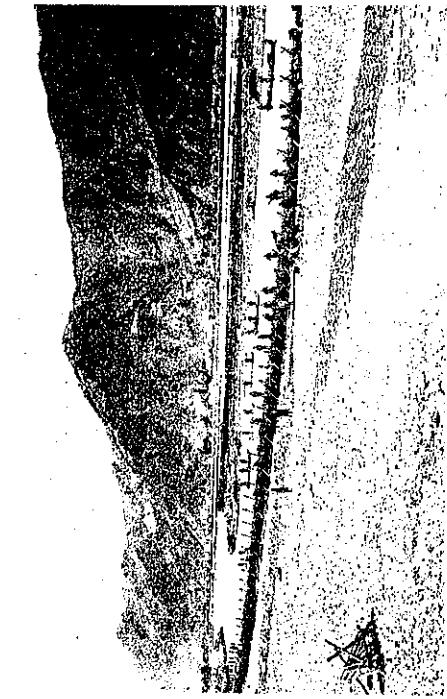


15

同上 松, 山楂 成長の状況

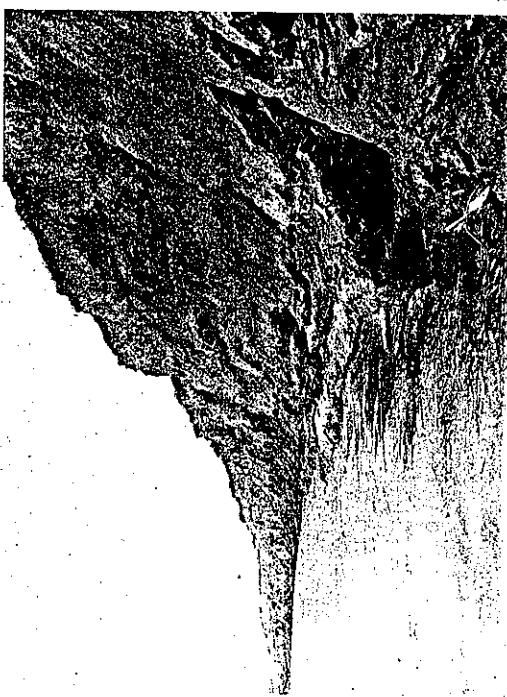


16



17  
護岸工事施工の爲假水路を掘鑿し川倉幅3.6米、2.7米及2.1米を併用し木端を繋ぎ假水路に放流す

自然の盡に放任せられたる石持川河岸



18

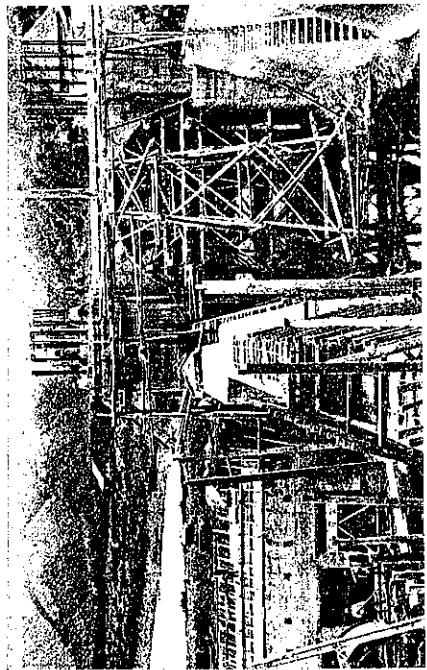


下段より柳第1號、第2號、第4號、第5號・石川縣施行  
柳第7號・内務省施行、河底勾配1/5

19

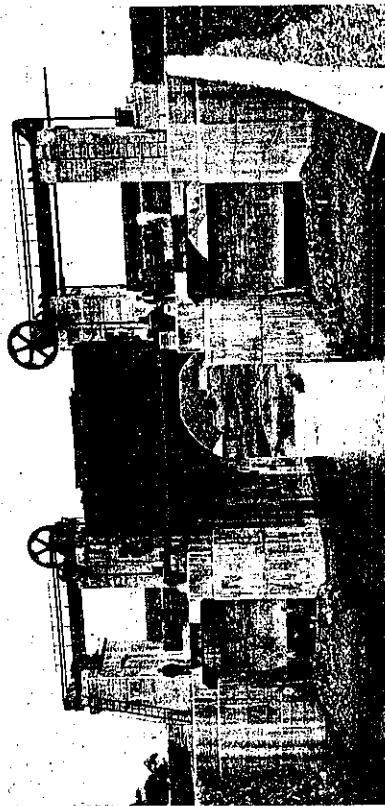
# 北上川改修工事

洗堰及閘門工事の状況(宮城県桃生郡桃生村小船越谷地内)



20

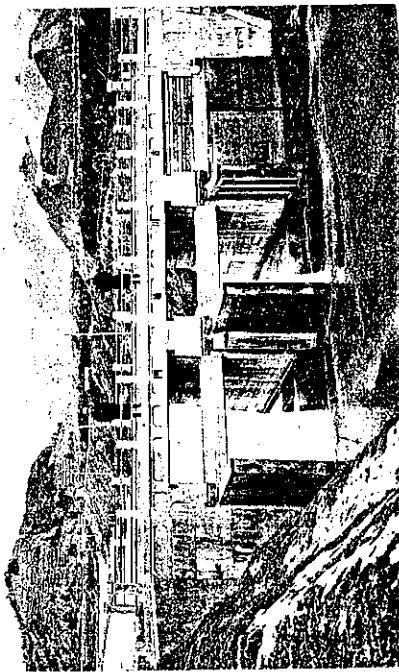
福地水門(追波川筋大川村福地内)



21

洗堰 据長さ 22.3 米、幅 14.6 米、高さ 6.05 米、水頭幅 2.35 米、高さ 1.65 米、6 門、閘門長さ 73.4 米、高さ 14.1 米、餘有效長 60.0 米、扉室給通し鉄形、有効幅 7.9 米、高さ 9.7 米、開至幅 11.2 米

合戦谷新川筋古川堰門(宮城県桃生郡大谷地村小船越地内)



22

月演第一水門(追波川筋左岸)



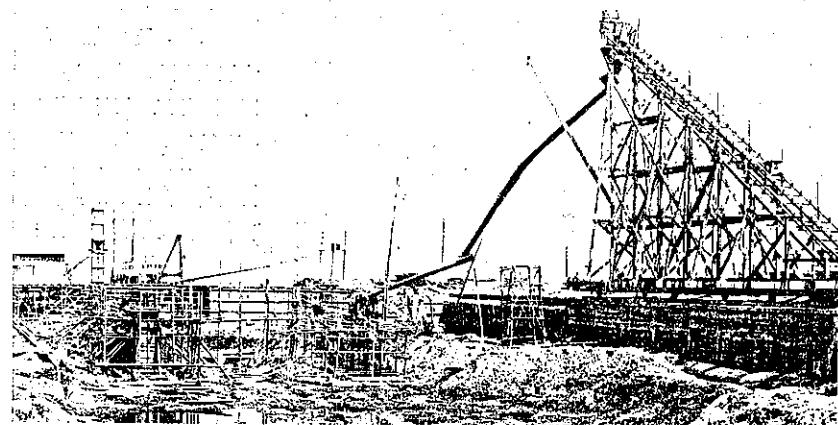
23

高さ 5.8 米、幅 4.5 米、4 連、基礎岩盤均シングルアーチ、本體コーンクリート揚河部、通口上鍛筋コーンクリート杭橋、扉水造自由開閉式逆止用、上部角格子

長さ 5.75 米、径間 3.636 米、高さ 3.03 米、3 門、基礎岩盤上ヨ

シングルアーチ、本體コーンクリート揚河部、通口上鍛筋コーンクリ

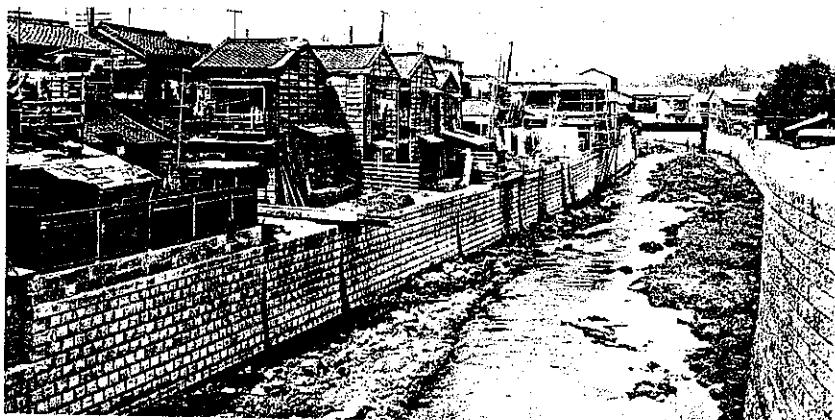
ート杭橋、扉水造自由開閉式逆止用、上部角格子



← 東京府目黒川改修工事

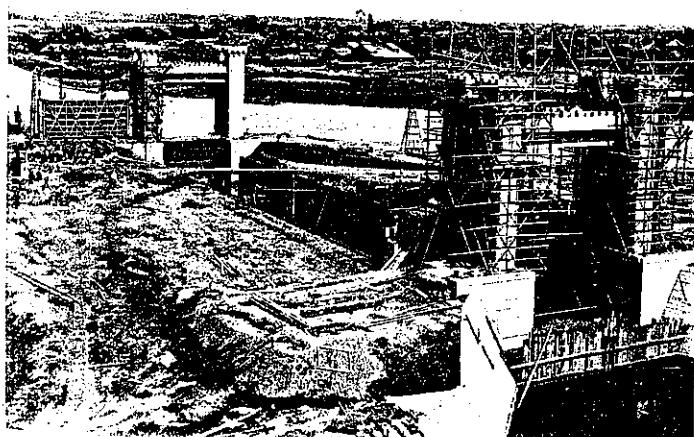
新河口護岸並に水路掘鑿工事功、昭和橋工事中の實況(該箇所は埋立護岸用ケーン製作乾船渠として利用せり)

24



東京市古川改修工事竣工の状況  
現在河底より尙 1.5 米以上  
浚渫の豫定

25



← 荒川改修工事船堀閘門

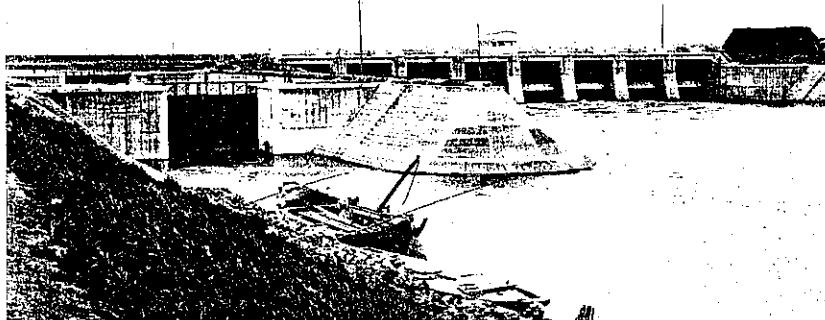
基礎 米松杭の上部に鉄筋コンクリート床版を置く、扉 摺揚式、閘室 鉄矢板側壁、幅 14.0 米、長さ 76.6 米、扉室 幅 11.0 米、長さ 10.4 米、塔 鐵骨コンクリート 2.4 米角、高さ側壁上約 15.0 米、8 基、排給水渠 開閉弁付暗渠、摺揚装置 塔橋上の 60 馬力モーターに依り 1 分間 8 米の速度にて摺揚ぐ、電力は 100 馬力ディーゼル・エンジンに依り自家發電とす

26

江戸川改修工事

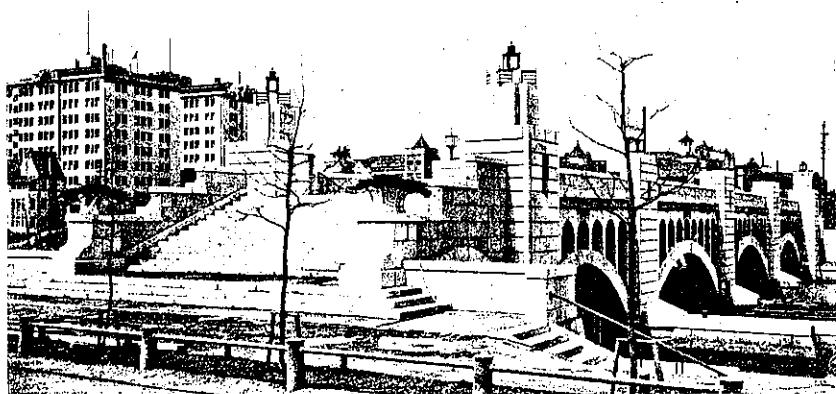
←開宿閘門及水堰工事

水堰 径間 7.6 米のもの 8 径間，閘高江戸川低水位より 4 尺低し，閘門閘室長さ 60 米，有効幅 9.0 米，閘高上扉室江戸川低水位より 5 尺低し，下扉室江戸川低水位より 7 尺低し



27

大阪市 島川可動堰

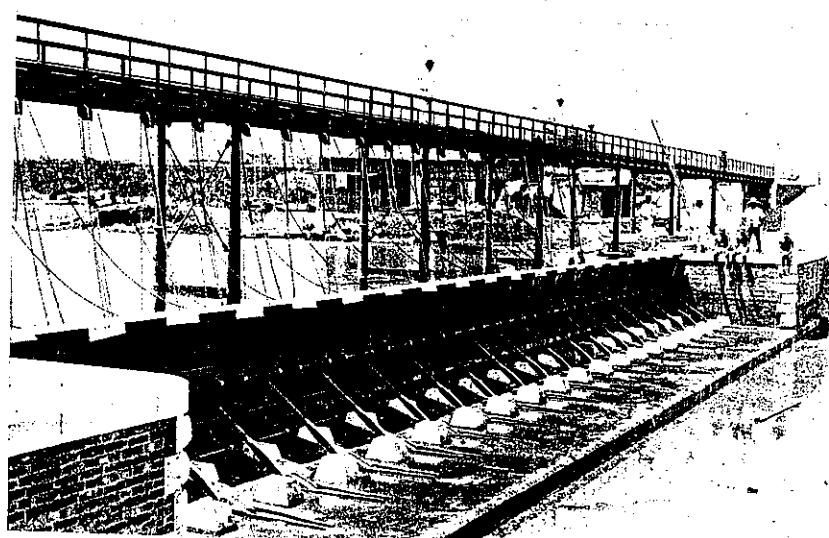


28



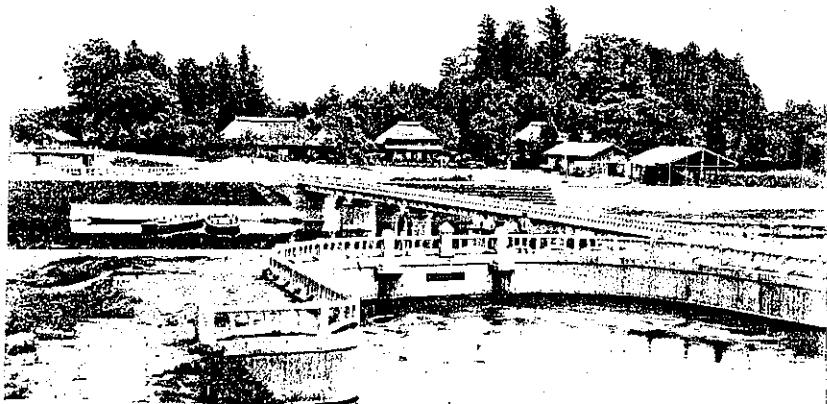
→埼玉縣古利根堰  
埼玉縣南埼玉郡増林村古利根川筋，灌溉段別 7 600 町歩，用水堰上高 11 尺，計画最大通水量 2 500 立方尺，通水幅 10 尺のストウニー式捨製扉 8 連にして捲揚高 11 尺，所要時間 1 人掛にて約 7 分

29



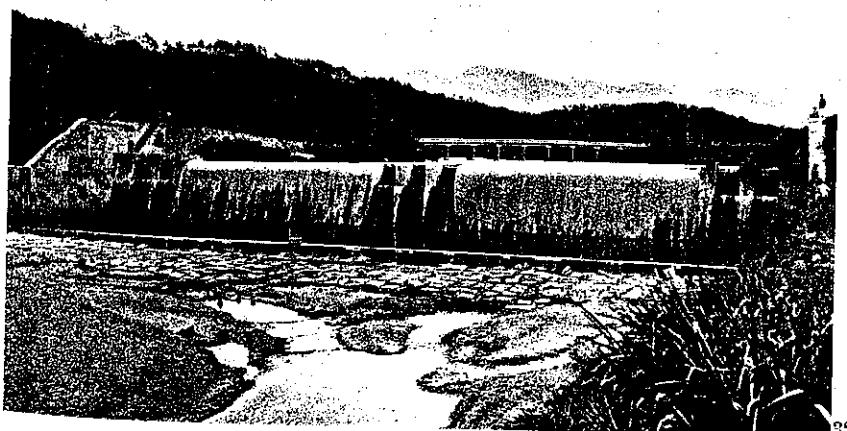
埼玉県大里郡  
← 小山川 矢島堰  
延長 110.8 尺、幅 4 尺、21  
連、堰上高 5 尺  
用水名 備前渠用水延長 5 里、  
灌漑段別 1100 町歩、堰の  
型式 シャノアン式起伏堰

30



埼玉県柴山伏越 →  
柴山伏越吐口より呑口の方  
を望む、橋梁を架設せるは  
元荒川なり

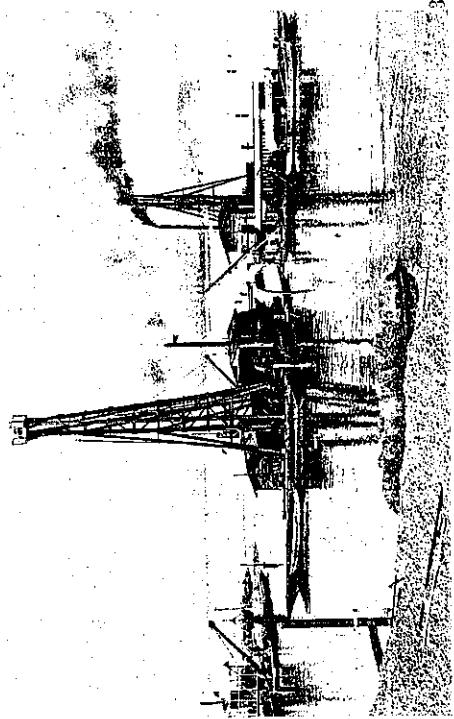
31



鰐石川改修附帶工事  
← 藤井堰（新潟県刈羽郡  
田尻村）  
灌漑段別 500 町歩

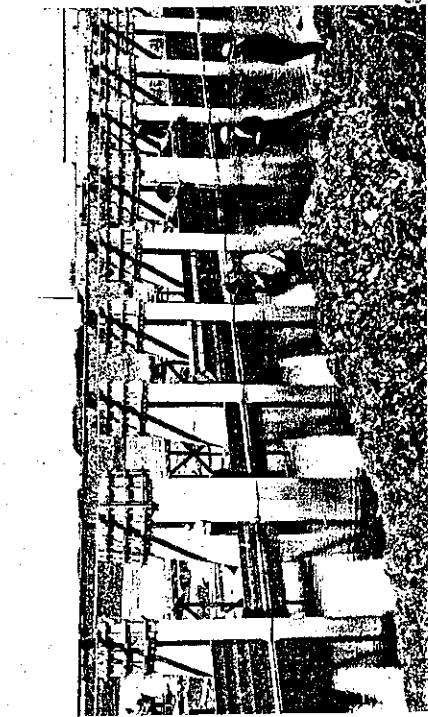
32

信濃川大河津分水工事

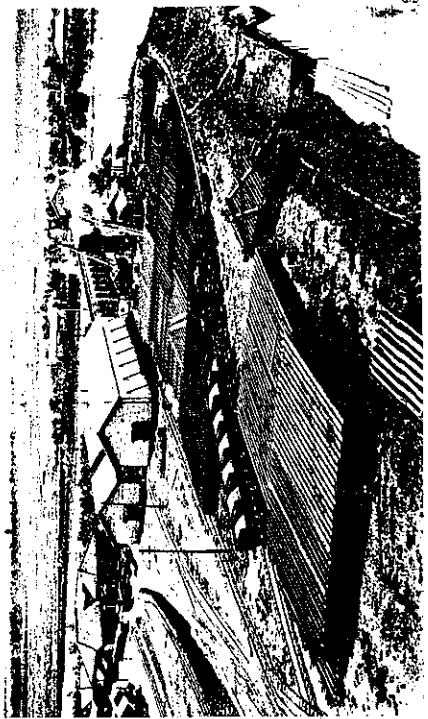


33

34



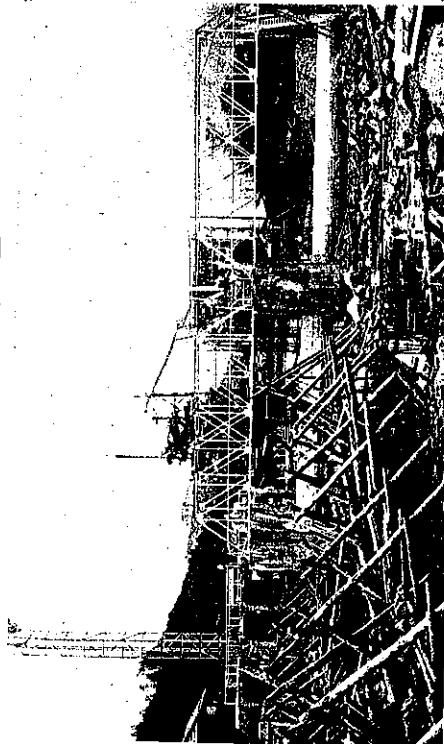
35



36

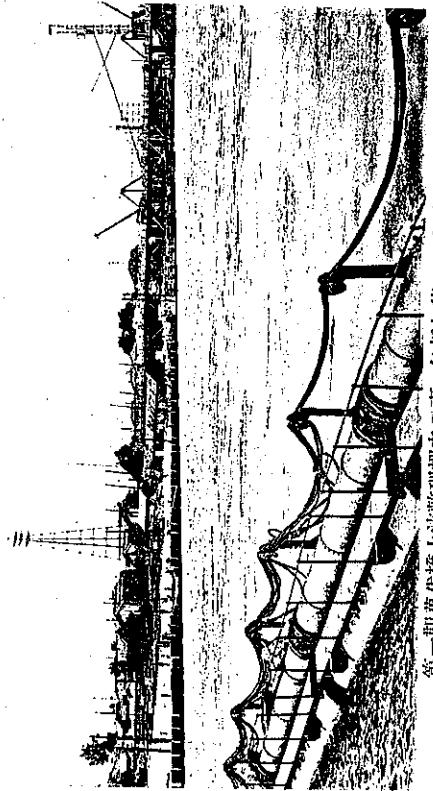
長野縣西天龍川河床整理工事

信濃川大河津萬代橋間河牀整理工事



取水河川名天龍川、取水口の位置 龍門郡川尻村天龍川左岸、最大取水量 2000トン、  
取入口の構造ローラーリンガ・ダム、シリンドラー・ダム、シングル・ダム、  
重量 25噸、灌漑面積 約 1240町歩

高知県仁淀川尾  
(本川尾は門洲の爲に泄水位嵩み被害甚大なりしが大正14年以来水制を出し又は延長して水勢を  
利用し逐年該寄附を流失せしめ昭和2年に完全に流過し泄水位を著しく低下せしむるを得たり)



第一期萬代橋上流整理堆立工事、矢板打終り鋪定壁駆置工



門洲の流れ失前



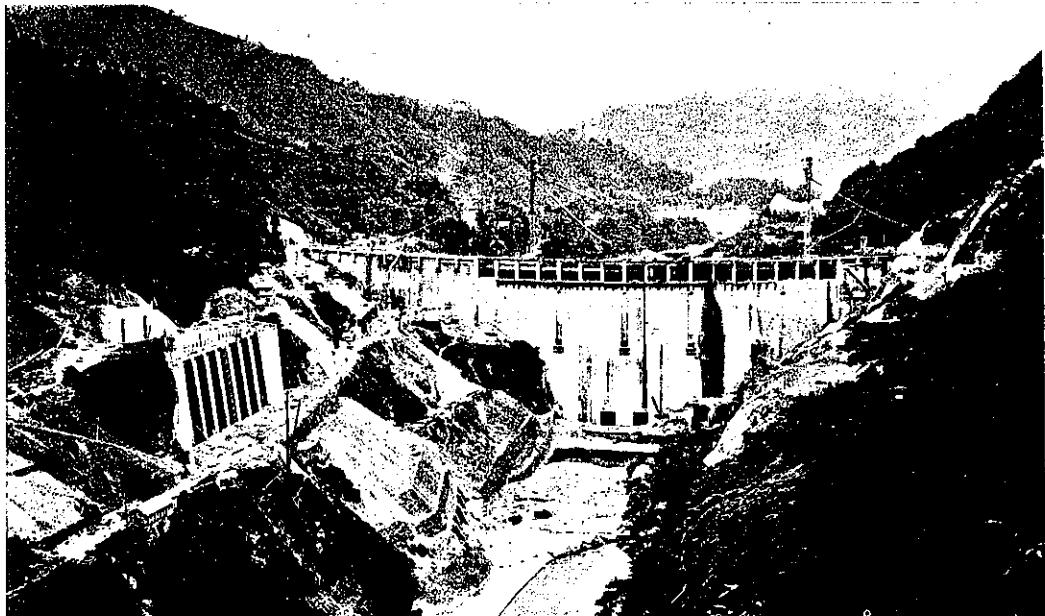
門洲の流れ失後

## 庄川水力電氣株式會社小牧發電所

使用水量(最大) 4 900 個, 常時 2 900 個 有効落差 236 呎

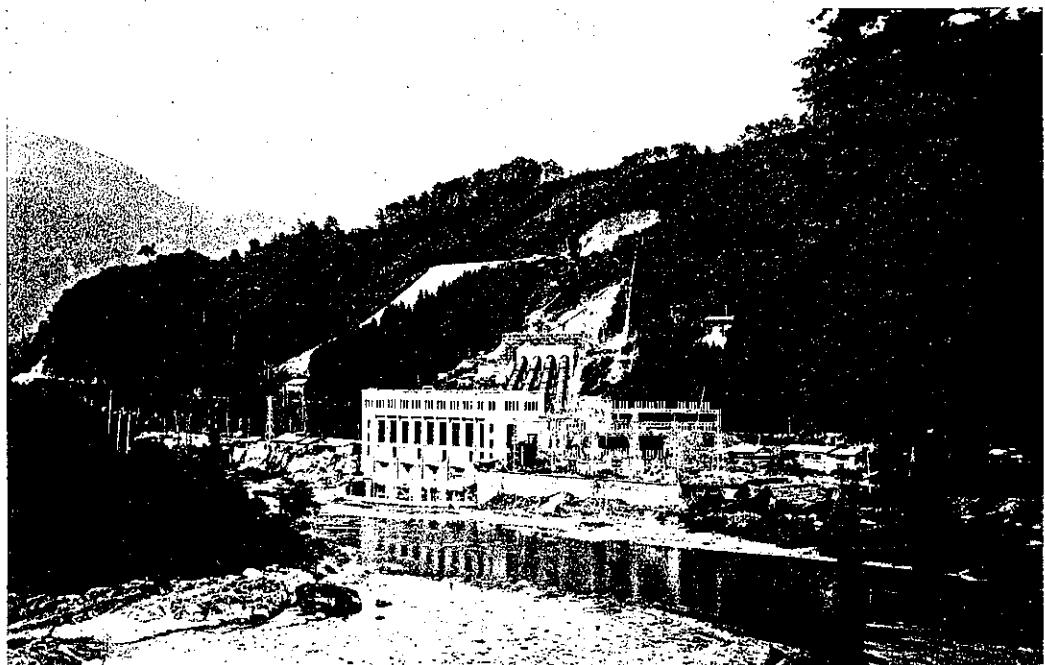
發電力(最大) 72 000 kw., 常時 43 200 kw.

壠堤 拱形重方式, 高さ 260 呎, 長さ 1 000 呎, 底幅 216 呎, 曲半徑 880 呎, 構造 塊石入コンクリート造  
(壠堤の左側前方に見ゆるは取水口にして其の左側に見ゆる圓形空筒は材料運搬及交通用隧道なり)



41

上流より取水口を経て壠堤工事を望む

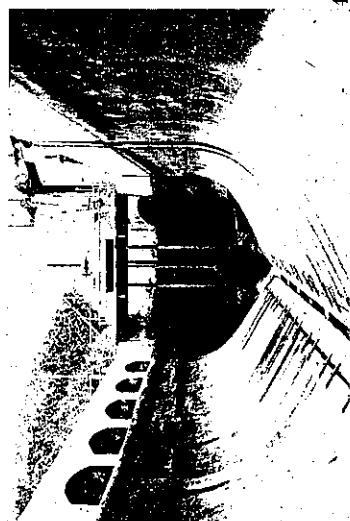


42

發電所遠景

岡崎電燈株式會社矢作川發電所排砂池

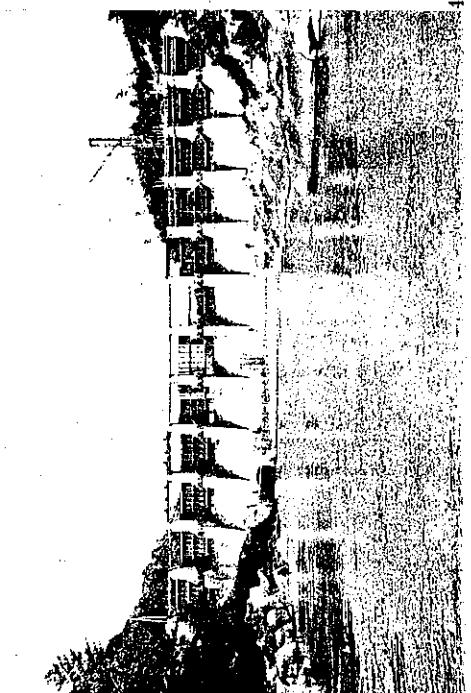
ヘンリー・デュフォア式自働排砂装置 本裝置は絶えず沈砂を排除する特徴とす、又汎砂流入口に等速スクリーンありて流水速度を均等ならしむ



43

三河水力電氣株式會社矢作川第一發電所

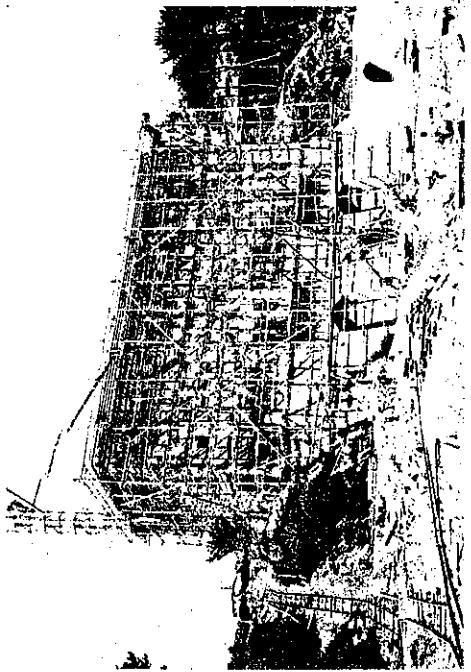
有効落差 18.65 米、使用水量 1,835 個、出力 7,500 kw.



45



44



46

電發所建家 鋼筋コンクリート造、建坪 618 平方米、  
總高 28.4 米、最大泄水量 94,000 個  
テンスター・ゲート 7.518×6.06 米 12 門、最大泄水量 4,000 kw、2 台

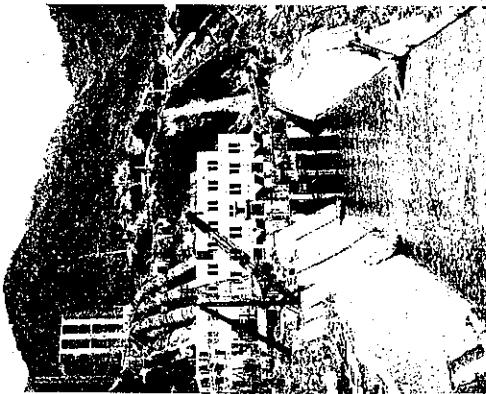
昭和電力株式會社庄川第二發電所(其二)

使用水量 2,970 個, 有效落差 220 尺, 運輸馬力(最大) 73,538 馬力, 發電力最大 45,594 kw., 有効貯水量 300,000,000 個  
堰堤直線重方式, 堤高(最高) 242 尺, 堤長 422 尺, 敷幅 215 尺, 堤頂に於ける幅員 15 尺



47

發電所



48

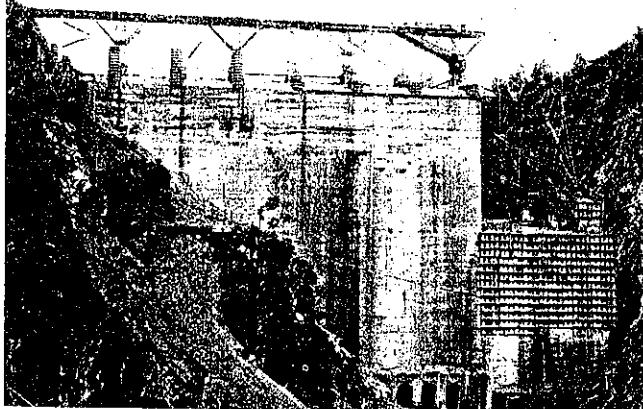
發電所



49

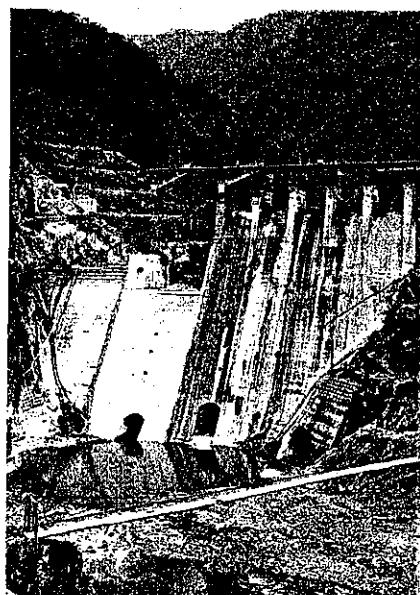
全 景 堤

昭和電力株式會社庄川第二發電所(其二)



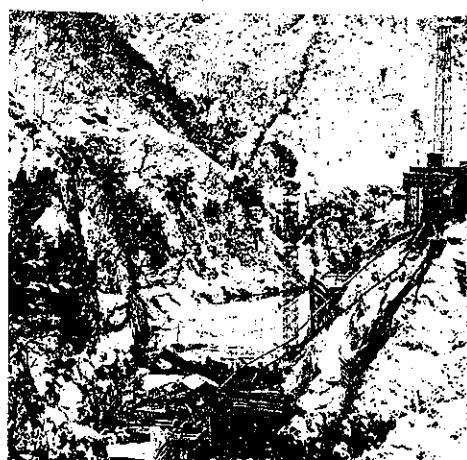
上流より見なる堰堤

50



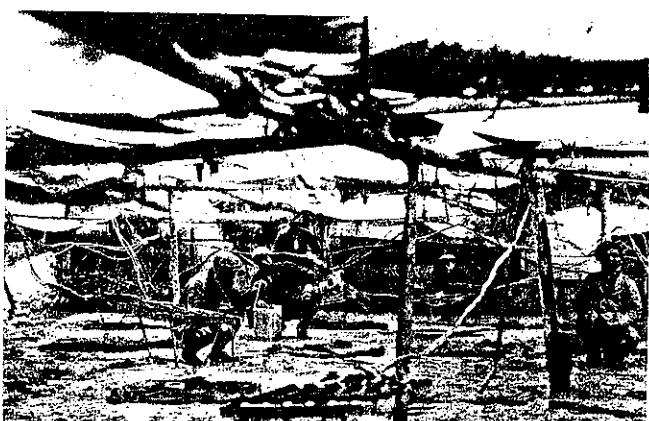
下流より見なる堰堤

51



堰堤コンクリート保溫及其の附近

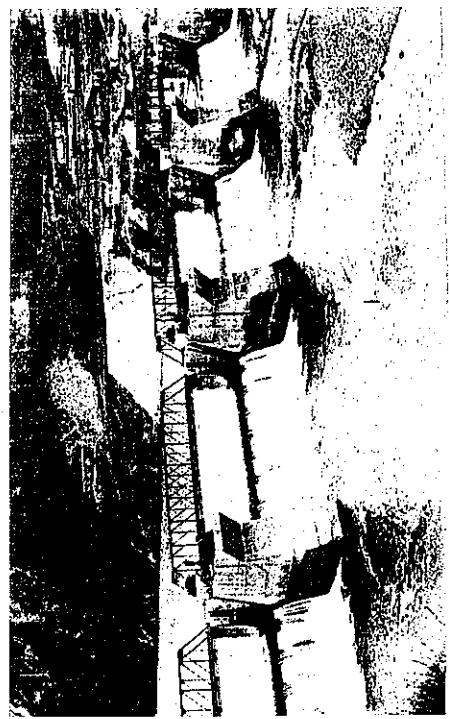
52



堰堤コンクリート保溫の景

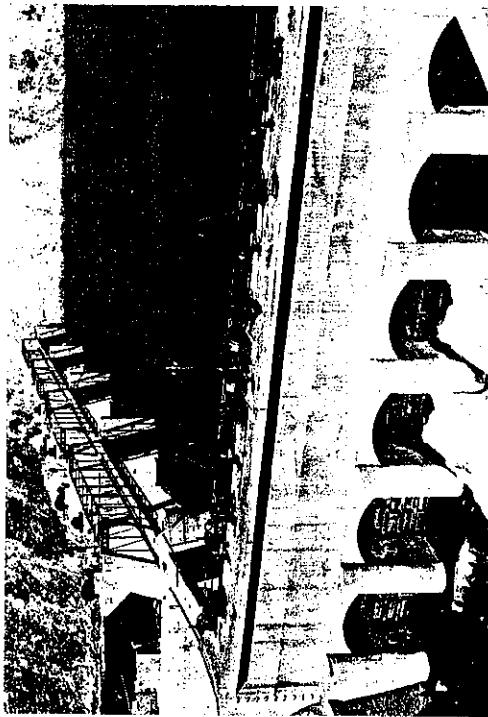
53

天龍川電力株式會社發電所



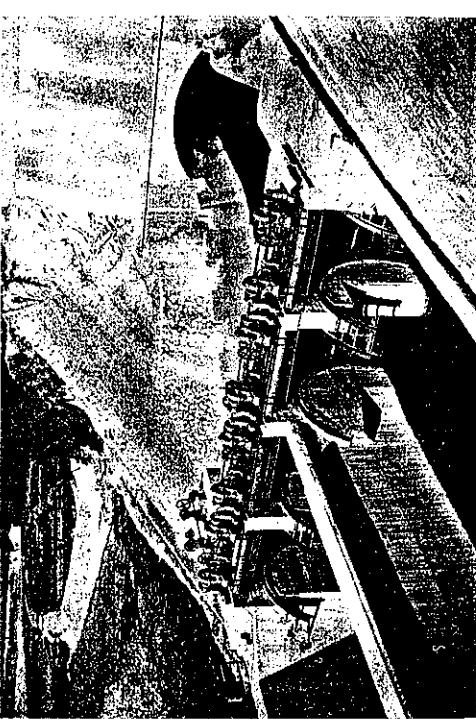
54

堤



55

取水口



56

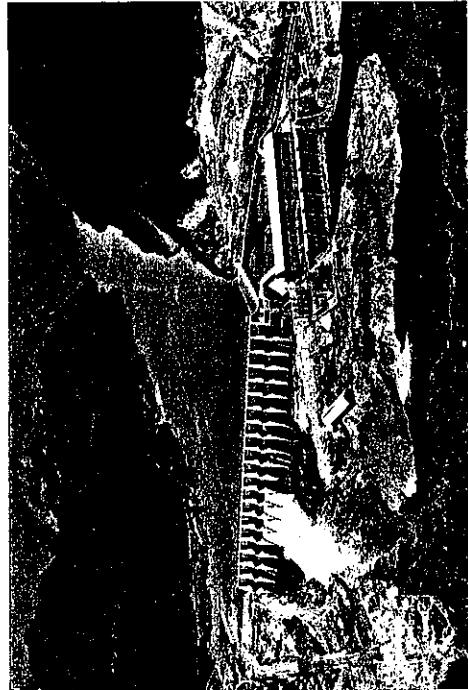
沈砂池第一制水門



57

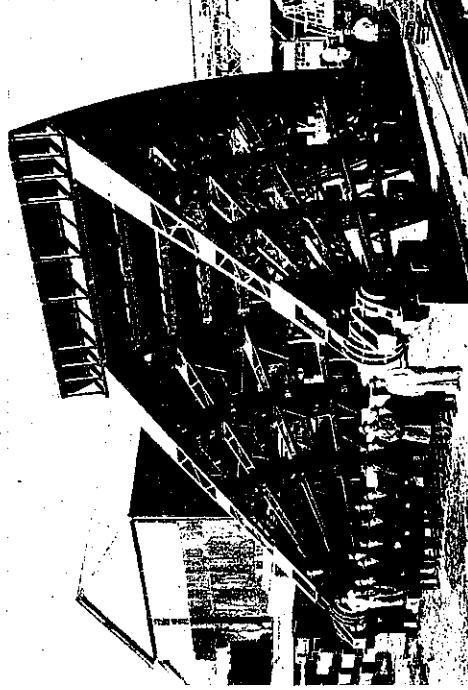
魚梯

東信電力株式會社鹿瀬發電所全量  
出力 40 400 kw, 有効落差 74 尺, 水量(常時)毎秒 4,000 立方尺,  
(最大)角秒 8,000 立方尺, 脈水量(使用)100,000 立方尺, 每秒 4,000 立方尺以内  
堰堤 延長 1,093.3 尺, 內 71.4 尺は溢水堰堤にして高 93.6 尺, (内 32 尺はテンダー・ゲート)  
テンダー・ゲート 高 32 尺, 幅 30 尺, 銛製 20 門



58

東信電力株式會社豊質發電所  
出力 44,800 kw, 有効落差 82 尺, 水量(常時)毎秒 3,900 立方尺,  
(最大)角秒 8,000 立方尺, 脈水量(使用)100,000 立方尺以内  
堰堤 延長 678 尺, 高 99 尺 (内 32 尺はテンター・ゲート)  
テンター・ゲート 高 32 尺, 幅 30 尺, 銛製 19 門



59



(其一) テンター・ゲート

60

(其三) 同左



(其二) 工事中の豊質發電所及堰堤

中 國 合 同 電 氣 株 式 會 社 恩 原 貯 水 池 (其一)

最深部水深 70 餘尺，有效容量 9 000 餘萬立方尺，滿水面積 105 000 餘坪



62

昭和 8 年 4 月上旬融雪季に貯水を初め満水せし貯水池は必要の放水を続けて秋季に及び池内掃除と跡片付の爲遂に全貯水を一旦放流することゝし、牛臘振りにて池底の苔態を見る有様、右端はダムの遠望、左端は恩原部落（戸數 6 戸）



63

満水オーバー・フローせる貯水池（右端上部は洪水吐渠に接くダム主導部）

中國合同電氣株式會社恩原貯水池（其二）

ダム背面 主要部 20 尺、徑間 12 游り、延長 240 尺、基面よりの高さ 76 尺

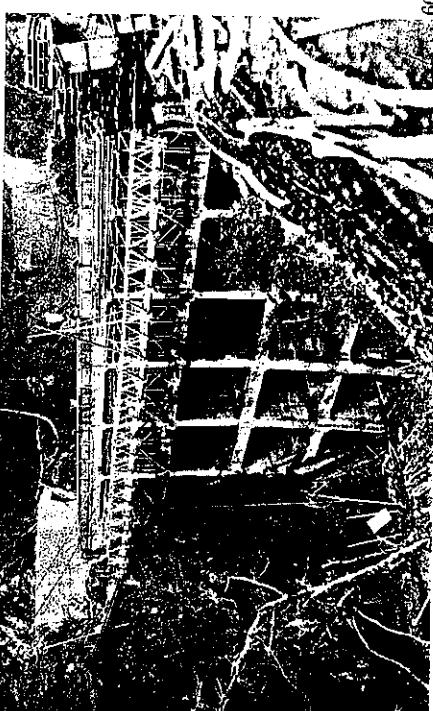
ダム前面 川水は排水孔より放流しつゝあり、四角に見ゆるは取水口孔



64

日本海電氣株式會社小口川發電所中壩堤

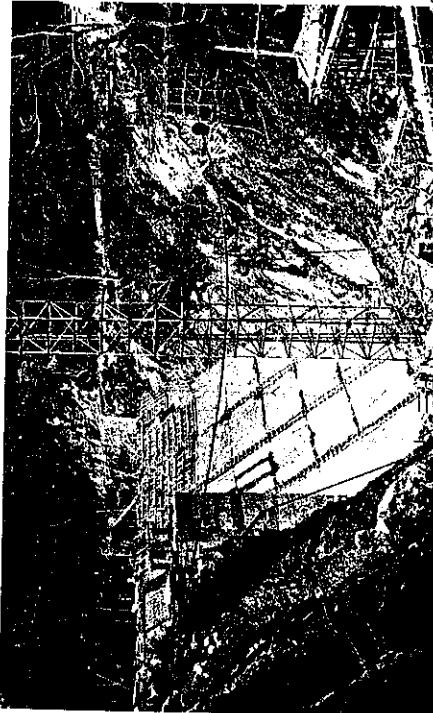
使用水量 最大 50 個、有效落差 2100 尺、出力 7,150 kw、壩堤總長 202 尺、最高部 87 尺、コンクリート總計數 660 坪



66



65



67

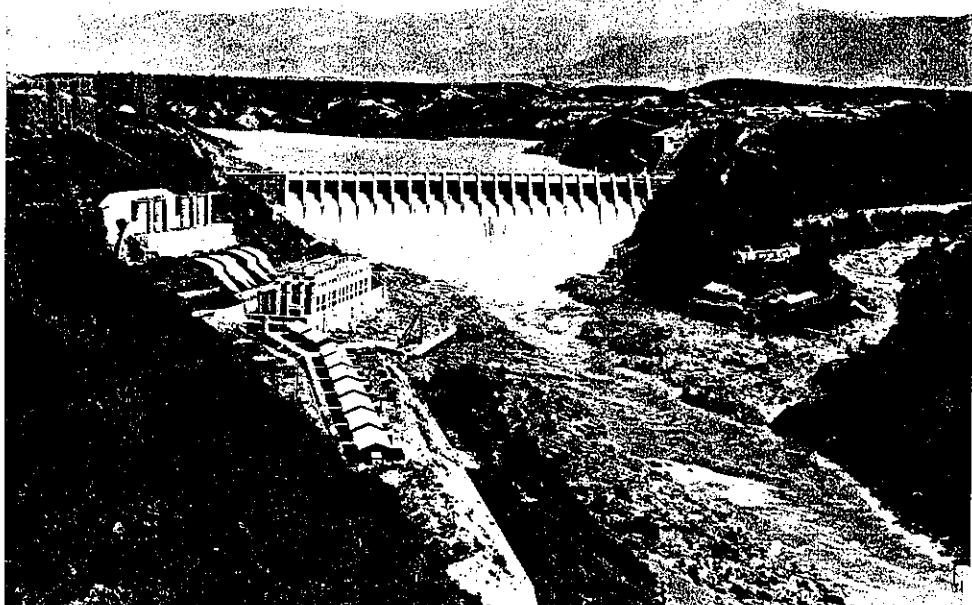
壩堤完成 右方の陸道は取入口等の流入口、左方は取水塔(引出ロ)

## 大同電力株式會社木曾川大井發電所

有效貯水量 400 000 000 立方尺，使用水量(最大) 4 500 個，有效落差(最大) 140 尺

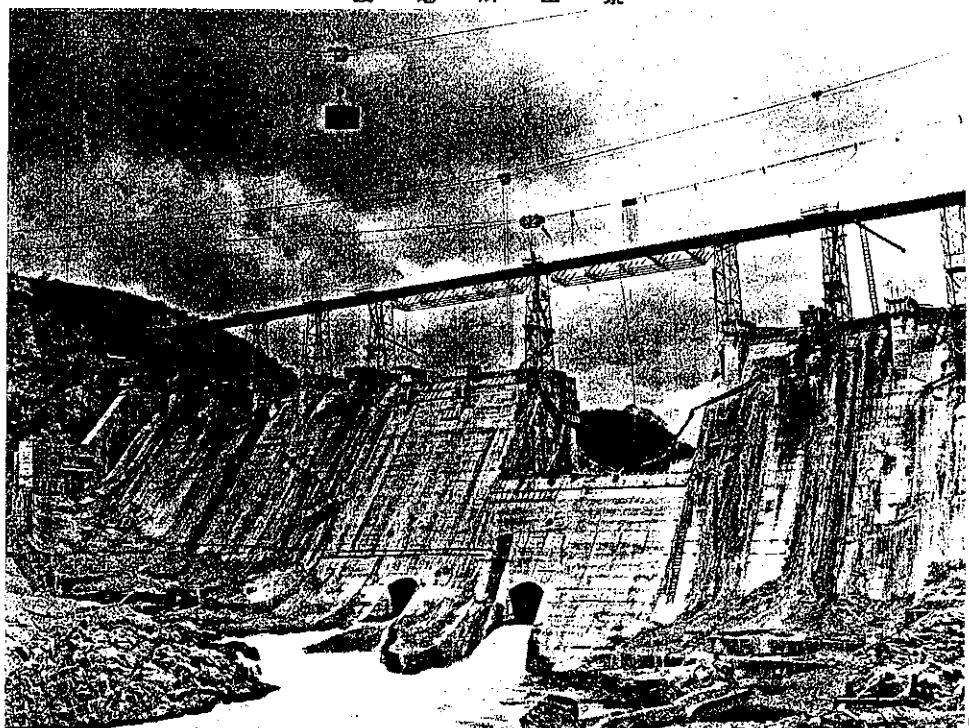
馬力數 69 300 馬力，出力 42 900 kw.

堰堤 直線狀重量式，高 184 尺，堤長 910 尺，敷幅 174 尺，堤頂に於ける幅員 17 尺，堤體總坪數 27 000 立坪



發電所全景

68



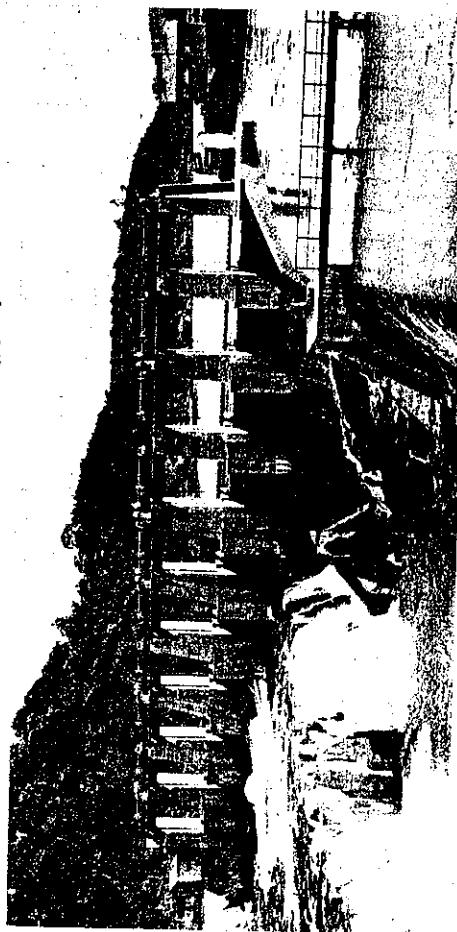
工事中の堰堤

—( 20 )—

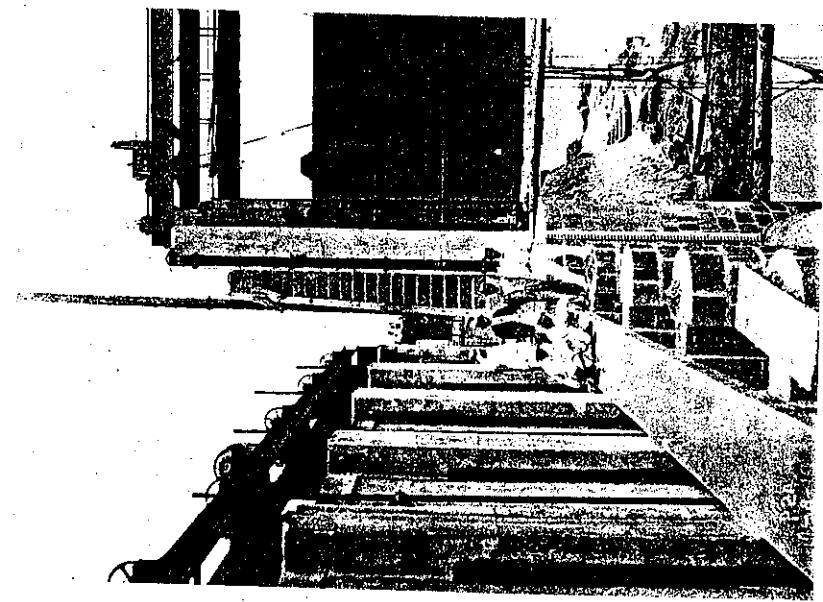
69

電氣化工業株式會社大淀川水力發電所  
使用水量 1,600 立方尺/秒，有效落差 140 尺，發電力 15,000 kw。取入口にストップ・ゲート式可動堰を設けて河川を遮斷す。門扉高 15 尺，幅 20 尺，11 門

取入口堰堤及門扉（其一）

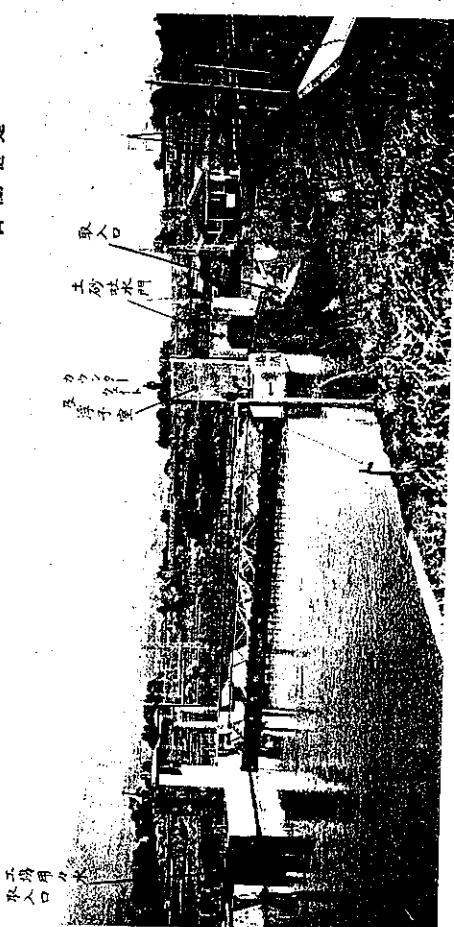


取入口堰堤及門扉（其二）



71

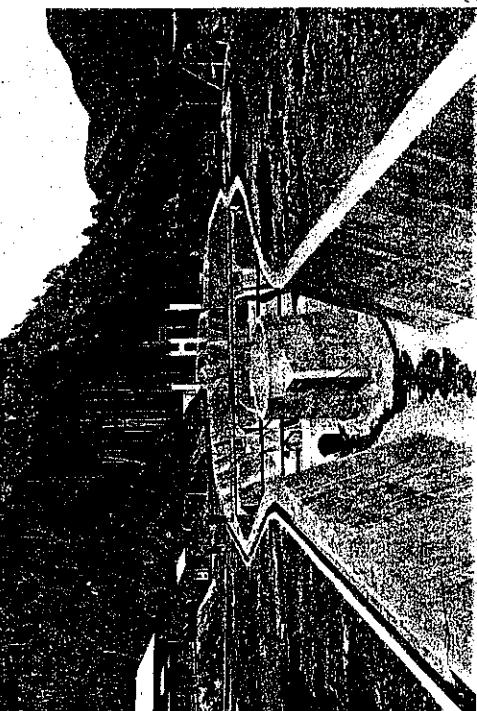
富士製紙株式會社閑川第二發電所取入口自衝堰堤



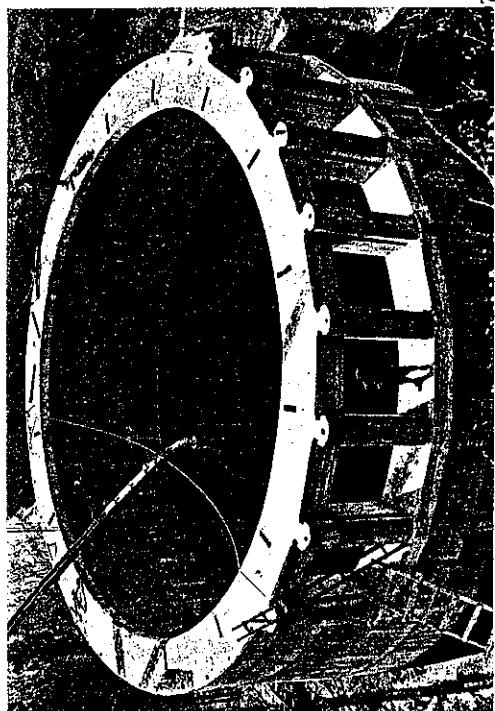
72

群馬水電株式會社松谷發電所

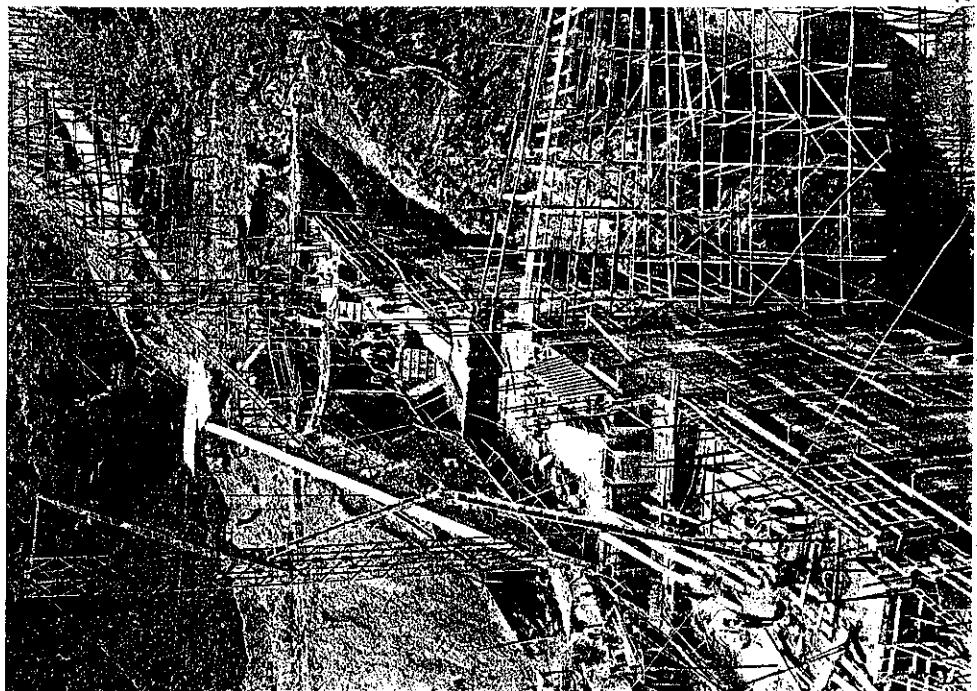
使用水量 尖頭負荷時 359 億，渦水時平均 595 億，有效落差(最大) 378 尺，發電力(最大) 21 732 kw.



沈砂池 長 36 間除、幅 9 間除



— ( 22 ) —

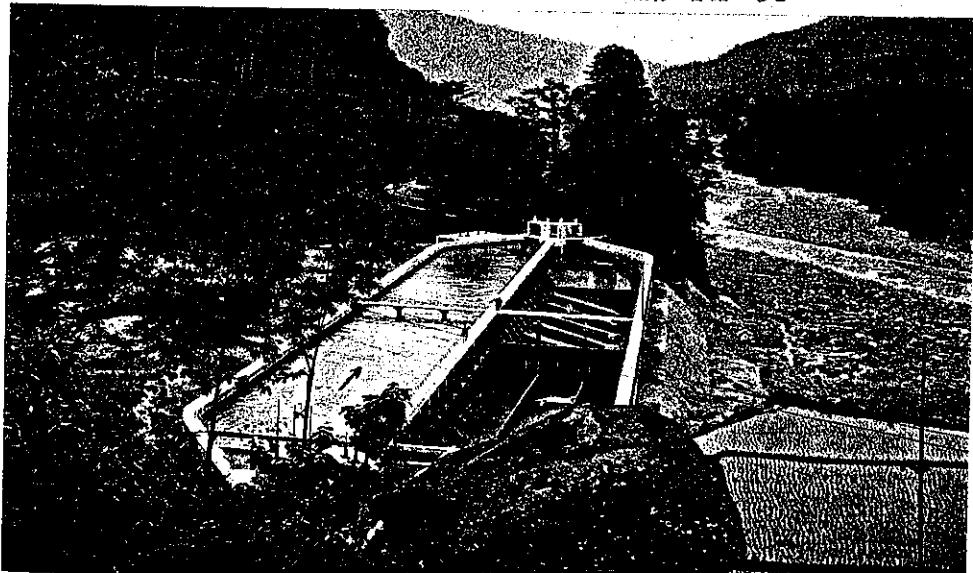


サージ・タンク 水頭隧道の終端にあり、内管 45 尺、高 76 尺、鉄筋コンクリート造  
調整池堰堤 渣水面積 8,360 呎、有效貯水量 6,000,000 立方尺、  
堰堤高 125 尺、コンクリート容積 4,890 立方尺

## 富山縣營常願寺川松木發電所沈砂池

使用水量 540 個, 有效落差 138 尺, 出力 (常時) 3 350 kw., (特種) 1 250 kw., 合計 4 600 kw.

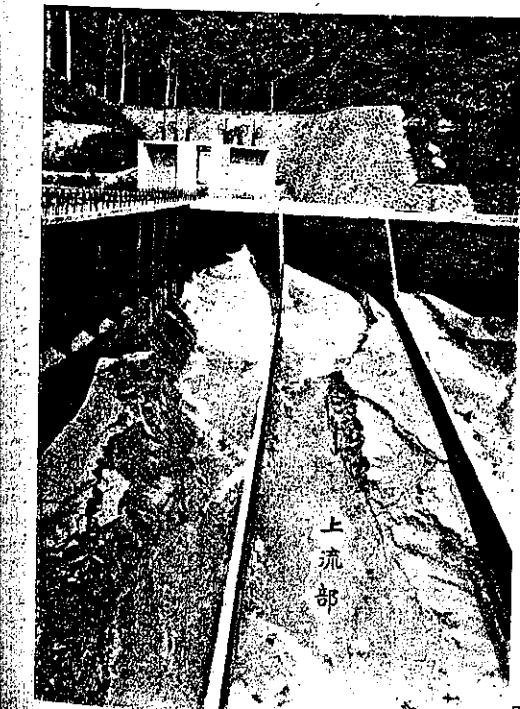
沈砂池は隔壁により 2 室となり, 上下流に設けたる水門扉により一室に於ける沈滞土石の排出の際, 他室を「バイハロス」に使用す。沈砂池の上流部に於ては縦式とし, 二室を縱異して導流壁を設け, 池内の流速を各部均等ならしむ。沈砂土石は上流端の水門より引入れたる水にて洗ひ流し暗渠にて和田川に排除す。下流部は横式とし, 土砂を排出せしむるには池内を縦貫する隔壁中の轉扉の回転により水を流して暗渠に合流せしむ



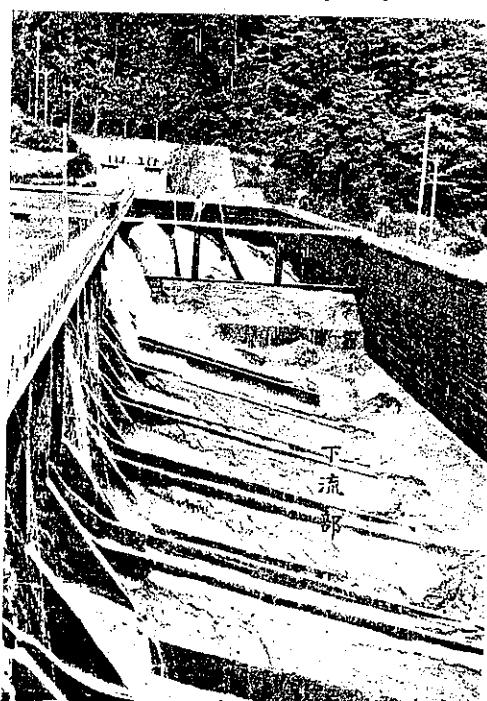
76

土砂排出状況 (其一)

土砂排出状況 (其二)



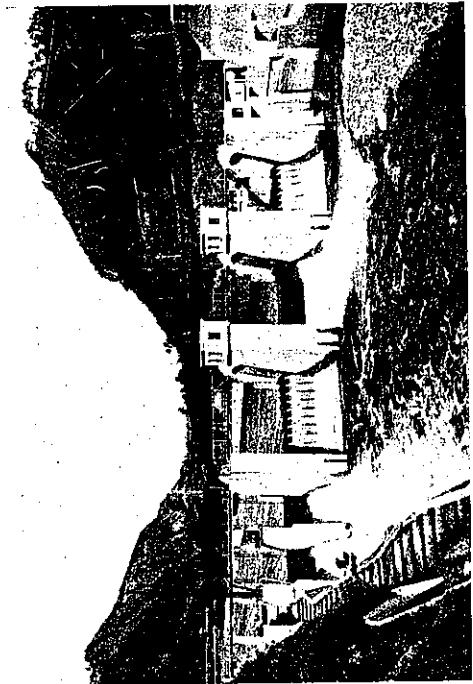
77



78

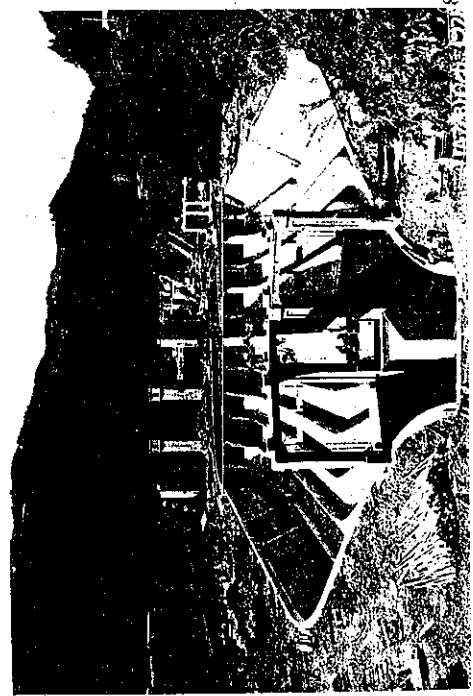
關東水力電氣株式會社利根川筋作久發電所（其一）

使用水量（最大）2 125 立方尺，有效落差 336 尺，出力（最大）55 000 kw., 水路延長 6 690 尺

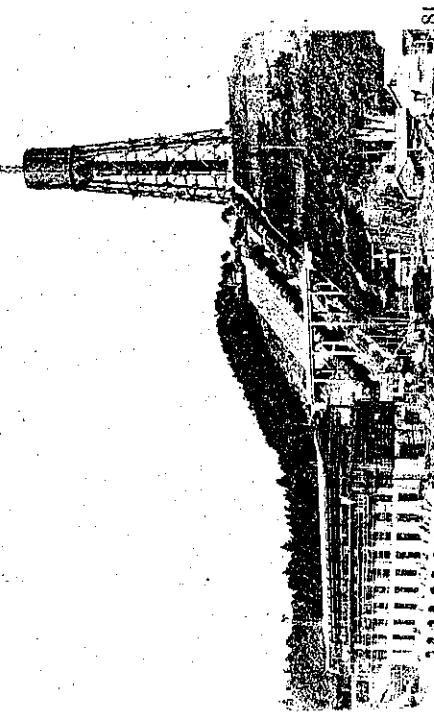


堤堰全景 固定堰 重力式直線堤，高 40 尺，底幅 354 尺  
ローリング・ゲート，長 58 尺，直徑 15 尺，3 門  
可動堰 ストーンニードル・ゲート，長 25 尺，幅 21 尺，2 門  
土砂処理水門，長 32 尺，幅 12.5 尺，3 門

— ( 24 ) —



溢洩池 長 600 尺，幅 180 尺，平均水深 20 尺，總面積 2 170 埃



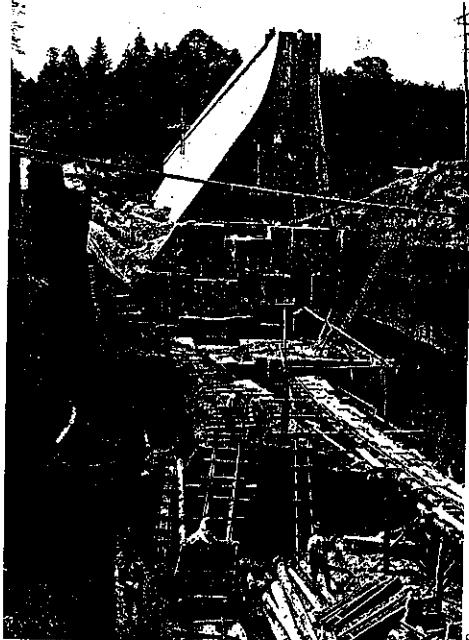
蓄水塔 容量 19 300 石 ディフレンジアル・サージタンク（タンク）高 91 尺，直徑 42 尺



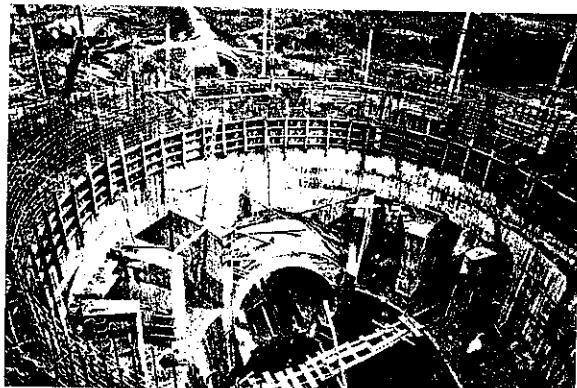
沈砂池 入口

182

關東水力電氣株式會社利根川筋作久發電所（其二）

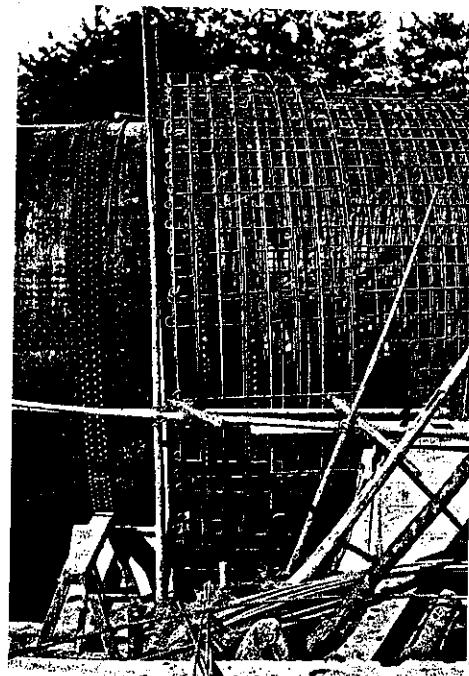


83

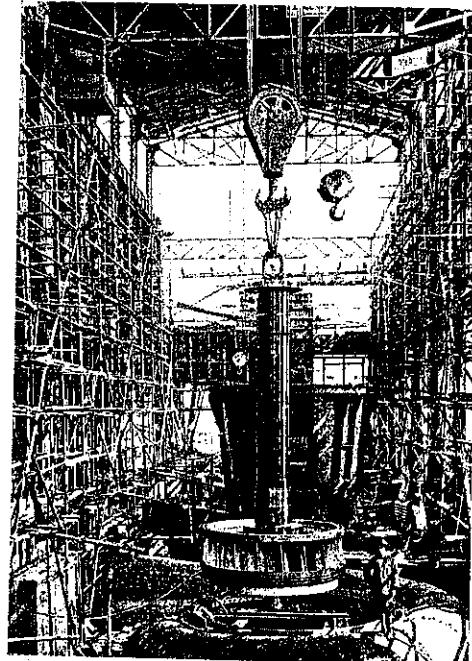


調整池槽

84



85



86

鐵管とコンクリート管との接續箇所

タービン据付中（フランシス・タービン）

東京市上水道(其一)

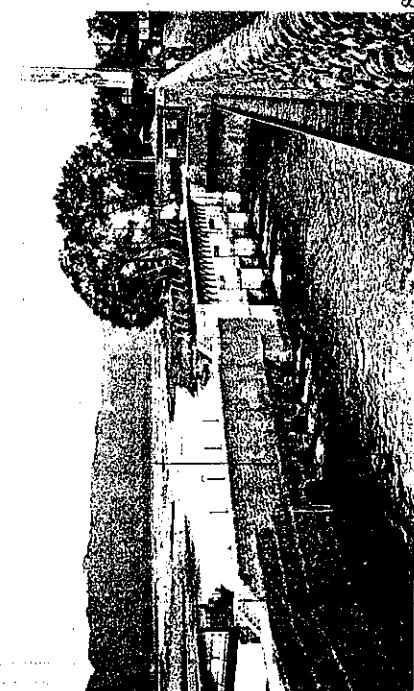
村山及山口貯水池の鳥瞰



87

東京市の方約30haにあり、多摩川より給水す。村山貯水池は其の容積17,700,000立方メートル、容積12,400,000立方メートル、山口貯水池は其の容積480,800立方メートル

羽村取入口



88

水源多摩川  
流域面積約1,232平方キロ、  
幹川延長約130km



87

村山貯水池



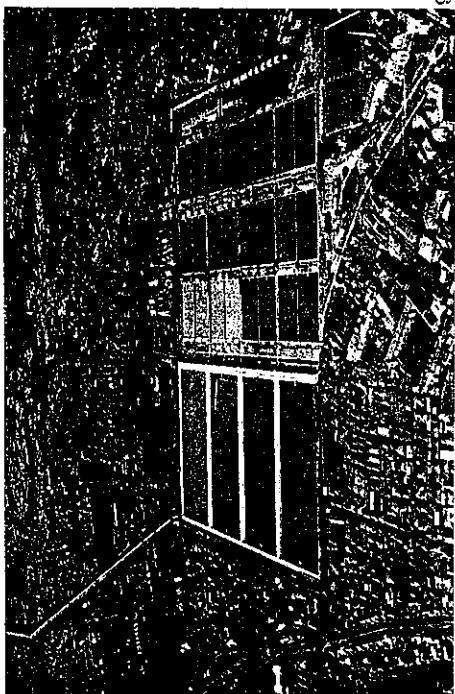
89

多摩川は毎年11月頃より翌年4月頃迄水量不足する爲、天然の地形を利活用したる上下2箇の貯水池を以て之に備ふ。有効貯水量上下合計



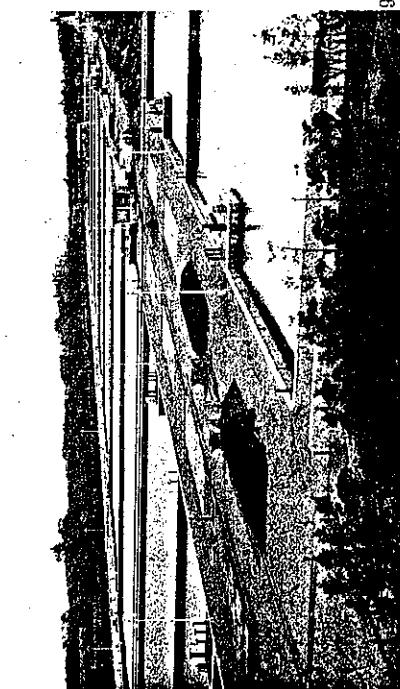
91  
自線は築造せんとする土堰堤の形状を示す、堰堤の高さ 33 米、頂幅 7.3 米、長さ 601 米  
境淨水場

### 境淨水場



92  
貯水池より境淨水場に來たる水の内約半分は境淨水場にて濾過し残り半分は此の能橋淨水場にて濾過す。築置の左上方にあらぐ之形自潔は此の淨水場に來る水路、左方の大なる池は沈澱池、右方の小なる池は濾過池

### 境淨水場濾過池の構造



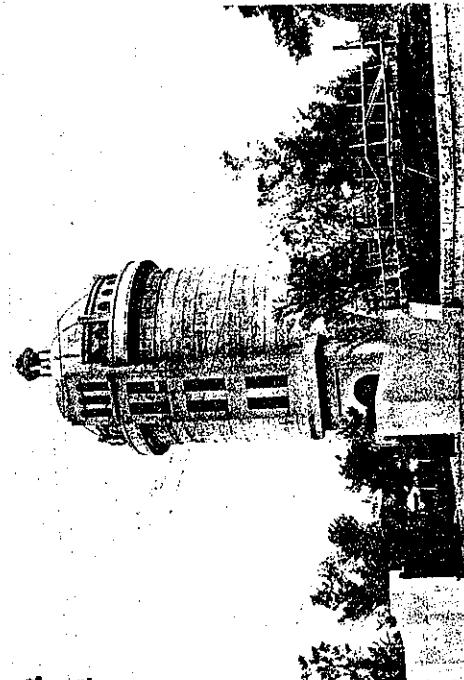
93  
貯水池に溜めたる水を此の淨水場へ引水し其の半分が此の濾過池にて浄水されして市民に供給す、此の淨水場にては全體にて使用する水の約半分が濾過す



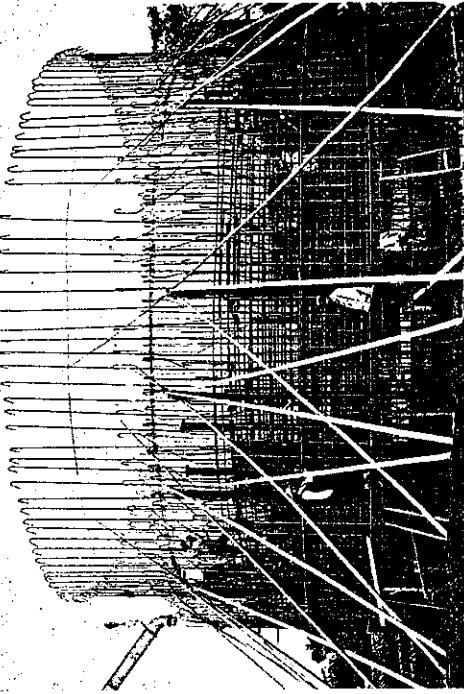
94  
Filter bed の Drain arrangement を示す、總數 20 個にして毎秒約 2.8 立方米の水量を淨化する能力を有す

## 車 府 荒 玉 水 道 方 町 配 水 塔

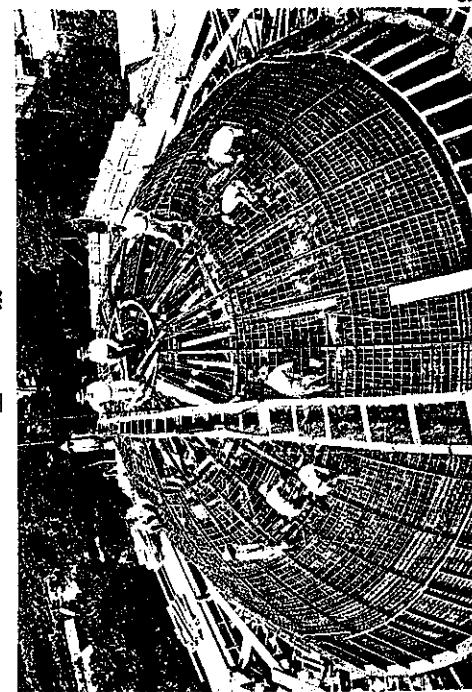
東京府豊多摩郡方町大字江古田  
位置 構造 鋼筋コントラート造、内径45尺、水深70尺、地盤上の高さ114.5尺、水深70尺、有效容積100,000立方尺



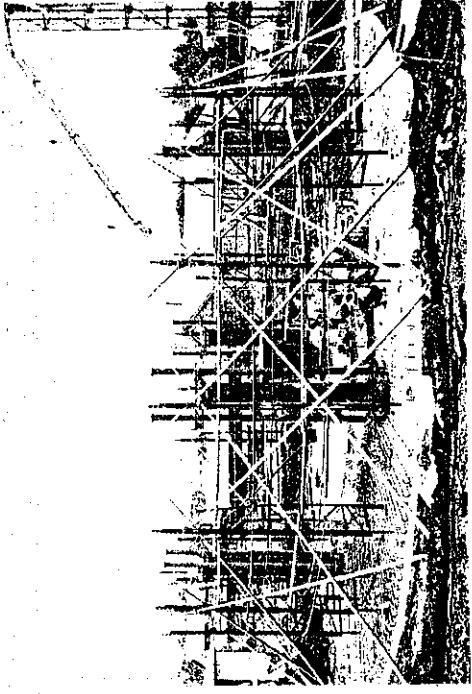
95 全 景



96 鐵 筋 組 立

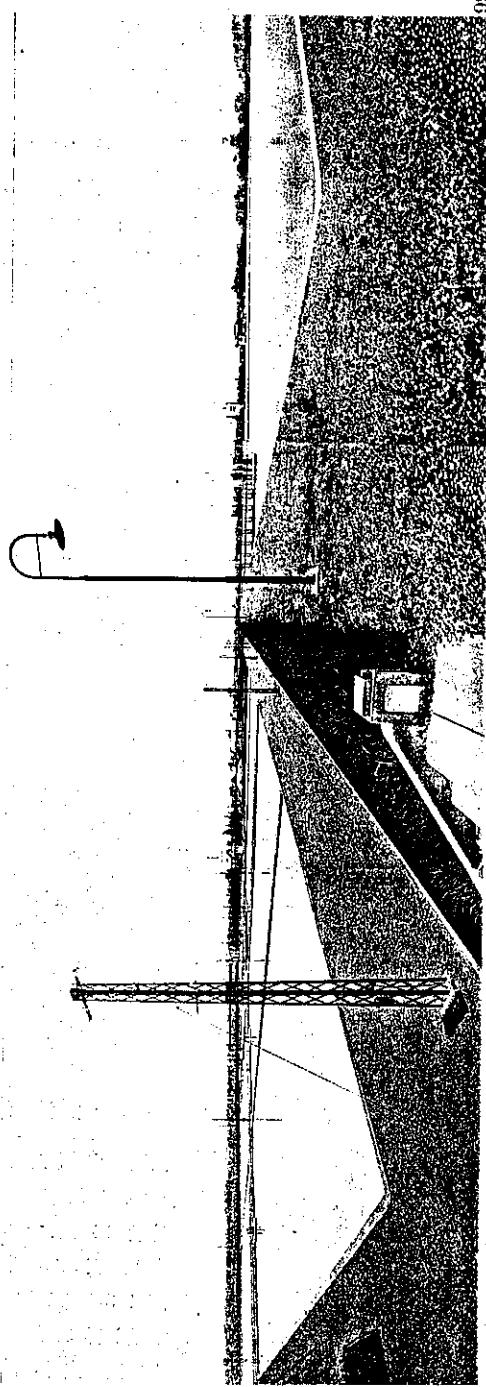


97 屋根 鐵 筋 組 立 の 狀 態



98 基 础 工 事

東京府 江戸川上水道金町淨水場濾過池



99

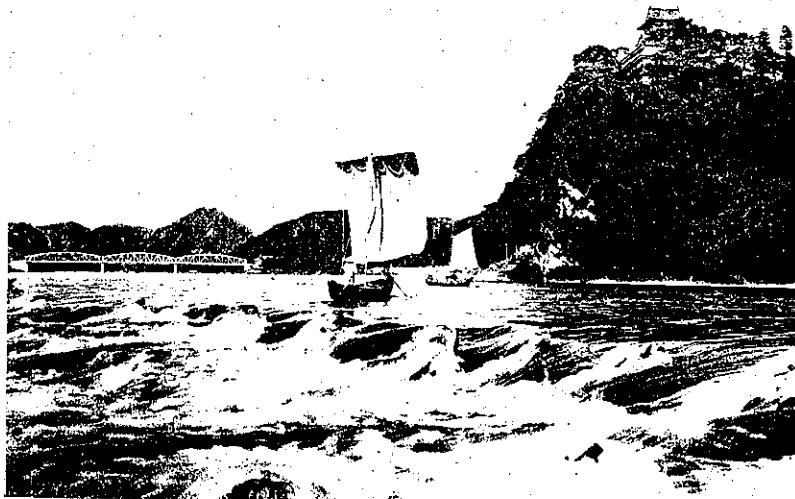
長さ 228 尺、幅 150 尺、面積 950 面坪、深さ 9 尺、8 池の内平均 7  
池を便用し、1 時夜 8.6 尺の濾過速度にて人口 450 000 人分の水  
2 025 000 立方尺(約 312 000 石)を濾過清潔なうじむ

東京府 玉川上水道淨水場全量



100

## 名古屋市上水道



← 取水場

位置 愛知縣丹羽郡犬山町木曾川本流左岸、水門 3 個、取水量 每秒約 1.67 立方米

## 沈澱池 →

位置 愛知縣東春日井郡烏居松村

總數 5 個にして有效容積合計 185 689.9 立方米、人口 1 000 000 人に對し約 40 時間分を蓄溜するを得

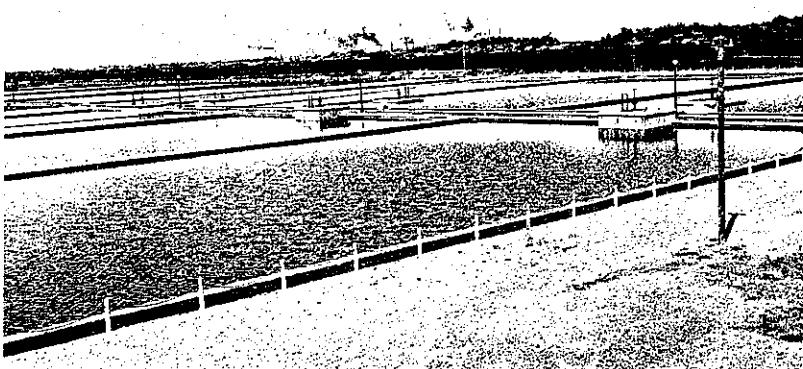


102

## ← 濾過池

位置 名古屋市東區鍋屋上野町

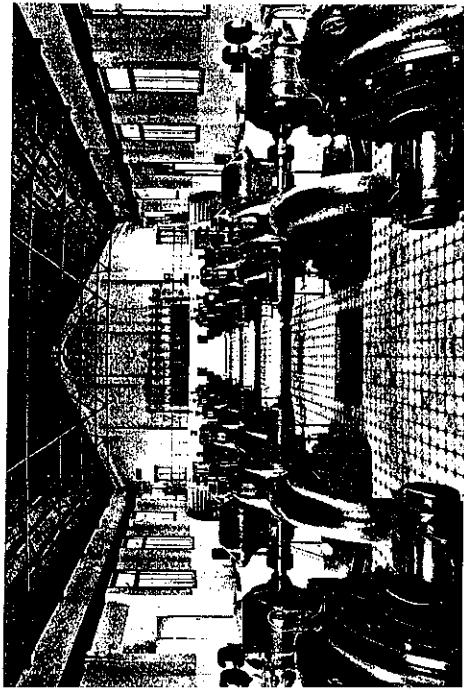
總數 14 個にして濾過速度 1 晩夜 3.039 米を以てせば 113 428.4 立方米の濾過水量を得て、人口 1 000 000 人に對し充分の餘裕あり



103

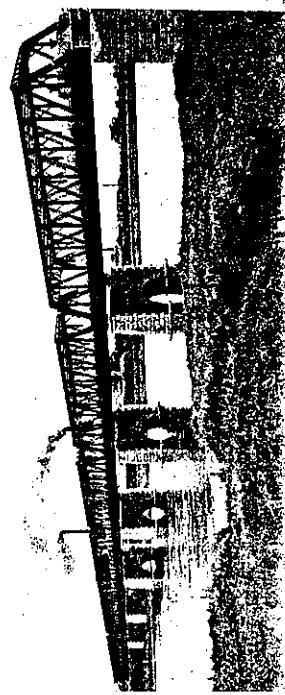
## 中部西部幹線水管橋(新淀川)

大阪市上水道 東部幹線送水ポンプ



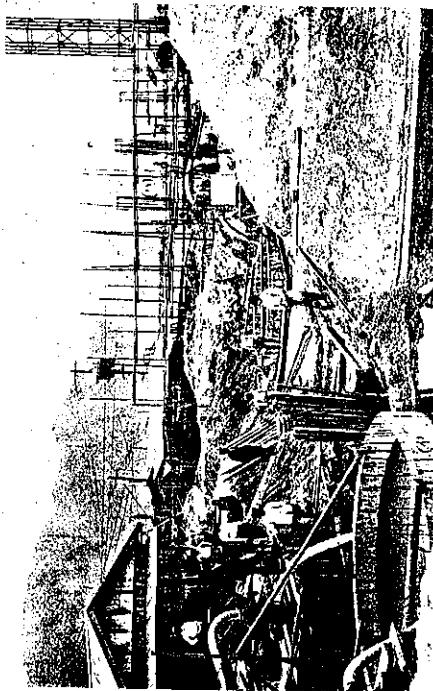
104  
アラット型鋼橋、跨間 118 呎 3 吋、幅 22 呎、高さ 15 吋、  
8 連、架設鋼管 檻 45 吋 及 42 吋、  
高側鋼管 檻 300 馬力、揚水量 每時 1 010 立方米。

## 配水池繩筋組立中の光景



105  
高側繩筋組立型、筒側壁容量 300 立方メートル、揚水量 每時 1 010 立方メートル。  
回轉数 每分 1200、揚水高 55.0 メートル、12 線。

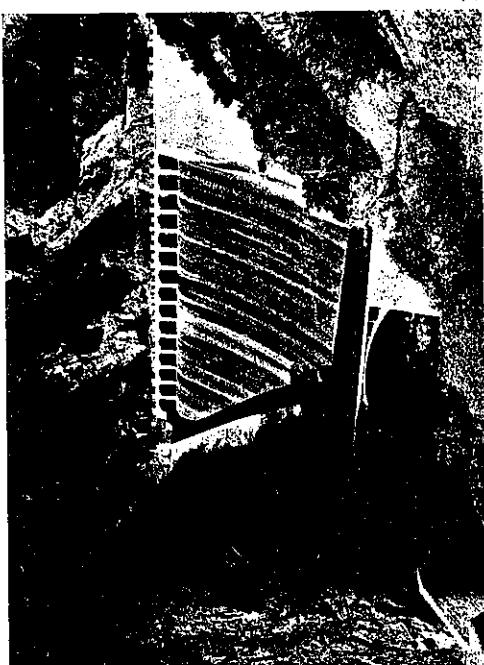
## 上水道 東部幹線送水ポンプ



106  
位置 大津市外滋賀村山上、配水池 長 65 尺、幅 50 尺、有效  
水深 12 尺、2 池、容積 70,000 立方尺、平均消費量の 12 時間分

107  
位置 大津市外滋賀村大字錦織字柳ヶ崎、取水非 内徑 15 尺、深 22.5  
尺、2 筒所、吸揚井 内徑 15 尺、深 22.5 尺、1 筒所、唧筒室 23.167 幟

干刈水源堰堤（其一）  
神戸市上水道



位置 兵庫縣有馬郡道場宇野  
堤高 120 尺、長さ 326 尺、貯水量 213 000 000 立方尺

108

上ヶ原淨水場の全景

第ニ回水道擴張の際當上工事中の鳥瞰圖にして、嵩上の曉は堤高 140  
尺、長さ 365 尺、貯水量 420 000 000 立方尺



急速濾過用沈澱池

109



上ヶ原淨水場内第二回水道擴張に依る急速濾過用沈澱池にして、幅 100  
尺、長さ 390 尺、水深 9 尺、1 日濾過水の 4.5 時間分の淨水を貯  
するものなり。急速濾過池の外周間に左より源水池、沈澱室、發電所、  
上ヶ原淨水場に上り本館一緒に併用するものなり。

110

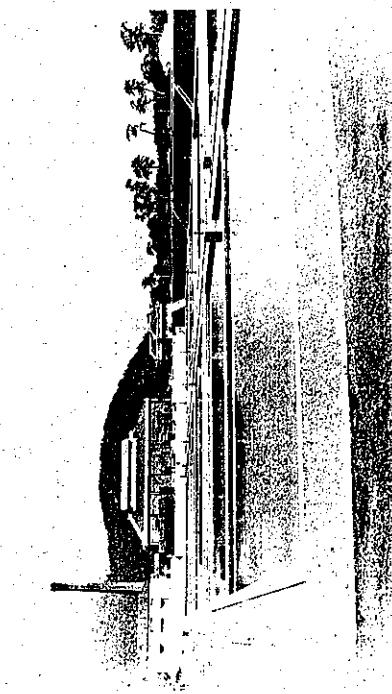


位置 兵庫縣武庫郡甲東村上ヶ原、給水戸数 125 200 戸、1 日平均  
給水量 27.5 立方尺、8 個の扇形池は總延濾過面積にして 64 000 幕に  
亘るものなり。急速濾過池に依る急速濾過設備は 61 200 幕に亘す  
る。

111

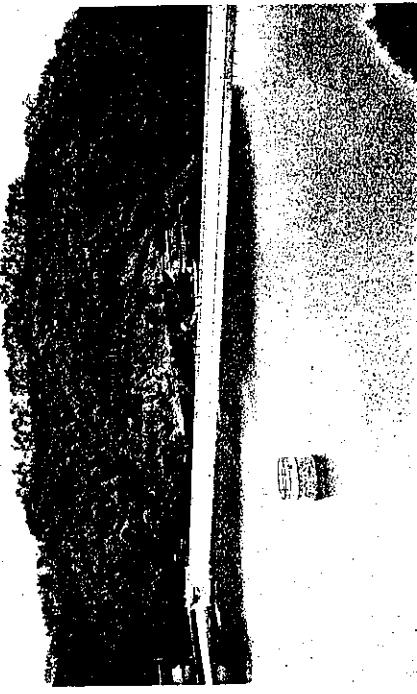
岡山市上水道淨水場及ポンプ室

福山市上水道貯水池取水塔

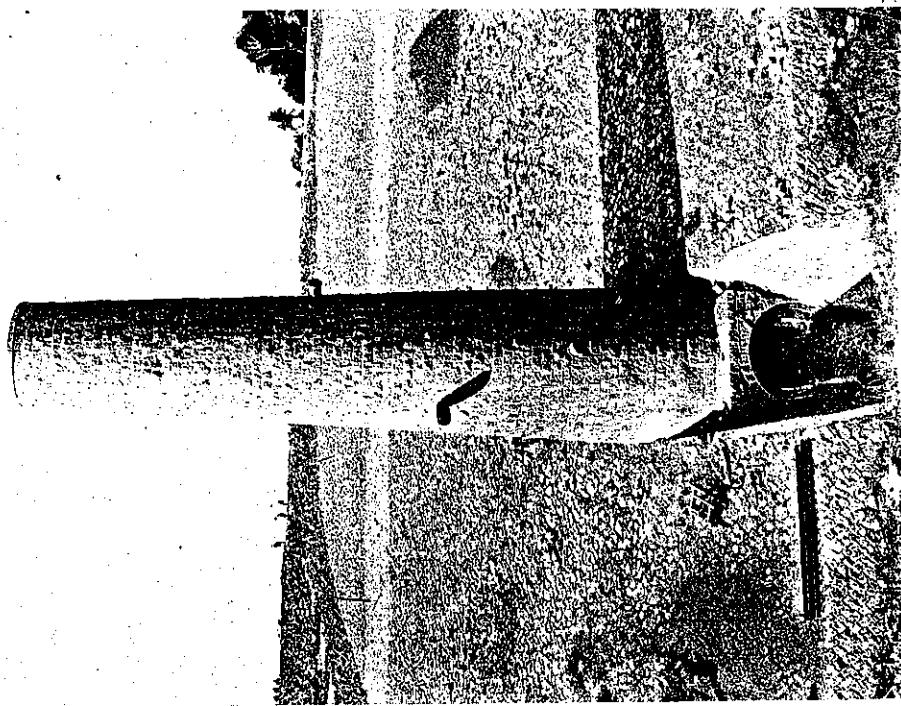


112

福山市上水道貯水池滿水の状況



113



溝さ 96 尺、取水口 4 個

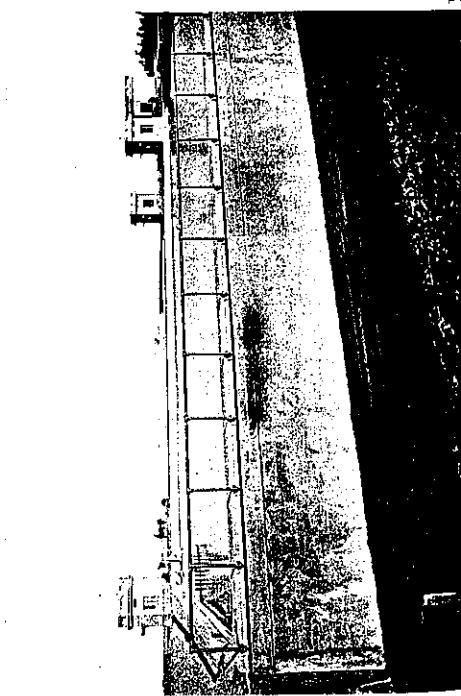
114

廣島市上水道取水場



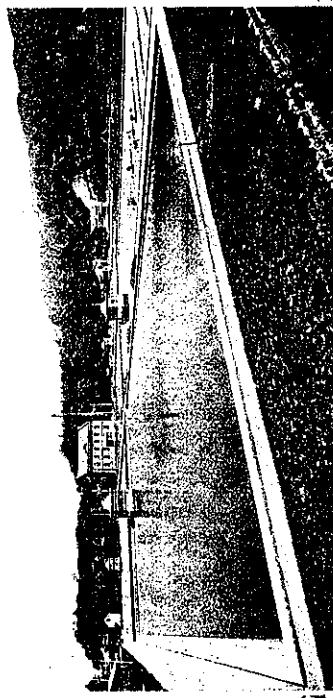
115 人口 160,000 人に対する最大給水量 16,990 立方米を有し得、其の構造は石造圓門形、此配水管内徑 1.8 吋を布設し貯水池に入る合併 3 個を繋合して貯水池に入る

竣工せる日和山淨水場濾過配水池



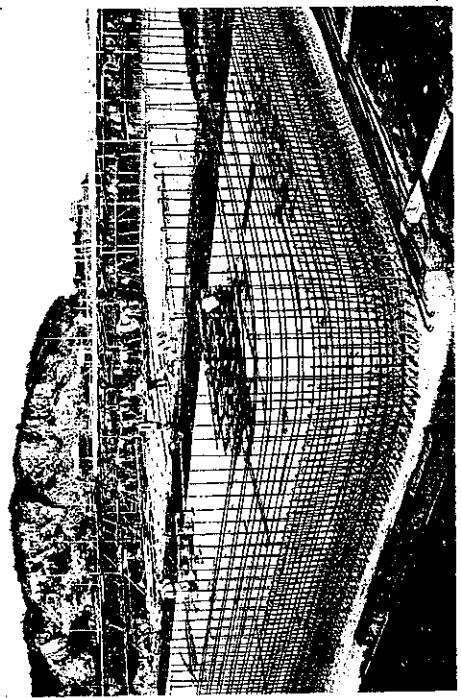
下は配水池、上は濾過池及上室、最右端は濾過速度調節室、左端は配水井にて他の配水池出入口

117



116 総面積 101,412 平方メートル、平坦部に濾過池 7 個、沈殿池 3 個、唧筒室 1 個、蓄水室、營養試験設備、水質試験所等もあり、山頂部に配水池 5 個を設置し得人口 250,000 人に對する 1 日最大給水量 37,166 立方メートルの淨水及び配水し得

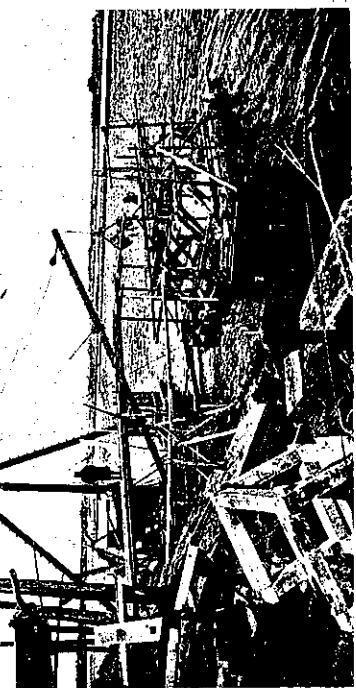
日和山淨水場擴張工事



上部濾過池は長さ 48.2 米、幅 33.5 米、砂床面積 1,445 平方メートル、底床及側壁は鐵筋コンクリート

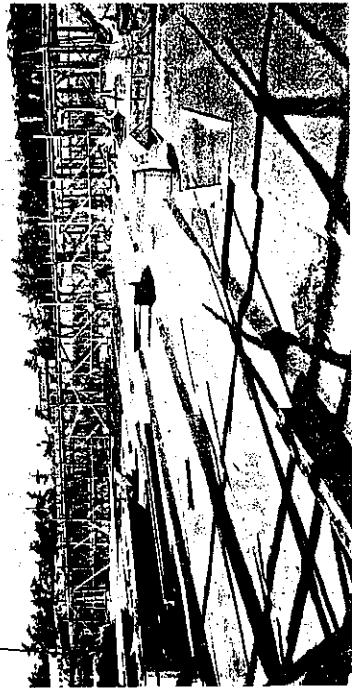
118

新 潤 市 上 水 道 漢 張 工 事



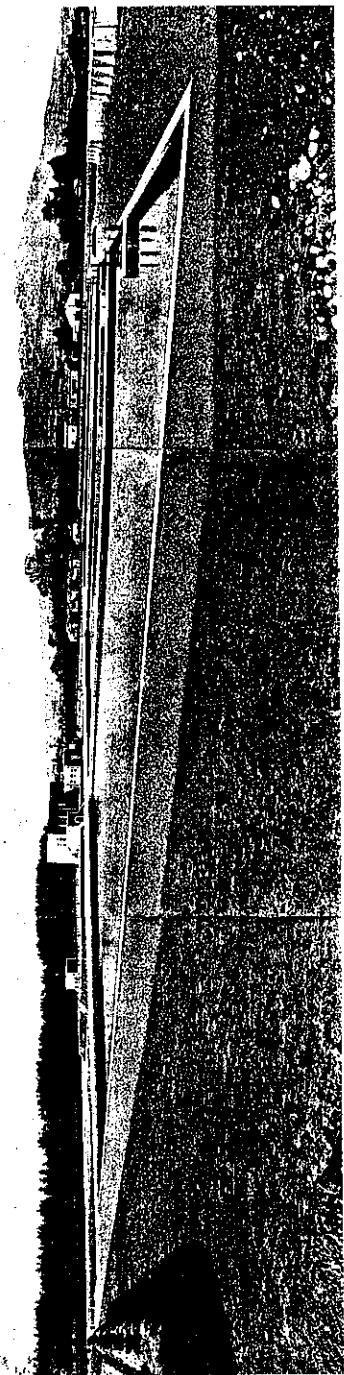
水塔引水塔下工事

119



淨水池工事全景象

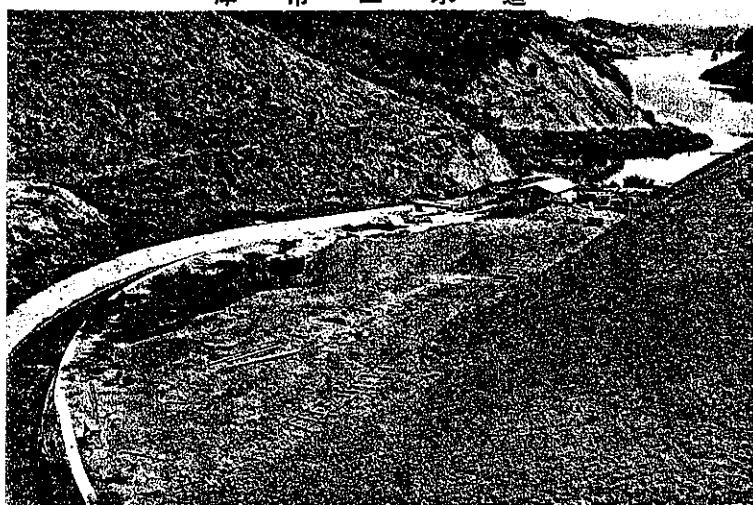
120



121

淨水場  
淨水井  
過濾池  
配水管  
其の周囲に堤防を築き渠水井、噴筒場、濾過池、配水塔並に事務所を設く  
面積 15,000坪、内径 9尺、常時水深 35尺、總深 42尺、總深 685坪強のもの 3個、濾過速度 12尺、濾過池面積 155坪、有效水深 12尺、淨水池面積約 127,000坪、總深 44.5尺、總深 5,000石

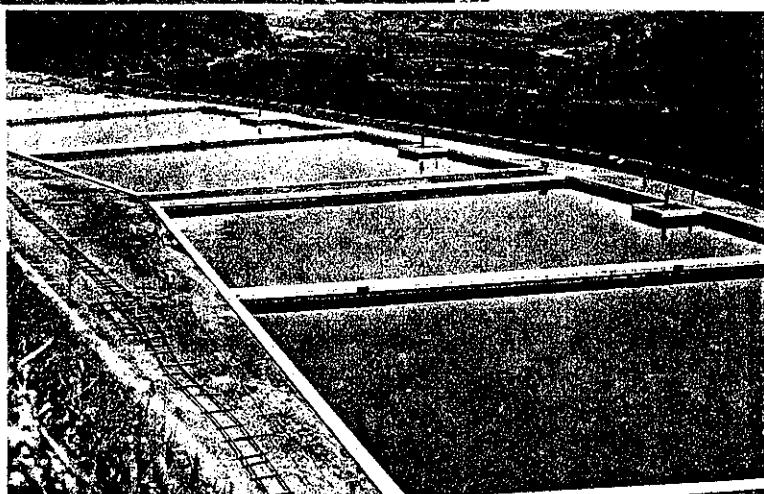
## 津市上水道



← 貯水池

位置 津市外片田村大谷、導水隧道東口（辰水村倉谷）より堰堤、取水塔及溢流堰を望む

122



淨水場濾過池 →

123

## 富山県高岡市上水道

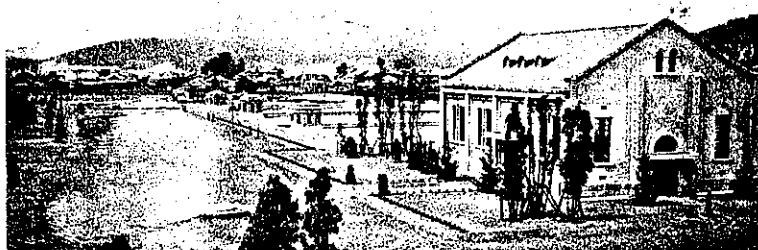


← 第一水源池源井

口径 12 尺、深度 430 呎、自噴  
水量 1 道夜 71,000 立方尺餘

124

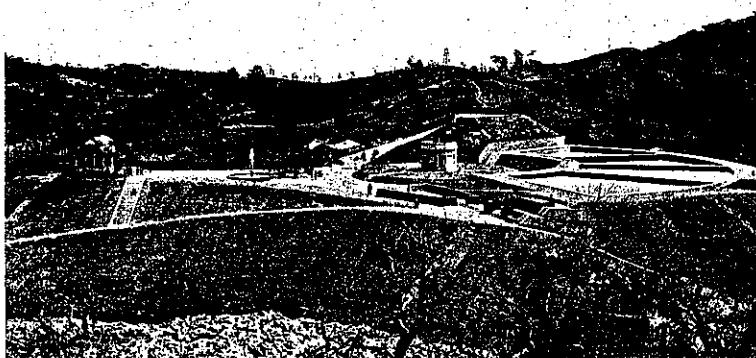
姫路市上水道…水源池竣工直後



125

右方の建物は唧筒場なり

尾道市上水道

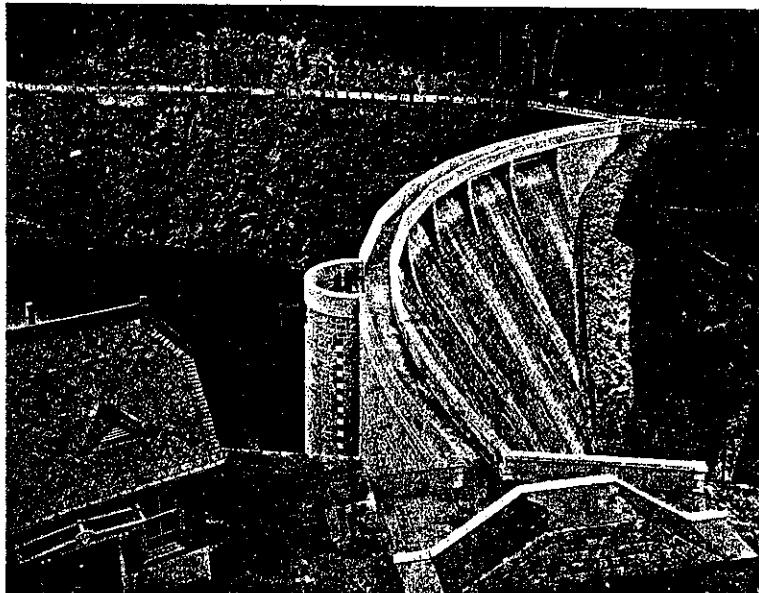


← 淨水場の全景

126

水源池 →

満水面積 33 200 幹坪、 堤は  
高さ基礎上 73 尺、 堤頂の長さ 262  
尺、 容積 24 500 000 立方尺



127

長野市上水道擴張工事

秋田市上水道水源池堰堤



128  
配水池導流壁の一部鉄筋コンクリート柱の集造を終り被覆鋼筋コンクリート型枠組立中  
長岡市上水道淨水場



129  
判石コンクリート造(前後面即知石壁), 大さき上部7尺, 下部40.8尺, 長さ98尺  
会津若松市上水道淨水場

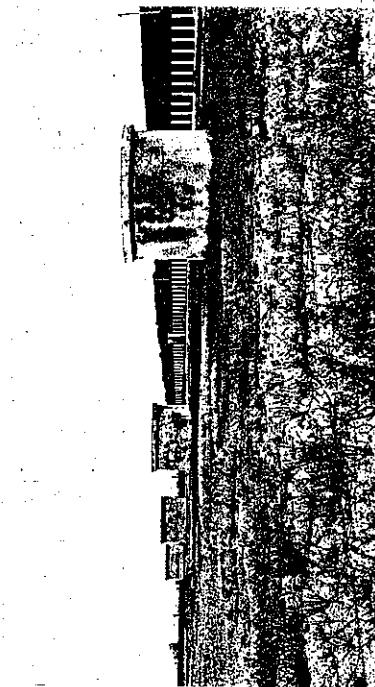


130  
前面に見えるのは貯蓄濾過池, 其の後方は配水池, 建物はポンプ室、左方は配水塔  
左より貯水池, 濾過池, 配水池、遠方の家屋は事務所なり

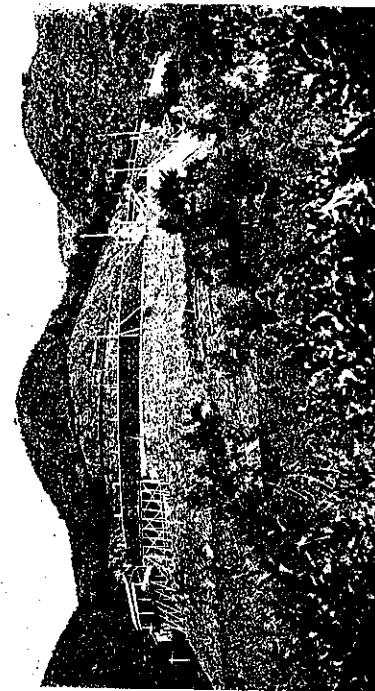


131  
左より貯水池, 濾過池, 配水池、遠方の家屋は事務所なり

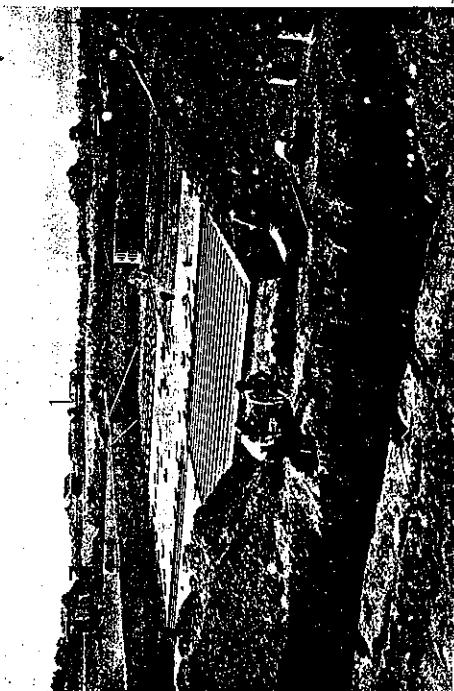
水 源 集 水 井      德 島 市 上 水 道



吉野川堤内地に設けける集水井 4 個、各中心距離 100 尺、各井内径 10 尺、コンクリート・ロック版にして地下 31 尺、水深 約 14 尺、各井を連絡するに集水管を以てし、之をポンプ井に導き貯水場に排水す  
高松市上水道水源集水渠



133  
扇形にして中央にて左右 2 個に割す、1 池の大きさは中央部にて  
内径 90.5 尺、幅 69 尺、高さ 14 尺、鏡面コンクリート造にて  
4 個の導流壁を設



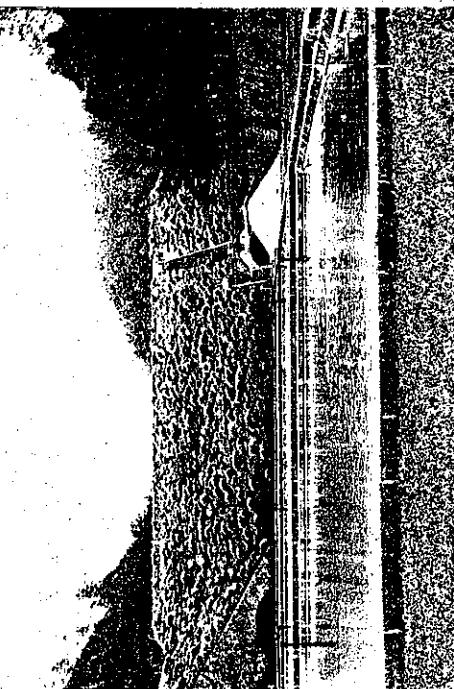
久留米市上水道過濾池

134



135  
総延長 85 间、外幅 5 尺、高さ 6.4 尺の木枠暗渠にして其の上端  
は河床面下量が深 8 尺の所に在り、人孔を設てポンプ室に通路す

長崎市上水道 本河内貯水池堰堤



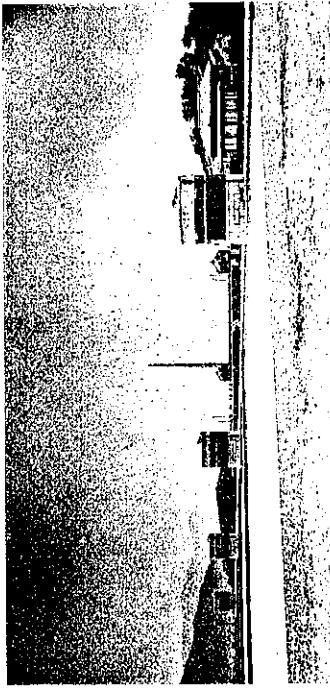
136  
土堰堤の高さ 55 尺、堤頂長 420 尺、堤頂幅 20 尺、有效貯水量 13,160,000 立方尺、満水面積 559,700 平方尺

福岡市上水道

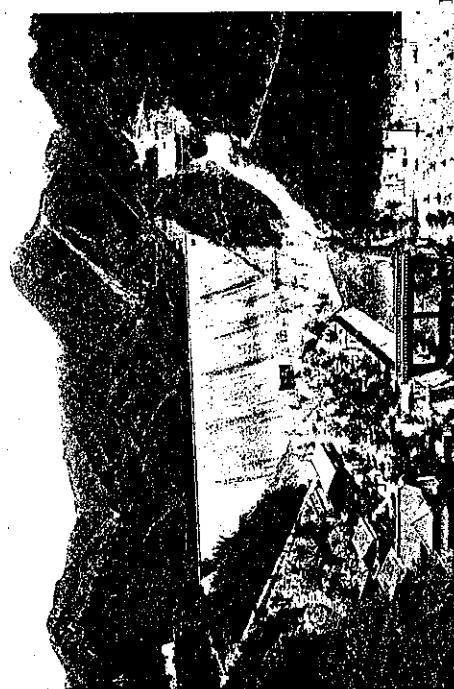


137  
堰堤は粗石コンクリート造にして高さ 136 尺、堤頂長 447 尺、堤頂幅 10 尺、有効貯水量約 68,000,000 立方尺、満水面積 1,656,900 平方尺

上水道

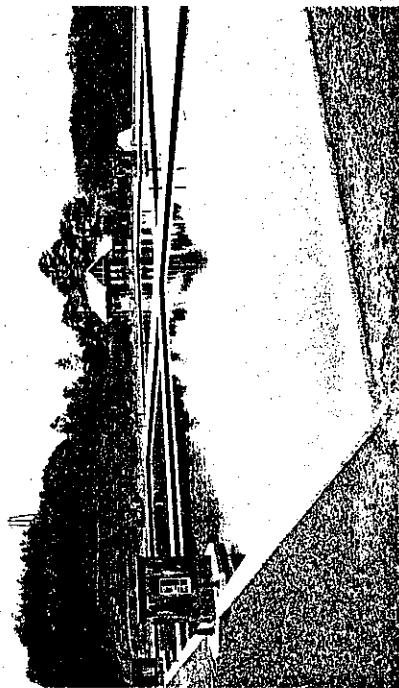


138  
平尾山淨水場



139  
曲淵水源堰堤正面

## 大分市上水道淨水場

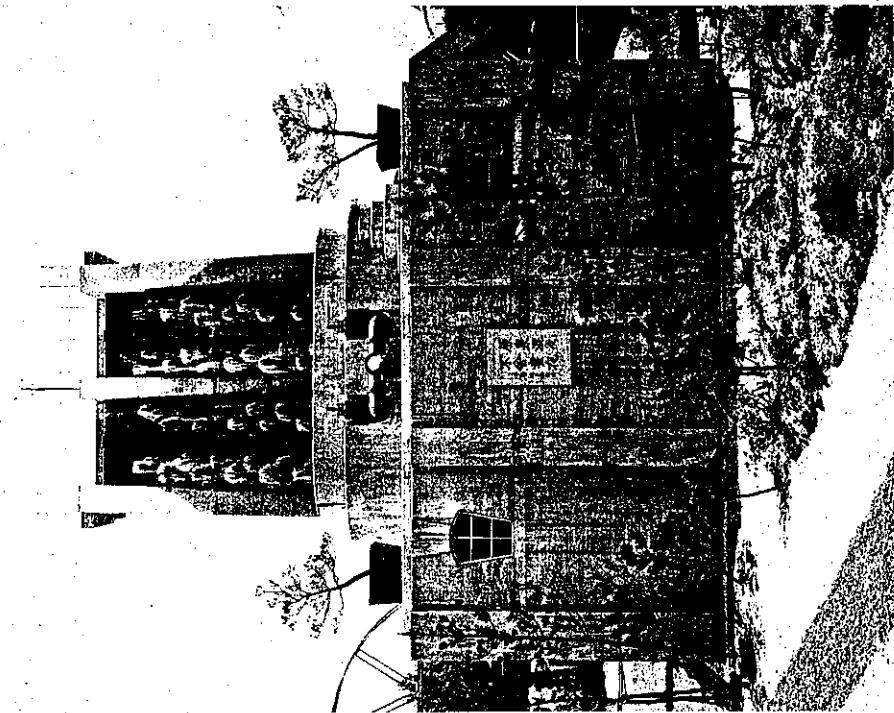


140  
市内三芳海拔 50 米の高地にあり、面積 5,563坪、1,000 平方米の  
濾過池 4 個、1,590 立方米の貯水力ある貯水池 2 個、淨水能力 1  
日 10,500 立方米

## 別府市上水道淨水場



141

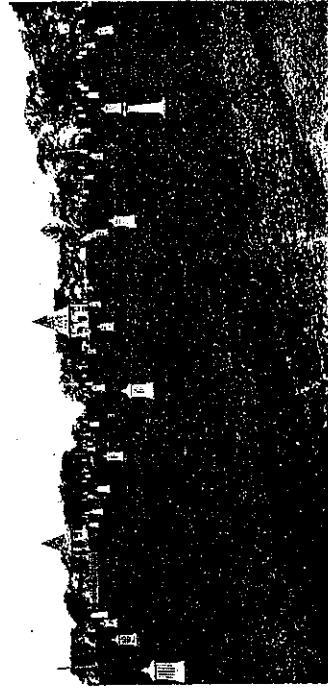


142  
直徑 5.5 米、有效水深 1.89 米にして鉄筋コンクリートを以て築造  
す、而して大氣と接觸を多からしむる爲高さ 5.7 米の源布布に依り灌  
漑に落下せしめ、其の間に鐵分及特殊の臭氣を除去せしむ

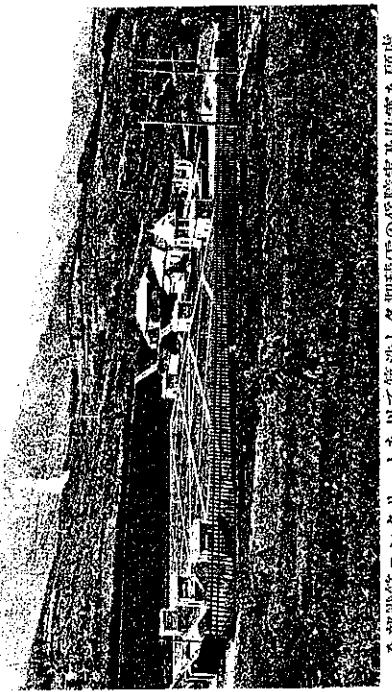
貯水池　函館市上水道　淨水場(低底)



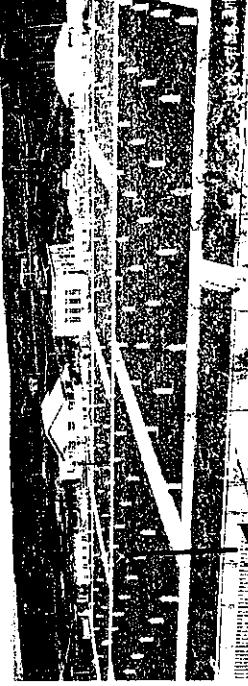
143  
満水の水深約 61.0 尺、総容積 21,800,000 立方尺、面積 23,000 平方メートル、有効容積 20,719,050 立方尺、堤堤少標高(波除ヶ原) 339 尺、満水面の標高 335 尺  
小樽市上水道新滯過池



144  
滯過池底部及側壁はコンクリートにて築造し内面に防水モルタルを塗布し、上部は凡て鉄筋コンクリートの覆蓋板にて覆ひし之を土築にて置ひて水詰を防ぎ、溢水口及び排水口に配設す。上段は沈没池 4 個、大きさ縦内法 20.4 尺、横内法 21.4 尺、面積 23,256 平方尺、滯過通渠 1.2 尺、流入流出口從 18 尺、水面標高 277.5 尺  
新潟市上水道淨水場



145  
全部強筋コンクリートで築造し冬期放雪の爲特厚の覆蓋板を設く、1 池の長さ 132 尺、幅 84 尺、3 池を並列す  
新潟市上水道滯過池



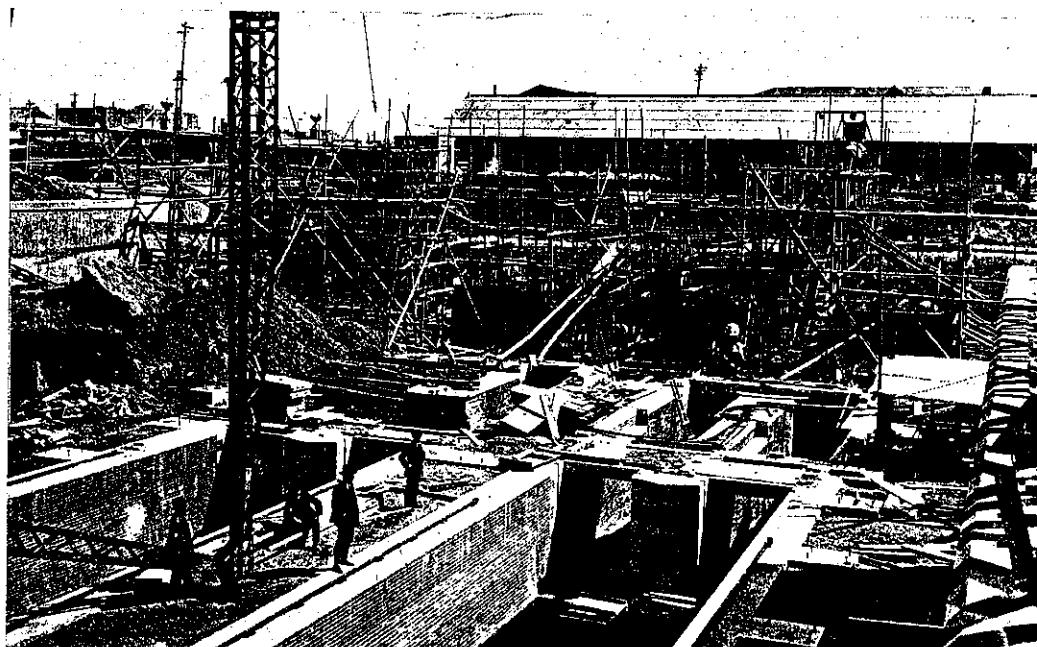
146  
上段覆蓋は沈没池 3 面、下段は滯過池 4 面  
新潟市上水道滯過池

### 東京市下水道錢瓶町ポンプ場（其一）

位置 錦町區丸ノ内

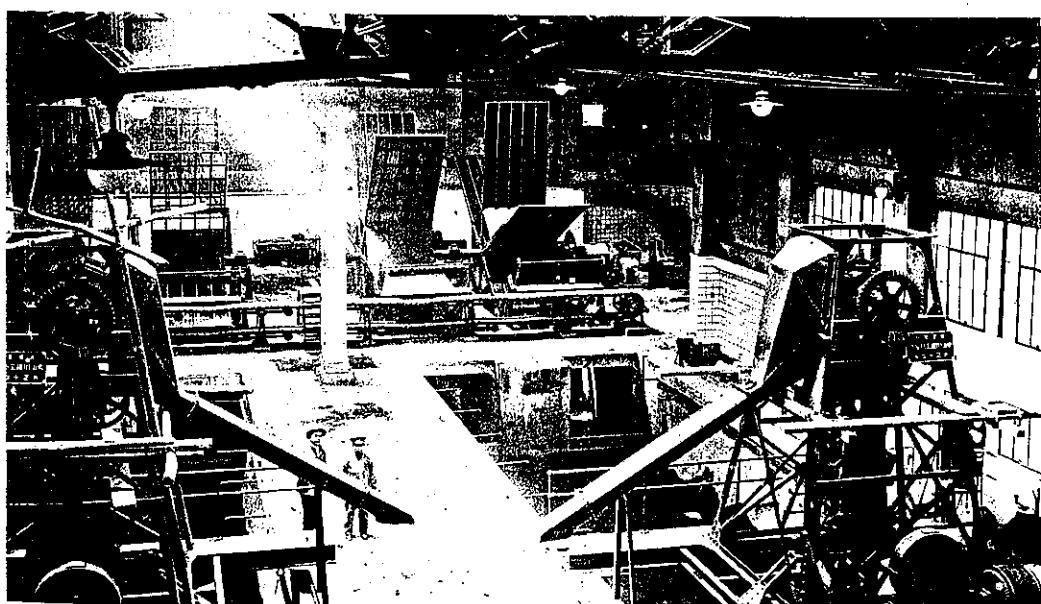
下水量 晴天時最大毎秒 63立方尺 將來量 晴天時最大毎秒 87立方尺  
雨天時 同 114立方尺 雨天時 同 158立方尺

以上は丸ノ内、日本橋區、京橋區、内神田、小石川區及牛込區の低地の下水を  
揚昇して芝浦ポンプ場に送水する設備なり



147

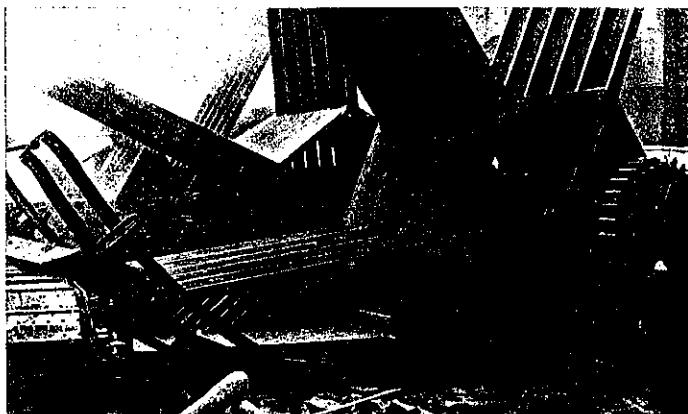
工事中の沈砂池 池の内面には硬質煉瓦を張り下水の爲にコンクリートの侵さ  
れざる様になつたり



148

完成した沈砂池 沈砂池には各バケット洗浄機を備へ、沈砂を汲取り壁上の  
トロッコに乗す、前方にはロータリー・スクリーンを見るべし

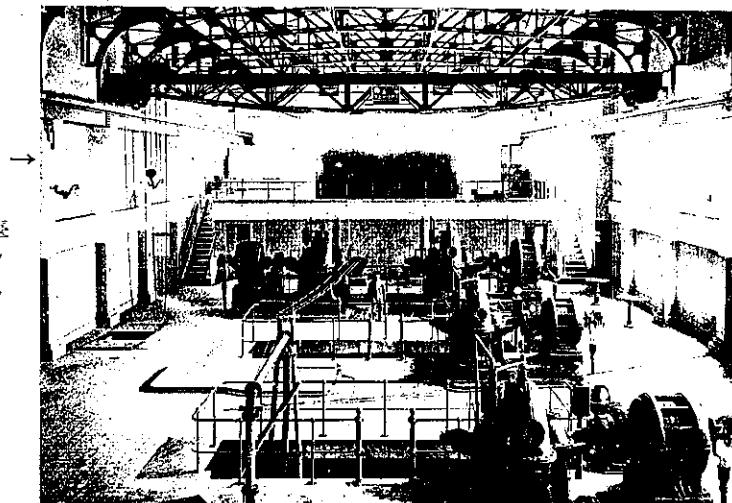
東京市下水道錢瓶町ポンプ場（其二）



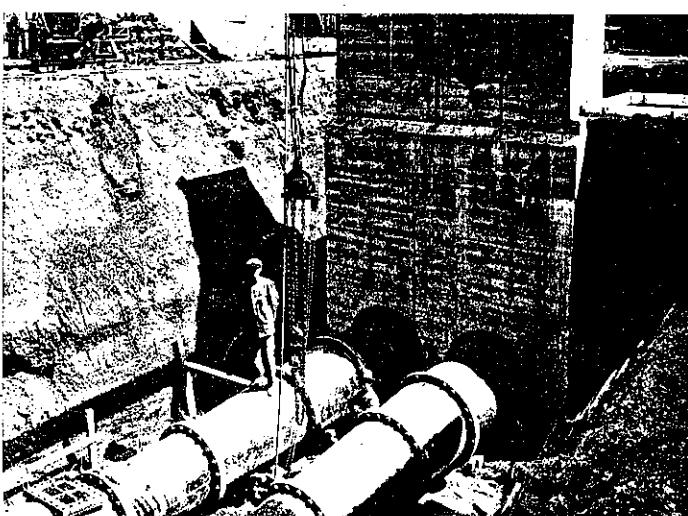
← 沈砂池スクリーン

沈砂池は2個あり、各上幅17尺、長さ121尺、深さ12尺、此の終端に寫真に示す如きロータリースクリーンを設備し、之れにより浮遊物を除去し、スクリーンに止りたる浮遊物は自動plashにて拭ひ去らる

149



150



← ベンチュリー・メーター

ポンプにより揚昇せられたる下水はベンチュリー・メーターを通り、壓力管に依り、大手門前を通過する山ノ手中段區域の自然流下下水幹線迄汲揚げらる、寫真は其のメーターを示す

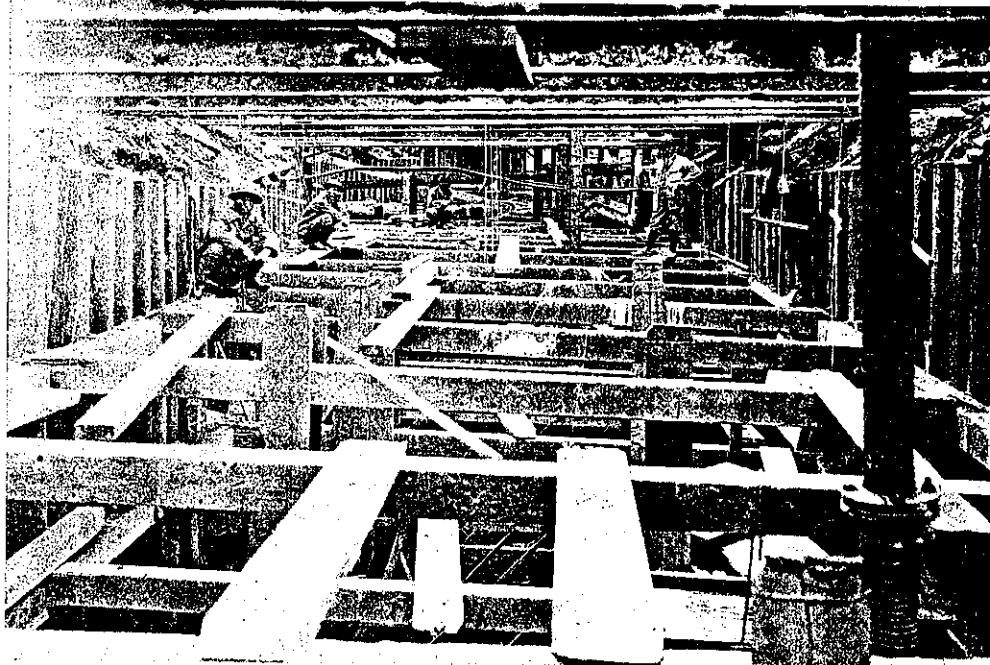
151

### 東京市下水道芝浦ポンプ場（其一）

芝、麻布、赤坂、麹町、四谷、牛込、小石川、本郷、内神田、日本橋、京橋（月島を除く）及下谷區の高臺の下水を集めて揚昇し、羽田處分場に送る設備なり、沈澱設備と鹽素消毒設備を施し假放流をなせり

位置 芝浦第三號埋立地先

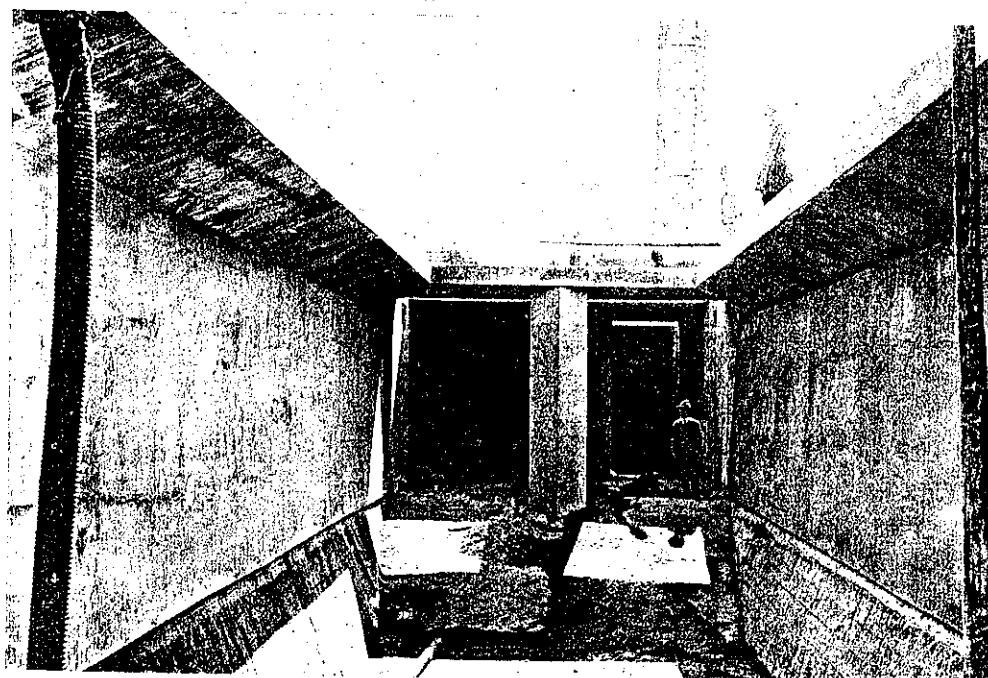
下水量	晴天時最大每秒	79立方尺	將來量	晴天時最大每秒	182立方尺
	雨天時 同	144立方尺		雨天時 同	331立方尺



152

### 芝浦引込幹線下水渠

芝浦ポンプ場が受ける流域面積を地形上低段、中段、高段に分つ、低段、中段の下水は幅11尺、高3.8尺のボックス・カルバートに依り當場に達す、高段（芝、麻布、赤坂、麹町の高臺）の下水は札の辻に於て前記幹線に重なり、二階式の渠となりて當場に達し、當場に於て揚昇の必要なく羽田處分場に達し得、高段幹線の大きさは幅9尺、高さ8.1尺の馬蹄形渠なり

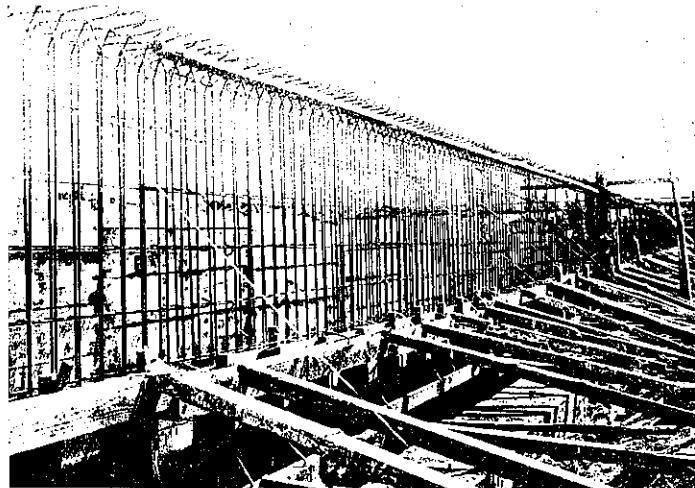


153

### 同上沈砂池

沈砂池2個あり、各上幅20尺、長さ97尺、深さ17.5尺、沈砂は電動バケット浚渫機により汲揚げられ、浮遊物は固定バー・スクリーンに止り、電動搔揚機により搔取らる

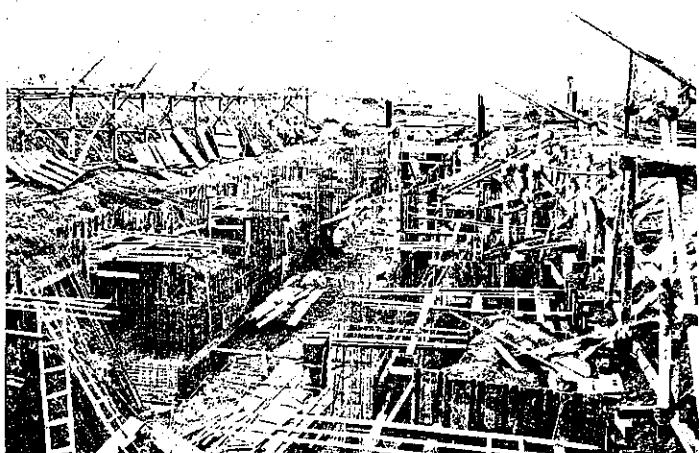
東京市下水道芝浦ポンプ場（其二）



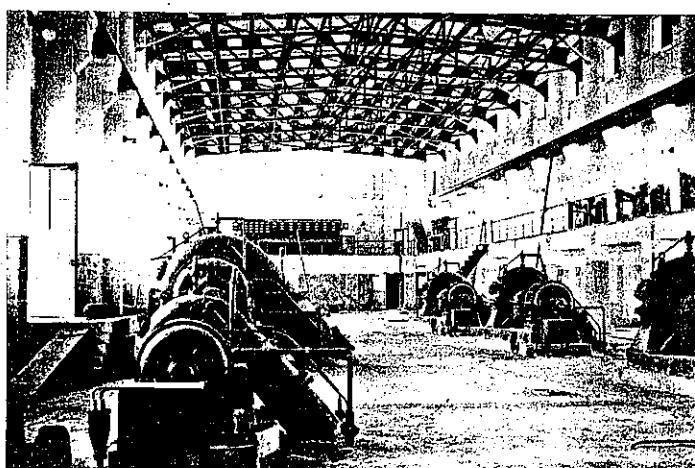
← 工事中の沈澱池

2 池あり、各長さ 270 尺、幅 70 尺、  
水深平均 7 尺、沈澱時間約 1 時間の容  
量なるも、晴天時には下水渠内に一時  
貯留し干潮時に放流するものなり

154



155

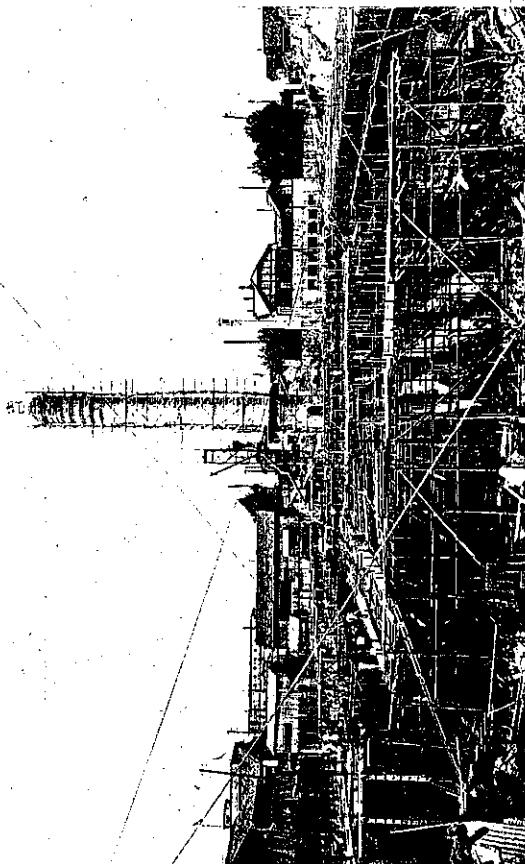


← ポンプ室

排水量毎秒 10 立方尺のもの 2 台  
同 25 " 3 台  
将来増設 2 台  
同 50 " 2 台  
同 同 3 台  
揚水高 22 尺

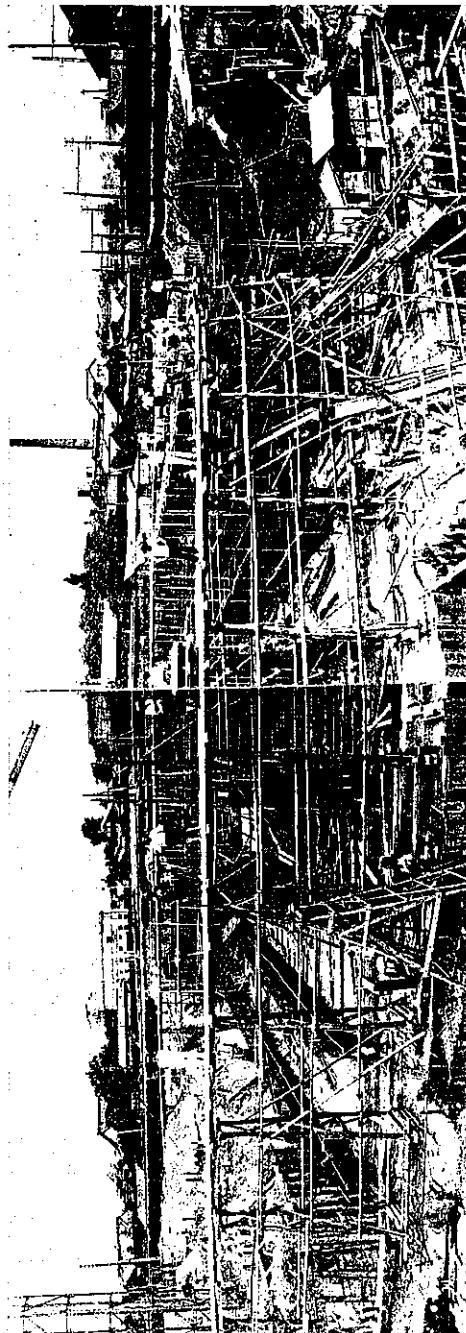
156

名古屋市下水道(其一)



規留處分場工事現況

157

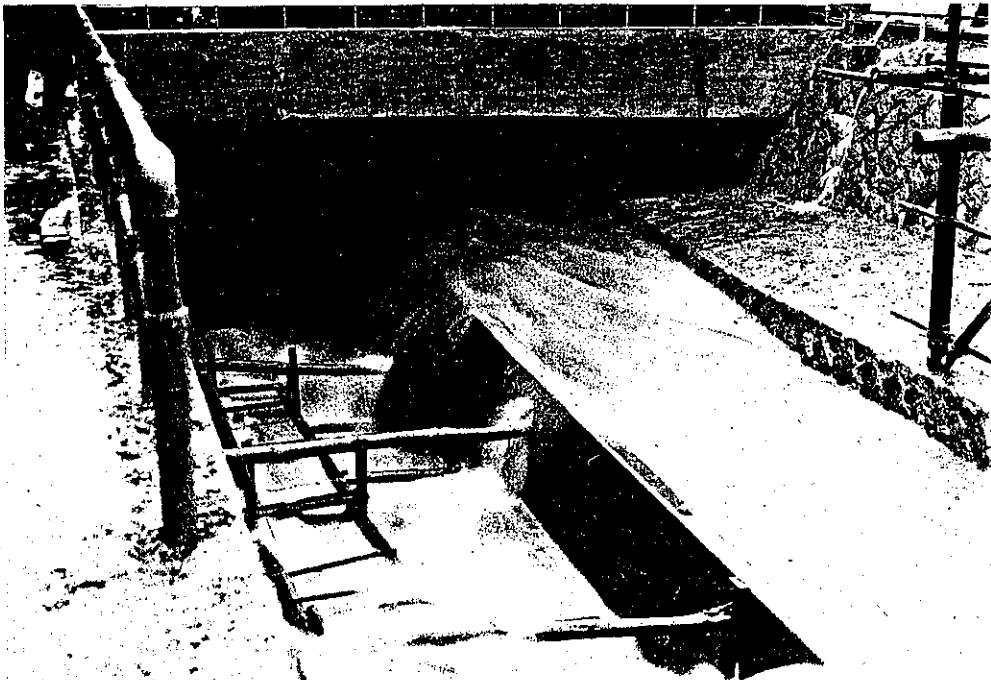


158

熱田處分場工事現況

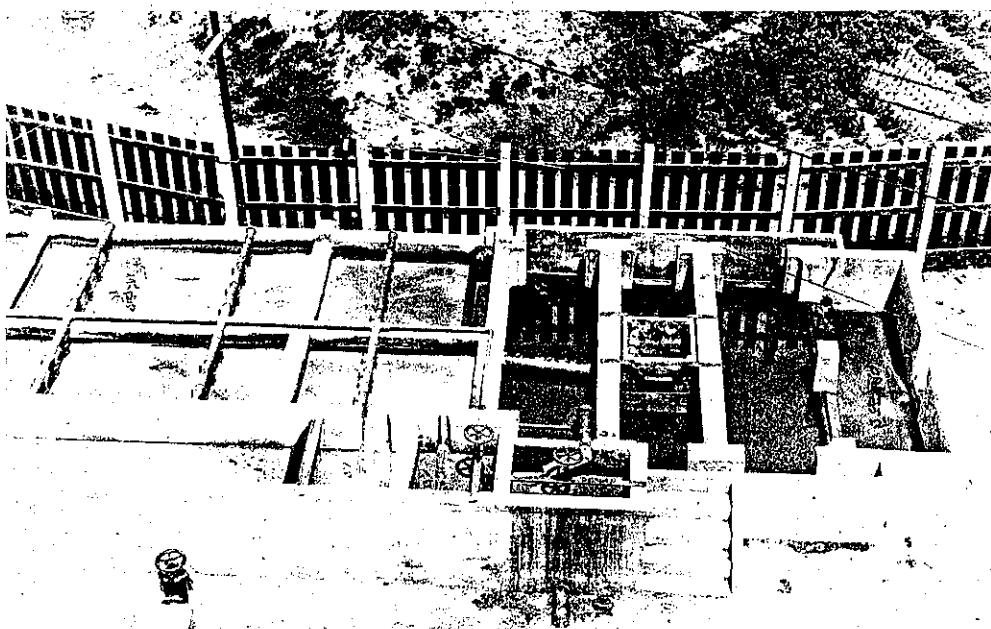
標準人口約 130 000 人の下水を促進汚泥法により淨化せんとするものにして曝氣槽 2 個、沈澱槽 8 個、其の他機械塔等を設備す

名古屋市下水道（其二）



159

下水分流装置 合流管より雨水を分流する装置なり



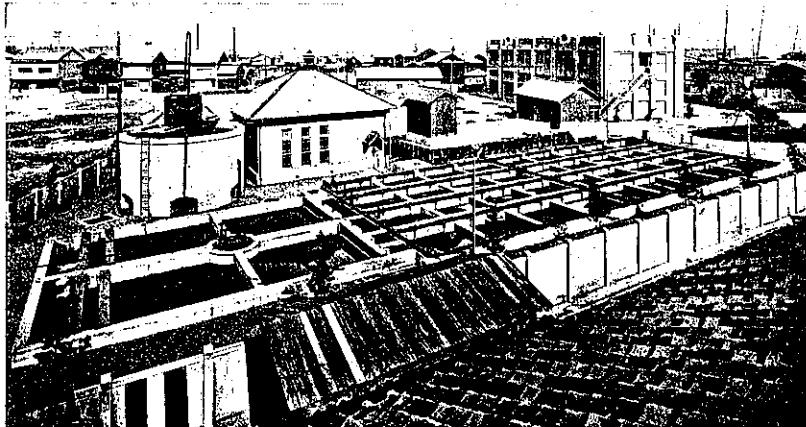
160

促進汚泥法による下水淨化試験装置

大正 13 年試験の爲築造せるものにして毎秒 0.18 立方尺の下水淨化設備なり、曝氣槽幅 6 尺、深さ 10 尺、曝氣時間 4.5 時間、沈澱池方 20 尺、深さ 18 尺

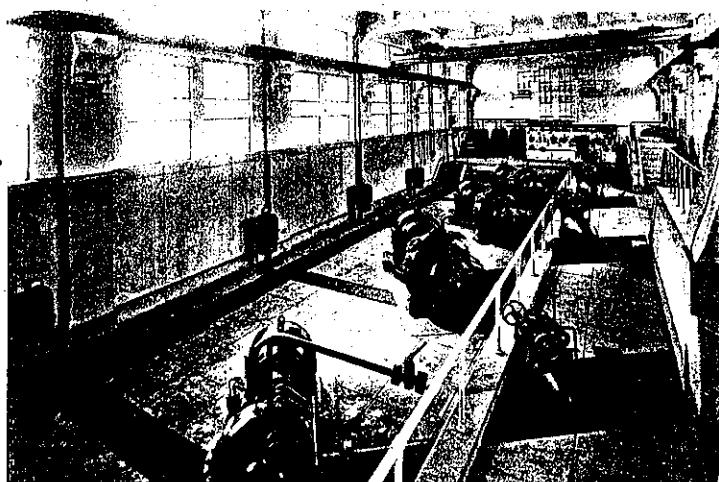
## 大阪市下水道市岡抽水所

**唧筒室** 鐵筋コンクリート二階建 93 坪  
**曝氣式促進汚泥法實驗設備處分能力** 每秒 2 立方呎  
**曝氣槽** 幅 26 呎, 長 90 呎, 水深 13 呎, 容量 28 000 立方呎, 曝氣時間 3 時間  
**沈澱槽** 幅 1.3 呎, 長 32 呎, 水深 20.5 呎, 沈澱時間 1 時間 15 分  
**汚泥槽** 內徑 18 呎, 水深 6~11 呎, 容量 1 950 立方呎

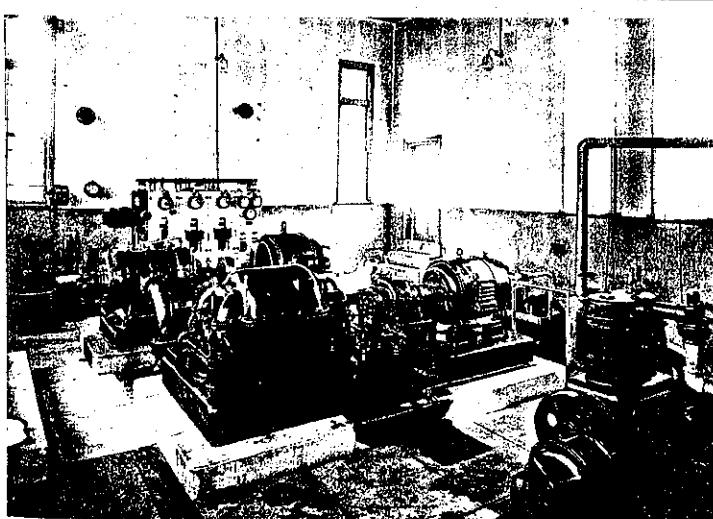


← 全 景

161



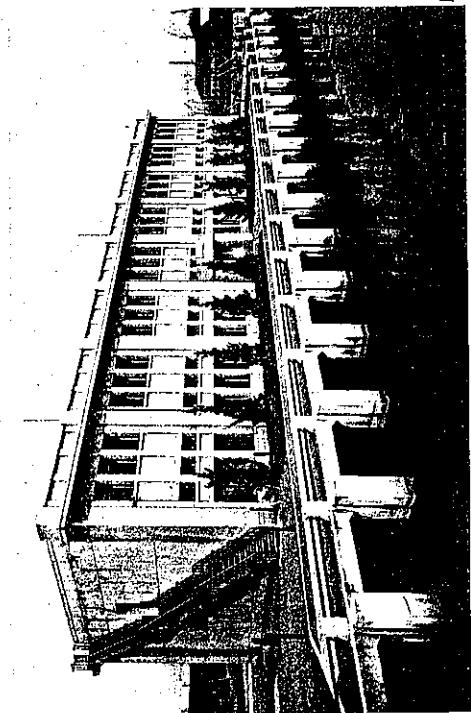
162



← 曝氣式促進汚泥法用途風機

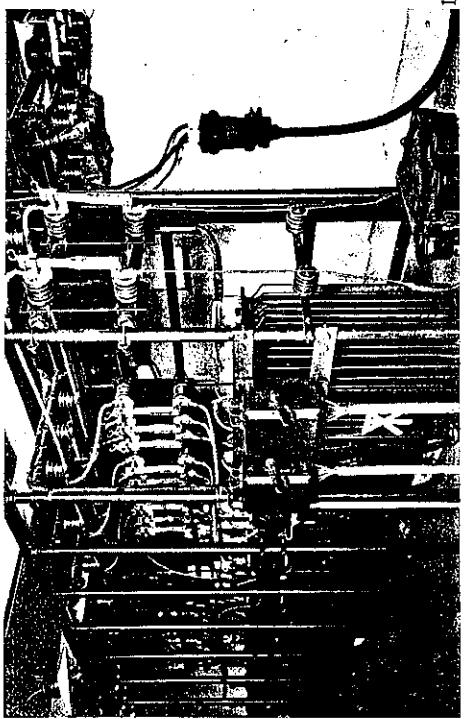
163

大阪市下水道東野田抽水所（都市計画第三期下水道事業の一部）  
善願寺、東野田排水區 265 ヘクタールの排水場 位置 大阪市北區東野田町七丁目

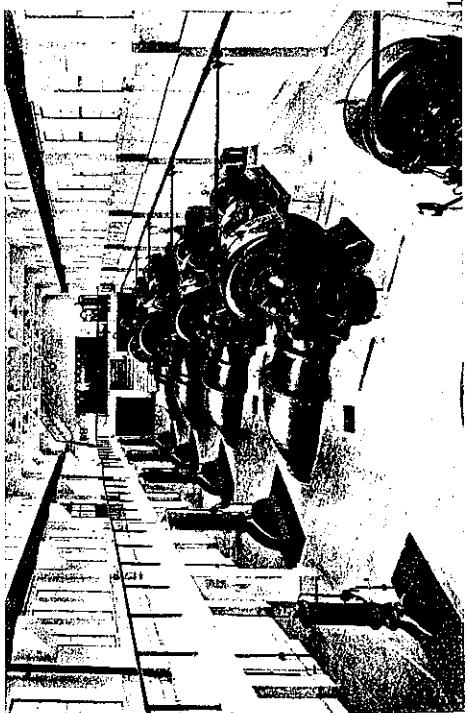


164

唧筒室及排出口

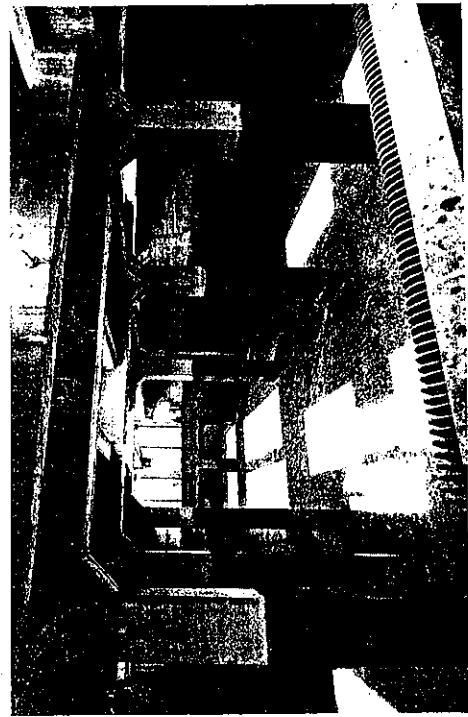


165 電 設 備 配



166

下水吸揚唧筒機械及配電盤  
定動馬力 5.5 漏斗下水は吸揚後鐵管を以て鶴江川を  
越え淀屋川に排除し前水は板井川に排除す



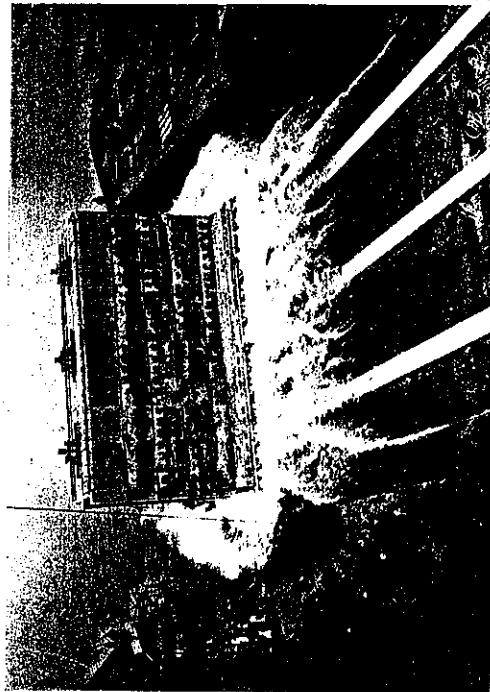
167

沈砂池内部  
ガラスブリーンを設置す  
ガラスブリーンにて吸揚する前に下水中の沈砂を除去する爲にバ

# 東京隅田川改工事

## 防波堤築造中の状況

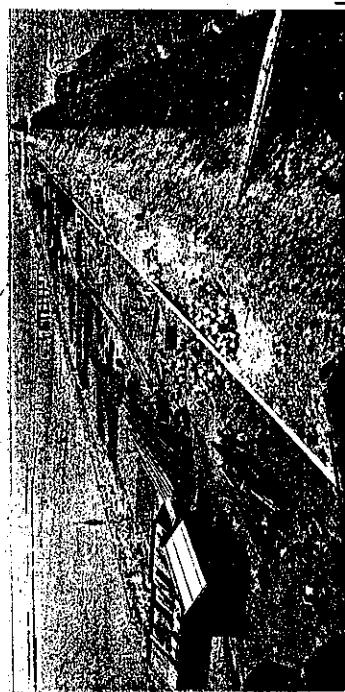
### 聚船岸壁用コンクリート潜函進水の状況



168

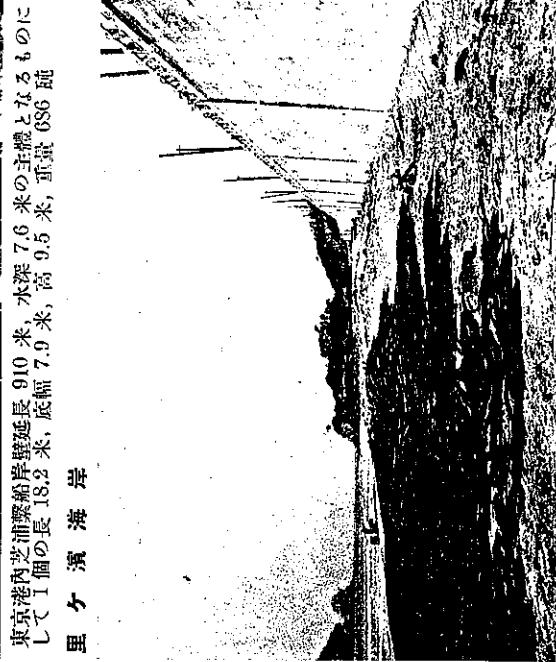
東京港内水面積 8600,000 平方米を包摵する延長 2,618 米、  
幅 36 米の築堤にして完成の際は品川第三埠場と深川區方面  
とを連結する一大船歩道を出現するに至るべし

## 神奈川県鎌倉七里ヶ浜海岸



—( 51 )—

169



171

## 震災に依る崩壊箇所復舊の状況

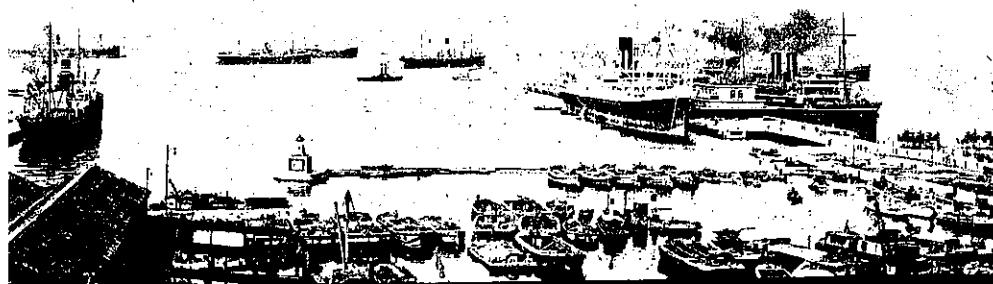


170

## 震災に依り崩壊の状況

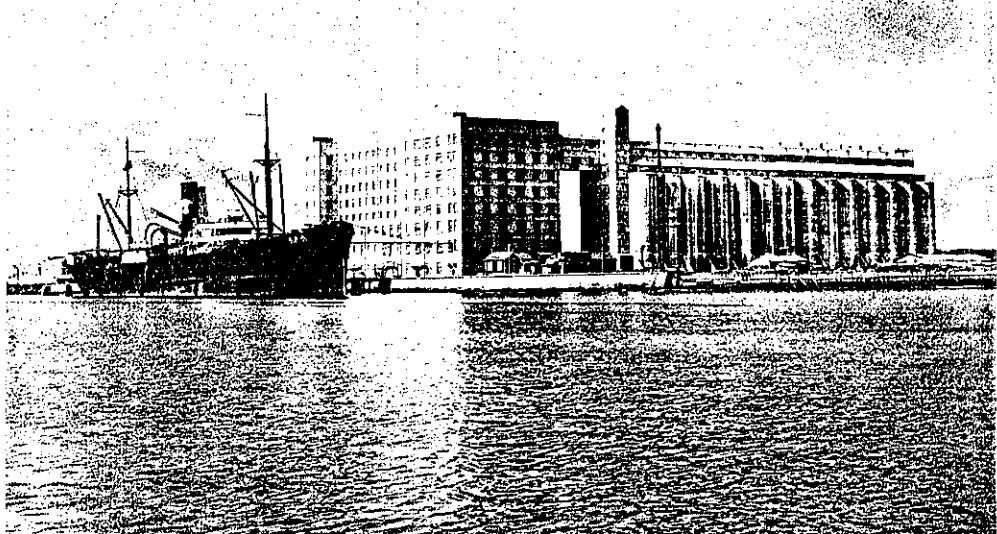
横濱港（其一）

大橋橋及第一號岸壁に於ける汽船の繫留



172

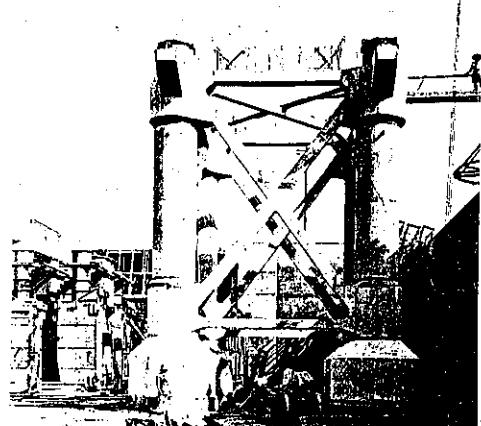
鶴見地先の工業港



173

## 横濱 港 (其二)

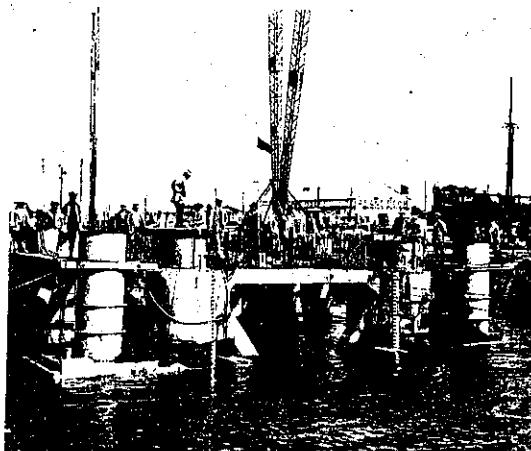
内山下町造船渠ブレースド・シリンダー及フロート



174  
棧橋及横棧橋に使用するブレースド・シリンダーを  
船渠内にて製造。圓筒中心距離 7 米、高 11.15 米、  
之れが浮揚には特殊のフロートを使用す

竣工せる岸壁(千若町地先)

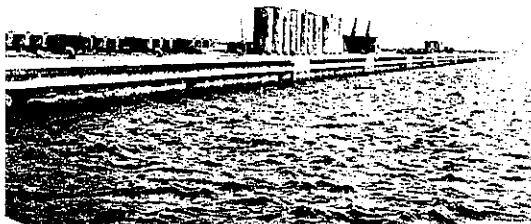
ブレースド・シリンダー浮揚状況



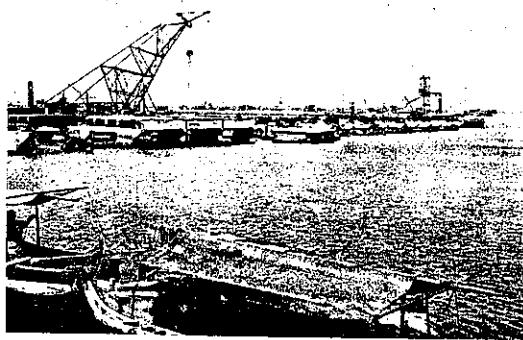
175

フロートを取付け フロート内の水をポンプにて排除し浮揚せしむ

工事中の高島一號桟橋(高島町地先)

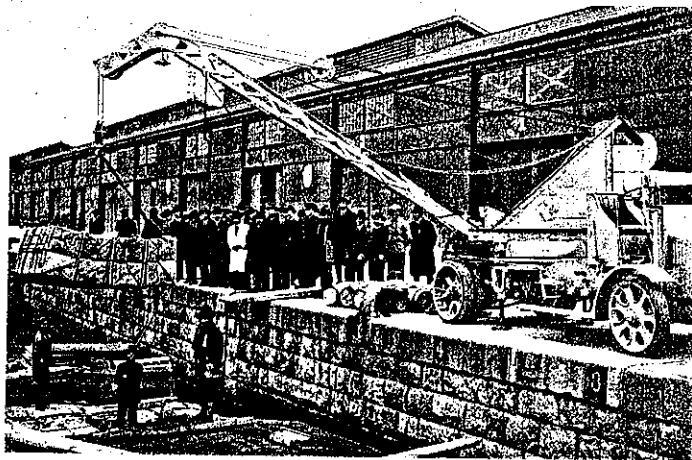


176  
水深 10 米、延長 528 米、20 000 噸級汽船 3 隻  
を繋留し得、主體はアーチ型ケーソン使用



177

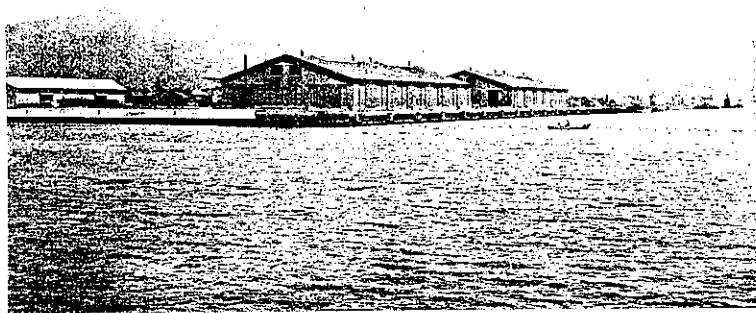
水深 7.3 米、延長 135.5 米、幅員 25 米、基礎杭打  
地形、橋脚ブレースド・シリンダー、上部は主とし  
てブレカスト・スラブ使用



178

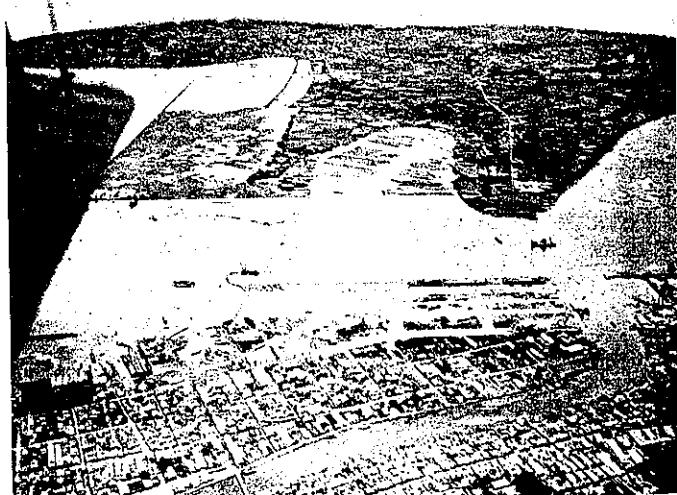
横濱税關自動車型起重機

# 清 水 港



竣工せる 3000 噸級  
汽船製船岸壁及上家  
左方物揚場の一部

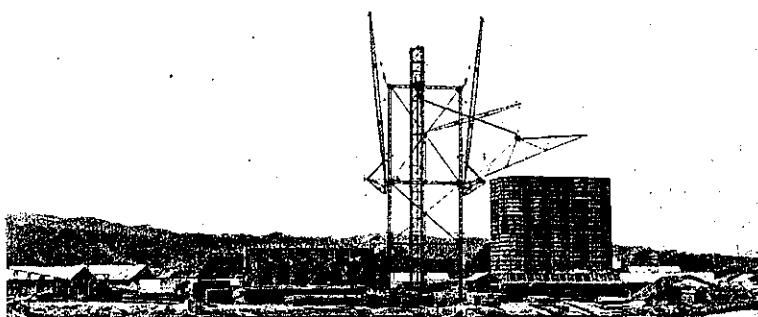
179



上空より見なる築港工事中の清水港 →

巴川河口の左方に見ゆるは水  
深 7.3 米、8.5 米及 10.6 米  
の岸壁、上方左は貝島埋立地  
なり

180

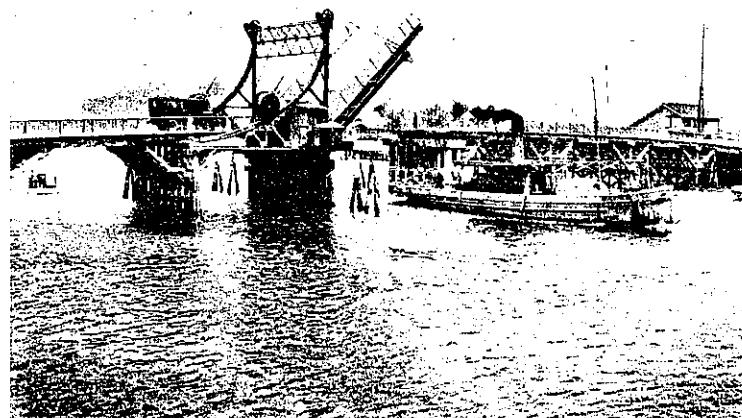


← 國製作場

中央に樹立せるは高 90 呪 (ブ  
ーム長 70 呪) 起重機及コンク  
リート塗造装置、右は斜路上の  
岸壁用潜函(高 12.5 米、重量 800  
噸)、左は斜路上の護岸用 L型潜  
函

181

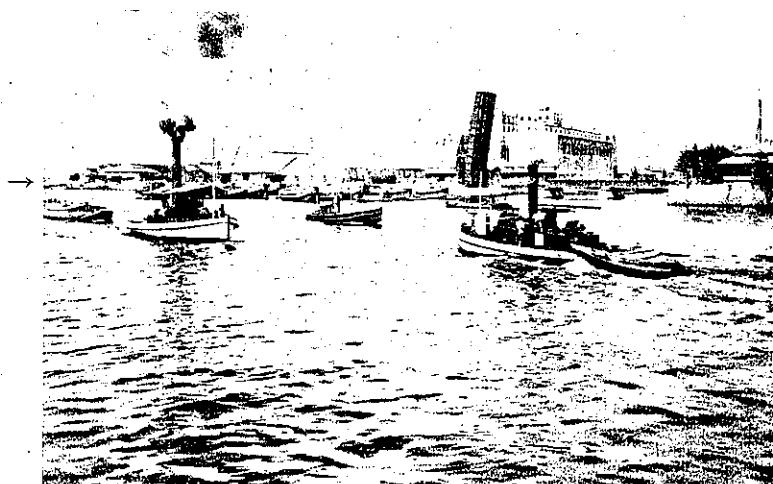
# 名 古 屋 港



← 第六、第七號埋立地間跳上橋  
人道橋にして徑間 43 尺、幅 24 尺  
なり

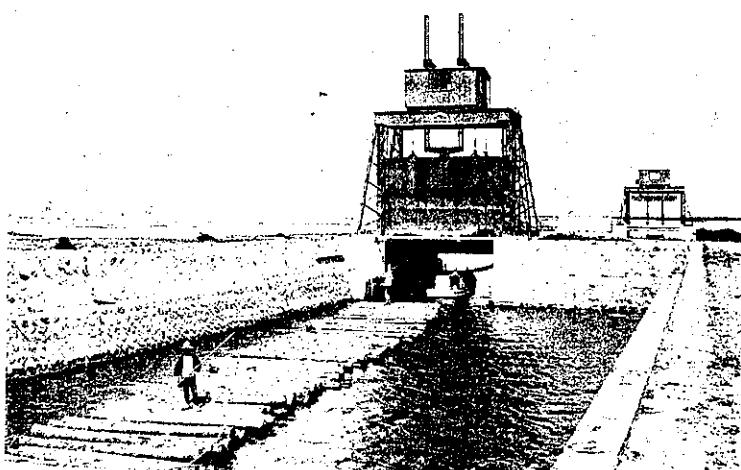
182

第一、第二號埋立地間跳上橋  
鐵道橋にして徑間 59 尺なり



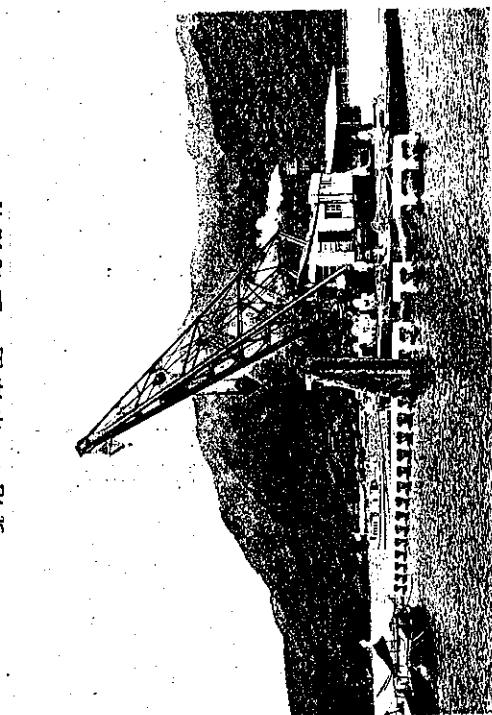
183

← 第八號貯木場開門  
遙かに貯木場を望む



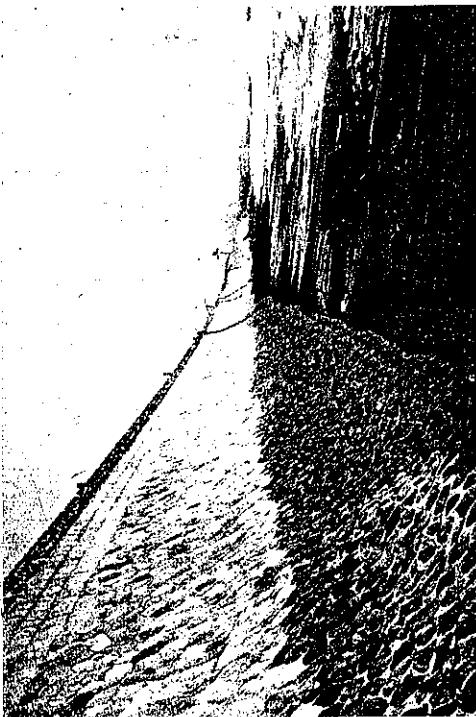
184

静岡県駿崎海岸波除堤  
埠港 5.5 米岸壁工型塊据付



高 7.3 米、長 1.5 米、底幅 4.35 米、塊 1 個の重量 20 吨  
鳥取縣田後港竣工日

— ( 56 ) —



延長 600 尺、表直高 25 尺、法上部垂直より半径 25 尺の弧形、天端幅 12 尺、裏直高 15.3 尺、法 3 分、表裏共裏筋コンクリート擧石筋とす、根固工として方塊施行  
静岡縣駿崎海岸波除堤之2番天端構造の變來せる實況

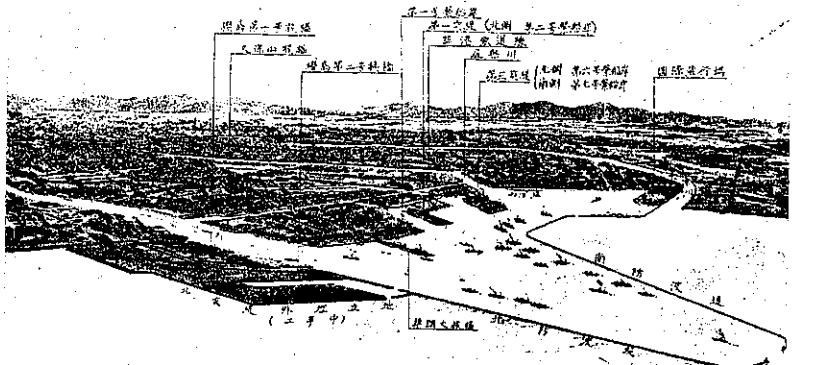


防波堤延長 79 尺、天端幅 3 尺、高さ 低水面上 7 尺



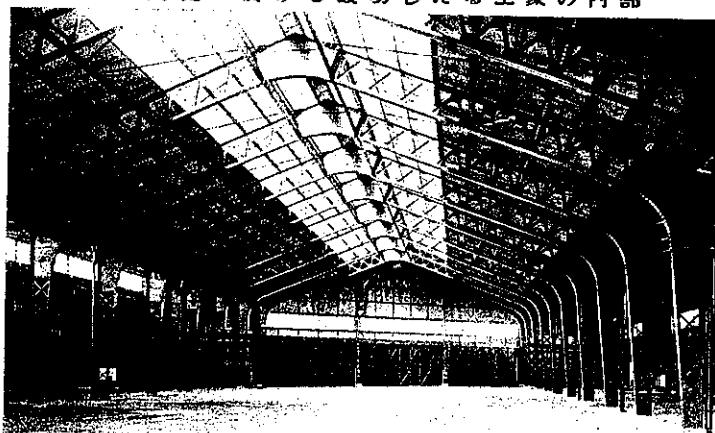
188

大坂鳥瞰圖



189

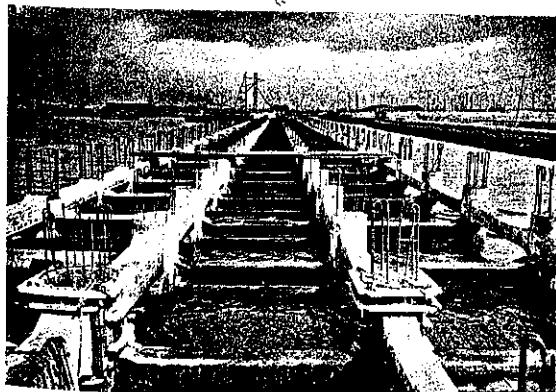
第一突堤に於ける竣工したる上家の内部



190

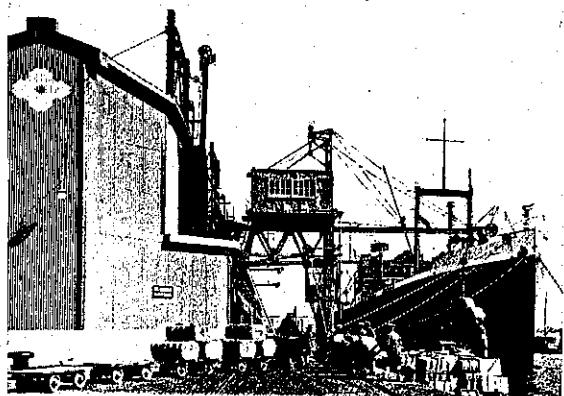
鉄骨平家建上家、間口 32.5 間、奥行 22 間

桟橋脚工事竣工の實況



191

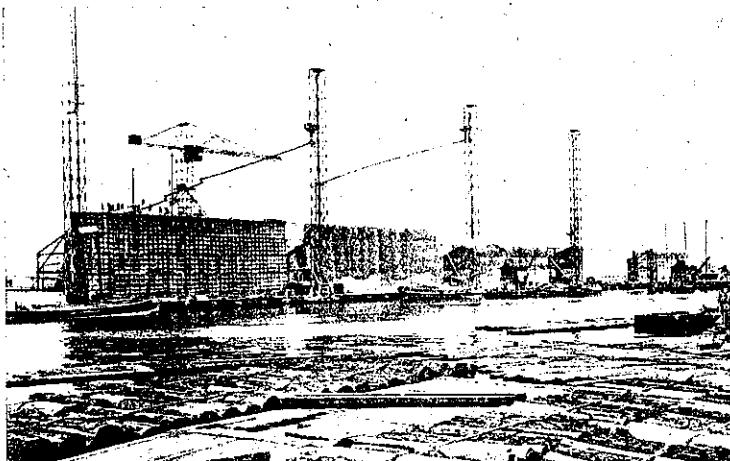
第一號繫船岸



192

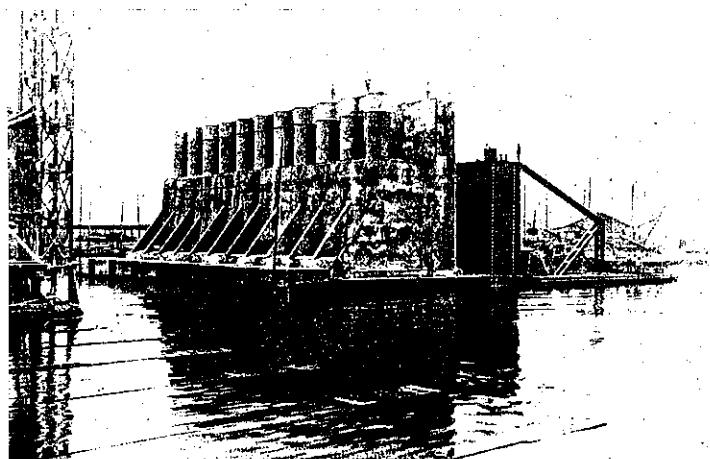
構造 鐵筋コンクリート造桟橋、延長 250 間、幅員 10 間、前面水深 干潮面下 33.5 尺及 29.5 尺

神戸港 橋上に於て製造中の函



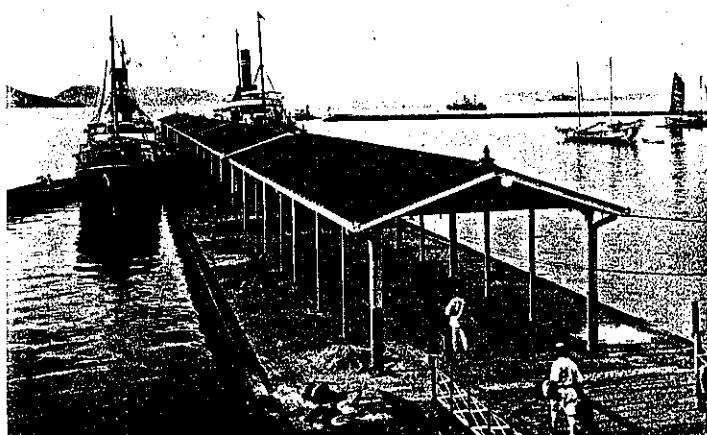
193

神戸港 函製造橋より函を浮船渠に移載曳出したる處



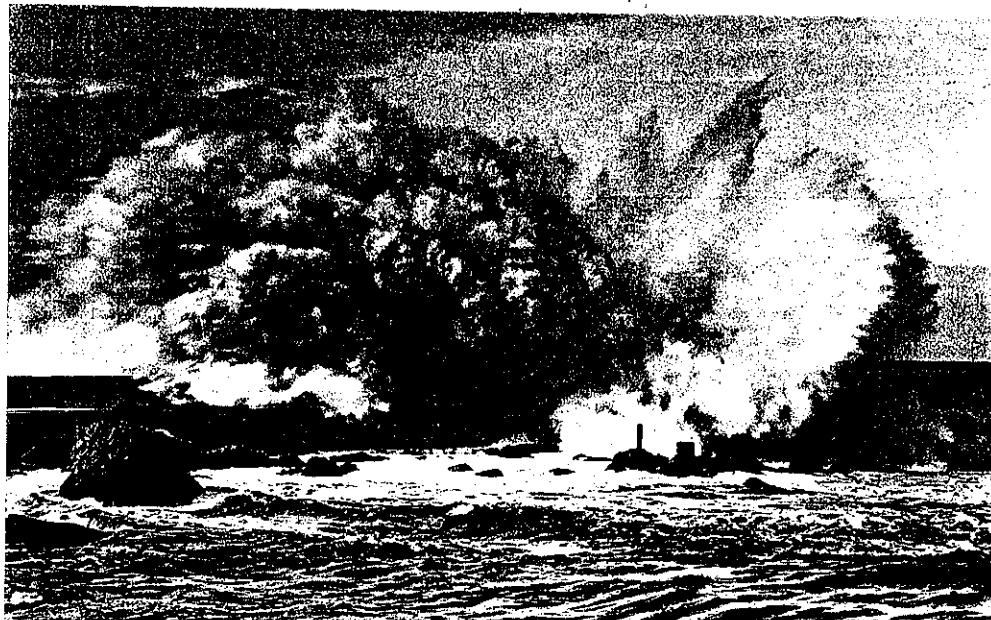
194

高松港 橋



95

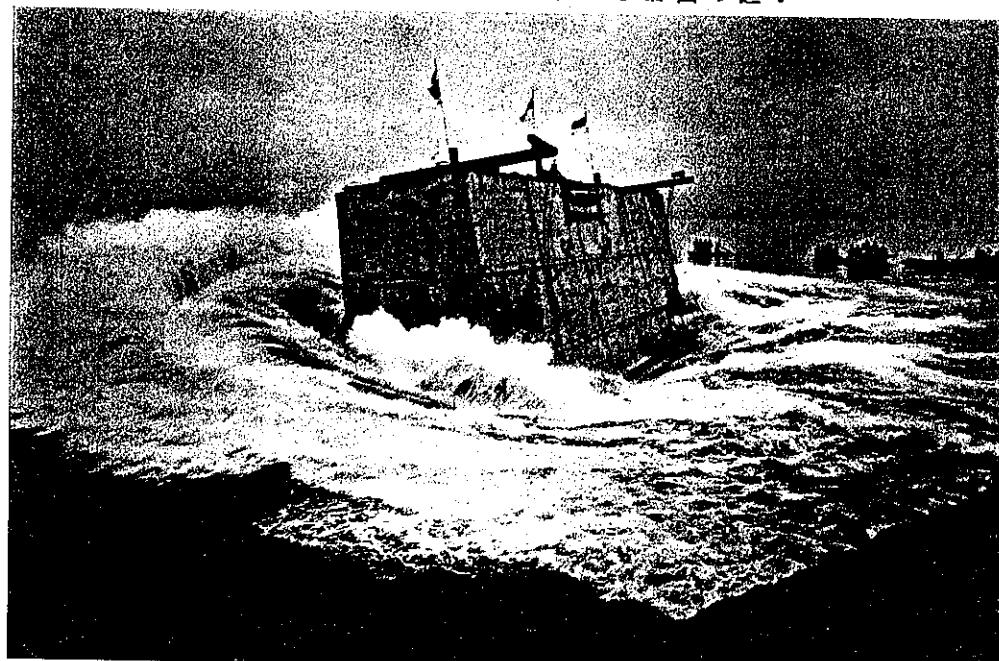
室津港防波堤に於ける大跳波



196

波浪の高さ 20 尺, 波長 360 尺, 週期 15 秒  
防波堤は重量 各 23 噸のコンクリート塊を積みて厚さ 21 尺に造られしものなり

門司港に於けるコンクリート潜画の進水



197

潜画の長さ 63 尺, 高さ 24 尺, 幅 19 尺

鹿児島港一丁臺場先端より見なる工事中の北防波堤



198

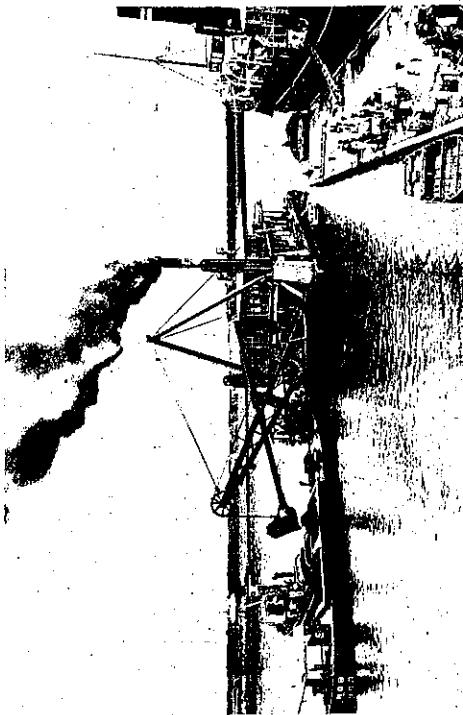
宮崎県油津港  
延長 200 米、基礎捨石は櫻島熔岩を他用す、壁幅 11 米、上幅 5 米、下幅 6 米、高 6.5 米の両を設置す、天端は平均潮汐而上 1.5 米とす

### 宮 崎 県 油 津 港



200

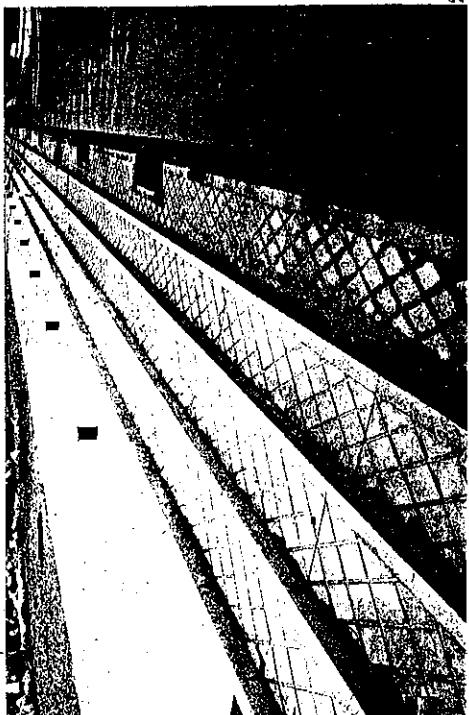
ディッパー浚渫船



199

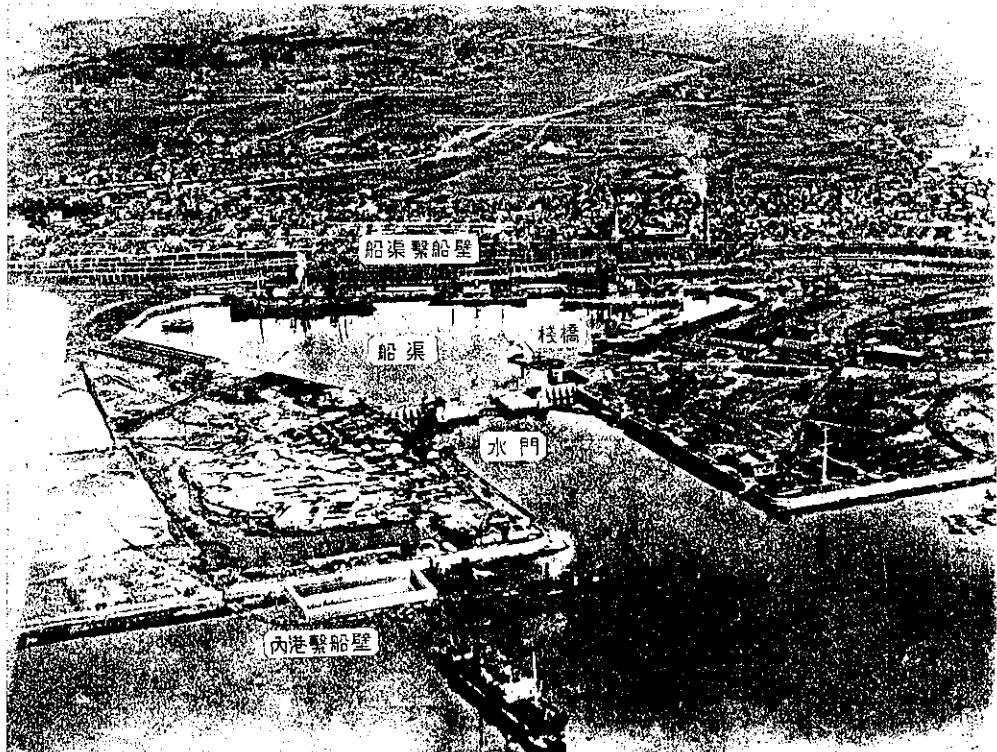
船主 内緒省  
船名 鋼江號  
長 99 呎、幅 38 吋  
能率 1 時間 120 立方米

### 今治港荷揚場



201

飛行機上より見たる三池港全景



202

本港は明治 35 年 11 月起工、同 42 年 3 月竣工せるものにして工費實に 400 萬圓、  
船渠面積 40000 坪、水深 28 尺以上、内港面積 150000 坪、水深 30 尺以上

佐賀縣東與賀村地先干拓工事前堤防築造中



203

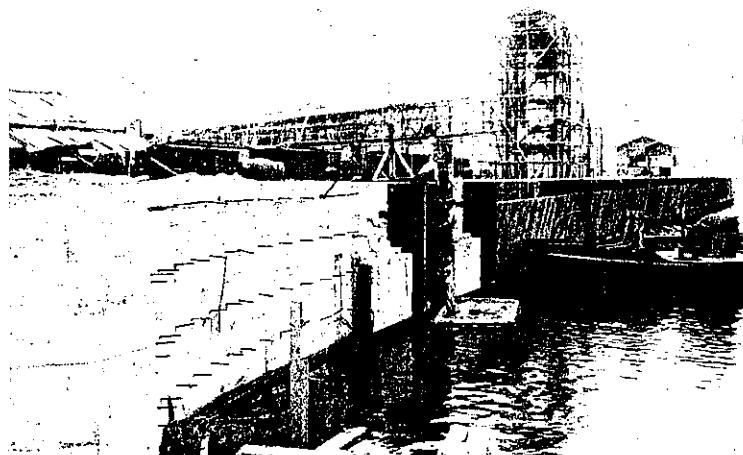
堤防の築造には天然泥土面に敷砂、敷粗粒を施し梯子土臺の上に石垣を積み上げ後方は盛土、前面に捨石を施す

青森第二渡船場渡船橋全景



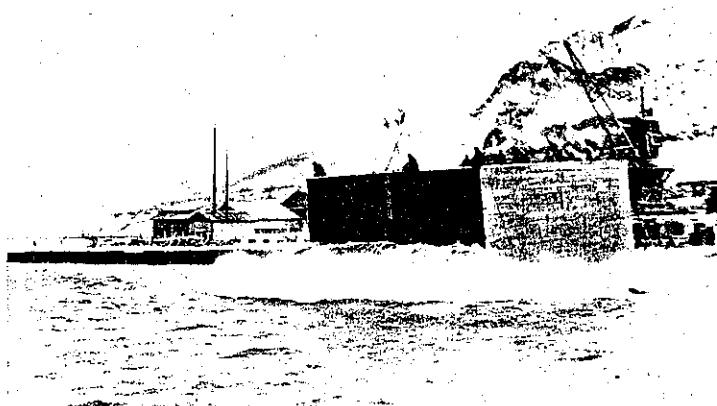
204

青森第二渡船場跨線橋鐵骨並に防弦材取付狀況



205

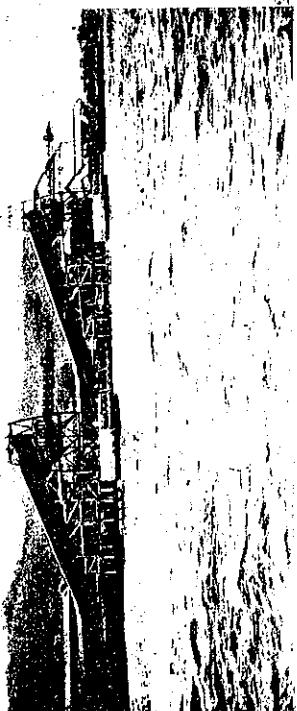
小樽水陸聯絡設備工事ケーン進水狀況



206

宝蘭港石炭積込設備  
(北海道炭礦汽船株式會社築造)

剣路港内の一帶



稚内港船入潤

— ( 63 ) —

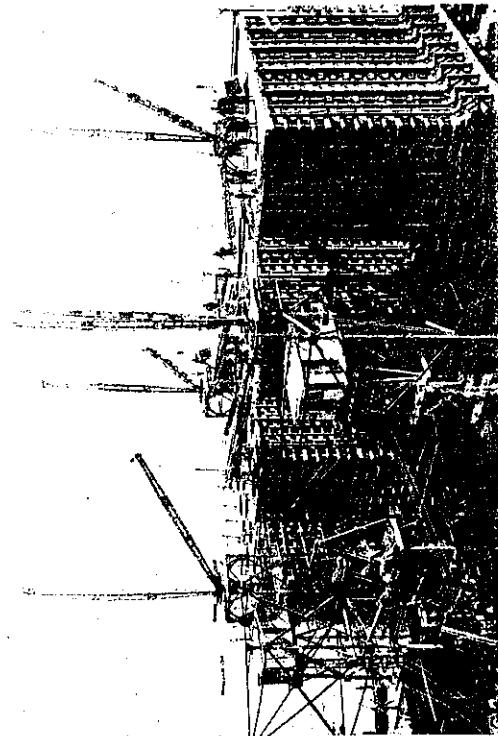


207

室蘭水陸聯絡設備 石炭船揚卸船岸壁用甲型函塊製作状況

208

北海道監視航行に係る築港工事は急々並進し南北防波堤は既に其の大部分を完成す、築港工事は本港々勢に影響する處極めて大なり



209

築港工事に依り築造せられたる船入潤



210

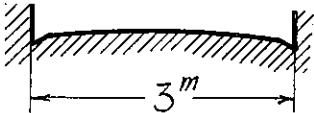
東京に於ける街路幅員 (其一)



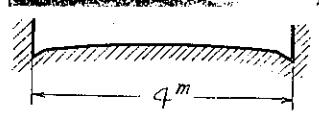
211



212



$3m$



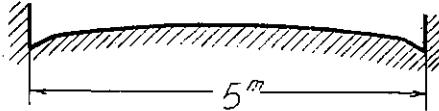
$4m$



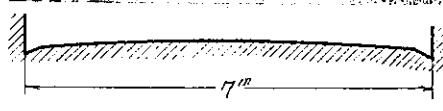
213



214



$5m$



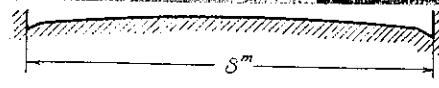
$7m$



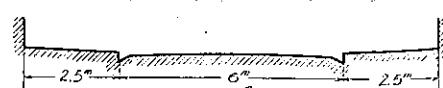
215



216



$8m$

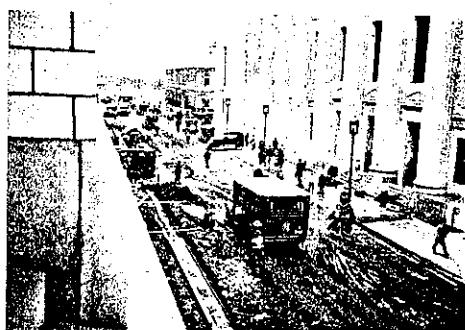


$11m$

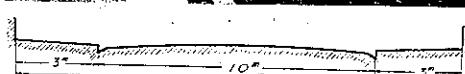
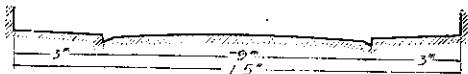
東京市に於ける街路幅員 (其二)



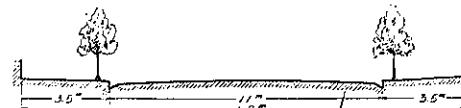
217



218



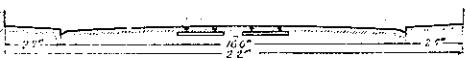
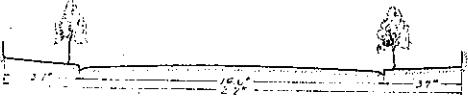
219



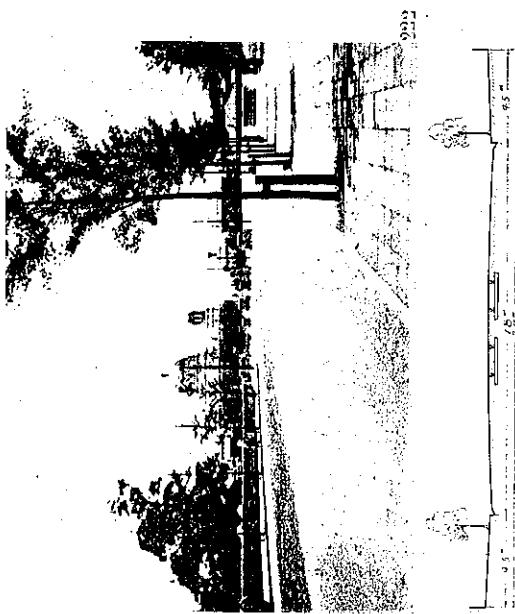
220



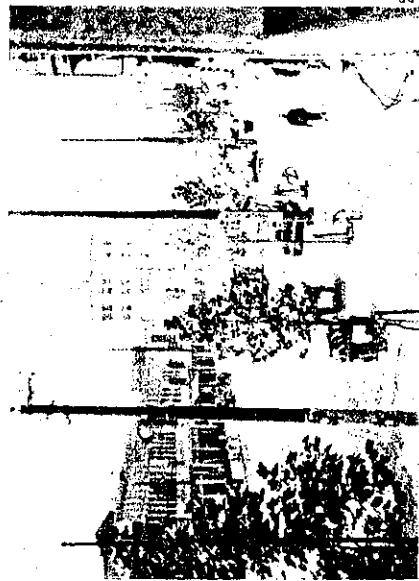
221



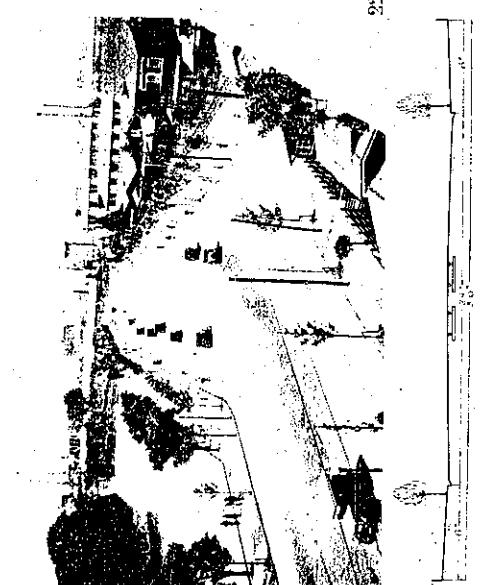
東京市に於ける街路幅員（其三）



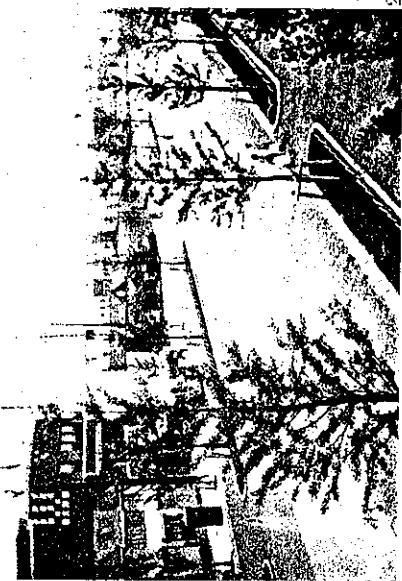
293



293



294



295

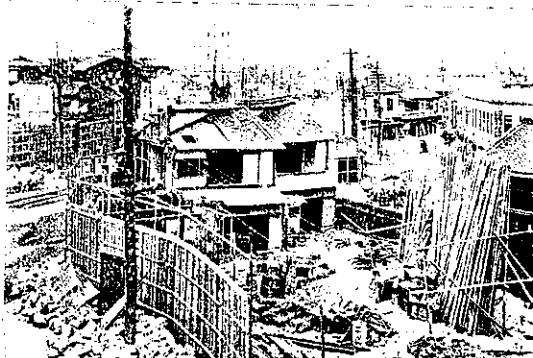
## 大阪市都市計畫道路

### 御堂筋線の中梅田一大江橋北詰間

延長 390 間，幅員 24 間，鋪裝（歩道）コンクリート・タイル，（車道）木塊



大江橋北詰（新）



大江橋北詰（舊）

226

227

### 御堂筋線の中大川町一本町間

延長 550 間，幅員 24 間，鋪裝（歩道）コンクリート・タイル，（車道）地下高速鐵道，竣工迄砂利道



228



淀屋橋南詰（舊）

229

### 鶴 橋 線

延長 1228 間，幅員 12 間，鋪裝（歩道）コンクリート・タイル，（車道）煉瓦，砂利，木煉瓦



230

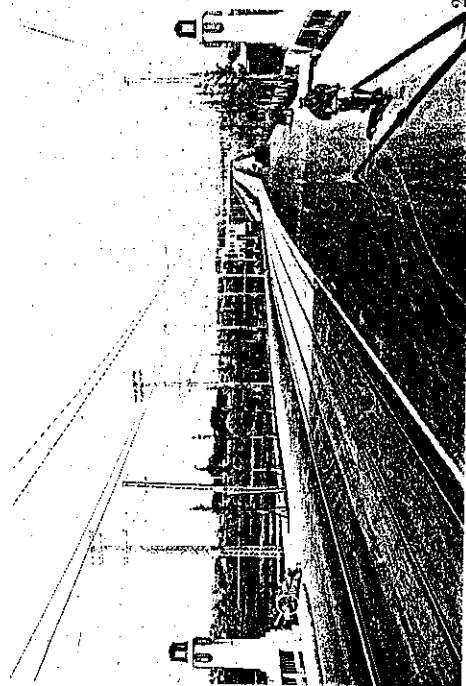
上本町六丁目（新）



上本町六丁目（舊）

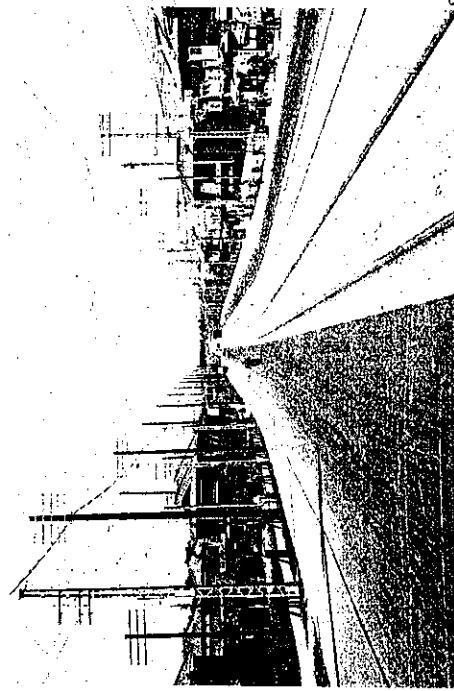
231

阪神國道



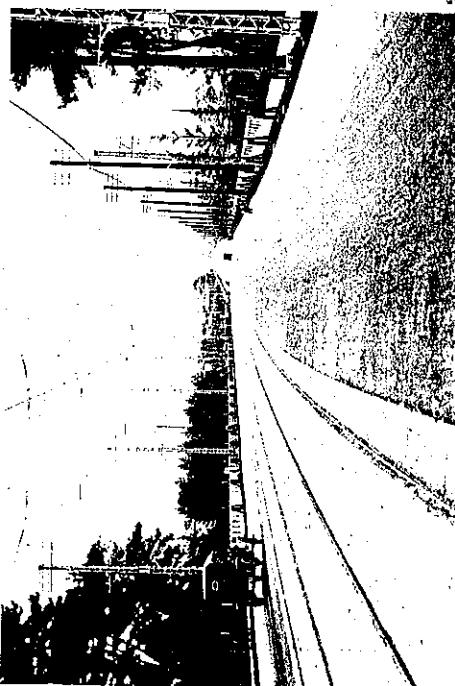
232

大庭村附近



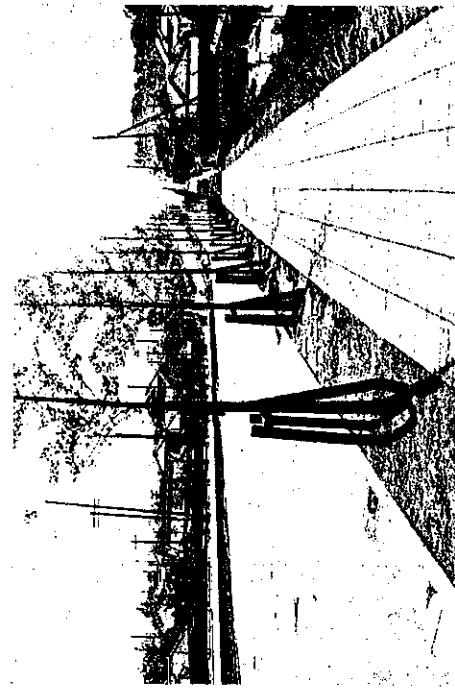
233

精道村蘇屋附近



234

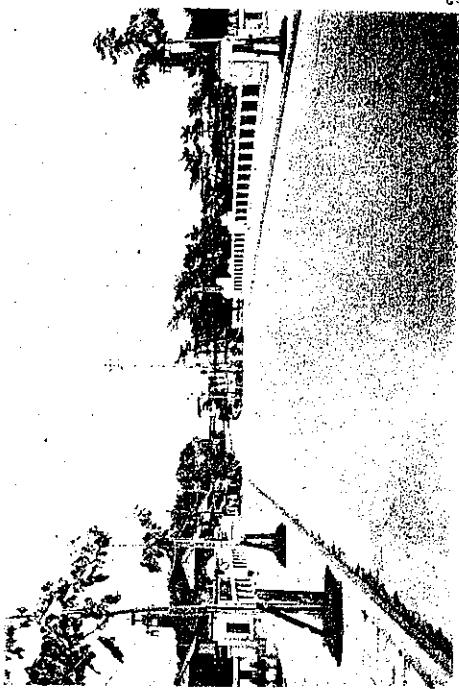
魚崎町附近



235

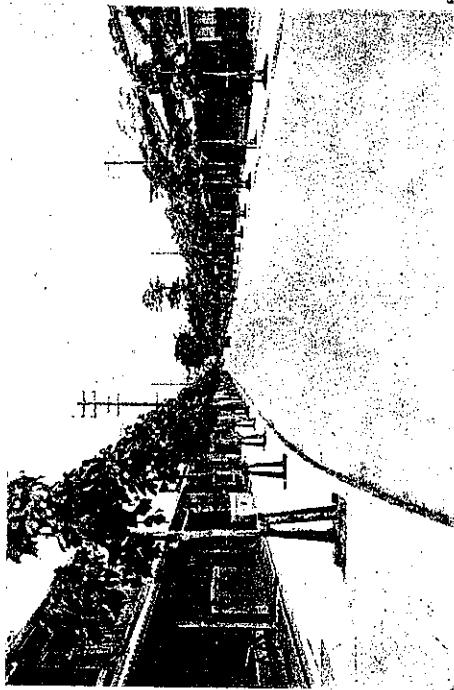
場所打コンクリート歩道鋪設

神明國道（其一）  
(神戸明石間)



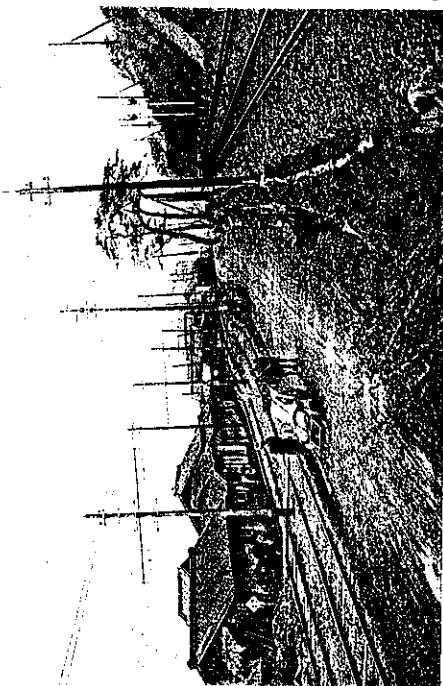
236

垂水町福田橋附近



237

垂水町西垂水附近



238

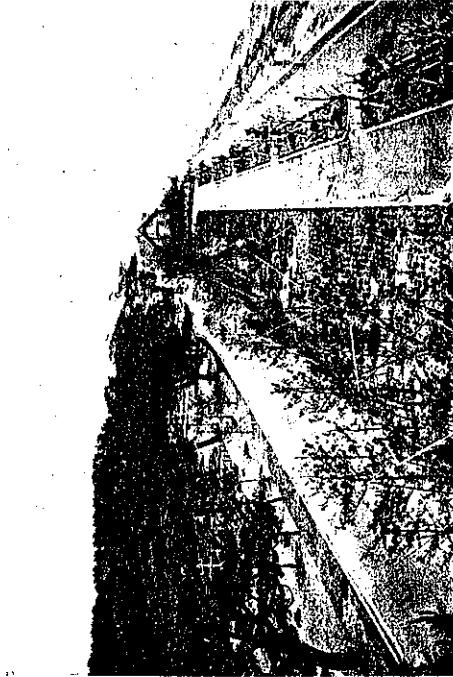
垂水町山田附近（新）



239

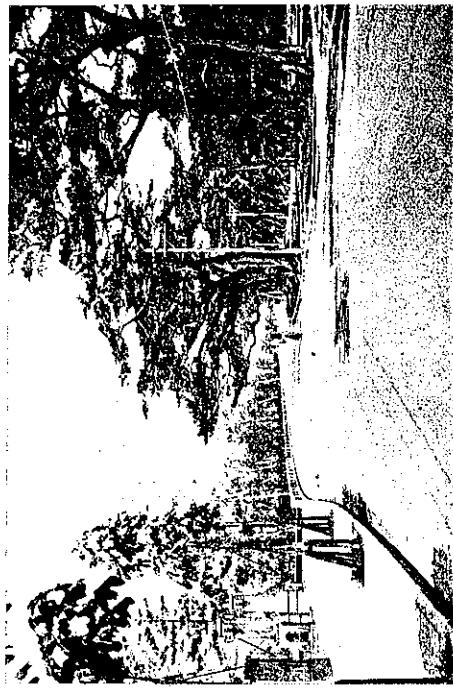
垂水町山田附近（舊）

神明國道(其二)  
(御門石關)



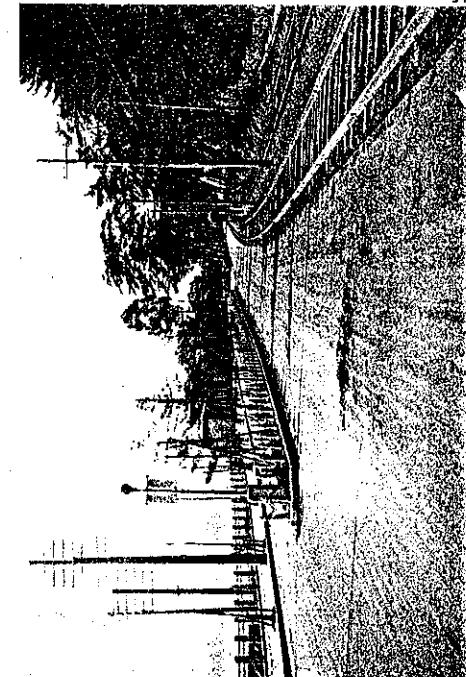
舞子公園附近(舞子遊歩道)

240



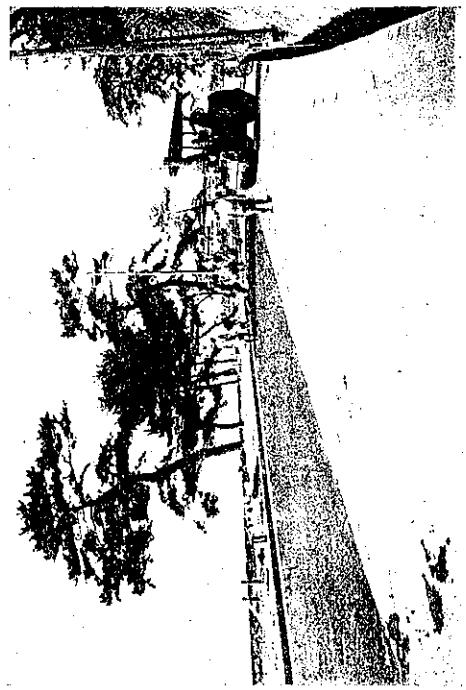
舞子公園附近

241



垂水町黒屋附近

242



垂水町西垂水附近(御堂下車中)

243

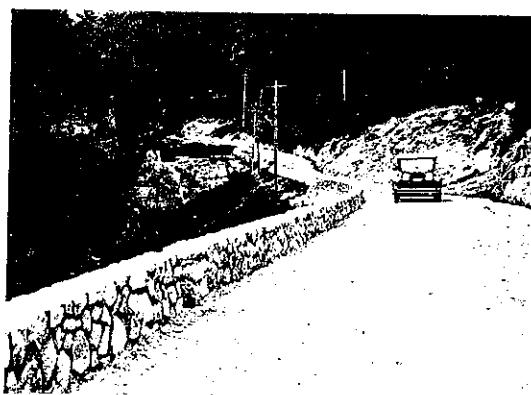
## 六甲登山道路

(神戸市)



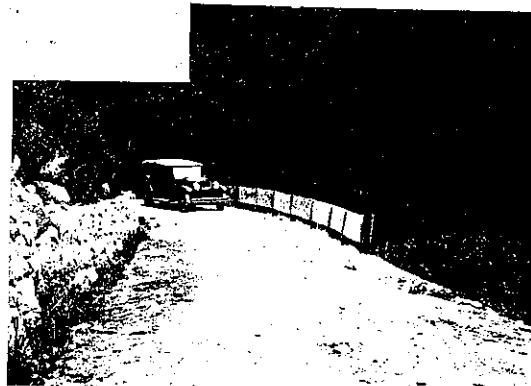
244

六甲山頂上



245

六甲山中腹



246

## 東海道の並木



鈴川驛附近

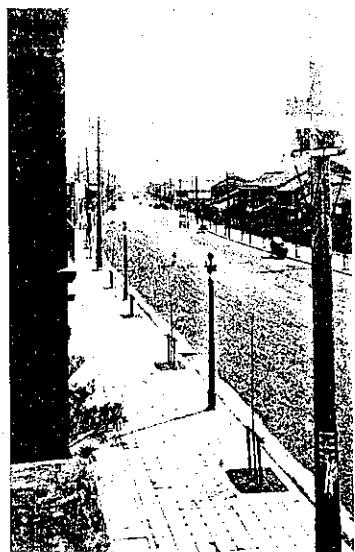
247



原驛附近

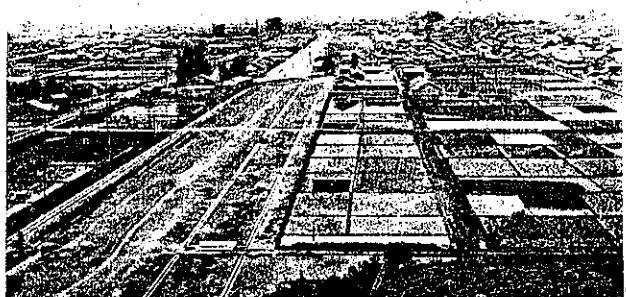
248

## 静岡清水間國道



249

日ノ出町より谷津山方面を望む

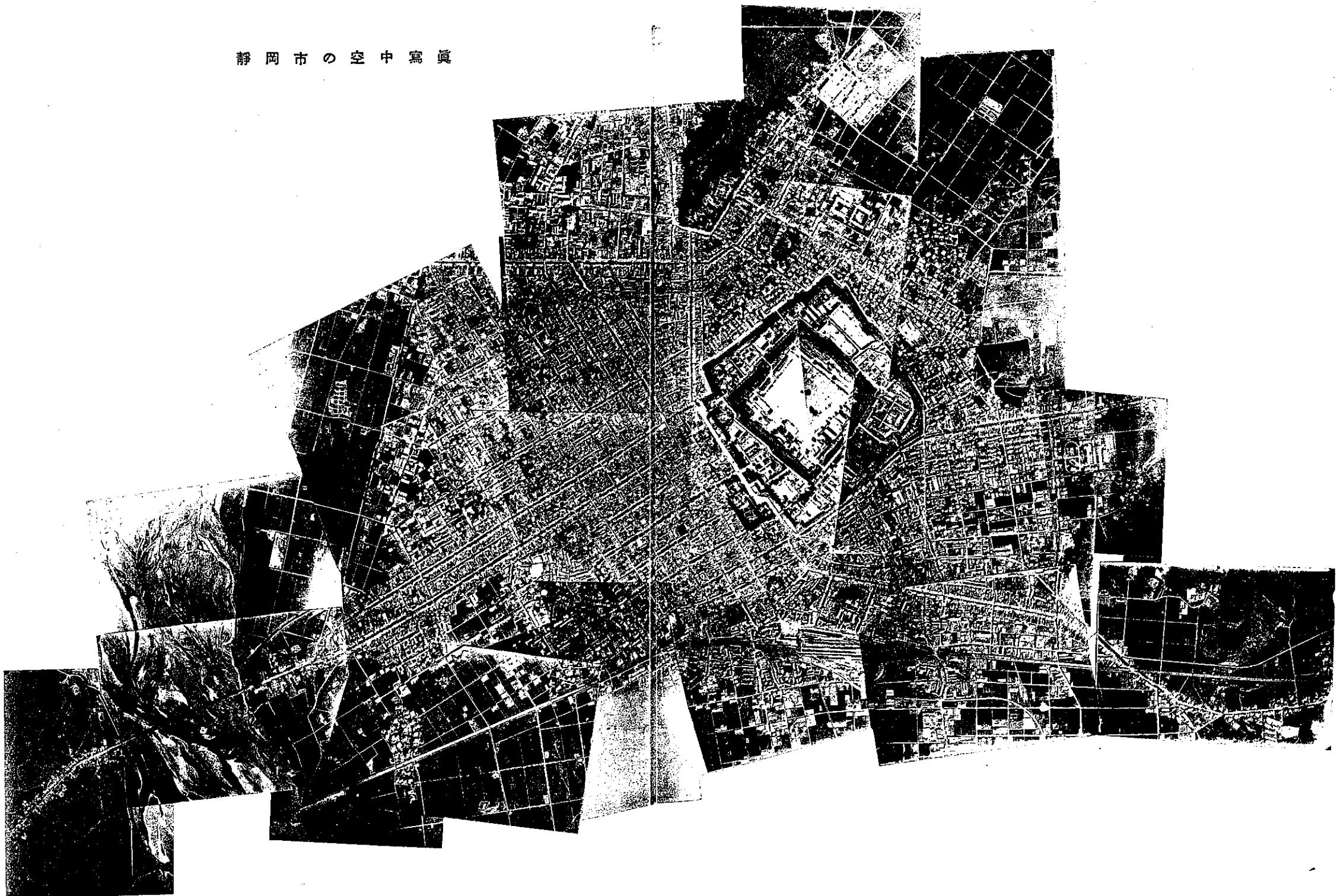


250

谷津山より静岡市方面を望む



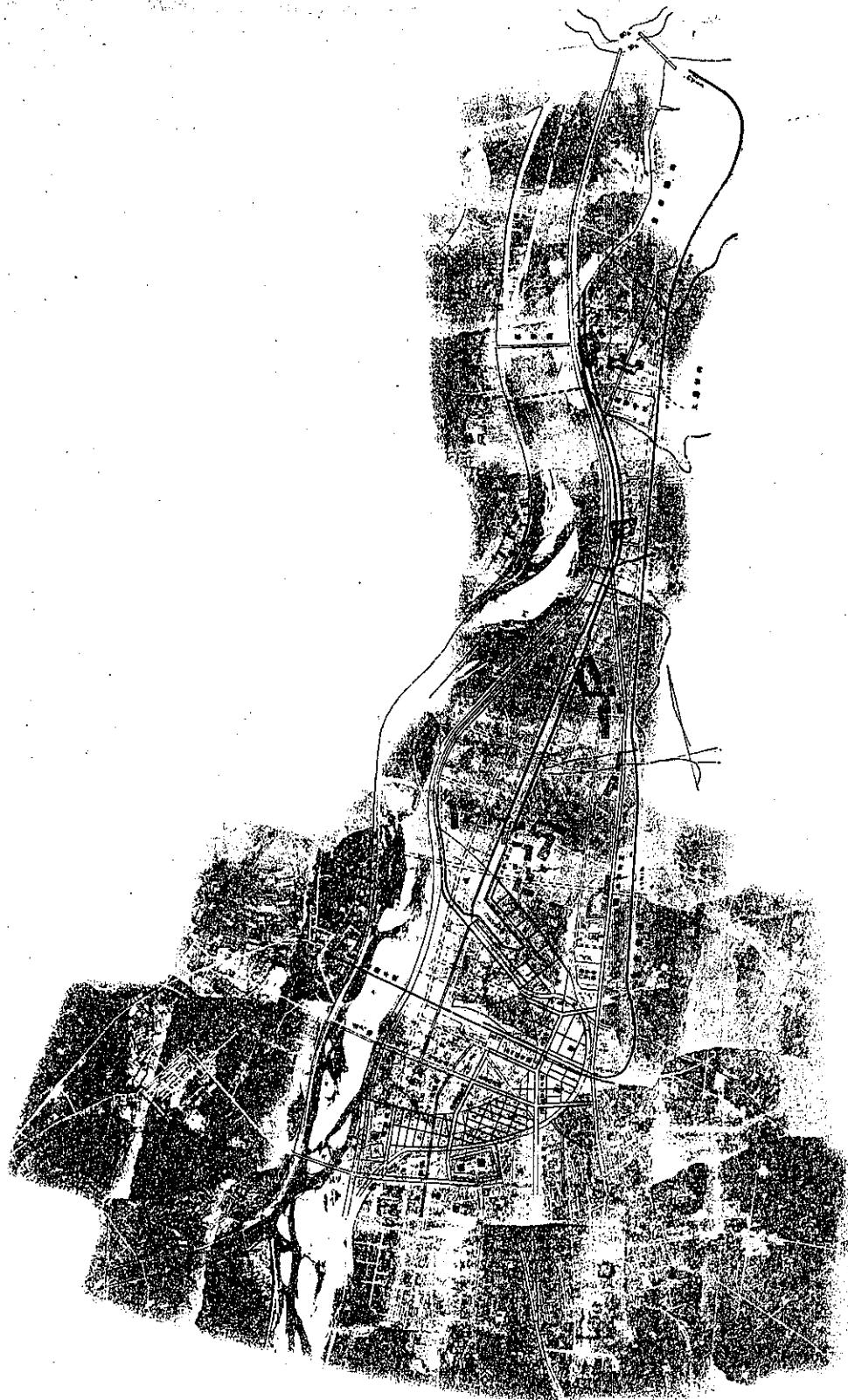
静岡市の空中写真



—( 73 )—

—( 74 )—

富山都市計画区域の空中寫真



252

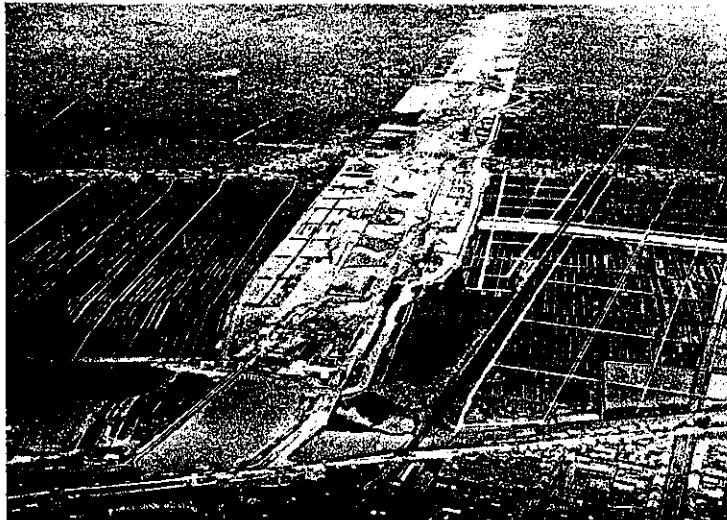
## 名古屋都市計畫事業

### 中川運河

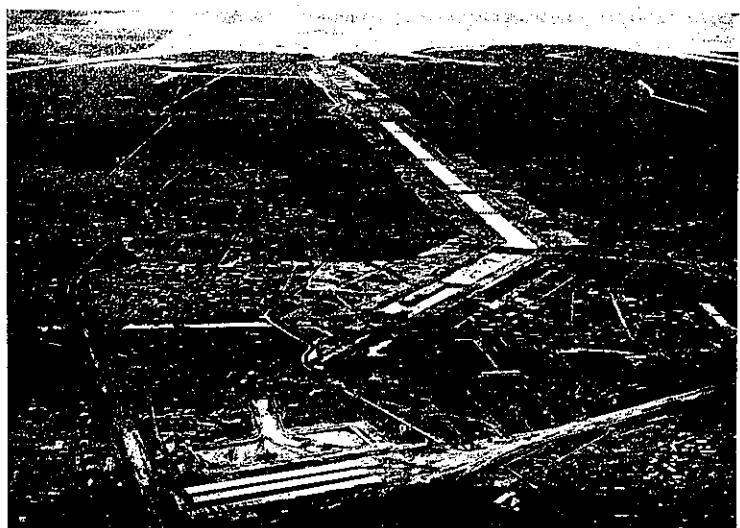
(名古屋港舊中川河口より名古屋新設貨物駆船滑に至る)

延長及幅員 總延長 3515 間 (幅員 50 間のもの 1000 間, 35 間のもの 2515 間)

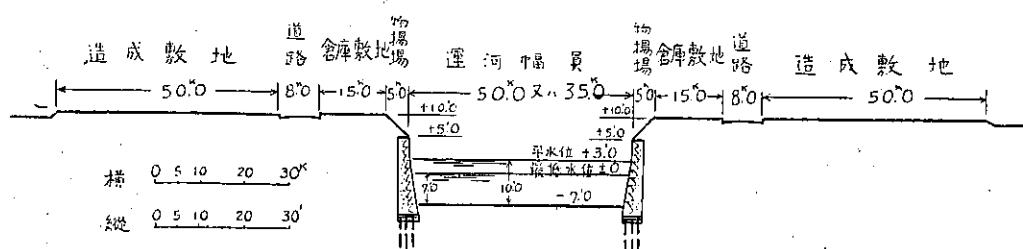
舊中川河口に閘門 (幅 6 間, 長 60 間) 1箇所を設く

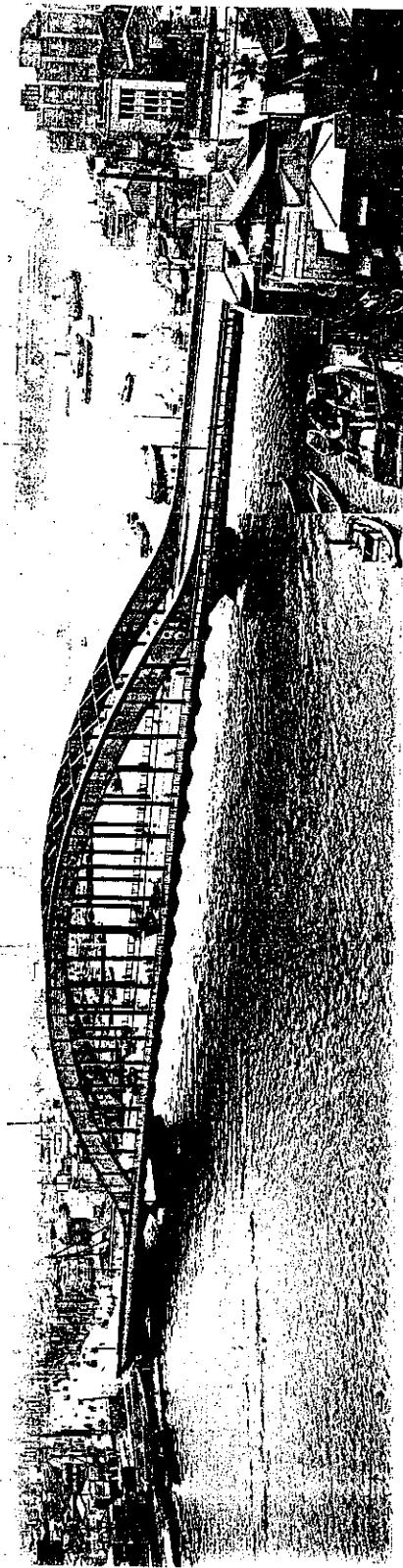


253



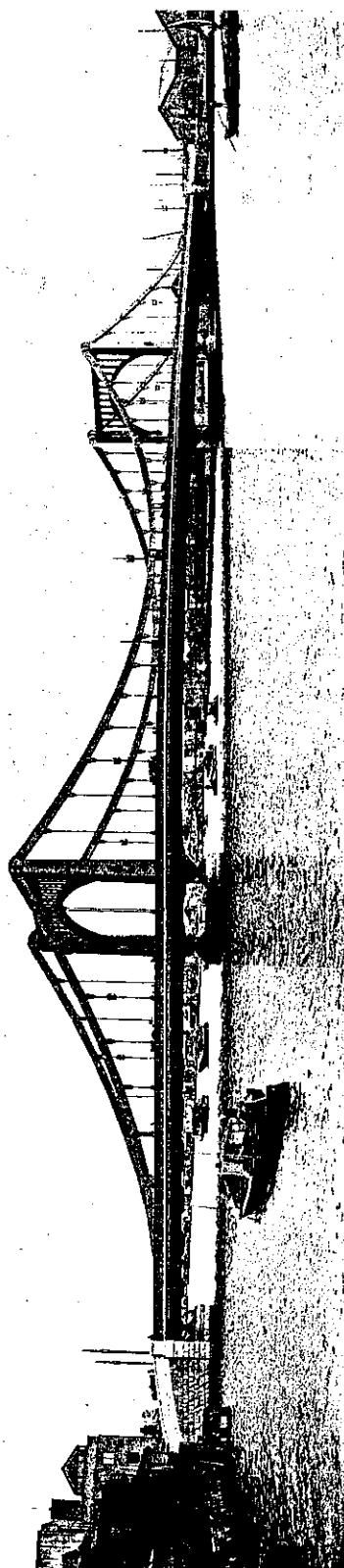
254





清淵橋

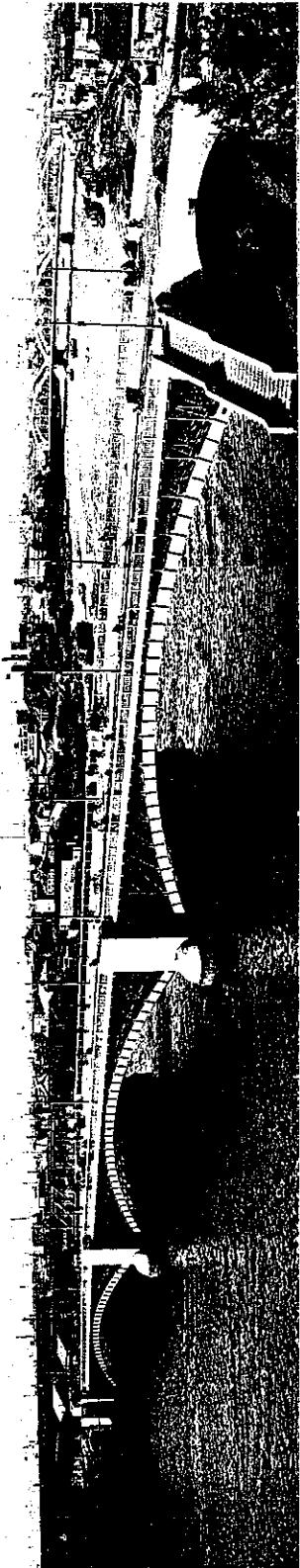
橋型 索折及吊杆之有する鋼製斜張橋、橋長185.2米、有効幅員 22米



橋型 極剛性鋼筋を有する片端承橋、橋長 186.6米、有効幅員 22米

藏前橋

帝都復興五大橋(其二)



駒形橋

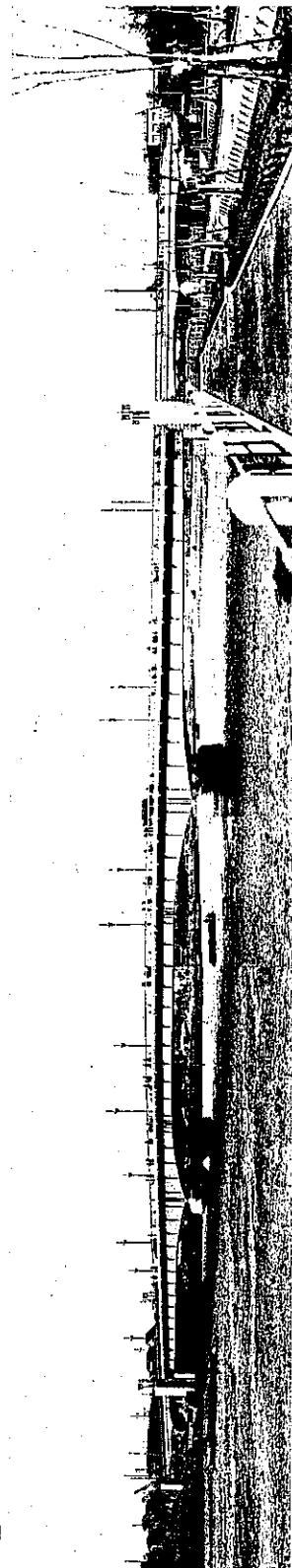
橋型 二段鉄錬拱 3 徑間，木所側に二段鐵筋コンクリート掛 1 徑間， 橋長 173.2 米， 有效幅員 22 米

—( 78 )—



言問橋

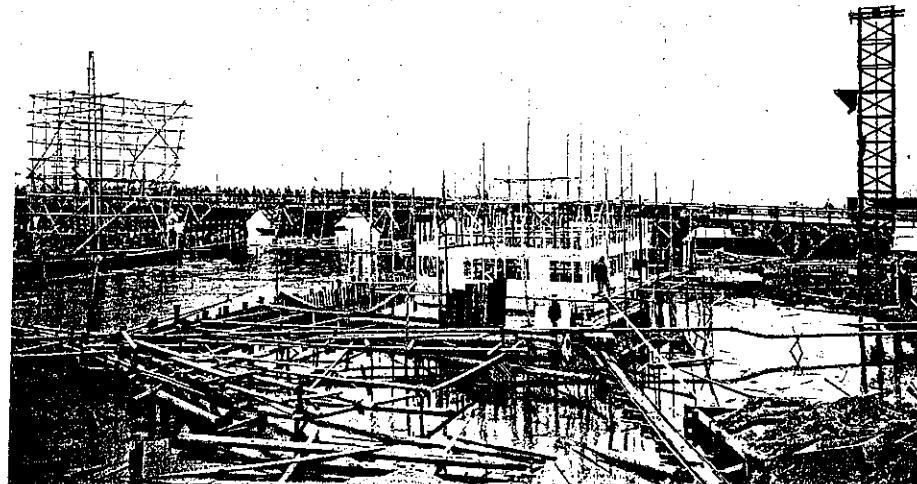
橋型 二段鋼錬拱 3 徑間， 橋長 149.1 米， 有效幅員 22 米



橋型 中央吊橋の鋼鍍梁 3 徑間，兩岸に連鎖鋼鍍折 3 徑間先， 橋長 237.7 米， 有效幅員 22 米

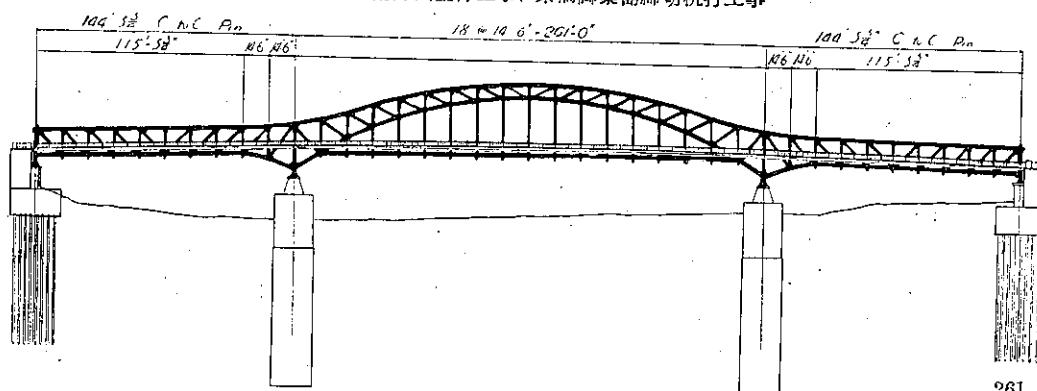
## 白鬚橋

東京府南葛飾郡寺島町、東京市浅草區橋場町出會、東京都市計画環状線、隅田川に架す。

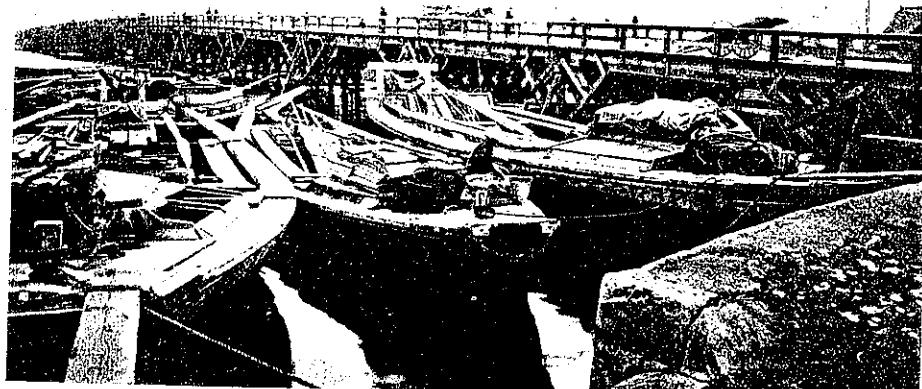


260

東橋臺南沈剛型桟工事、東橋脚築島締切杭打工事



261



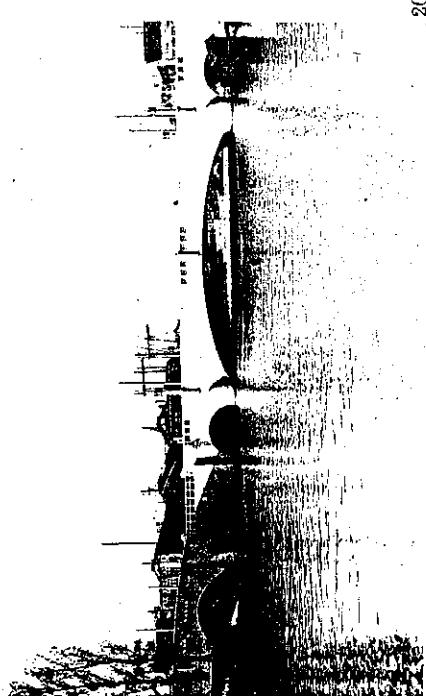
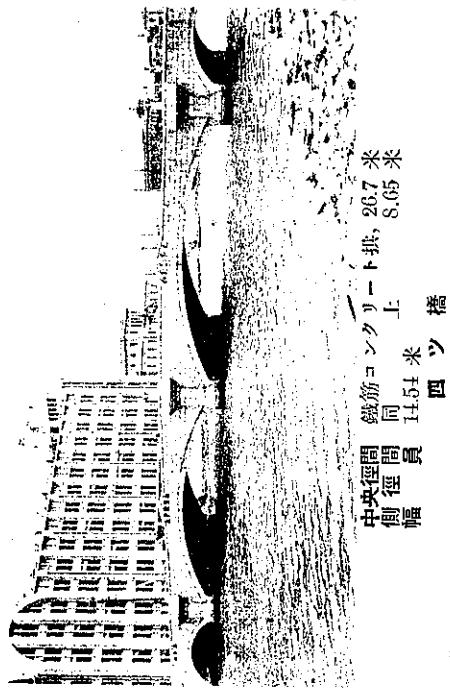
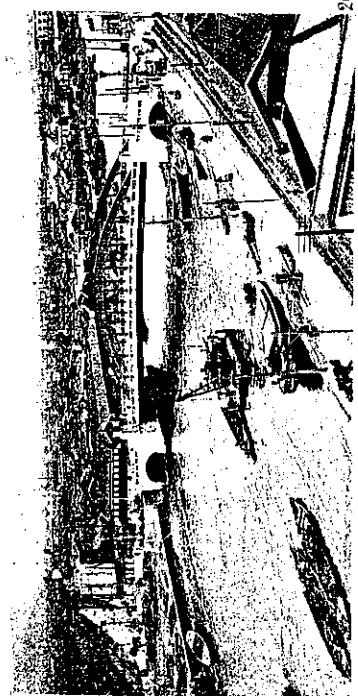
262

在來木橋

大阪市に於ける橋梁(其一)

堂島大橋

田 築 橋

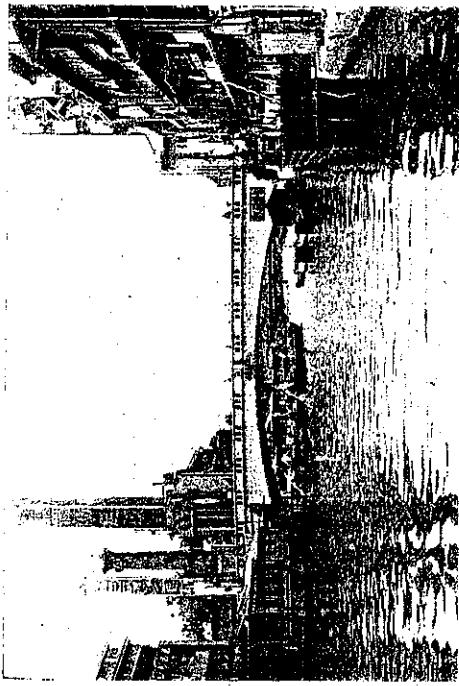


橋名	跨距(米)	幅員(米)	構造
上 岩屋橋	24.38	27.27	二鉄筋コンクリート橋
下 岩屋橋	27.20	9.09	"
吉野屋橋	31.50	9.09	"
	32.97	9.09	"

戎 橋

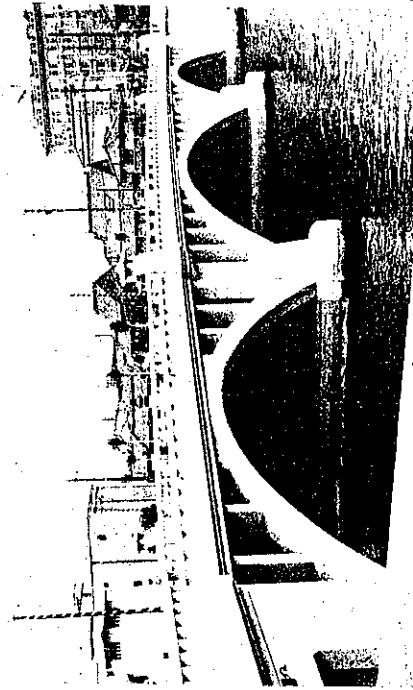
大阪市に於ける橋梁(其二)

高麗 橋



267

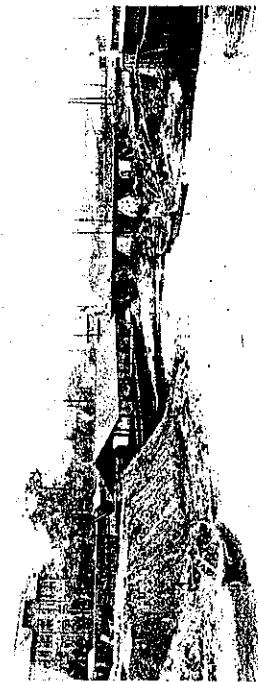
鐵筋コンクリート橋、跨間 36.10 米、幅員 10.91 米



268

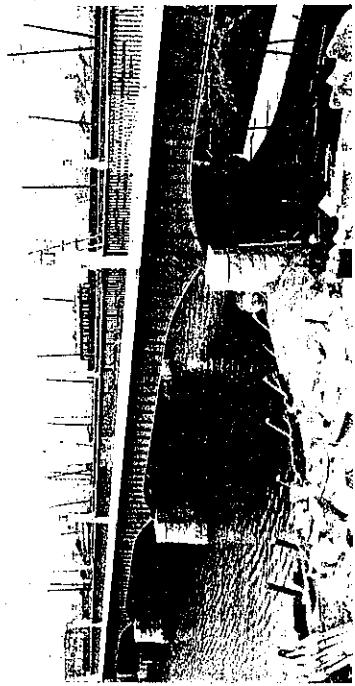
中央跨間 鐵筋コンクリート橋、上 23.18 米  
側幅員 11.0 米

鹽屋川橋 銅鍍板、中央二跨間 25.75 米、東側一跨間 14.88 米、西側一跨間 23.68 米、幅員 18.5 米



269

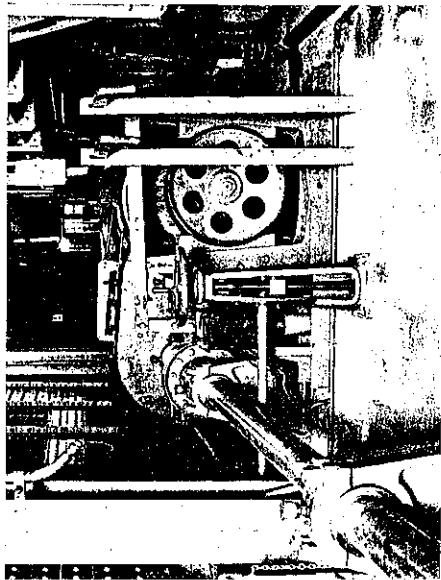
鹽屋川埋立狀況



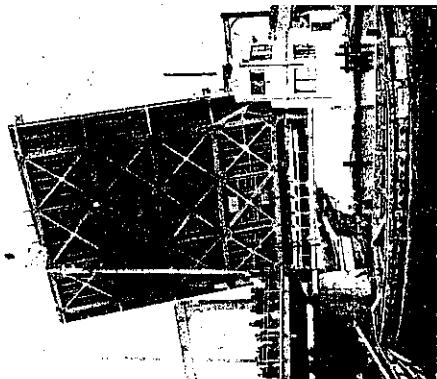
270

完成したる鹽屋川橋

神戸市高松橋(跳上橋)  
架橋地點 神戸市元東高坂終點より東尻池町に至る運河上に架設。  
可動部 車道橋面間有效長間 60呎、跳上距離 72呎、固定橋 36呎、  
幅員 車道 8間 市電複線、歩道兩側各 6呎

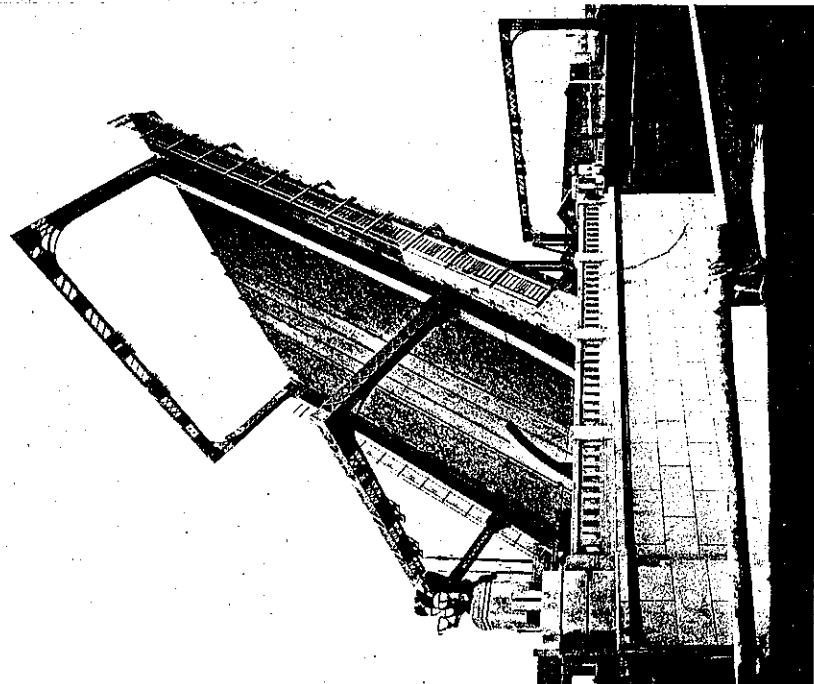


273



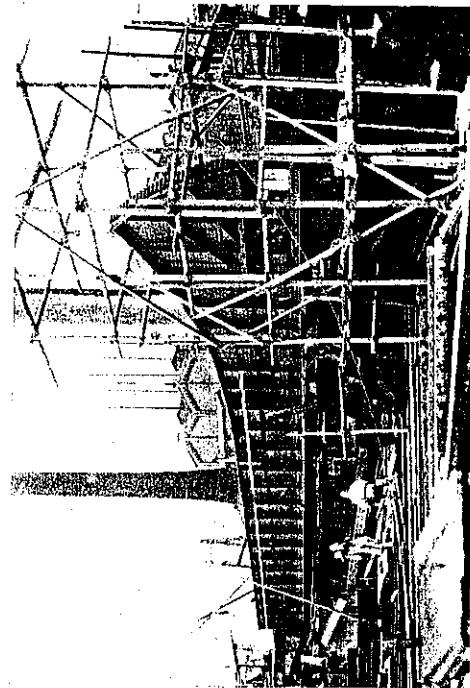
272

全景(其二)



271

全景(其一)

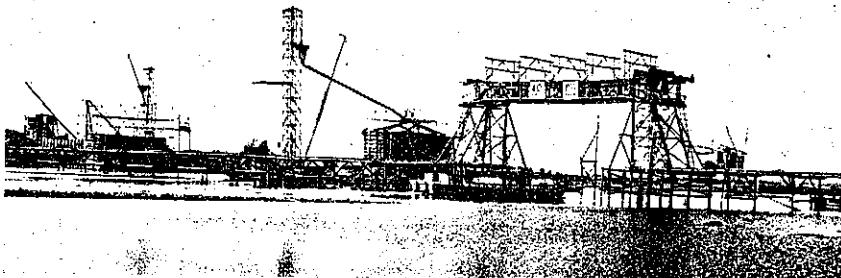


架設工事中の光景

274

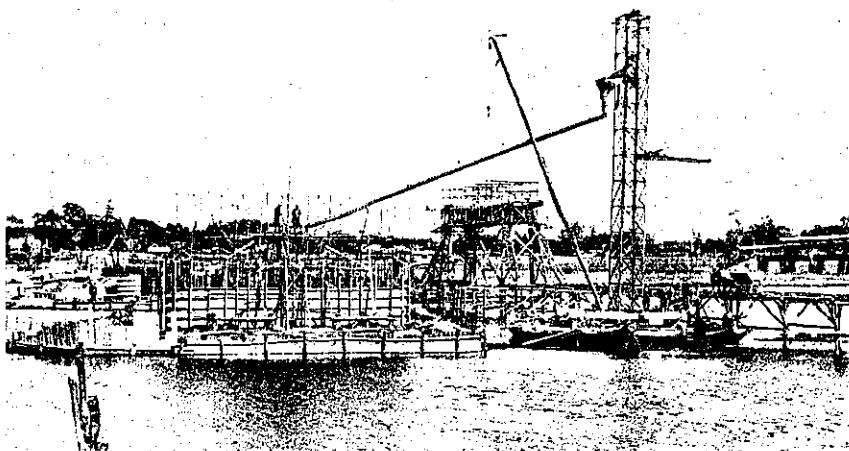
動力機室  
電動機 75馬力1臺、發動機  
電動機 75馬力1臺、發動機  
ガソリン 1台  
1台  
運動時間 1分20秒、  
動力 1.7キロワット時

## 六號國道利根川橋梁工事



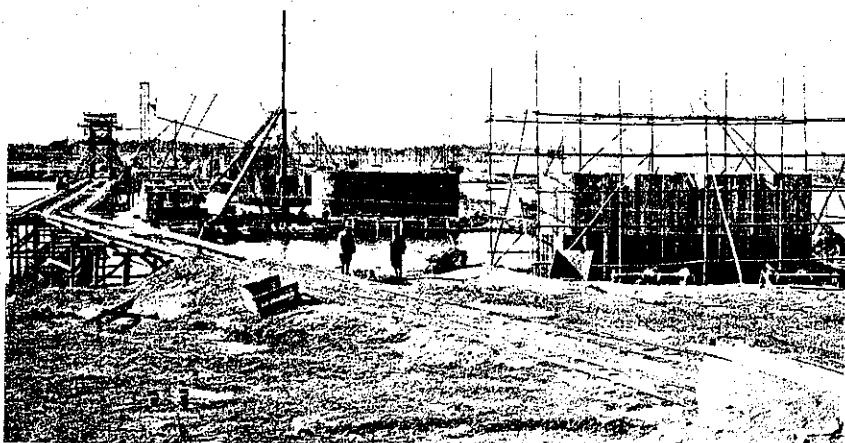
275

左右両岸各コンクリート混合所を設け中央部低水敷には工事用假棧橋を設けたり、舟行のために徑間 10 間のトランスポート橋を架し一時に土工用鉄下ロ 2 台を運ぶ。左端に見ゆるは右岸コンクリート混合所にして中央鐵塔は船上に架したる低水敷移動エレベーターなり



276

第十三号井筒コンクリート打の實況



277

左岸取手側より右岸我孫子側を望む、左は假棧橋、中央のデリックは低水敷移動掘整用のものなり

工事中の海門橋(茨城県)  
鉄筋コンクリート橋

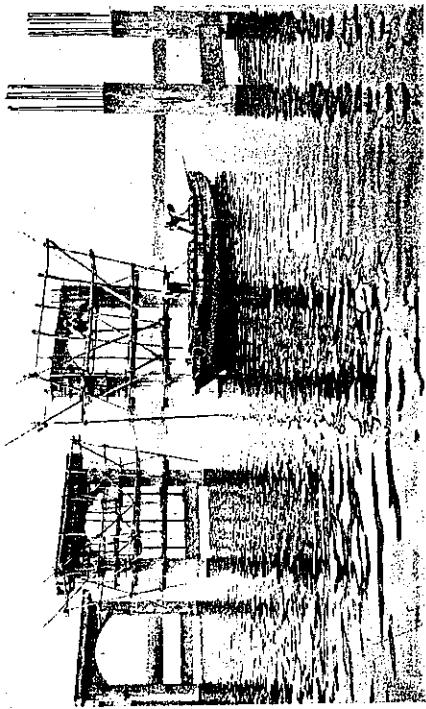


278

左岸溪町側第一種脚手架

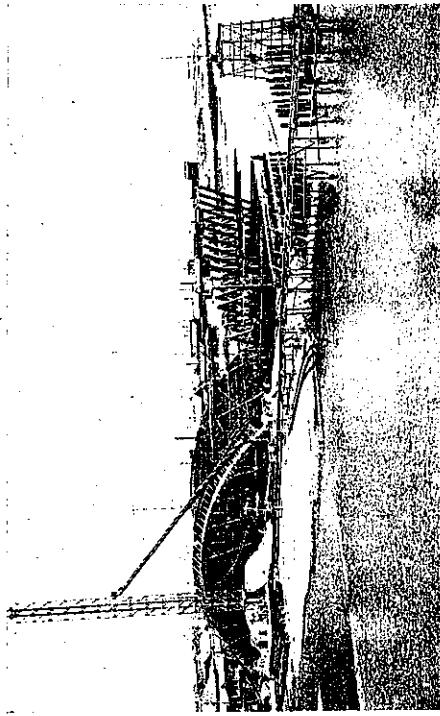
工事中の神宮橋(茨城県)

延長 800 米、径間 10 米、鋼工製造 80 連、有効幅員 5.5 米



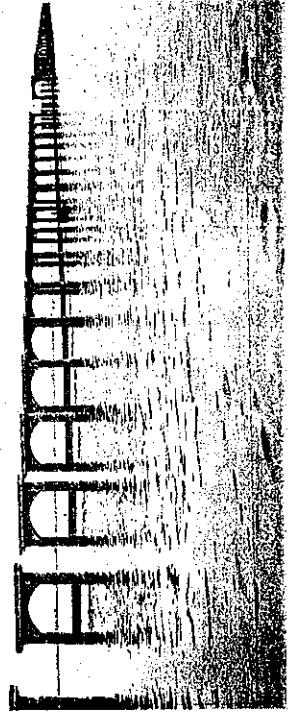
280

橋脚上部工事中の状況



279

第一種脚手架組立及第二種脚手架組立中



281

一部竣功せる橋脚

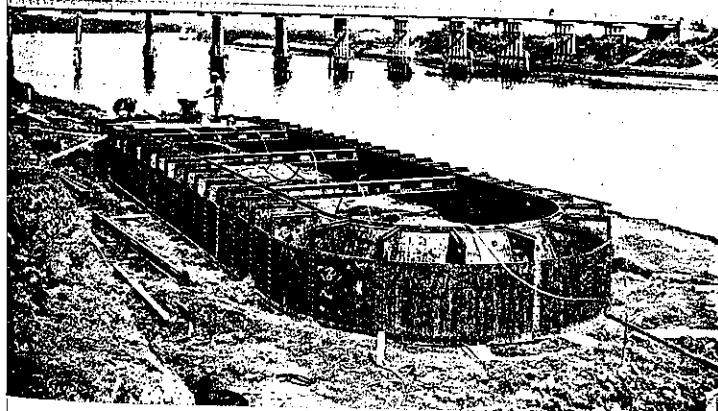
## 工事中の戸田橋(東京府埼玉県界)(其一)

橋型 支点式ワーレントラス橋(中央径間 87.5 米 1 連, 兩側径間各 35.0 米 2 連), 鋼筋桁(径間 21.7 米 17 連)  
幅員 11.0 米  
鋪装 アスファルト・ブロック



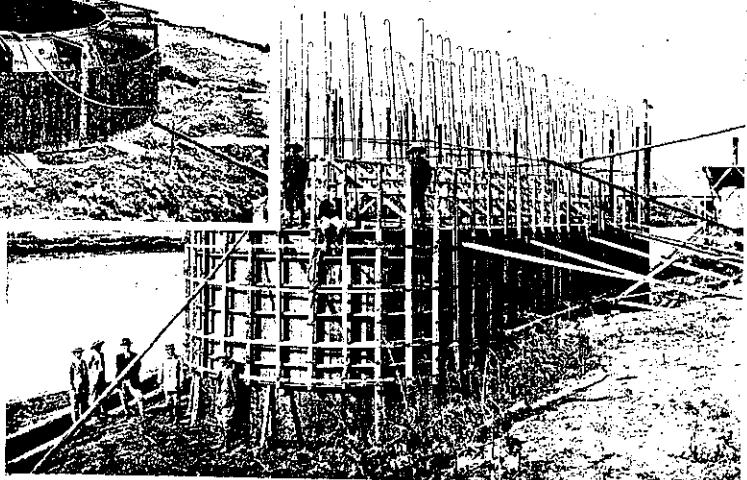
現在木橋

282



283

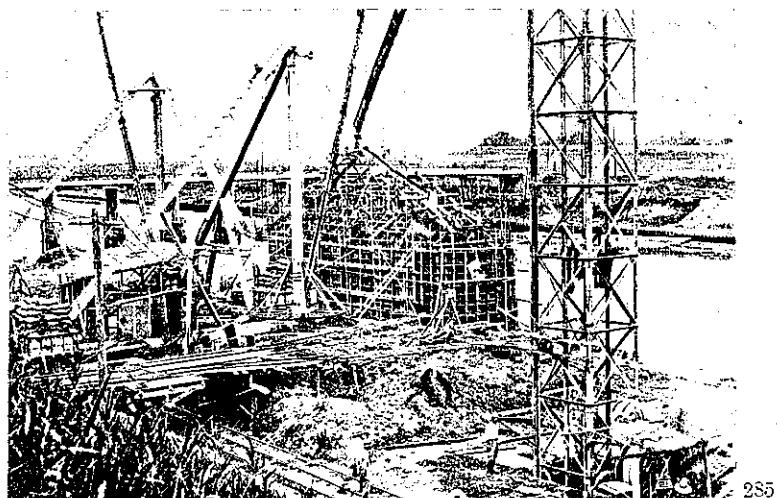
第十九號橋脚井筒の底盤  
(縦 65 呎 3 吋, 横 18 呎 4½ 吋, 高 5 呎 1½ 吋)



第十九號橋脚井筒の第三ロットのコンクリート打

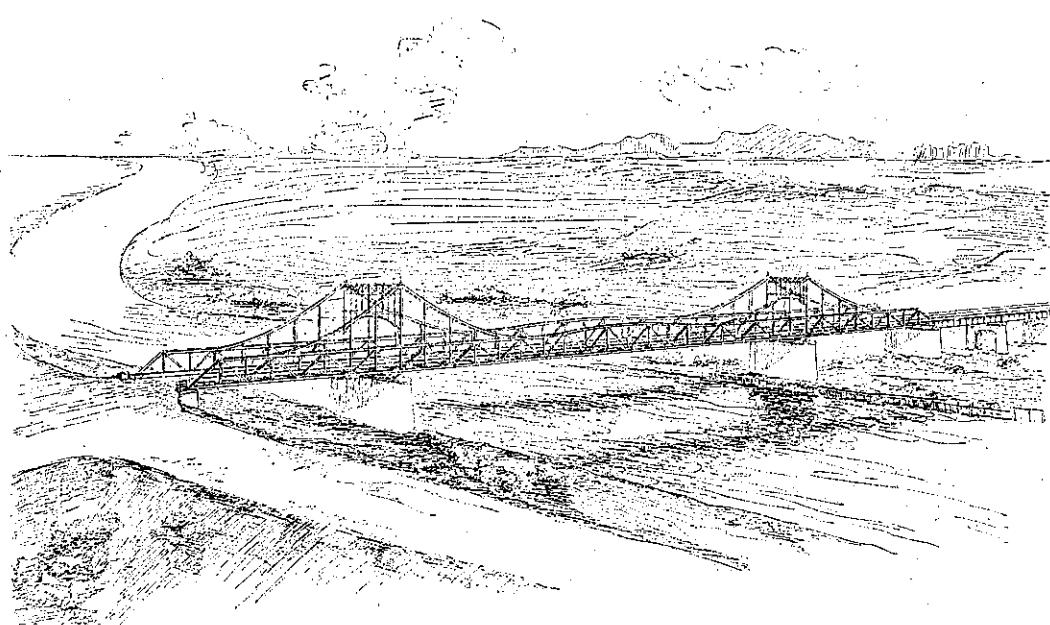
284

工事中の戸田橋(其二)



285

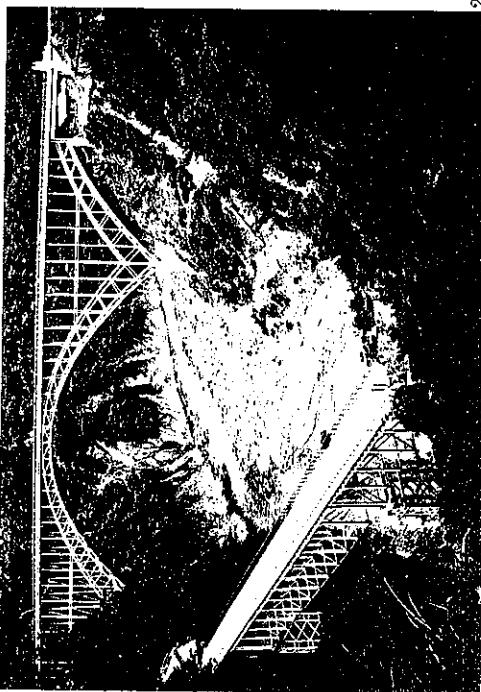
第十八號橋脚底沓上に第一番目の型枠を組みたるところ(コンクリート打込前)



鳥瞰図

286

荒川橋(埼玉縣)



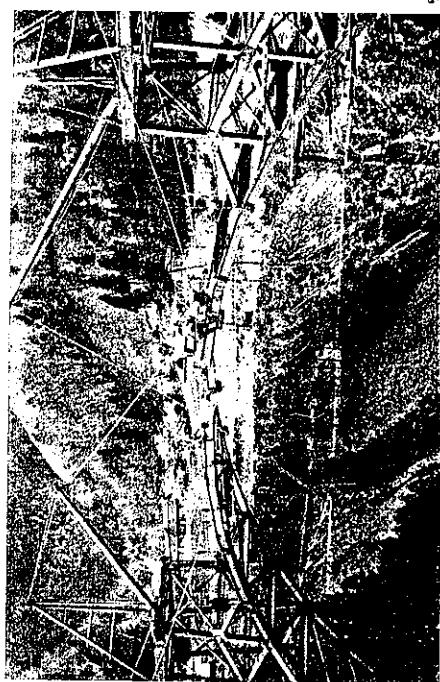
全 景



左 岸 側 徑 間 組 立 作 業

288

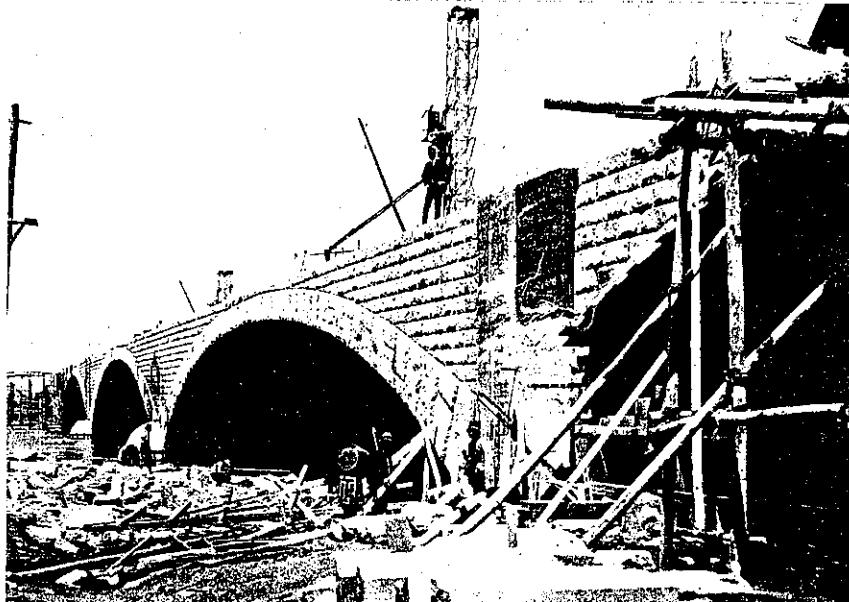
橋 型 上路鋼拱橋(バランスクド・アーチ型)  
中央徑間 85.496 米, 側徑間 27.204 米,  
鋼筋橋 1.連 15.023 米  
長 158.737 米(左右溝蓋前面間)  
員 6.10 米, 有効幅員 5.5 米  
橋 幅 全面 幢 矢 21.276 米  
拱 高 53.25 米(河底より橋面迄)  
橋臺脚



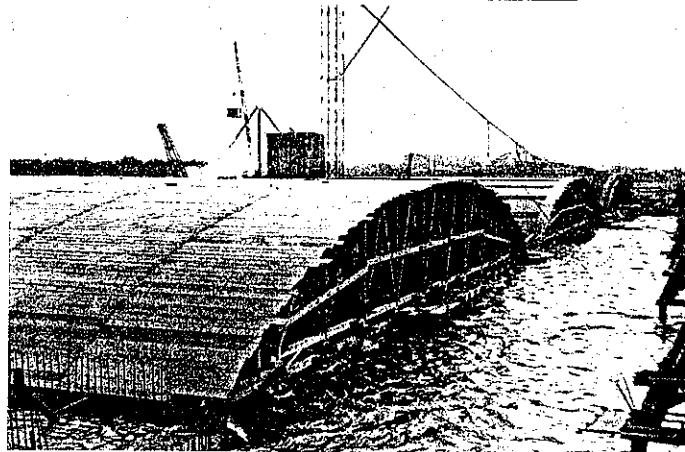
中 央 徑 間 中 处 下 強 結 合 作 業

## 萬代橋(新潟縣)

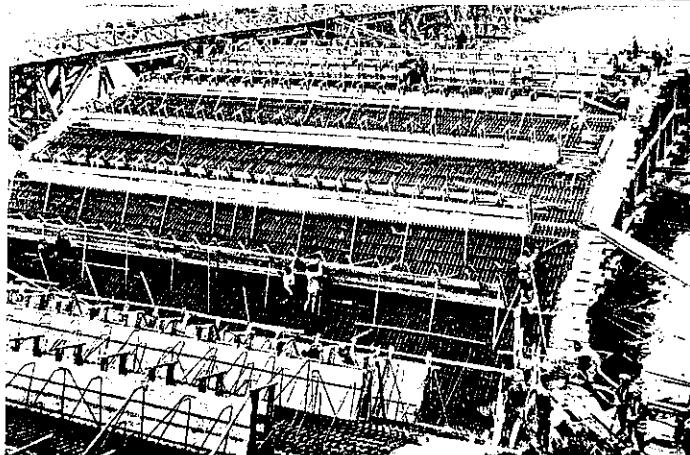
橋型  
橋長  
幅員  
基礎  
鉄筋コンクリート拱橋(径間 189 呎, 126 呎, 128 呎, 48 呎, 各 2 連)  
1007 呎  
72 呎(車道 48 呎, 歩道各 12 呎)  
ニューマテック・ケーソン



290



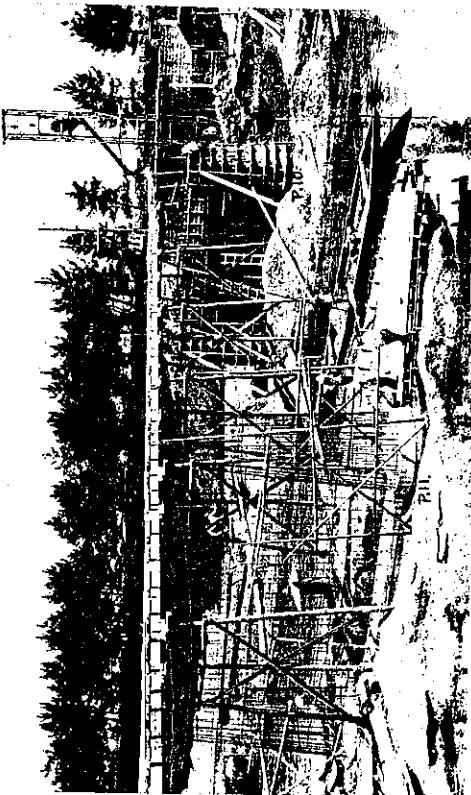
291



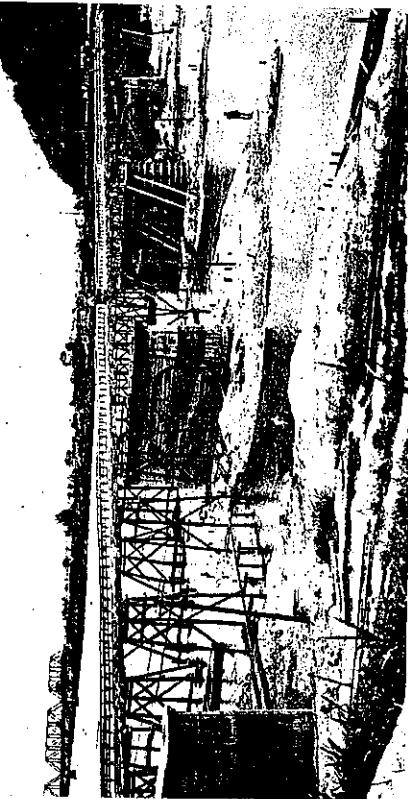
← 鐵筋組立中

292

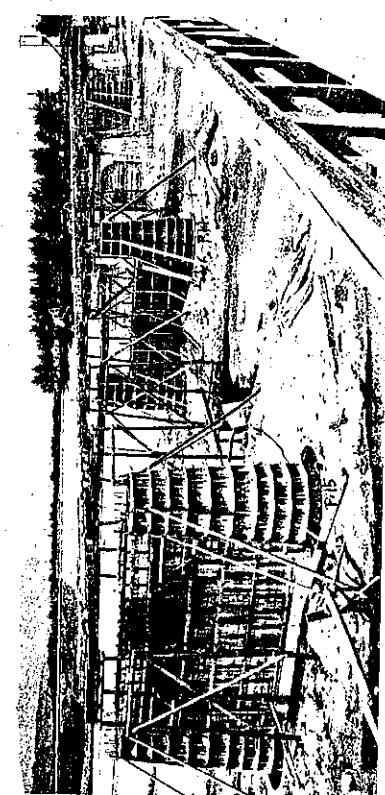
御幸橋(京都府)



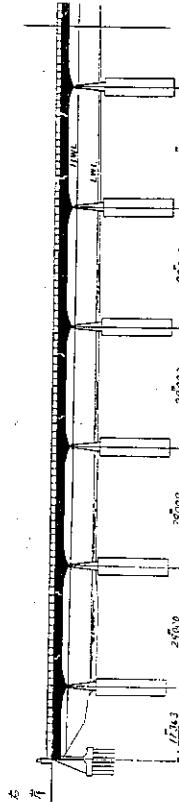
293



294



295

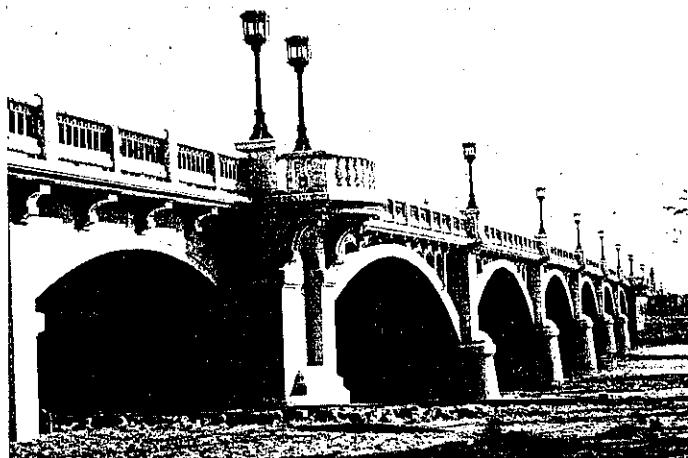


橋型  
353.726 米  
橋長  
11.0 米  
幅員  
鋼製  
アスファルト・ブロック

296

## 武庫大橋(阪神國道)

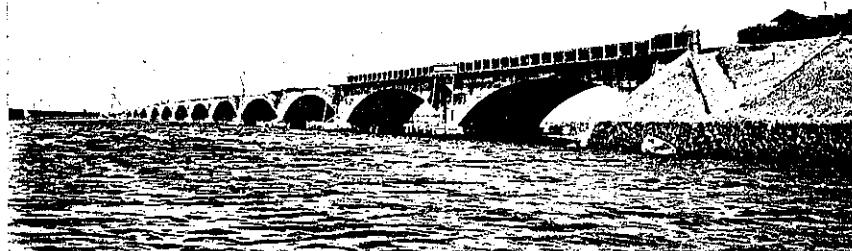
橋型 鐵筋コンクリート拱橋(徑間 66呎 6連), 鐵筋コンクリート拱橋(徑間 27呎 9連)  
橋長 680.5呎  
幅員 11間  
鋪装 アスファルト・コンクリート



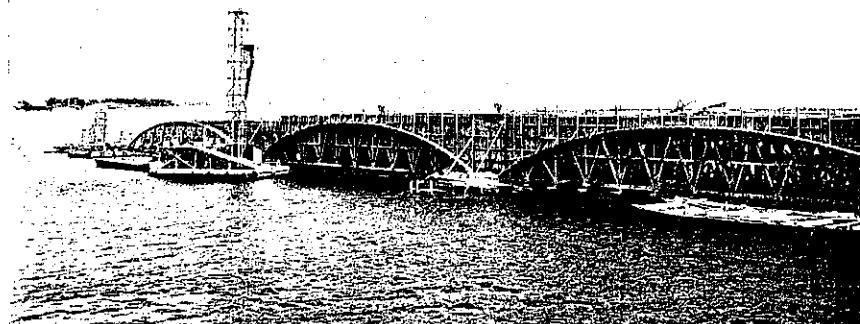
297

## 濱名湖橋(靜岡縣)

橋型 鐵筋コンクリート拱橋(徑間 115呎 13連)  
橋長 266間  
幅員 4間  
鋪裝 アスファルト・ブロック



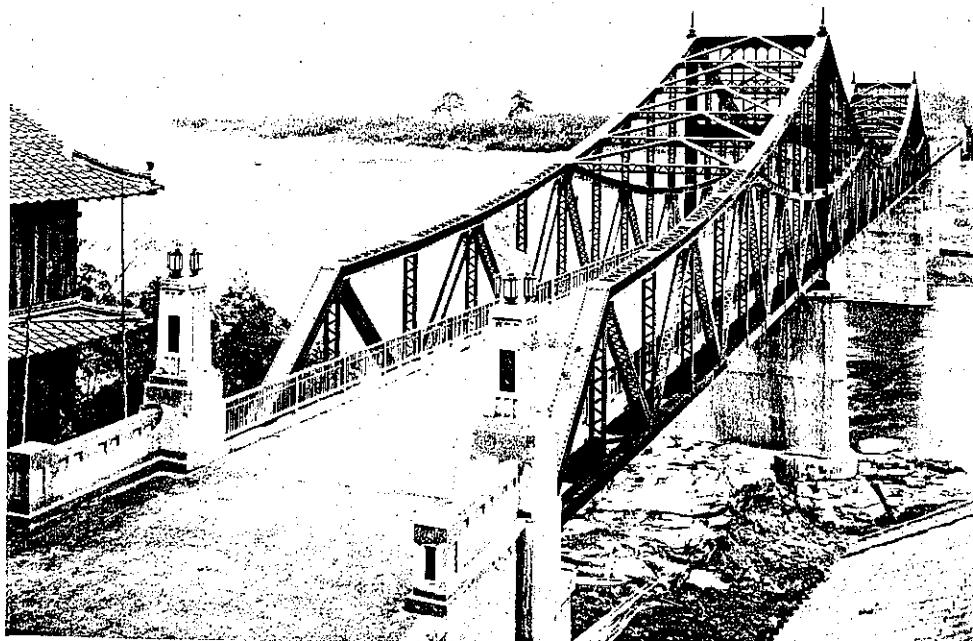
298



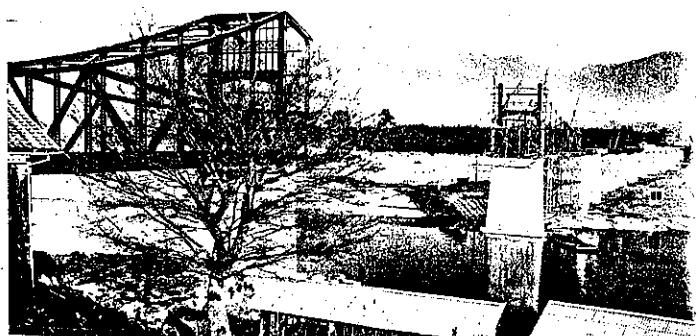
299

## 穴吹橋(徳島縣)

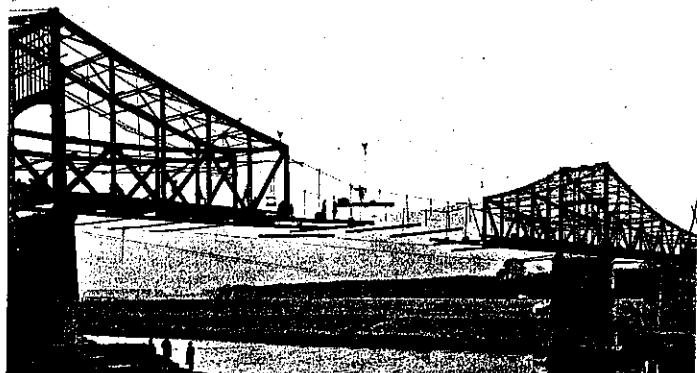
橋型 支點式ワーレントラス橋(中央徑間 240呪、兩側徑間各 120呪), 鋼製桁(徑間 60呪 12連及 54呪 3連)  
橋長 1367呪 6時  
幅員 18呪  
鋪装 アスファルト・ブロック



300



301

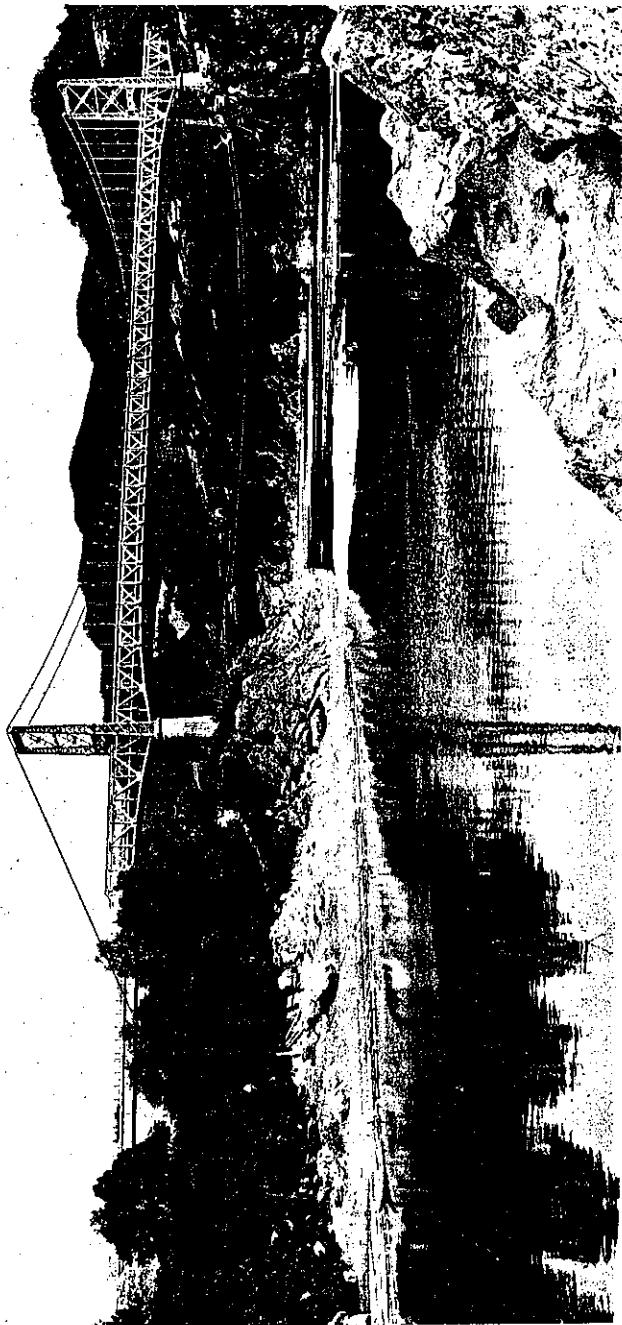


302

### 三 好 橋(徳島縣)

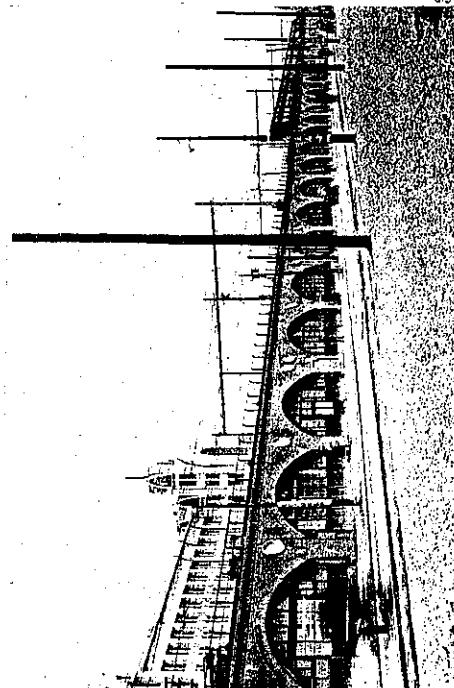
鋼製ワーレン式抜樁吊橋(中央跨間 459 呎、兩側跨間各 103 呎 4 吋), 鋼製橋(中央跨間 66 呎 7 $\frac{1}{2}$  吋, 2 通)

橋型  
橋長  
798 呎 6 吋  
幅員  
20 呎  
錨地  
シリヂナト



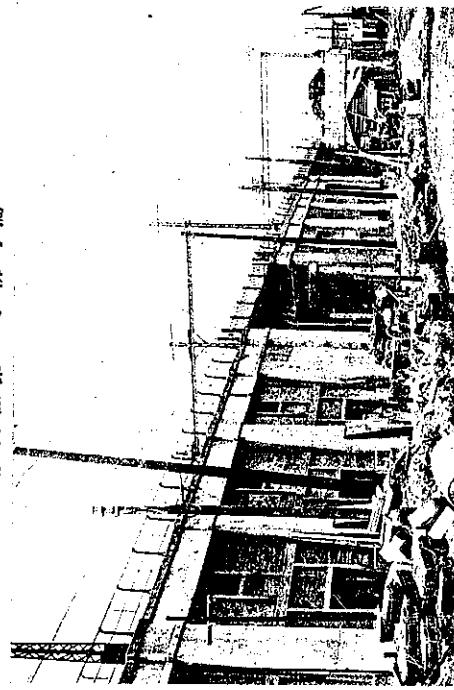
東京附近高架橋(其一)

東京驛の北方鐵瓶拱橋



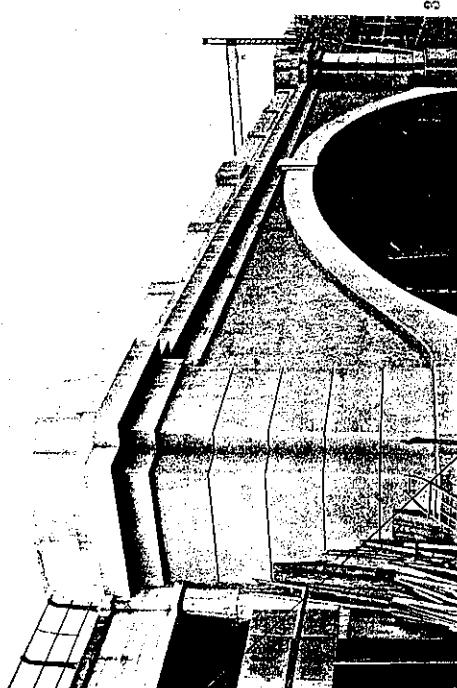
304

東京卷拱橋として木邦高架線の最初のものなり



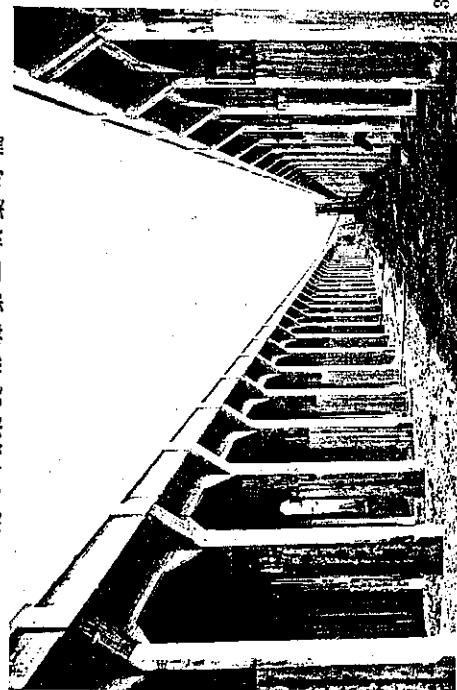
305

鐵筋コンクリート車床式  
秋葉原・高架貨物驛 第二秋葉町橋



306

鐵筋コンクリート拱橋、跨間 108 脚、共長 20 脚

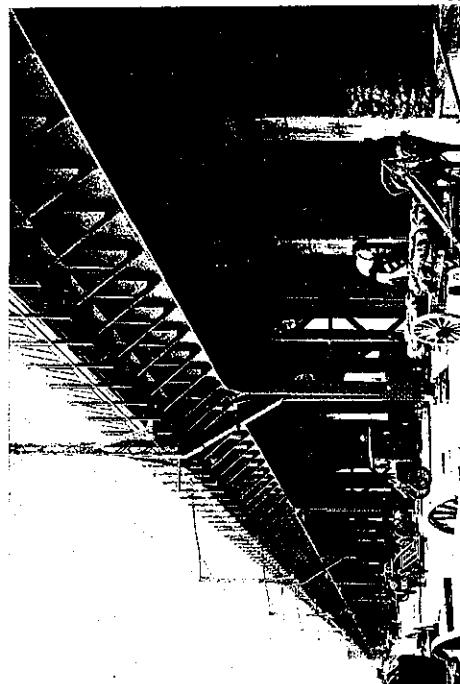


307

兩高架線の中央に鐵橋を架し、上層貨物駆駕場とし、諸機械設備をなして  
上下層の連絡を取る、複線三往式なり

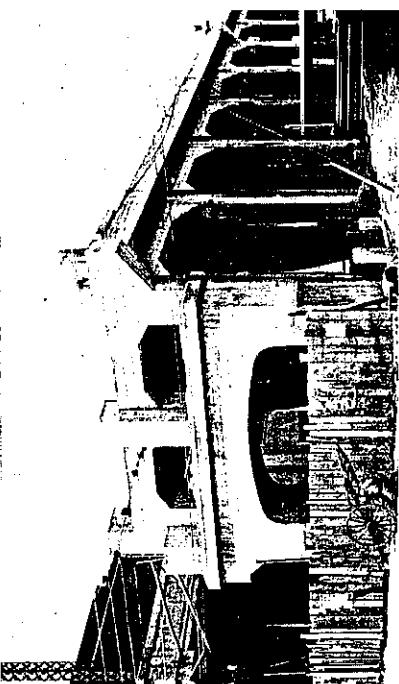
## 東京附近高架橋(其二)

秋葉原高架貨物駅



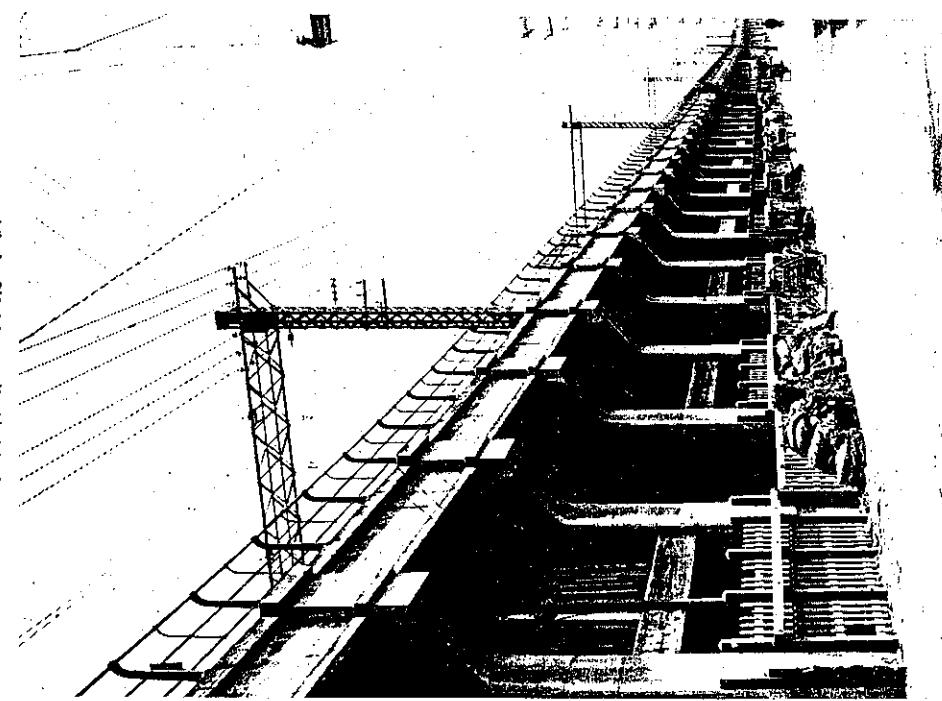
鉄筋高架上は秋葉原駅に完成後出發本線となるものにして、鐵柱心々 54 駅  
に左右 8 ベントを出し、70 ベントの結節点に 38 ベントの單折を架せるものな  
り、單線複線鉄筋相式

市街線第一・ト野町橋



1 徑間柱心々 18 ベント 5 ベント連絡床  
コングリート

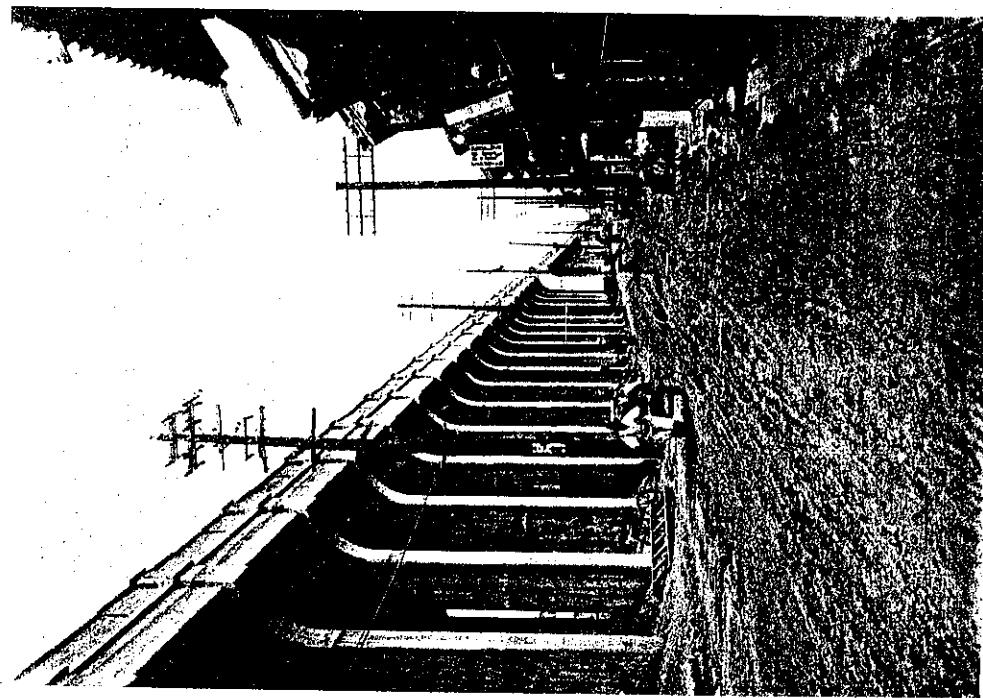
市街線第二秋葉町橋



鉄筋コンクリート構造式 3 徑間連絡

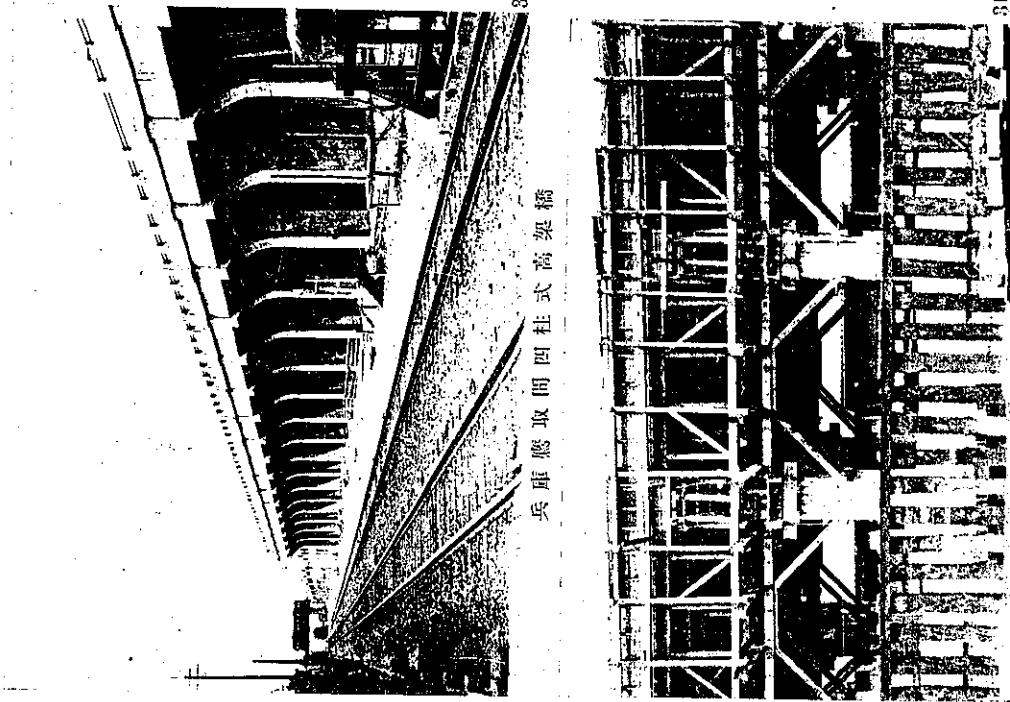
310

神戸附近高架橋



三ノ宮附近高架橋

311



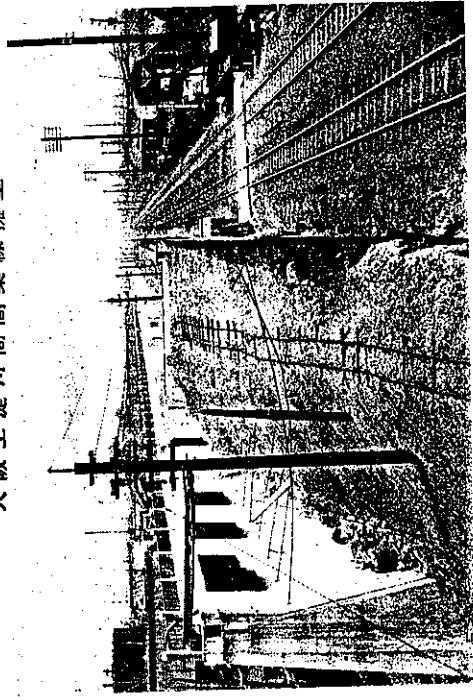
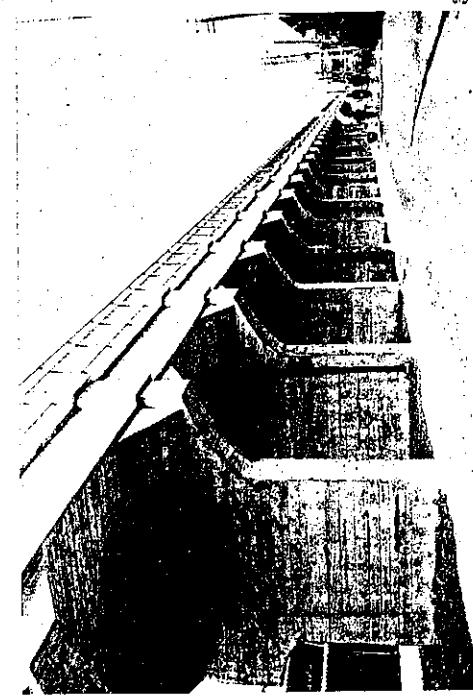
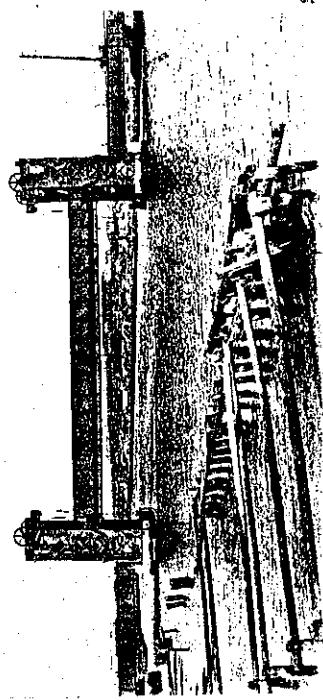
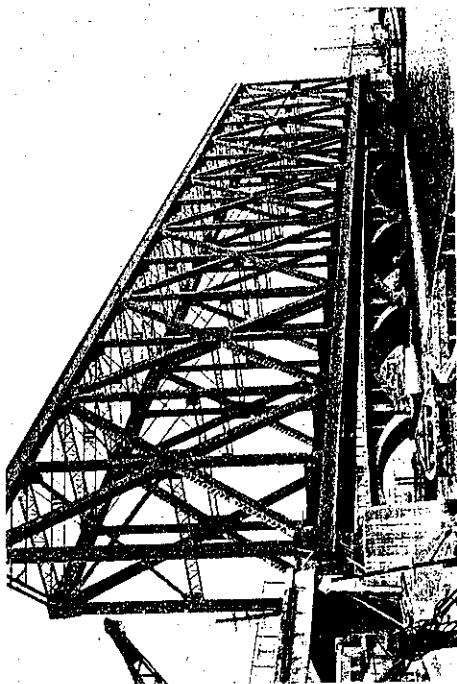
兵庫県東四柱式高架橋

312

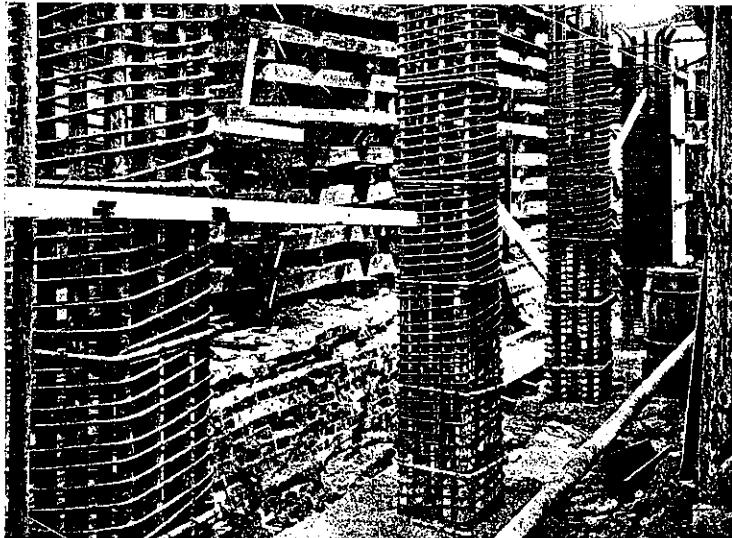
神戸三ノ宮間高架橋型構造

313

大阪臨港線

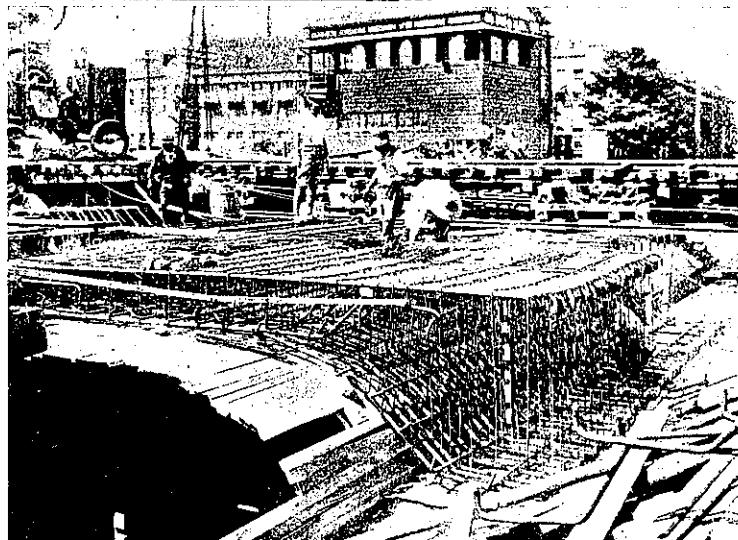


仙臺驛構内北目町通架道橋改築工事



←柱の鐵筋組立中

318



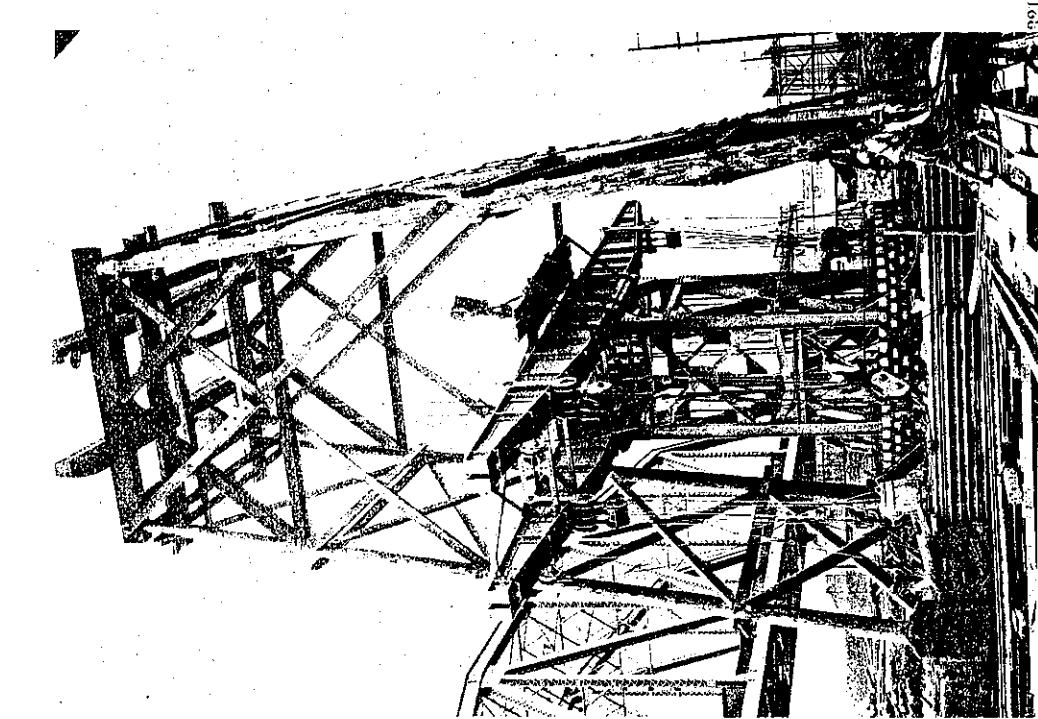
拱の上部鐵筋組立中→

319

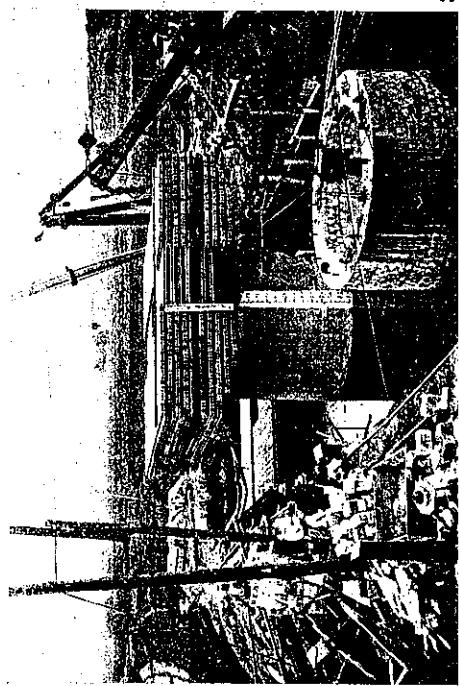


←東入口の幕板取外したる景

320

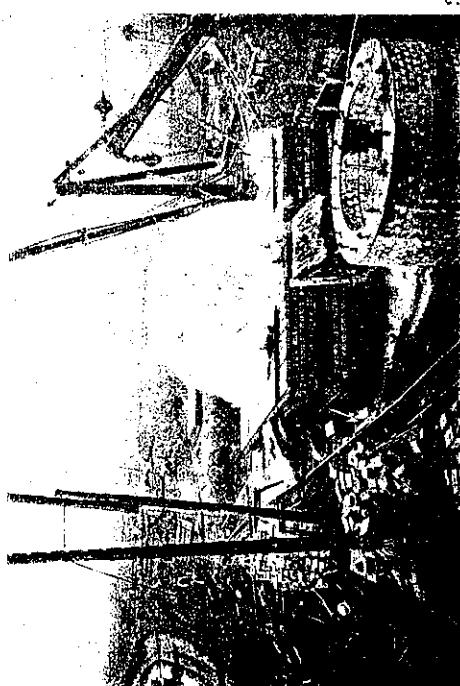


旅客線 200 跡 用 第 17 號 橋脚  
非簡便的沈下法にて非簡便下盤と云ふ特殊の機械を用ひ徐々に間断なく行ふものであつて、此の方法によつてはコントラートの硬化とは全く關係なく極めて速かに沈下を行ひ得るものである。



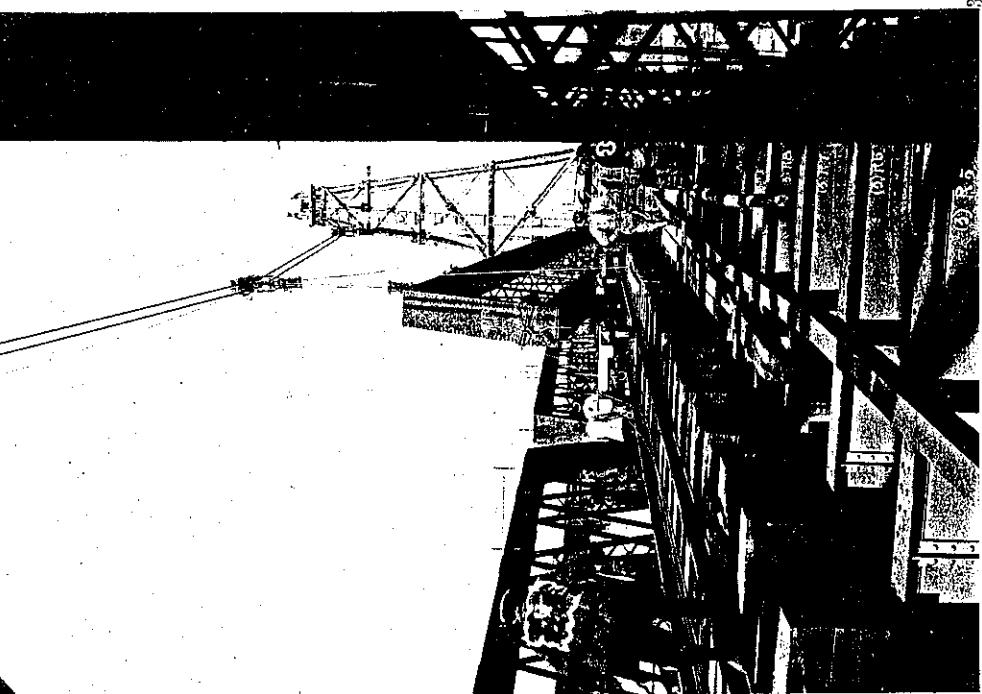
322

貨物線 200 跡 用 第 20 號 橋脚  
橋脚基礎非簡便注水沈下法と稱す。非簡便コントラートを豫定の高さに施工し、終りに硬化を待つて豫定の荷重を負荷せしむるものは沈下せしめんとして非簡便である。中央非簡便上にレールを負荷せるものは此の方法により沈下せしめられ、後方にあらゆるものはコントラート工を了へ硬化を得ちつゝある。直後の駅舎、前方にあらゆるもの、は現状である。

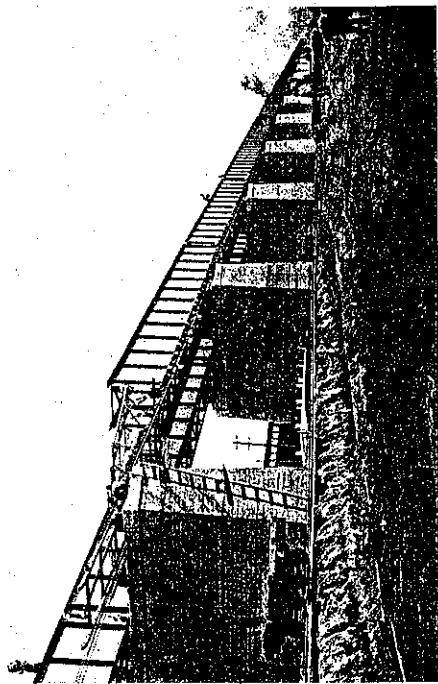


貨物線 200 跡 用 第 20 號 橋脚  
非簡便注水沈下法により非簡便が沈下せしめられる事態である。沈下に要せし深さはレール 587 崎、非簡便（地上）135 崎、計 722 崎、沈下せし深さは 15.06 跡、地中に没せし深さ 87.3 跡、沈下せし深さ部に達してより約 20 分

東北本線荒川橋梁(其二)

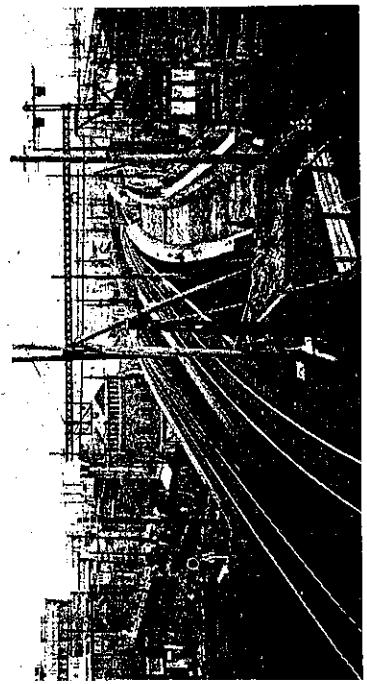


324  
複線式100呪吹橋の橋脚を架設し、之に2組の滑車(ロック)を用意し、之に橋桁(重り約27噸)を吊り、後方に引出し軌道上に置め用意せるトロリーにて搬去するものなり。



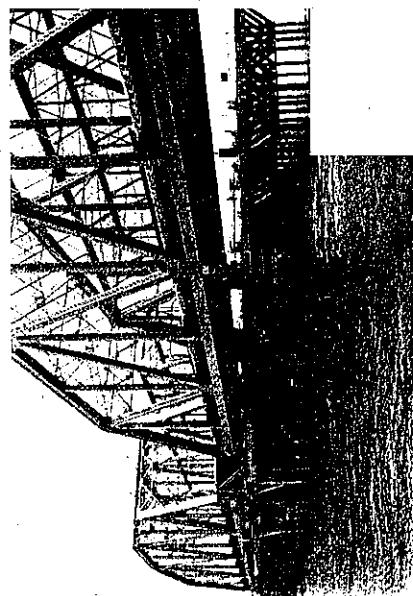
325  
貨物線鋼鉄橋  
鋼桁連結架設法と稱し、鋼桁をじシテにして連結して一群となし、其の先端に手延器を附し鋼桁の下面にはたリ面を設け別に橋脚上面及後方地盤を差し入れ、前方にもたリ面を設く、而して兩たリ面の間に跨り2均の丸鋼を差し入れ、前方に鋼桁群を引出し架設するものなり。

中央本線萬世橋曲線下路鋼鉄橋



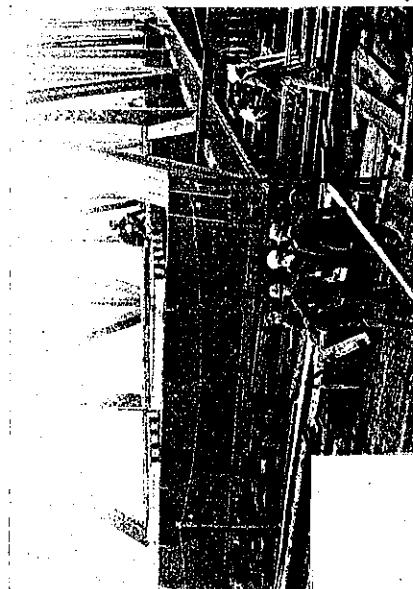
326  
右より第一線組立及防水工完成せる處、第二線待上り線、第三線假線

常磐線隅田川橋梁橋架換工事



327

新橋桁側面の景観



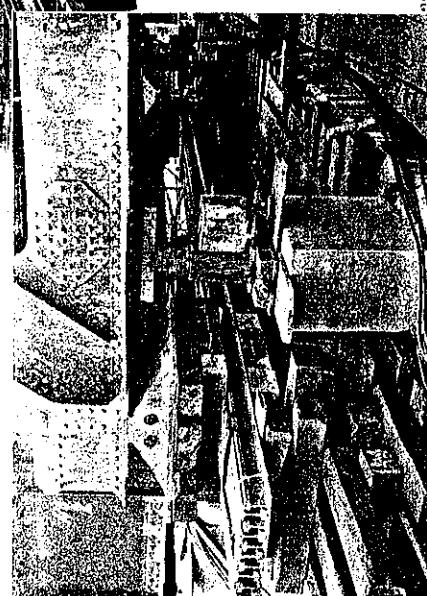
328

新橋桁移動準備完了



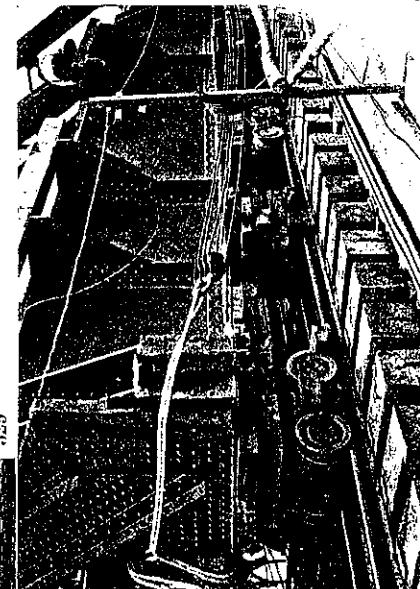
329

第二橋桁上軌道敷設中



330

舊橋桁下に亘トロリー搬入準備中



331

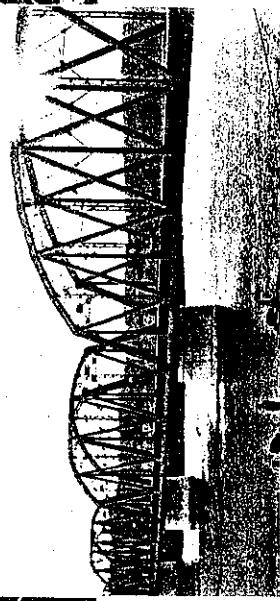
新橋桁下に亘トロリー搬入

關西本線 梶川橋梁工事  
橋型基礎 基礎工



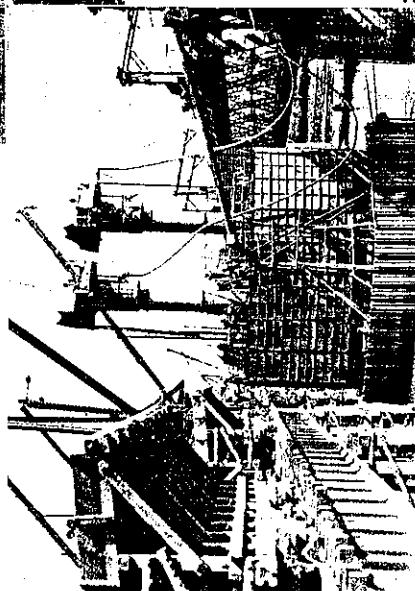
332

橋函作業室型枠組立



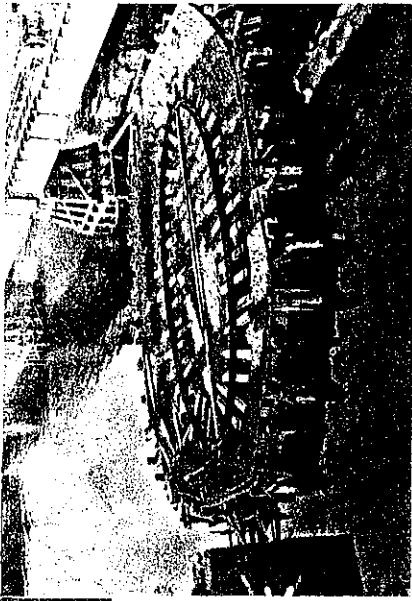
333

橋函下部鐵骨及外型枠組立



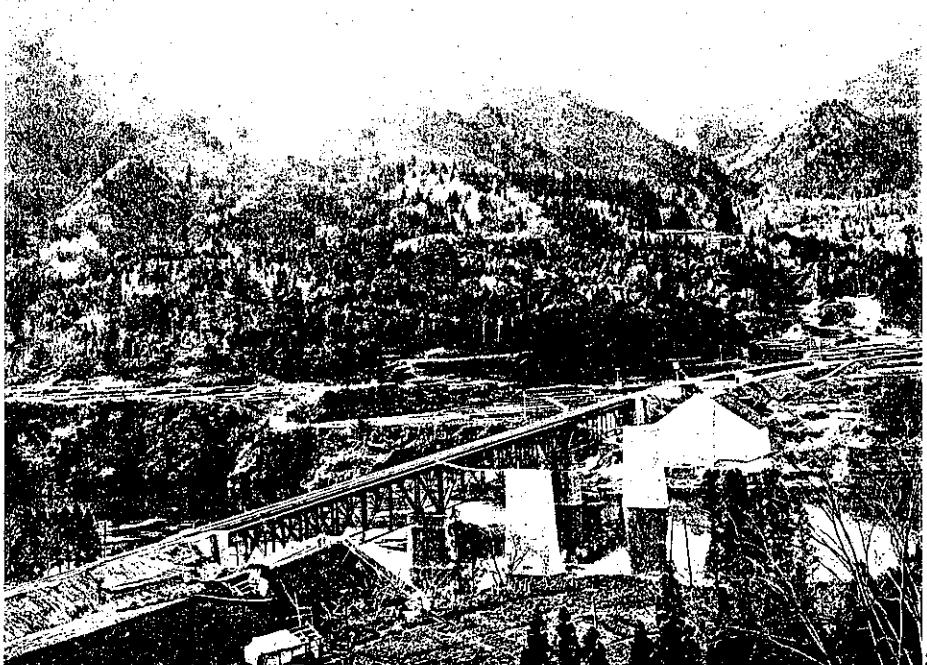
334

橋函沈下作業中



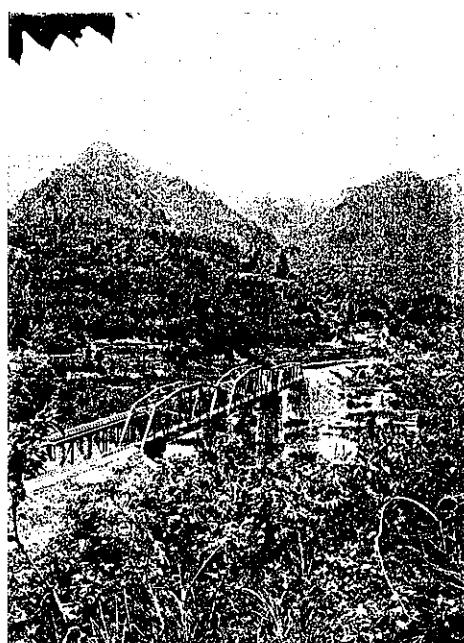
335  
築島上に浮筒の底管据付

磐越西線當麻橋梁(其一)



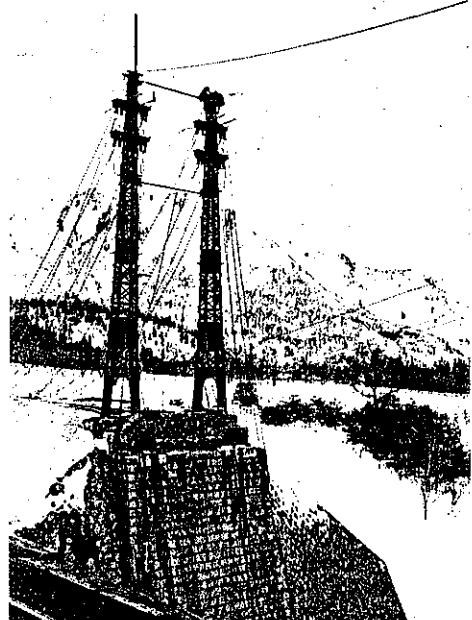
387

在來橋梁及新設橋臺，橋脚完成の景 バック・ウォーターの影響を蒙りしを示す



388

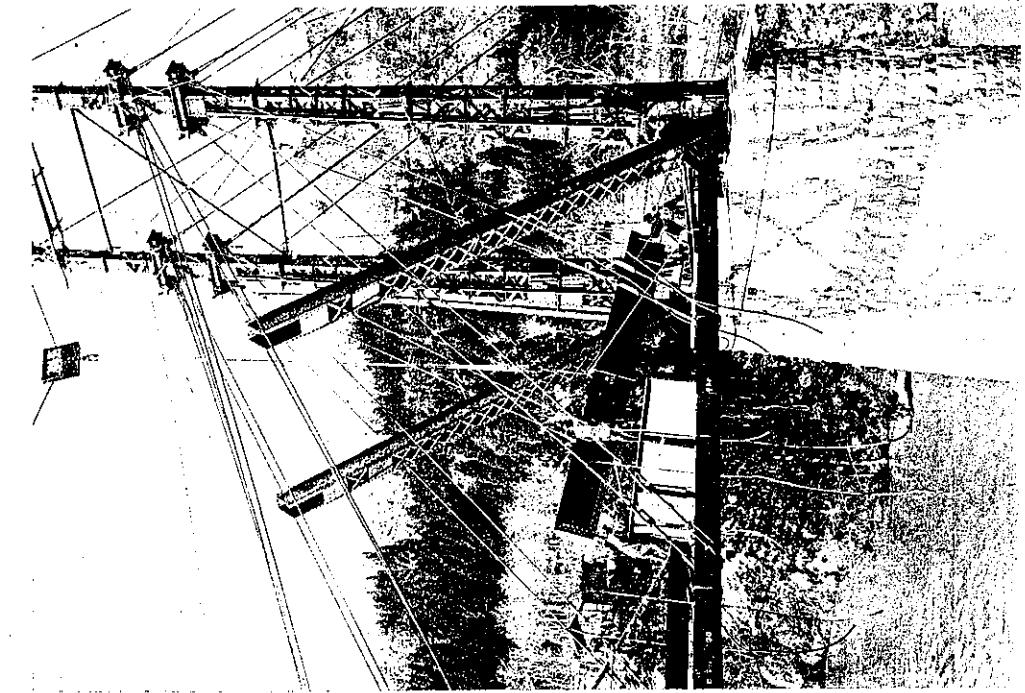
全 景 右 側 は 新 橋 梁



389

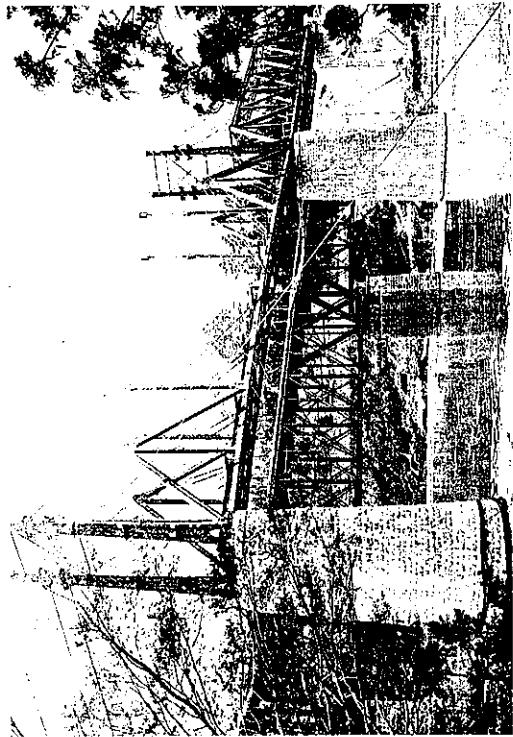
鹿ノ瀬寄橋臺上の鐵塔メイン・ケーブル、バック・ステー・ワイヤー並にワイヤー取付を示す

磐越西線當麻橋梁(其二)



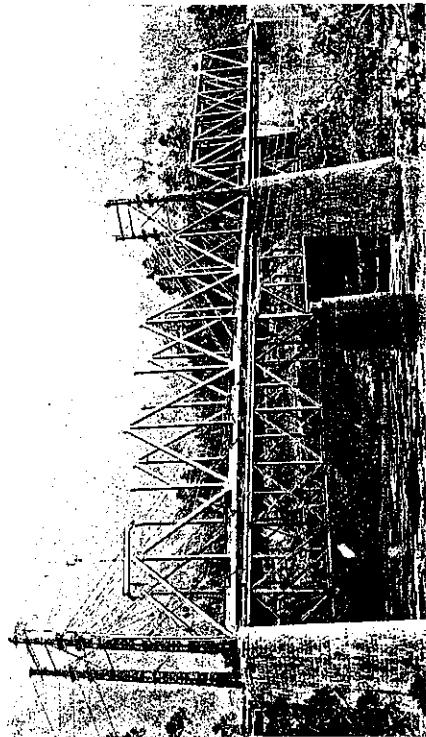
第二橋間(200m) クロス・ビーム及ストリーリングバー取付

340



第二橋間(200m) ヴァーチカル・ポスト及ダイヤゴナル・ポスト取付

341



第二橋間(200m) アッパー・コード取付開始

342

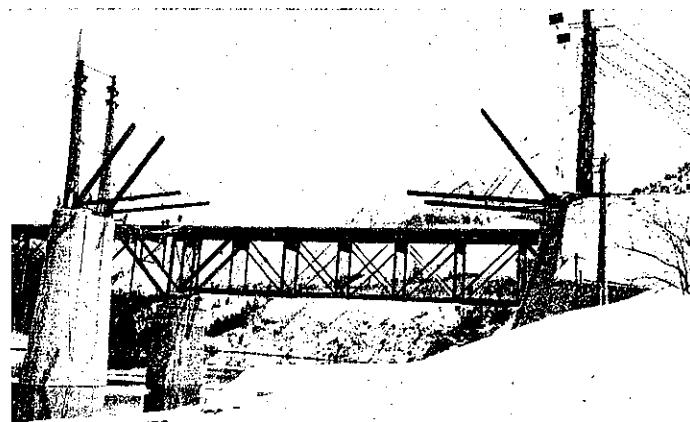
磐越西線當麻橋梁(其三)



←第二徑間 (200m)

組立架設完了

343

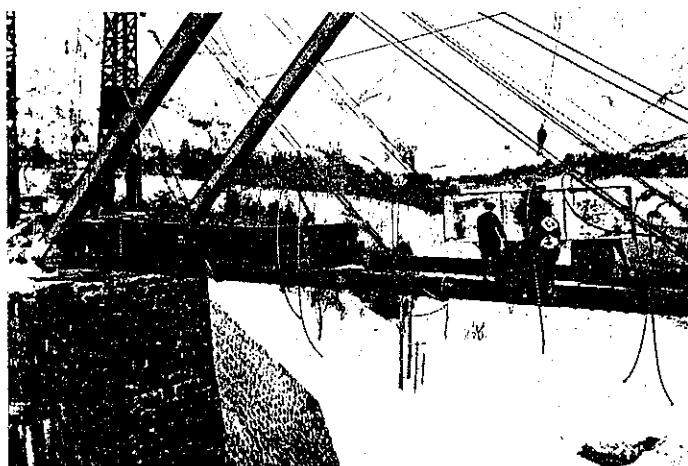


第三徑間 (150m)



エンド・ポスト、エンド・クロス・ビーム及ローワー・コード取付

344

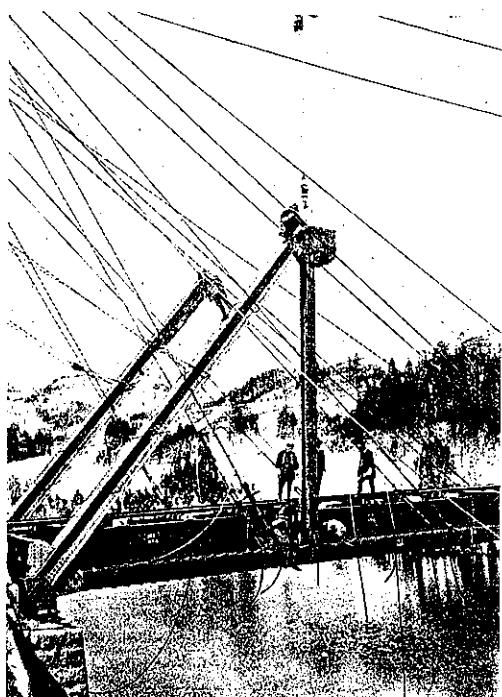


←第三徑間 (150m)

ストリンガー及クロス・ビーム取付中

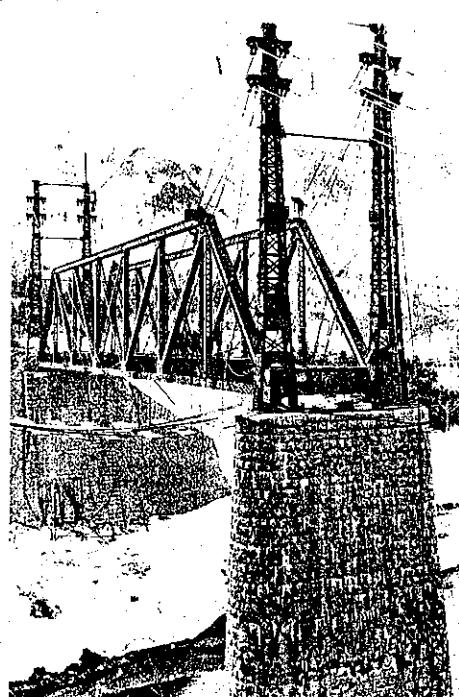
345

磐越西線當麻橋梁(其四)



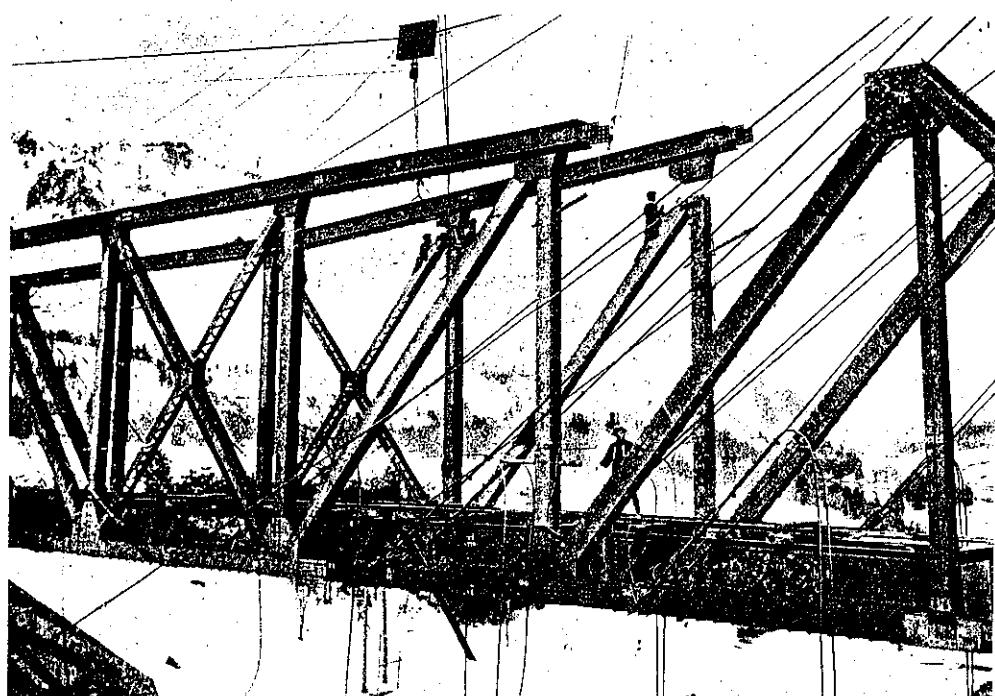
346

第三徑間(150呪)  
ヴァーテカル・ポスト取付中



347

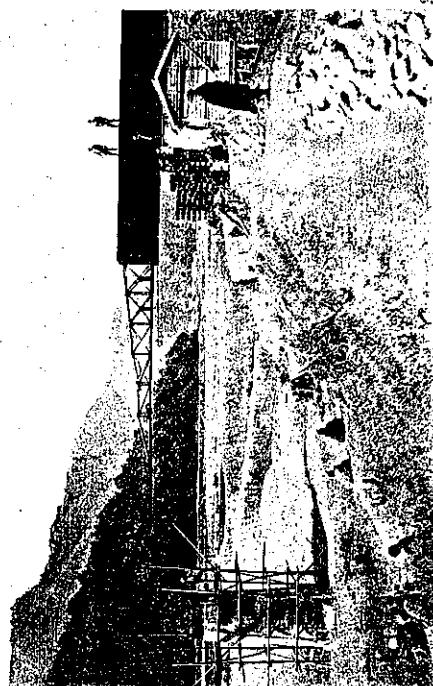
第三徑間(150呪)  
組立架設完了せる景



348

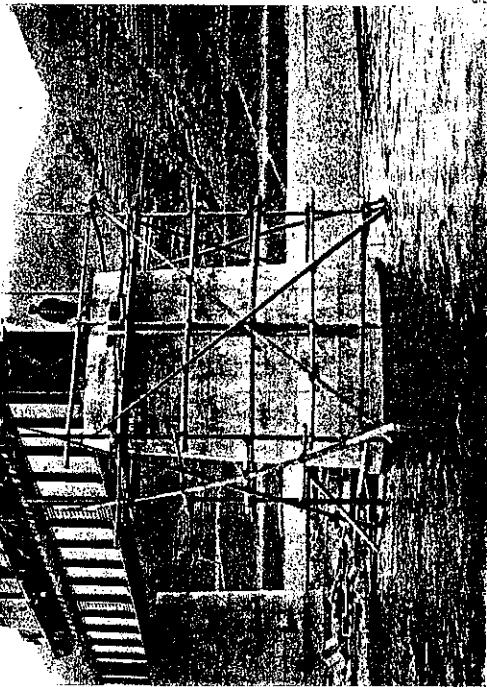
第三徑間(150呪)  
最後のアッパー・コード取付前の景

西紀勢線(和歌山新宮間)有田川橋梁鋼桁架設



349 鋼桁架間 60 駅を手延分解式にて架設

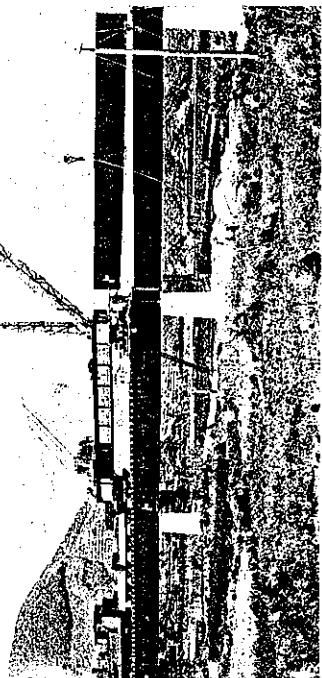
349



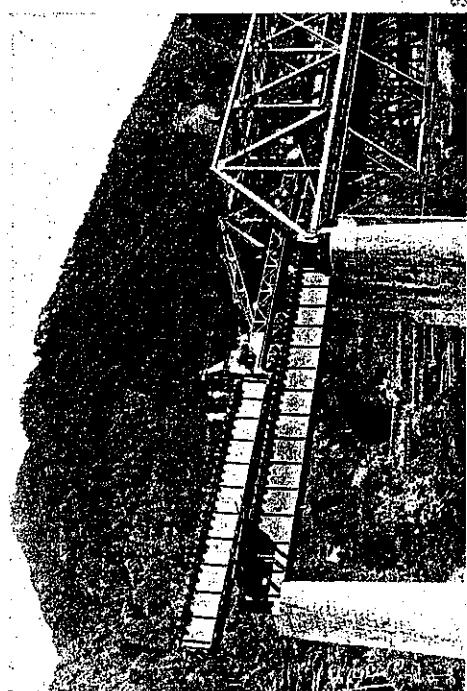
350 鋼桁架設終了後手延分解式機取り外し  
鋼桁在間 60 駅を那波式デリック・クレンを使用して架設

350

351 鋼桁架設終了後手延分解式機取り外し

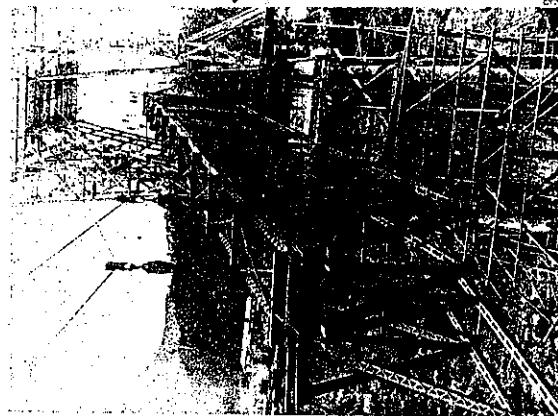


高山線(岐阜高山間)飛彈川橋梁

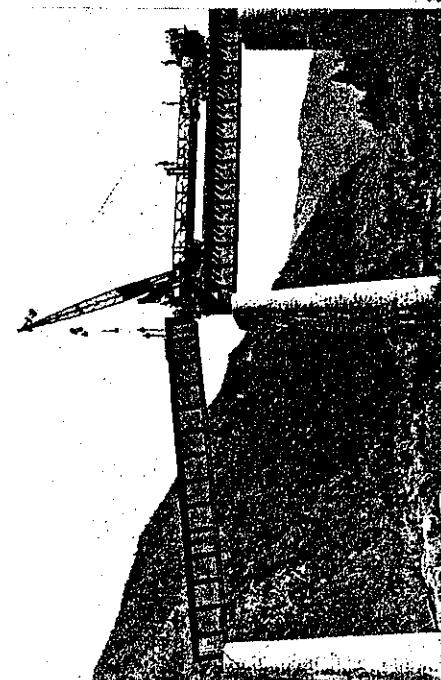


径間 50 第二飛彈川橋梁をデリック・クレンにて架設

352

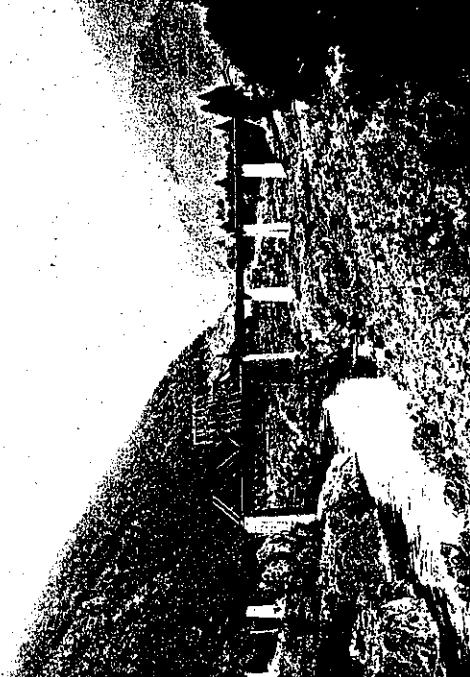


←第三飛彈川橋梁  
エレクショントラス架設



径間 60 第三飛彈川橋梁をデリック・クレンにて架設

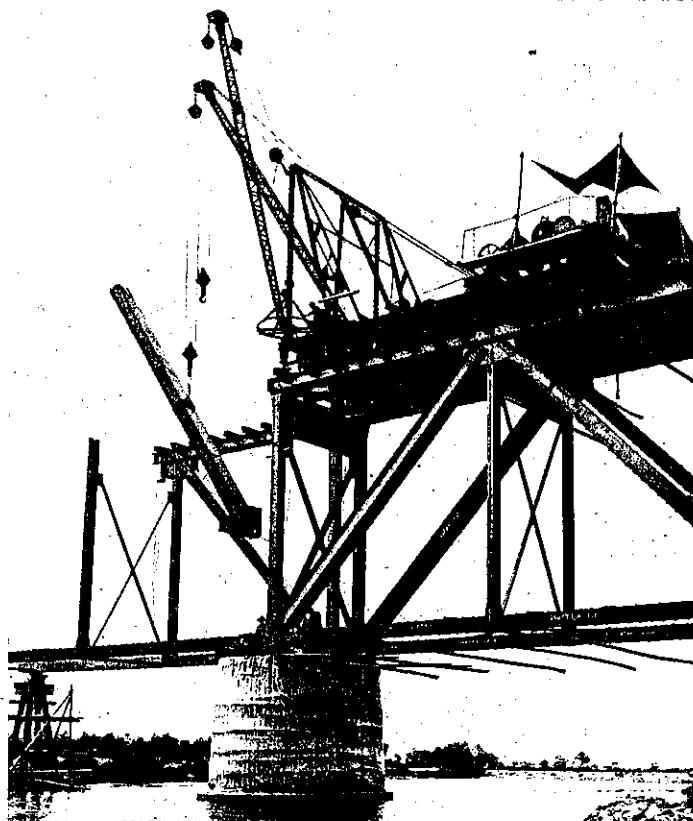
354



第三飛彈川橋梁 径間 160 岐下路橋柱組立

355

飛越線(富山高山間)第一神通川橋



356

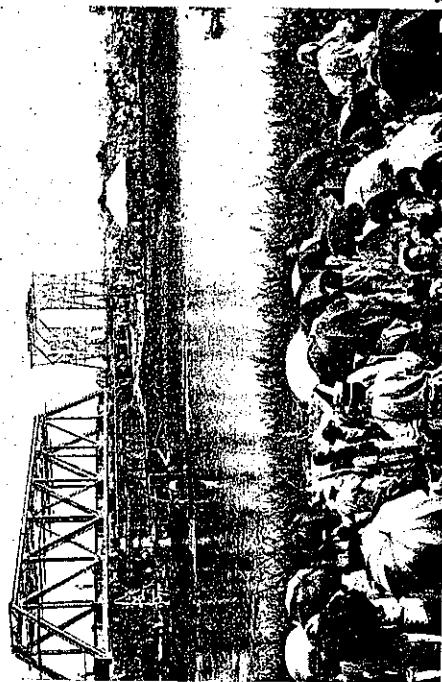
エンド・ポスト吊り下げ



357

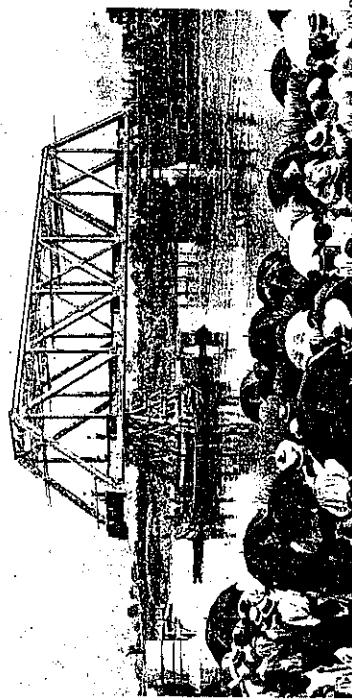
長53呎のローワー・コードに取付けて吊り下げたるゲーテカル・ポストを起し終りたる所

有明線(肥前山口謙早間)六角川橋梁  
径間 150呪、下路構造



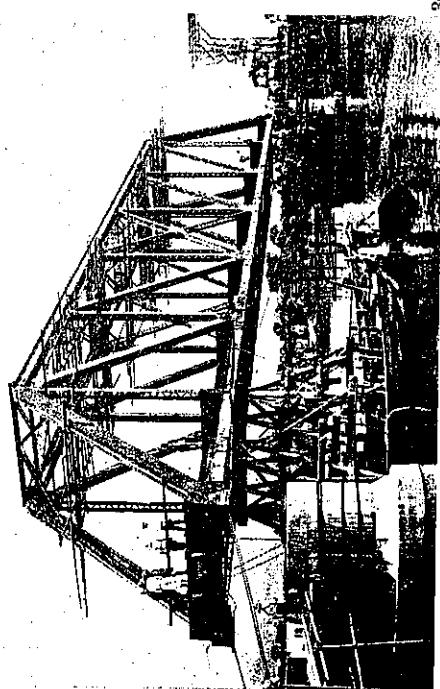
358

浮船式架設、浮船を所定の位置に入れ潮の満つるを待つ



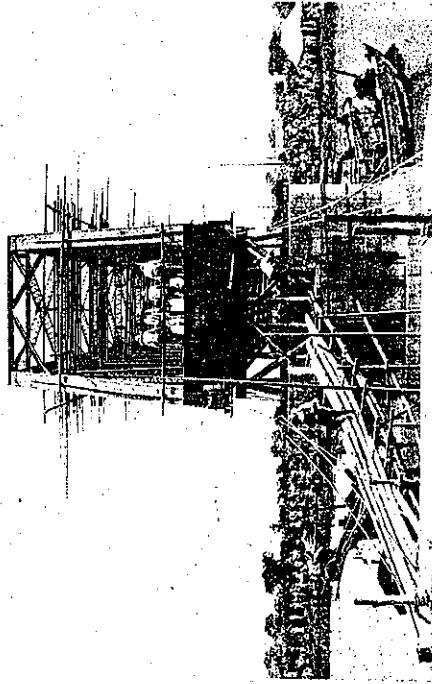
359

浮船に載せ七分通前進



360

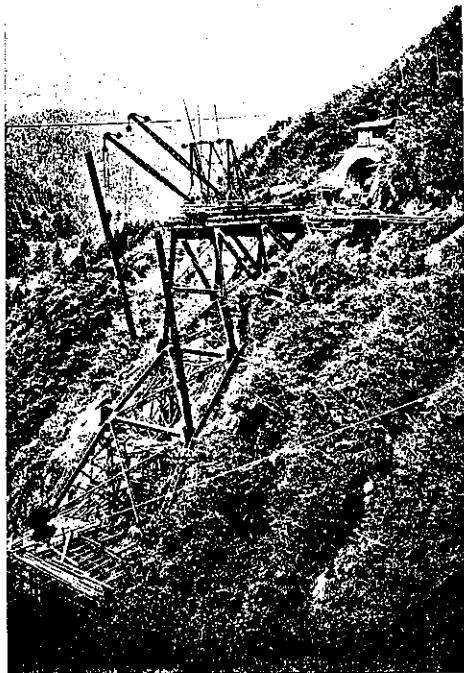
構桁先端所定の位置に到着



361

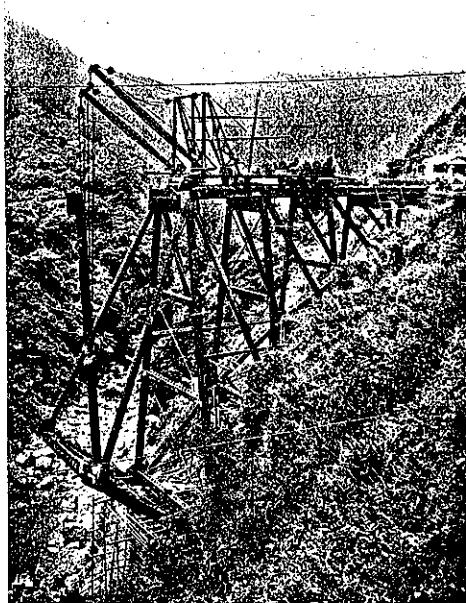
構桁先端固定の為ワイヤーにて左右に繋結す

高森線(立野高森間)第一白川橋梁(其一)



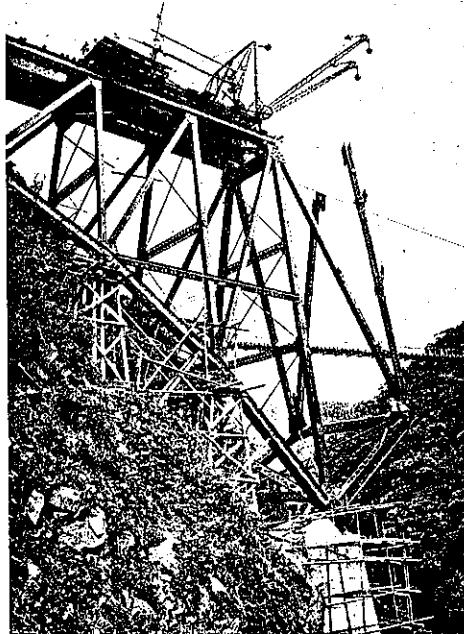
362

立野側徑間ヴァーチカル建込み



363

高森側中央徑間ヴァーチカル建込み



364

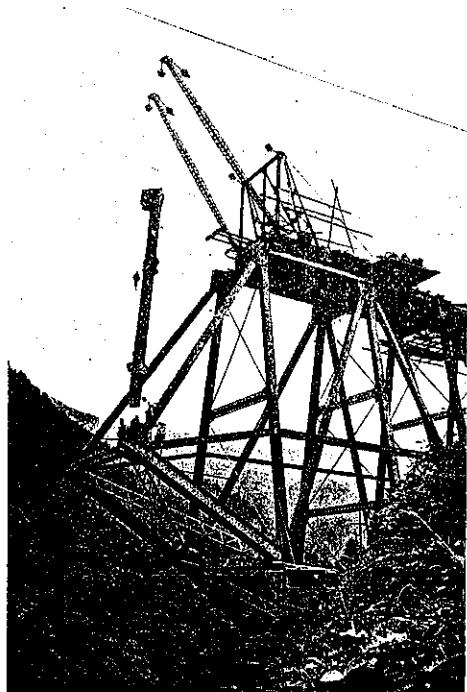
立野側中央徑間ヴァーチカル建込み



365

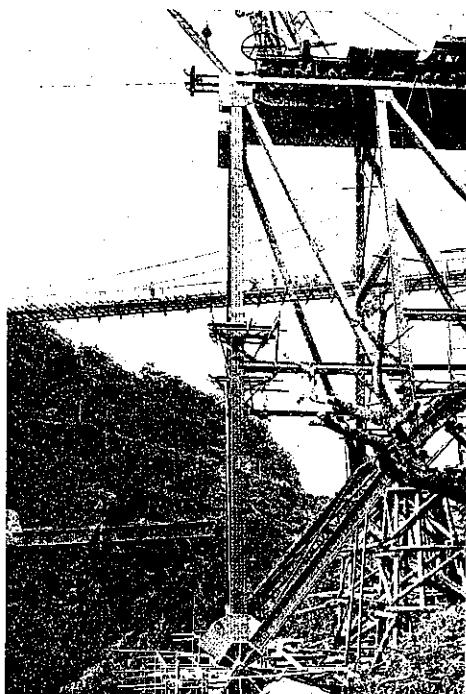
沓

高森線(立野高森間)第一白川橋梁(其二)



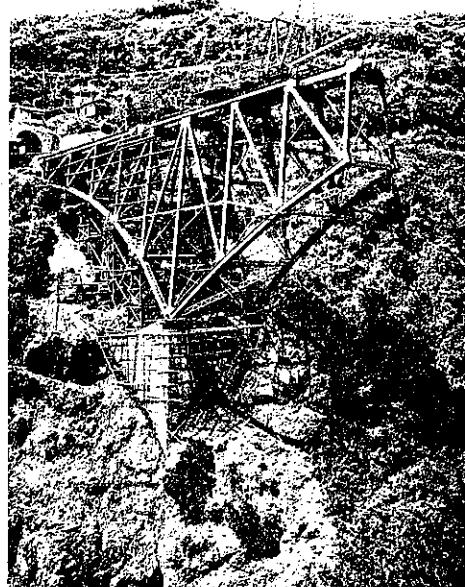
立野側中央径間ヴァーチカル建込み

366



高森側中央径間ローワー・コード組立

367



立野側中央径間アッパー・コード組立

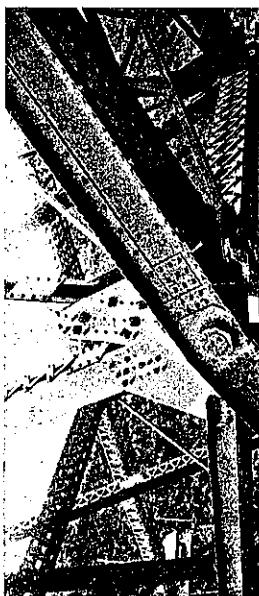
368



中央フロア・ビーム取付

369

高森線(立野高森間)第一白川橋梁(其三)

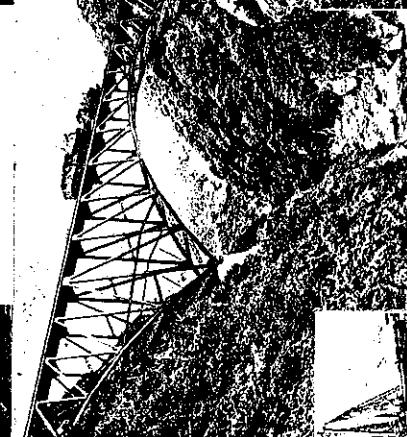


370

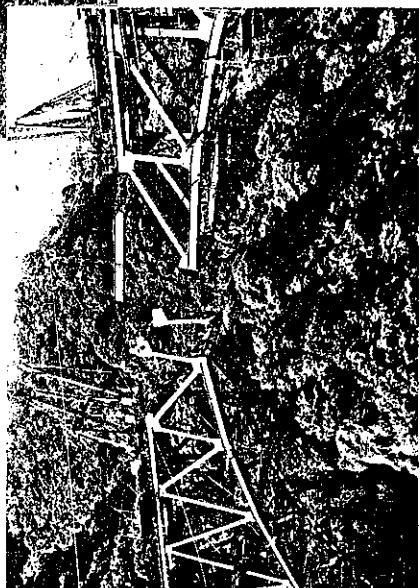


371

トックル下方ローワー・コードに於ける  
ビン・コンネクション

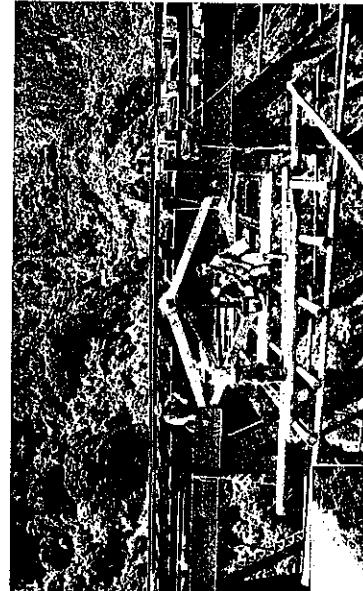


372

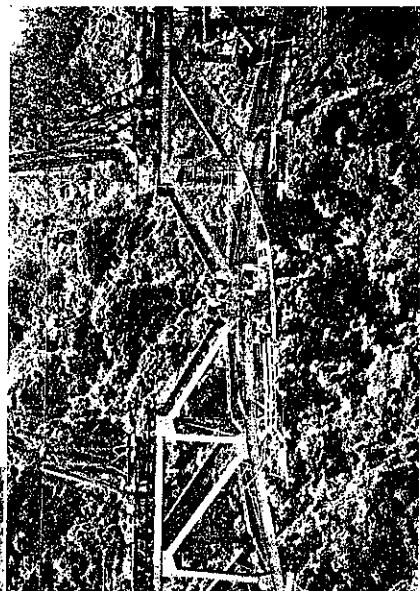


373

高森側中央径間ガーチカル組立及橋脚迎撃

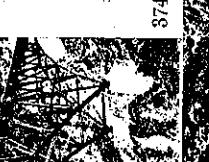


トックルの逆轉



375

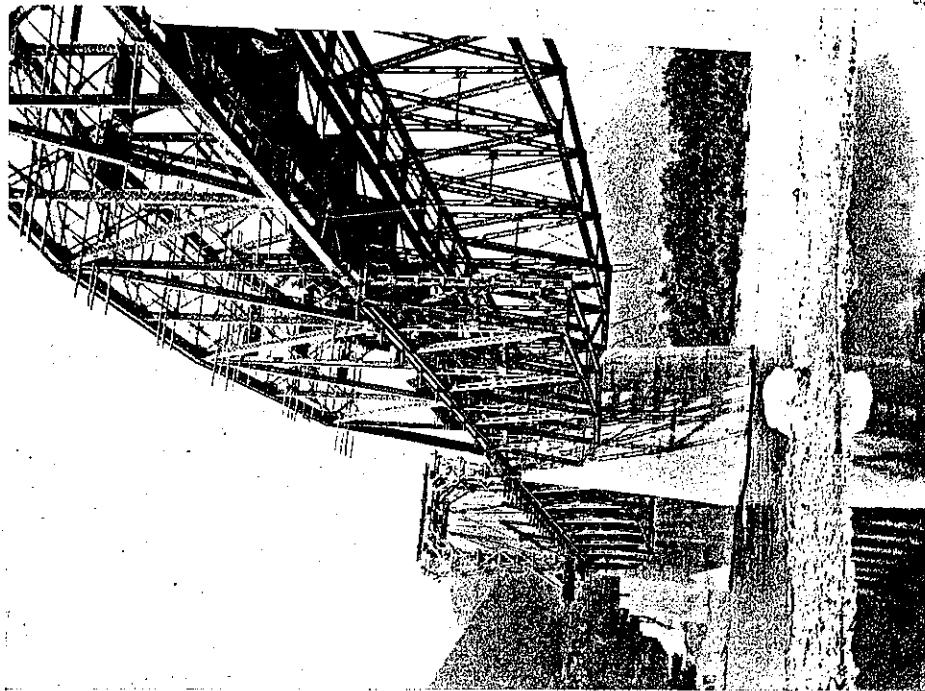
架橋工事竣工後の全景



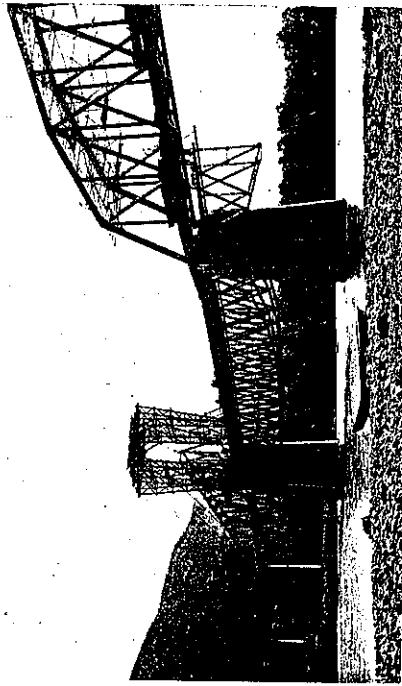
376

ローリー・コード結合

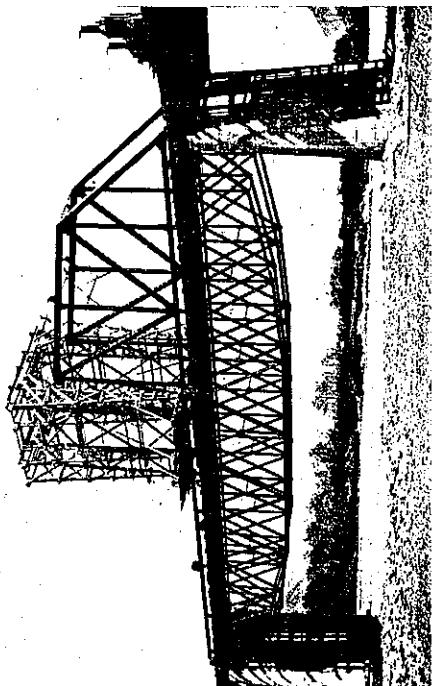
土讃北線(琴平・豊永間)吉野川橋梁(其一)



第一跨間エレクション・トラスを解體し第三跨間に架設中

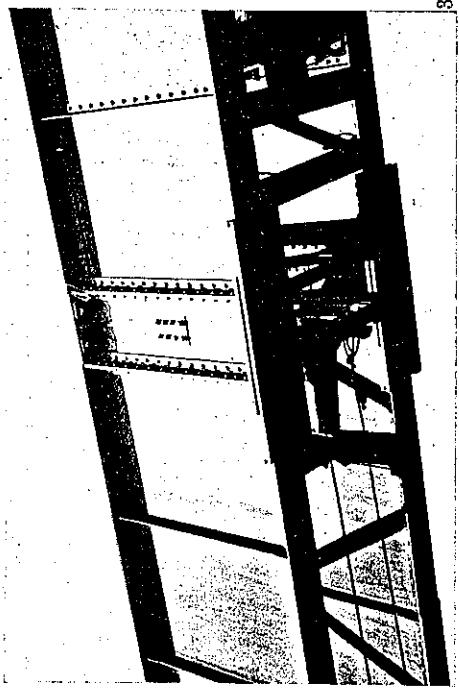


第二跨間エレクション・トラスを解體し第三跨間に架設中



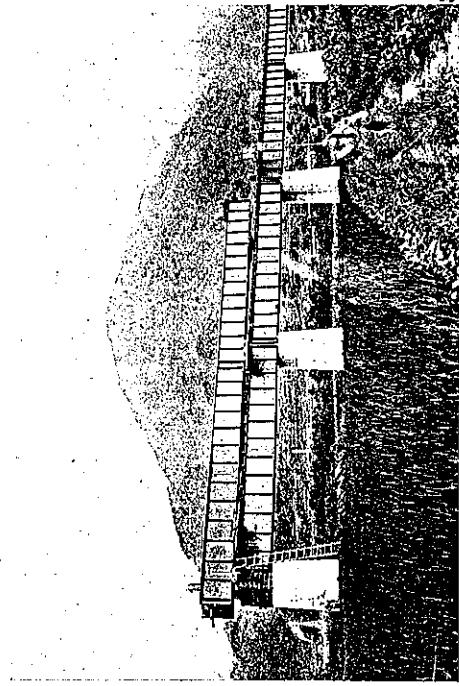
第三跨間エレクション・トラスを解體し第一跨間に架設中

土讃北線(琴平豊永間)吉野川橋梁(其二)



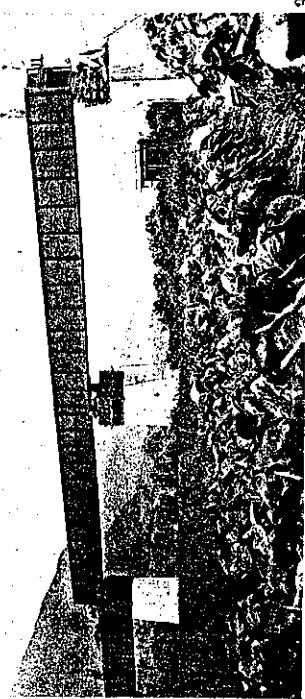
378

飯行二連式架設、上フランジ綫手及頂頭綫手

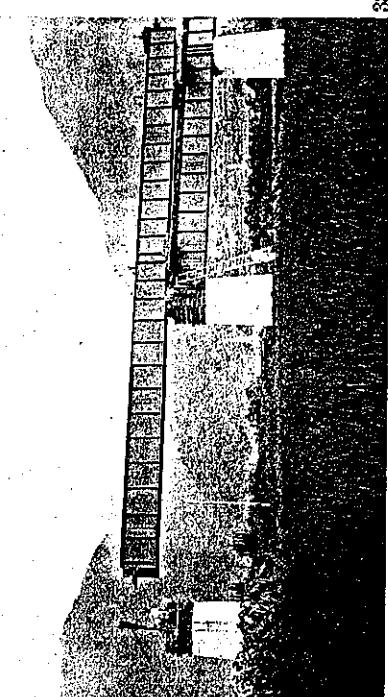


379

橋上にて2連の連結を終り引き出しに着手、前方にはウキソチ2臺、後方には情み網2本を準備す



381



380

特に中央橋脚に達せんとするところ

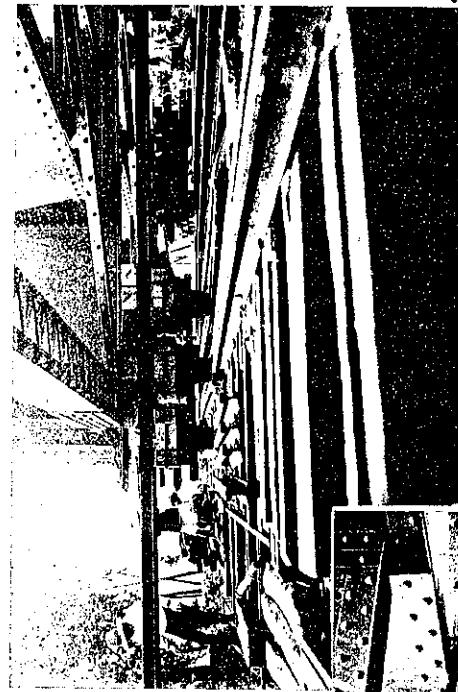
八幡濱線(松山八幡濱間)石手川橋梁

跨間 150 フート下路構架



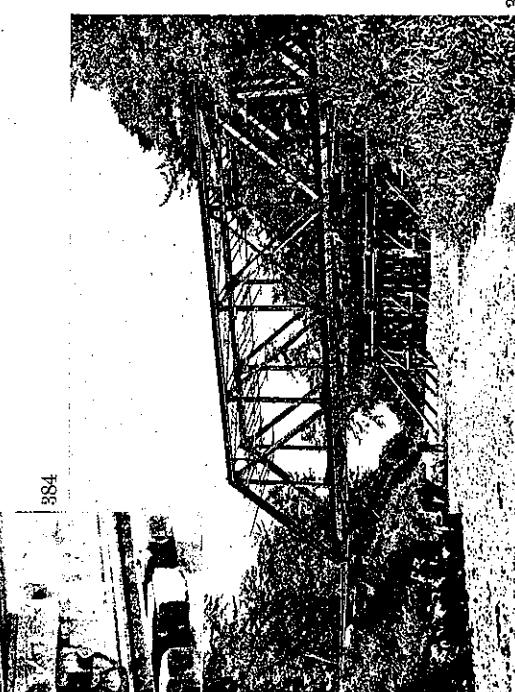
機橋組立

382

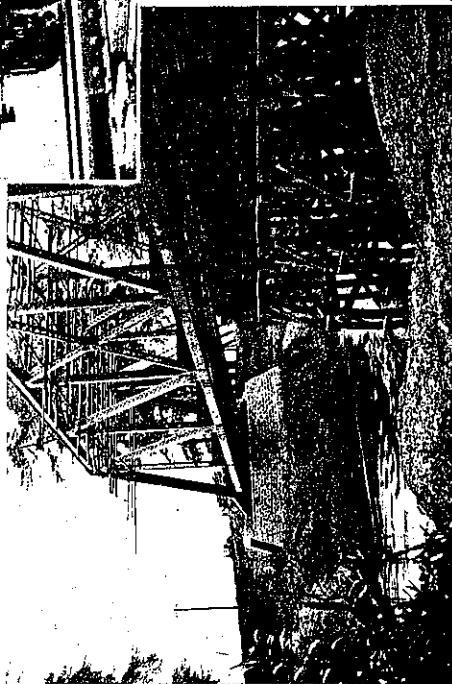


構桁架設用車輪試運転

383



↑前方車輪の側面



構桁架設 後部の荷重を卸すことにより前端は鐵臂上に静坐す

構桁架設

385

386

## 激川橋梁工事

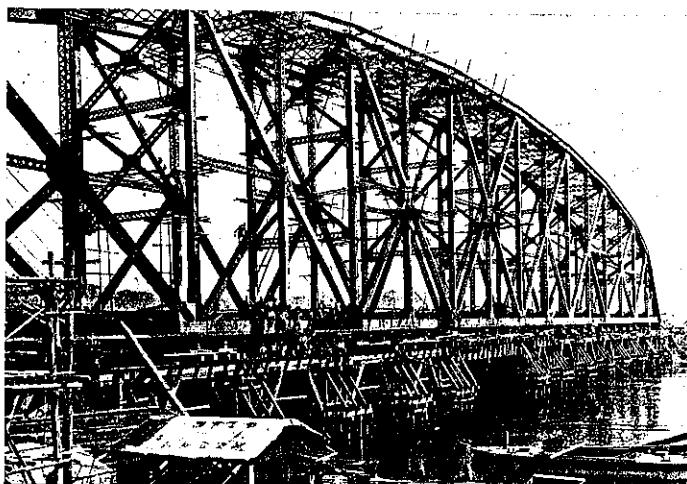
(奈良電氣鐵道株式會社)



387

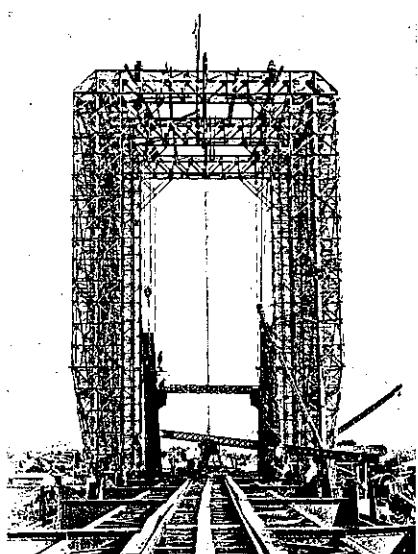
### 全 景

徑間 540呎，格間 30呎，主構中心間隔 32呎，構の高さ 80呎，橋臺 沈函底面積 46呎×21呎，基礎杭 60本 (30尺 末口 8寸)



竣 功 近 し

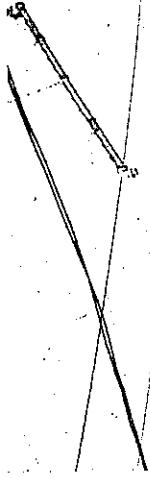
388



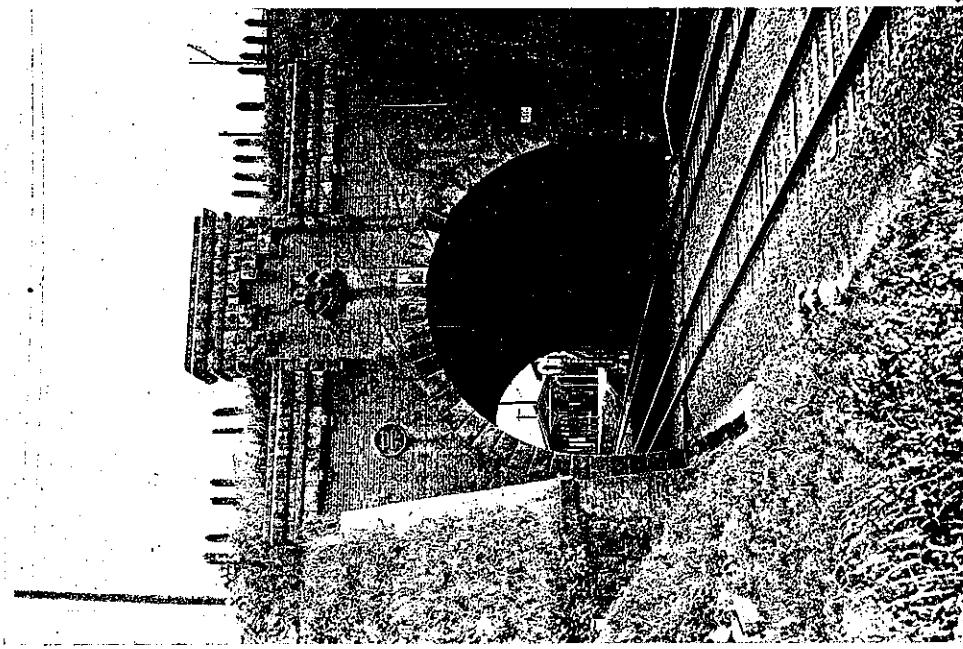
ゴライヤス

高さ 100呎，幅 (構柱中心間隔) 53呎，長さ 480呎，能力 37噸，總重量 200噸

中央本線四谷跨線道路橋根掘及切取

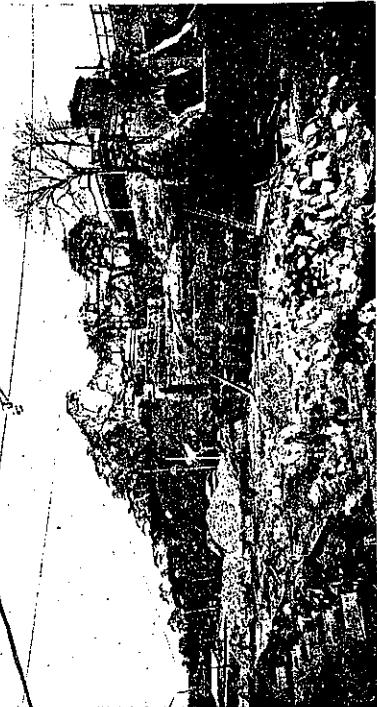


中央本線四谷跨橋内カブト隧道入口



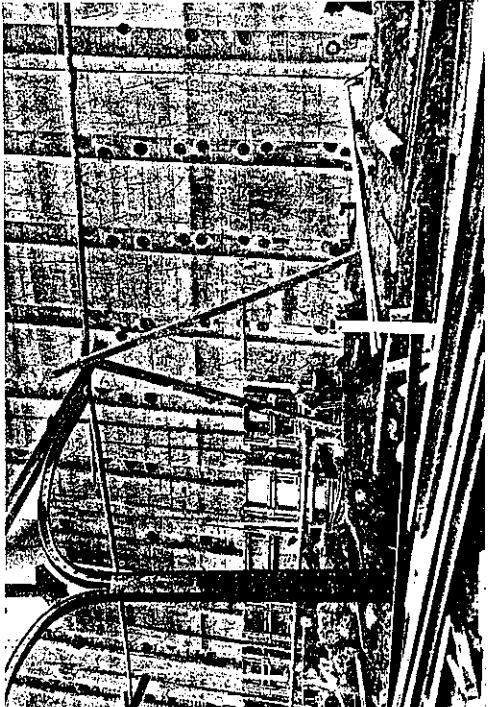
390

改良工事着手當時に於ける甲武鐵道會社築造に係る隧道なり



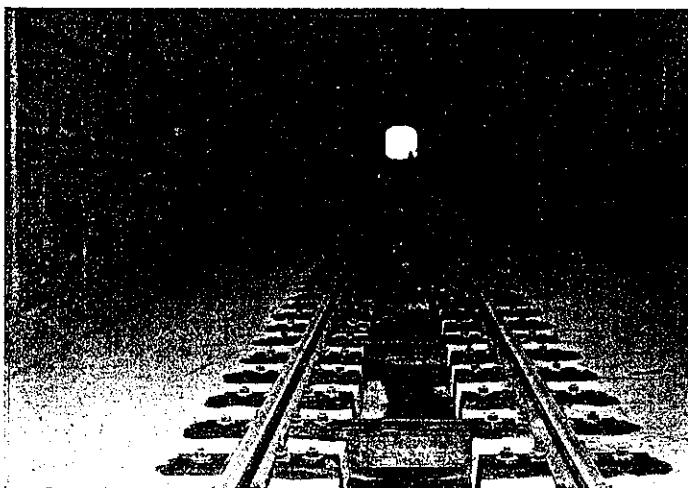
391

カブト隧道を取扱し之に換ふる跨線橋築造の爲同所の掘鑿を行せる光景



中央本線四谷跨前土留溝壁切堀継し状況

392  
根掘工に於ける土留工切梁は之れを取外すこと困難なるを以てこれをコントリート中に埋継し後柱型コントリートを施工して外観をよくす



中央本線四谷驛附近御所隧道道床  
←コンクリート竣工状況

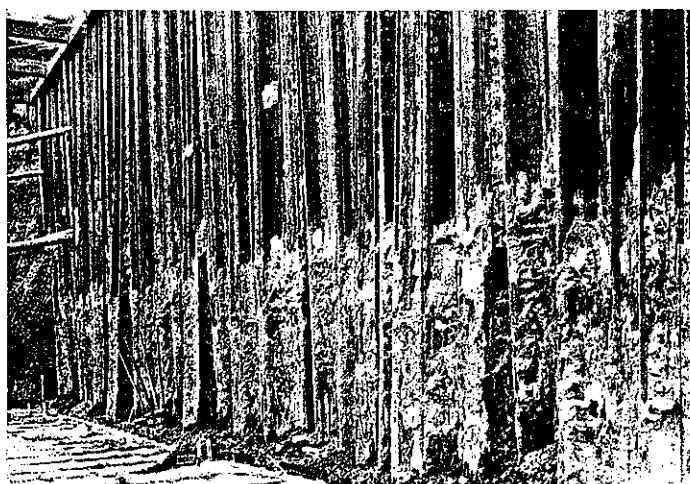
393



中央本線四谷驛附近御所隧道道床  
コンクリート一部側面

道床用鉄筋及アンカー・ボルトの配  
列を示す

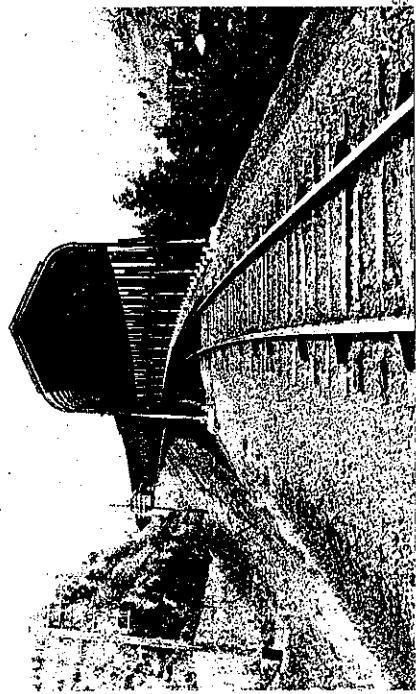
394



中央本線四谷驛附近御所隧道築造に  
←使用せるシートパイル打込後の状況

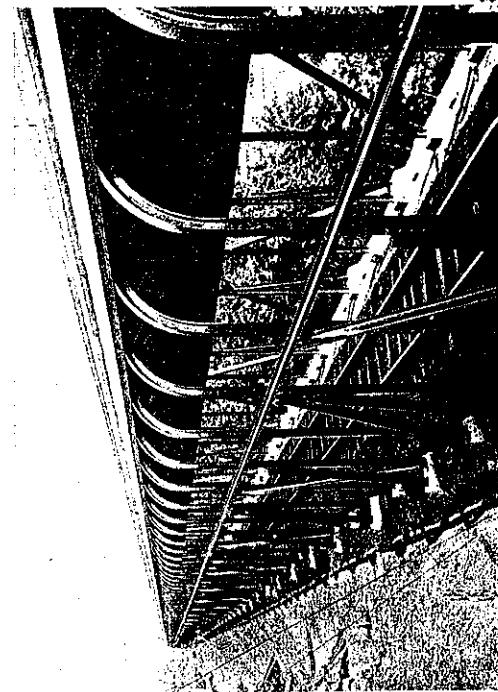
395

東北本線中目, 越河間散火圍改修工事



396

青川散火圍の掌  
延長 1539 呎、骨組古軌條、屋根石綿板葺



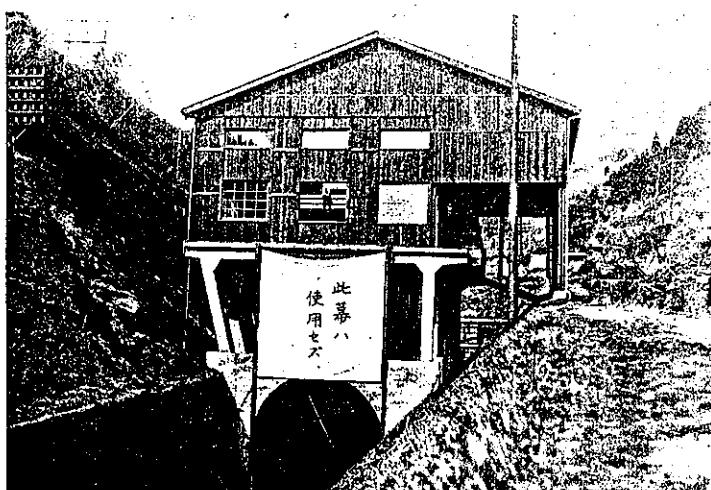
397

民家の反対側  
曲線線部内側



398

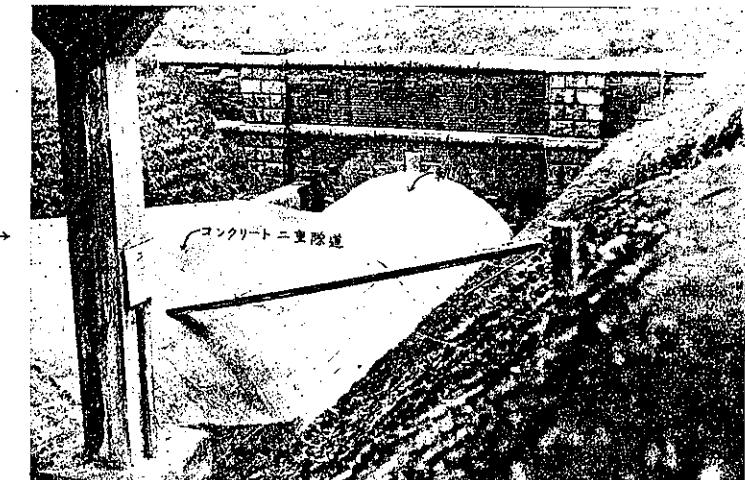
中央本線小佛隧道排煙装置工事



機械室前景

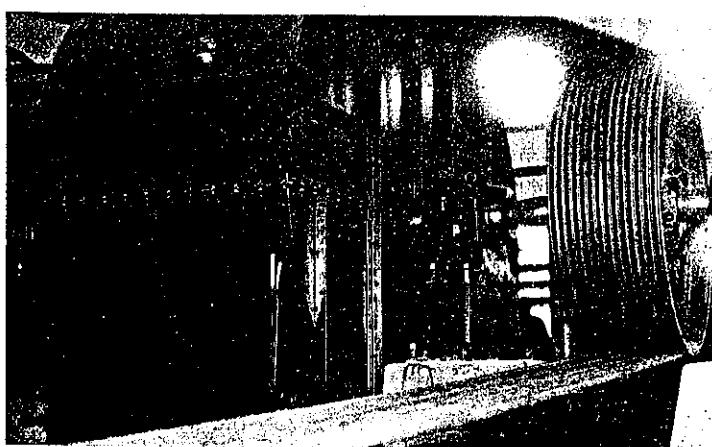
399

風道外部



400

機械室内部



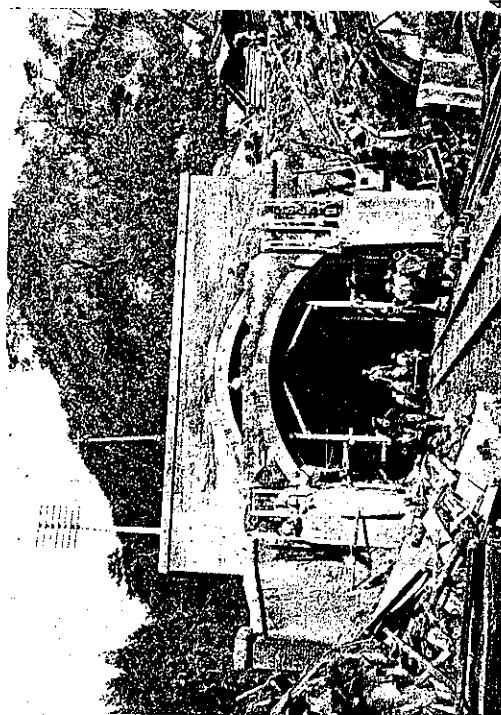
401

常 警 線 側 城 山 隧 道 改 築 工 事



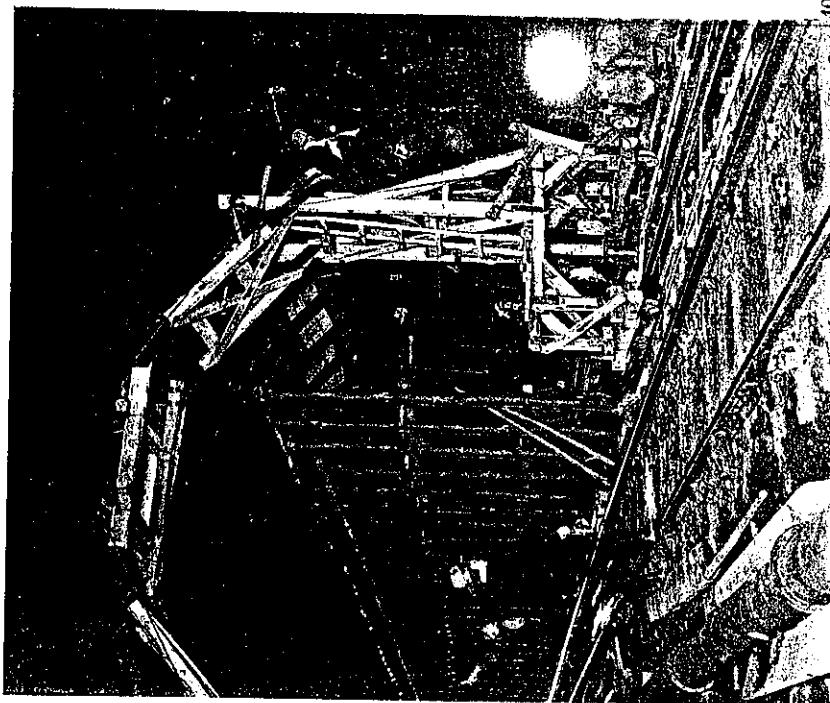
橫 築 隧 道 支 保 工 及 摘 罩

402



在 来 隧 道 道 取 壁 中

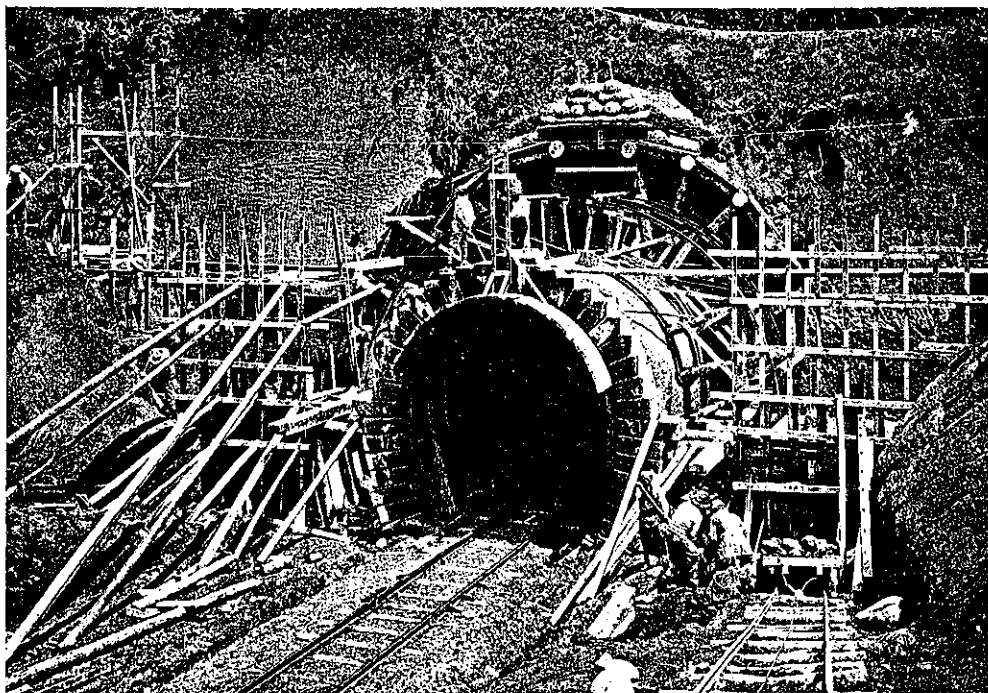
403



在 来 隧 道 拼 强 抗 架 支 保 工 组 立

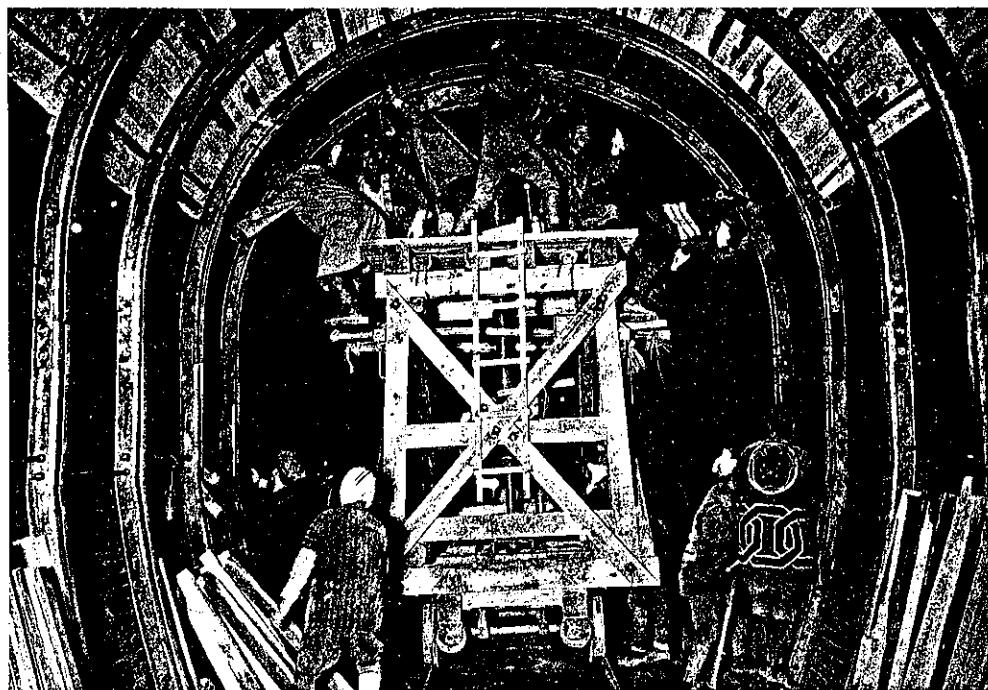
404

東北本線針生隧道改築工事



405

擴築隧道掛架組立及側壁コンクリート施工



406

在來隧道補強・掛架組立

熟海線丹那隧道工事(其一)  
複線型延長約5哩



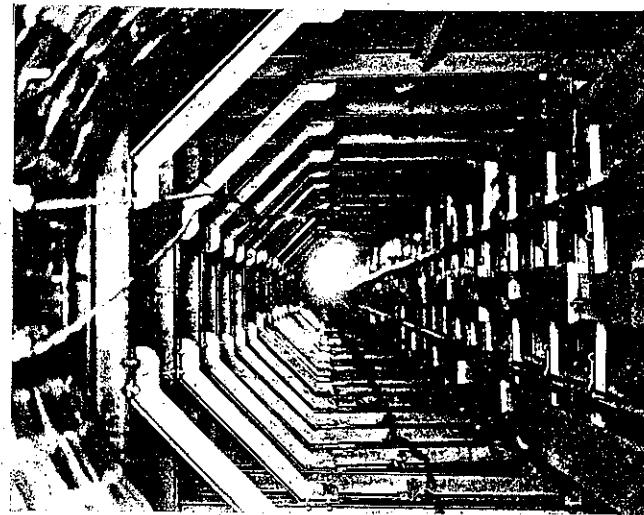
熟海口導坑 9180 呎附近セメント高壓灌入箇所に於ける  
試験坑の涌水 (水量約 4 吨)

407



熟海口水抜坑 9213 呎附近涌水 (水量約 3.5 吨)  
沼津口水抜坑に於ける強製支保工

409

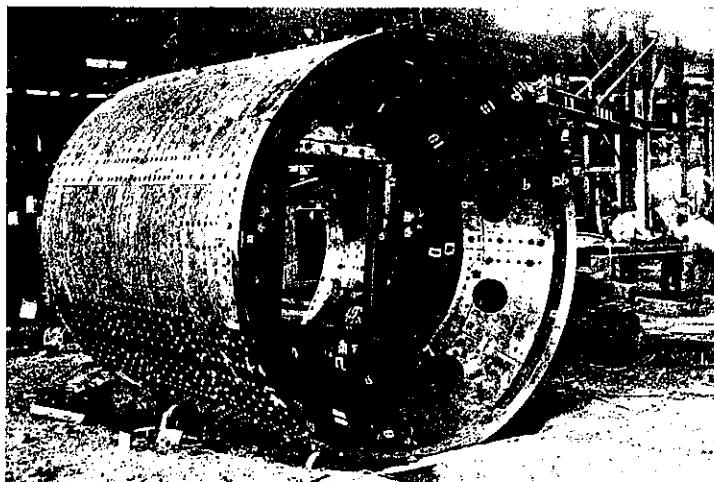


熟海口水抜坑 9213 呎附近涌水 (水量約 3.5 吨)

408

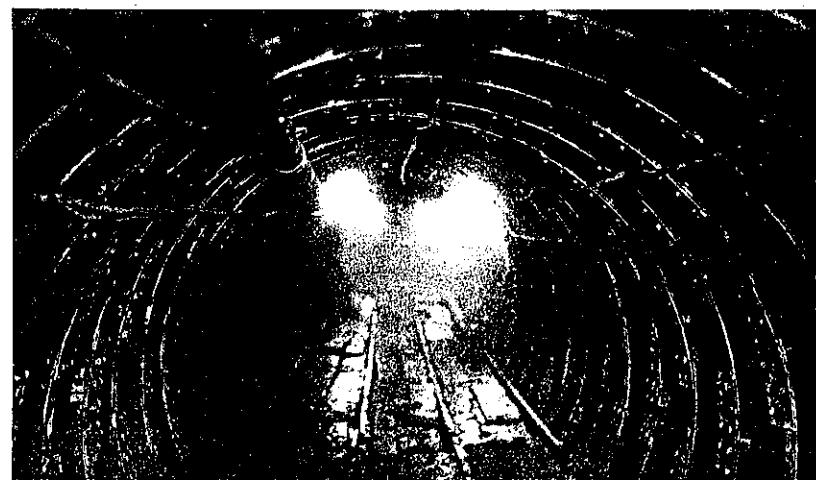
沼津口水抜坑に於ける強製支保工

熱海線丹那隧道工事(其二)



← 热海口水抜坑に使用  
せるシールド組立

410



熱海口水抜坑に於ける  
鐵製セグメント覆工 →

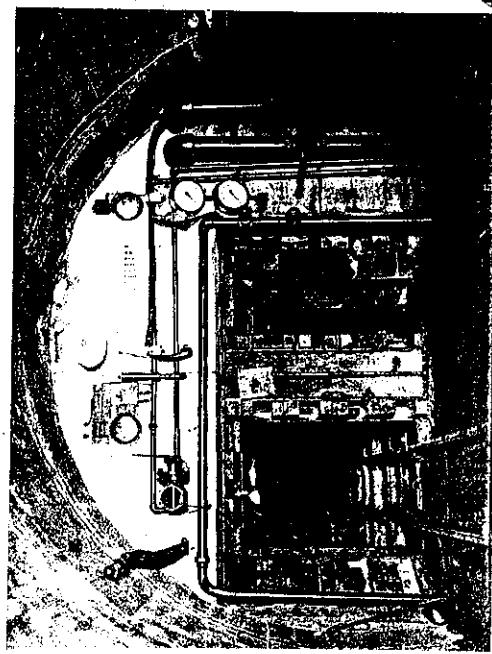
411



← 热海口型築用鐵製脚架

412

熱海線丹那隧道工事(其三)



413

熱海口水坝坑に於てエアー・ロック入口より坑道を望む



414

熱海口水坝坑に於けるシールド



415

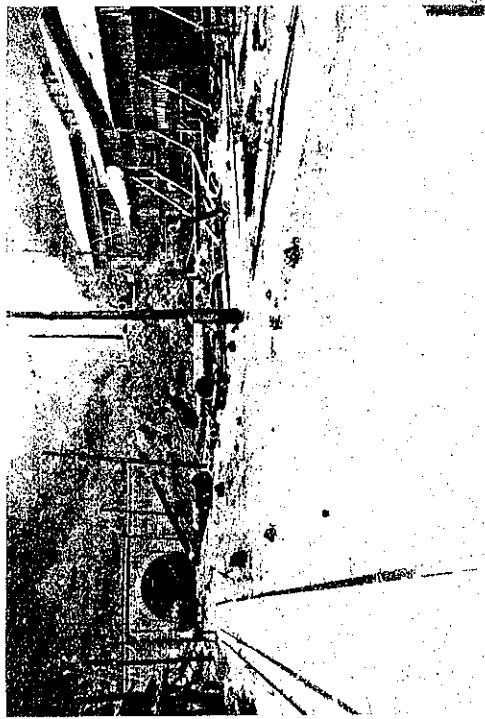
熱海セメント高壓注入作業

熱海線丹那隧道工事(其四)



416

沼津口導坑掘鑿中の涌水



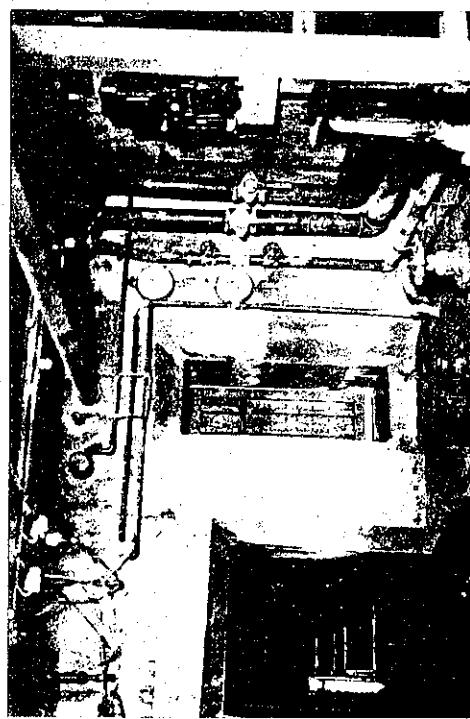
417

沼津口大正14年5月7日80噴附近導坑に於て遭遇せる大湧水の  
際の坑外状況(水量約120噸)



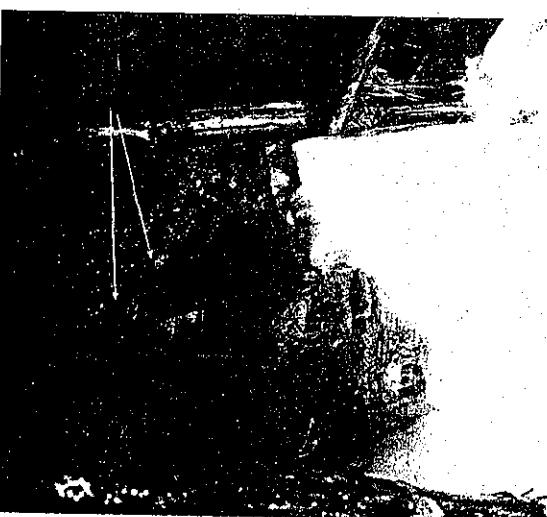
418

沼津口大正14年5月7日80噴附近導坑に於て遭遇せる大湧水の  
際の坑内状況



419

沼津口水抜坑に於けるエア・ロック



420 沼津口水抜坑 7月27日附近漏水 (水量約 30 個)



421 沼津口水抜坑 7月27日附近漏水 (水量約 6.8 個)



422 沼津口注入後の薬液及セメントの分布状態

熱海線丹那隧道工事(其六)



423

沼津口水抜坑の湧水



424

沼津口 4950 呎附近導坑に於ける薬液及セメント高圧注入坑



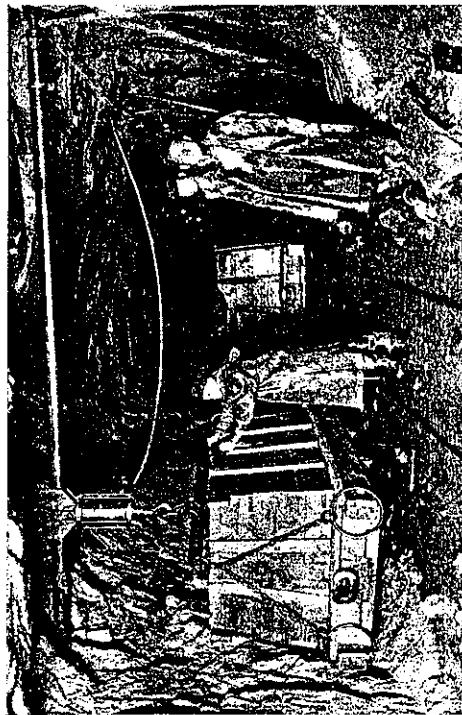
425

沼津口中脊盤坑道 7821 呎附近大空洞

上越線清水隧道工事(其一) 單線型延長約6哩



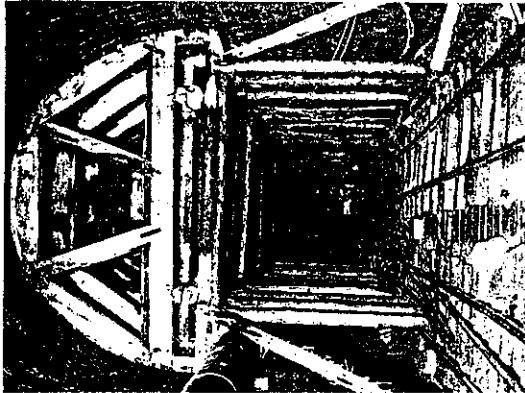
426 高崎口導坑に於てマイアース・ホエレーポード出機に依る露出



427 長岡口土運車遷移機

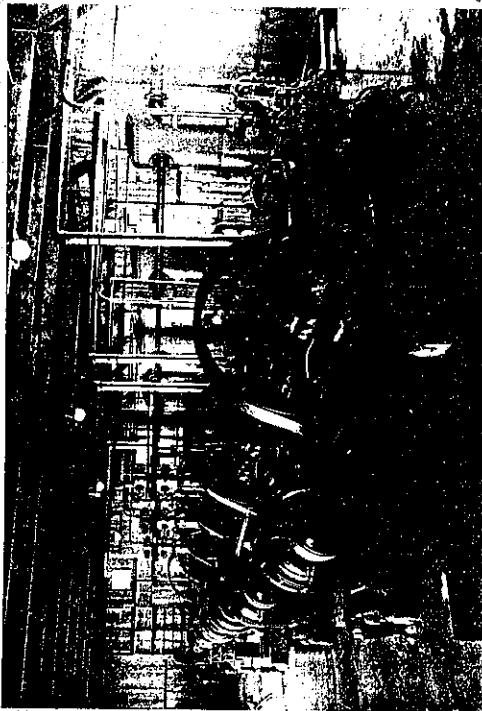


428 長岡口支保工



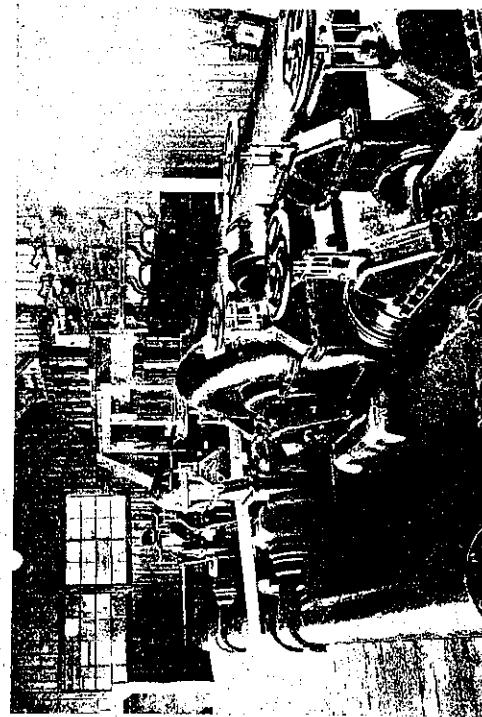
429 長岡口墨縫用折架

上越線清水隧道工事(其二)



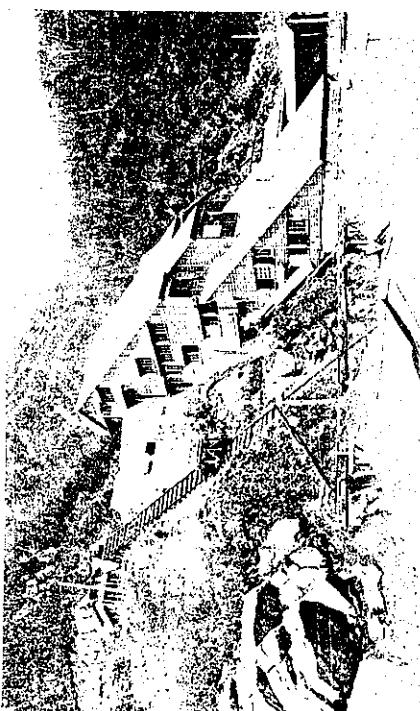
431

長岡口空気壓搾機室



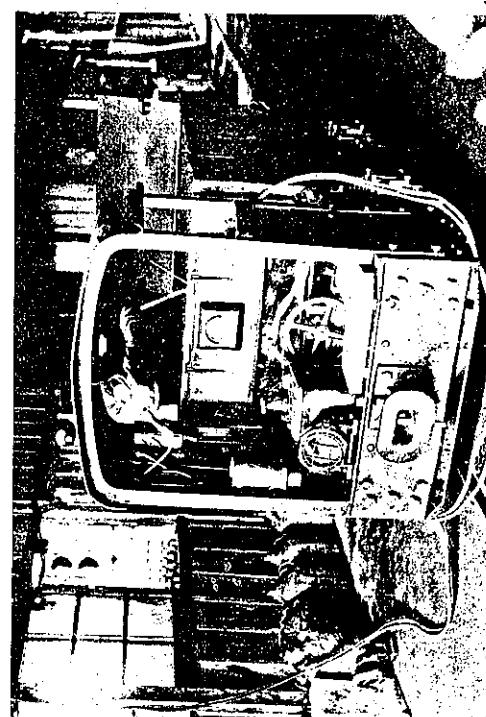
432

長岡口換氣機室



433

長岡口ジャイアントリー・クラッシャー及ジョニー・クランチヤーに依る砂利製作並にクローラル・ミル及コーカル・ミルによる砂製作場

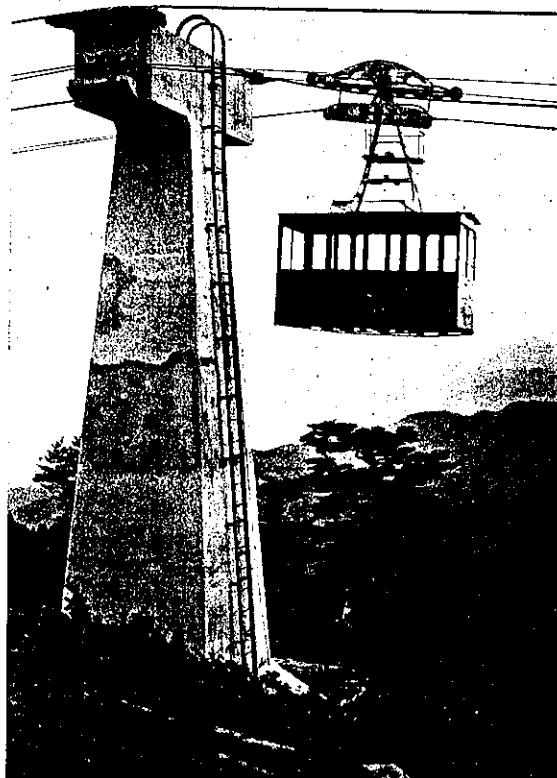


434

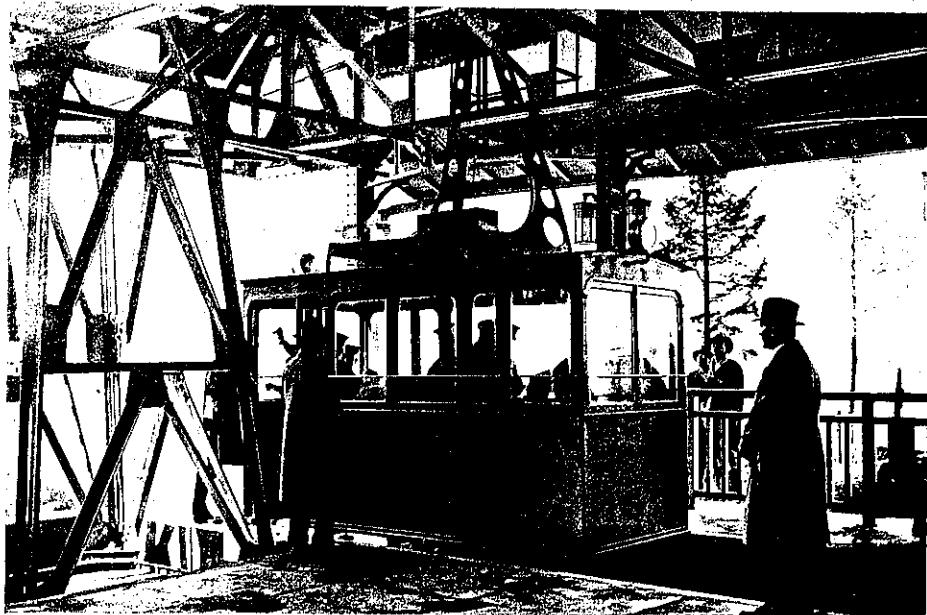
高崎口蓄電池機関車の充電

京都電燈株式會社叡山空中ケーブル釣瓶式運轉多線式旅客用索道

(亘長 641.69 米, 最大徑間 409.05 米, 海拔 710 米, 支柱高さ 12 米, 撥器定員 20 名, 速さ每秒 3 米)

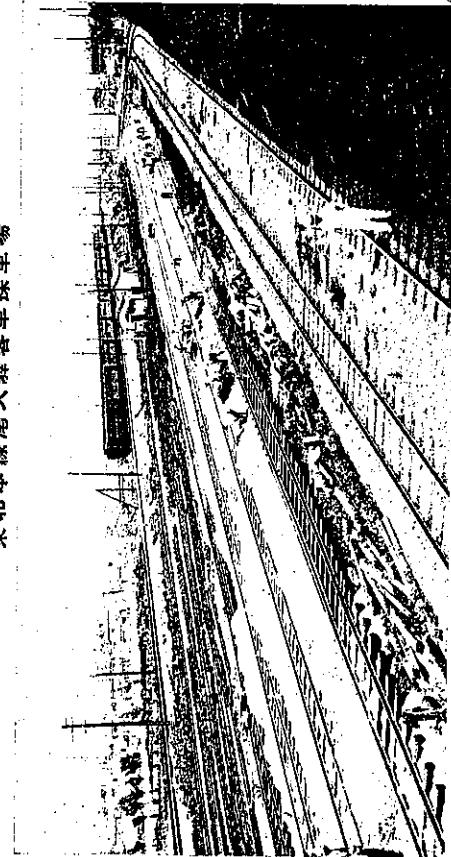


435



436

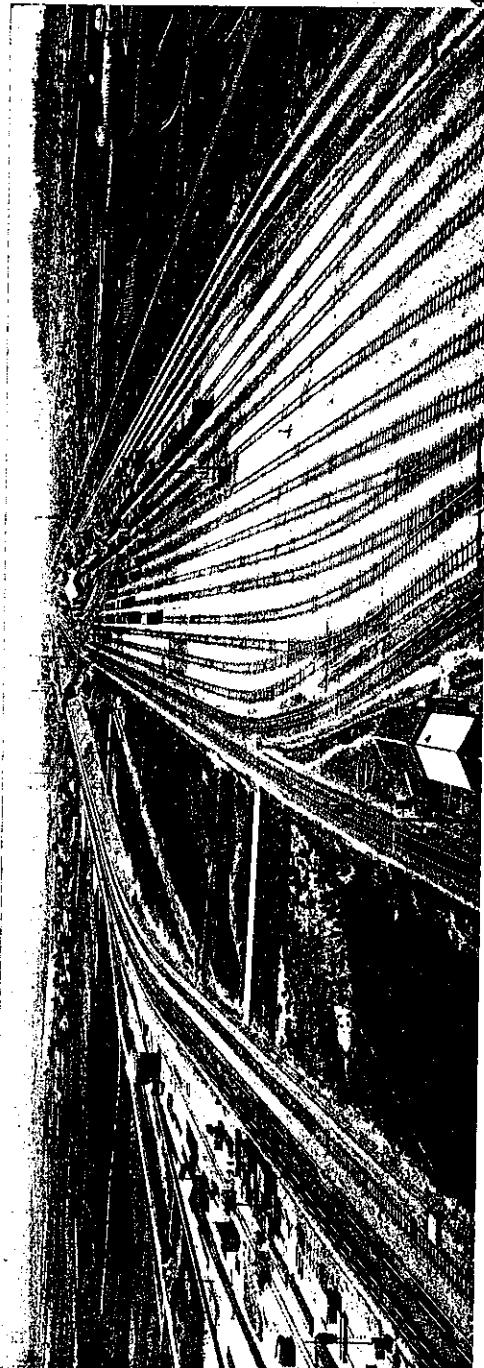
東北本線尾久駅客車操車場



437

線路敷設の状況にして有效長 1,000 尺の出發線 12 本敷設作業の景

東海道本線吹田操車場



438

東部照明燈台より機関庫方面を望む

昭和五年六月廿六日印刷

非賣品

昭和五年六月三十日發行

編輯兼發行者 北村嘉太郎  
東京府荏原郡目黒町字三田二百〇六番地

印 刷 者 島連太郎  
東京市神田區美土代町二丁目一一番地

印 刷 所 三秀舎  
東京市神田區美土代町二丁目一一番地

東京市麹町區丸の内二丁目八番地

發 行 所 社團 土木學會

振替口座 東京壹六八貳八番